

207.

Brigham Young
University Library

George H. Brimhall

Collection on Theology

From A. W. Ivins family.

Call No. M 285.2
J 274
1915

Acc. No. 118403



3 1197 00280 1618

DATE DUE

MAR 24 1980

AUG 18 1987

AUG 5 1987
DEC 09 1988

DEC 09 1988

DEMCO 38-297

M285.2
J274
1915

末日聖徒讚美歌

家庭、説教會、日曜學校及宣教師と聖徒の諸集會の精選讚美歌集

末日聖徒耶蘇基督教會

日本傳道部

緒言

讃美歌集を新たに編纂せんことは久しく考慮せられたる問題なりき、從來の讃美歌は原句の意義を保たんがために歌譜としての調を損せるところ多く、詞句の如きも隨て原文の長さに倍するの結果を生ぜり、若夫れ作曲の上より之を評すれば其音譜は音樂として不完全なるを免れず、詞句の如きも亦冗長に失し、爲めに語勢に於て缺くるところなき能はず、宣教師、聖徒及び教會の諸友常に之を遺憾とし、寧ろ歌曲の原意を犠牲としても其音調を存せんことを勧告する者尠なからざりき。

當時教會の總長たりし長老エツチ、グラント、アイビンズ氏は此希望を實現するを以て責任とし紀元千九百十四年の夏期に際し、高木富五郎氏(當時未だ教會員たらざりき)の補助に依り百五十の歌曲を翻譯し、之に原曲の音譜を附し、且日本文法に堪能なる山根藤七氏に由りて歌曲の修正を経たり、其後將來多年の使用に充分なるものを發行せんとし長老ロイド、オー、アイビー氏及び予は更に七十の曲を選

擇し、長老アイビー氏之を意譯し、山根氏之を詩句となせり。

長老アイビンス氏歸國に蒞み此書出版の責任は予の双肩に落ちたり、予は長老アイビー氏の忠實なる援助と本書校正の勞とを深く謝し、尙歌曲翻譯の勞を採られたる教會の一友堺利彦氏及び本書をして今日あるに至らしめたる宣教師及友人諸兄の助言に對し甚深なる感謝を表せんとす。

願はくは神の靈この書と共に在まし之を謠ひ、之を誦する人々に福音の靈を授け給ひて、本書編纂が予に喜悅を與へし如く之を謠ふ人々にも同様なる歡喜あらしめ給はんことを、之れ予の祈りて止まざるところなりとす。

紀元千九百十五年十一月十日

在日本東京　ジョセフ、エチ、ステンブソン

題目索引

日曜學校に適當する讚美歌。

番號

自第一至第五十

自第二百五至第二百二十

日曜學校に關する讚美歌。

いとよき日

薔薇なす朝日

日曜學校に急げ

日曜學校にまた集り

日曜學校の感謝

日曜のホーム

よき日の來るを目守る

樂し安息日

歌ひ祈れ

破るな安息日

皆進め

平和の千歳。

いざ救の日を樂まむ

恥ぢず主にたより

平和の曉

明けゆく空

來れ主の子等

來ませ王の王

福音の旗樹てり

主の御靈は燃え

閉會。

いざ散會むとて

散會に臨みて

散會の歌(別る、時)

わかれの歌(天の父よ)

つゝがなく

二百十六

百八

八十八

百七十八

十六

十五

六十九

二百四

百九

五十

百四十七

百四十六

二百二十

百四十五

頌歌

感謝

春の木の芽
父よ子等は讃美す
我等の父の神よ
感謝す豫言者
樂める子等の群
天に坐す父よ
御惠數へあげ

喜び

いざ救の日を樂まむ
若葉の春
樂しき子等
樂しき夢見ぬ
歡喜に歌に
心の光

百四十九

皆進め

クリスマス。

三十六

二百六

百三十四

百一

二十

二百五

三十三

訓戒

著るしき星
往昔ユダヤの野に
クリスマス搖籃の歌
キリスト降誕聖歌
主の御誕生ベレヘム

百八
三十八
二百十七
二十八
百五十一
三十四

これ日光
小さき燈火をともせ
鐵の棒
世の光を増せ
勞るな
露の間に働け
直くせよ
汝が心は日光をもたば

二百十八

二百十
四十一
二百十一
四十二
二百九

三十二
百六十六
百九十七
百七十四
八十三
三十一
七十六
三十五

車を押せよ

また試みむ

今日我善をなしたるか

子供よ神守ます

御言葉により働く者よ

親みてよく直かれ

眞理は胸に照り

情をな燃えさせそ

光を撒け

日の照る間に働け

福音の恢復。

異教徒の赦免り

樂しき日は來て

嬉しシオンの朝に遇ふ

降れる天使

天に何を見し

天使の飛ぶを看よ

百七十六

八十四

百七十三

四十七

百十二

二十六

百三十八

百三十九

百七十五

三十

來たれ約束せし日よ

御言葉聴け

子供の歌。

榮ある夏

年少きより神に従ふ

我光り

余、光線とならむ

樂しき子等

クリスマス搖籃の歌

子供よ主を愛し

子等を來させよ

讚美の歌

エスは輝けと命す

天の家庭。

河のあなたに逢はむか

何と歌ひ喜ばむ

百五十七

百七

二百十二

四十

二百十四

二百十三

二百十七

二百十一

四十四

四十三

二百十八

二百十五

百五十五

十九

汝の冠は何ぞ

向ふ家路は

愛を満て

主よ何時逢ふならむ

エス榮て來らむ時

美なる市街を讀めり

美なる島

愛と深切。

家庭の愛

我等は朋友なり

神は愛なり

牧羊者の愛

惱める旅人

美しき愛の御言葉

迷ふ者を良く思へ

子等を來させよ

懇切に語れ

百三十二

百三十五

二十二

百五十三

百五十四

九十七

八十一

愛をば蒔けよ

愛を満て

惡を口にすな

過失を責めむと思はば

嗚呼不可思議よ

親しみ語らばむ

美なる世界

惡に對する戦争。

イスラエルの頼

時は長からず

刃手を待ちつゝ

神のはたらきに進み

世の救主よ

よき日の來るを目守る

誰が主の友

戦争止むまで募らる

楽しく歌ふ

二十四

二十二

二十三

百九十六

六十

二十一

百九十五

九十

百十五

百十七

八十五

七十二

百十八

百二十九

百十六

百五十

勞^{つか}るな
 傳^{つたへ}説^{あは}と過^{あま}謬^{まち}と見^みゆ
 喇^ら叭^ぱの音^{おと}聽^きけ
 向^{むか}ふ家^{いえ}路^ぢは
 車^{くるま}を押^おせよ
 ま^こた試^しみむ
 福^{ふく}音^{おん}を持^もむ
 共^き和^わの軍^{ぐん}歌^か
 聽^きけ級^{きゅう}友^{ゆう}の歌^{うた}を
 義^ぎのた^ため^めに祈^{いの}り

安息日。

樂^{たの}しき安^{あん}息^{そく}日^び
 唱^{うた}へ讚^{さん}美^びの歌^{うた}
 來^こよ日^に曜^{えう}日^び

葬式。

墓^{はか}のかなたに

八十三
 百三十
 百十四
 百三十五
 百七十六
 八十四
 百八十
 百七十九
 百九十二
 七十七

五十八
 四

百八十九

別^{わか}れむ人^{ひと}間^まの譽^{ほま}れ
 我^{われ}が天^み父^{ちち}
 休^{やす}め疲^{つか}れては
 耳^{みみ}を驚^{おどろ}かす聲^{こゑ}は何^{なん}ぞ

讚美。

いとやさしき天^{てん}なる父^{ちち}よ
 息^{いき}あるほご讚^{さん}美^びせよ
 春^{はる}の木^きの芽^め
 年^{とし}少^{わか}きより神^{かみ}に従^{したが}ふ

神^{かみ}は榮^{さか}えなむ
 樂^{たの}しく歌^{うた}へ子^こ等^らよ
 歡^{くわん}喜^きに歌^{うた}に

山^{やま}の朝^{あさ}
 子^こ等^らの歌^{うた}を聽^きけよ

讚^{さん}美^びの歌^{うた}
 來^{きた}れ子^こ供^{ども}よ

シオンが榮^{さか}ゆる

百二十一
 百十九
 百二十二
 百二十

三十九
 百三十三
 三十六
 四十

百五十二
 八
 百五十一
 二十七

二百八
 二百十八

十三

九十三

シオンせいこの聖徒せいとの子等こら

頌歌しょうか（一）

頌歌しょうか（二）

主しゅの御働みはたらき

雜歌ざうか

神かみはくしきもて

復活ふくわつの朝あさ

美うらはしきカリラヤよ

コロブとに飛とばし

愛あいしきデゼレトなに

北きたのはてより

眞理しんりは何なんぞ

信仰しんがうなき心こころは闇やみなり

祈禱きたう

祈いのるぞたのしき

禱いのることを忘わするな

十七

百四十八

百四十九

七十九

我主わがしゅエス

朝あさ日照ひてる間まも

祈禱きたうは靈こころの希望きぼうなり

主しゅよ我われを聞ききたまへ

ジヨセフ、スミス最初さいしよの祈禱いのり

祈願きがん

七十一

二百十九

百八十一

百九十四

十八

百二十六

百四十

百三十七

禮拜をがみを受うけ給たまへ

我わがいのり

我靈わがれいの愛あいするエスよ

我わが天父てんふ

神かみよ汝なれに近ちかよらむ

種たねを蒔まく

嬉うれしき聚つどひ

航路ふなぢに導ひかせ

聲こゑうち揃そろへて

義ぎのため祈いのり
御神みかみよ降くだらせ

百六十四

百二十八

百五十九

百六十五

九十九

百四十四

百五十六

六十四

百十九

百六十

百四十三

十四

百五十八

百三十一

七十七
八十

亂雜騷擾繁き世に

御惠深き父

御許に導け

白露の如く

主に近づかむ

主よ我をば捨てな

主よ絶へず汝に頼らむ

エホバよ吾等を導給へ

光の導き

シオン。

ほまれは高し

高き山よ

美し我がシオン

嬉しシオンの朝に遇ふ

山に圍まれしシオン

山の力のため

山の上に

百六十三

百四十一

六十六

百四

六十八

七十三

百六十一

八十九

六十五

シオンが榮ゆる

シオンのみさかえ

信用。

何時は悟り得む

何處にか得む

イスラエルの救主

永遠の我が味方

我が天父は知る

我靈の愛するエスよ

固き信仰の基

神は供給ふ

恐るな聖徒よ

黒き雲おほひ來て

苦は妨碍ども

主は生けりと知る

主は我が牧羊者

主は光ぞ

九十三

九十四

百六十九

百七十

七十

百七十七

百七十一

六十四

七十八

七十四

八十二

八十六

七十五

百七十二

四十六

六十七

主しゆよ暴風雨あらし荒すさび

主しゆよ往ゆかむ仰おほせのまゝに

エスに委まかせむ

救すくひの岩いは

浸しん禮れい。

天父ちふよ

川かはの岸きしに

神かみの小羊こひつじを見みよ

按手あんしゅ禮れいの歌うた

新しん年ねん。

若葉わかはの春はる

再旅またたびに立たたむ

信しん心しん。

神かみよ汝なれに近ちかよらむ

御業みわざを讚美たぐへむ

四十八

百六十八

四十五

六十三

百八十六

百八十五

百八十四

百八十三

主しゆに近ちかづかむ

ジヨセフ、スミス。

感謝かんしやす豫言者よげんしや

讚美たたへよ豫言者よげんしやを

歌うたへ奇くしき歌うた

ジヨセフ、スミス

ジヨセフ、スミス最初さいしよの祈禱いのり

百年もんどせ

從じゆう順じゆん。

年少ごしわかきより神かみに從したがふ

福音ふくいんを持もつ

子供こどもよ主しゆを愛あいし

愛あいしきデゼレトに

讚美さんびの歌うた

親したみてよく直なかれ

主しゆよ往ゆかむ仰おほせのまゝに

六十八

百一

百二

百

百九十

九十九

百九十一

四十

百八十

四十四

十八

二百十八

二十六

百六十八

エスに委せむ
日暮れぬうち

聖餐式

嘗て賤く生れしエス

樂しく歌へ子等よ

唱へ讚美の歌

音をば皆鎮めて聽け

苦の紀念

天地の主よ

青き山あり

崇め謙遜りて

嗚呼不可思議よ

來れどのたまふは

ゆゑしき智と愛と

御靈の助をふ

御紀念分つ

主の犠牲

四十五
二百七

五十五

八

五十八

百八十二

五十二

百六十七

百九十八

五十一

六十

六十一

五十六

五十九

五十三

五十四

主の愛を歌ふ
エスに來れ
エスの御名を祝ひ

招待と集合

いで神の子

いでシオンの子等よ

イスラエル神呼ませり

イスラエルの長老

結べ主の子に

恐るな聖徒よ

來れ、來れ

エスに來れ

六十二
百八十八
五十七

百十

九十二

九十八

百十一

百九十九

八十二

百十三

百八十八

題目索引をはり

いろは索引

いの部

いとよき日
いとやさしき天なる父よ
著るしき星
何時は悟り得む
何處にか得む
祈るぞたのしき
禱ることを忘るな
異教徒の赦免り
いで神の子
いでシオンの子等よ
いざ散會れむとて
いざ救の日を樂しむ
息あるほど讚美せむ
イスラエル神呼びませり

番號

二
三十九
二百十
百六十九
百七十
百六十二
百二十七
百三
百十
九十二
五十
百八
百三十三
九十八

イスラエルの長老
イスラエルの頼み
イスラエルの救主

はの部

恥ぢず主にたより
春の木の芽
墓のかなたに
薔薇なす朝日
榮ある夏

にの部

日曜學校に急げ
日曜學校にまた集り
日曜學校の感謝
日曜のホーム

ほの部

百十一
九十
七十

八十八
三十六
百八十九
十一
二百十二

一
六
七
五

家庭の愛 けいどうのあい
ほまれは高し たか

二十五
九十六

への部

平和の曉 へいわのあかつき

百七十八

ごの部

どれ日光 ひかり
永遠の我が味方 みかた
時は長からず なが
年少より神に従ふ かみしたが

三十二
百七十七
百十五
四十

ちの部

天父よ ちち
父よ子等は讚美す さんび
小さき燈火をともせ ともしび

百八十六
二百六
百六十六

をの部

禮拜を受け給へ をがみ

百四十四

わの部

我がいのり わがいのり
若葉の春 わかばはる
我が天父は知る わがちちをし
我靈の愛するエスよ わがれいのあいするえすよ
散會に臨みて わかれのぞ
別れむ人間の譽れ わかかれよのほまれ
散會の歌 うた (別るゝ時) わかかれどき
わかれの歌 うた (天の父よ) てんちち
我が天父 わがみちち
我主エス わがしゅ
我光り わがひかり
我等は朋友なり われらとも
我等の父の神よ われらちちのかみ

かの部

河のあなたに逢はむか かは

百五十六
三十八
百七十一
六十四
百四十七
百二十一
百四十六
二百二十
百十九
百六十四
二百十四
百二十五
百三十四
百五十五

川の岸に

荊手待ちつゝ

固き信仰の基

嘗て賤しく生れしエス

鐵の棒

神は供給ふ

神はくしきもて

神は愛なり

神は榮えなむ

神よ汝に近よらむ

神のはたらきに進め

神の小羊を見よ

牧羊者の愛

感謝す豫言者

よの部

百八十五

百十七

七十八

五十五

百九十七

七十四

七十一

百二十三

百五十二

百六十

八十五

百八十五

四十九

百一

よき日の來るを目守る

復活の朝

余、光線とならむ

たの部

高き山よ

誰が主の友

讚美へよ豫言者を

戦争止むまで募らる

種を蒔く

樂しく歌へ子等よ

樂しく歌ふ

樂し安息日

樂しき子等

樂しき安息日

樂しき夢見ぬ

樂しき日は來て

樂しめる子等の群

百十八

二百十九

二百十三

二百

百二十九

百二

百十六

百四十三

八

百五十一

三

二百十七

九

二十八

百三十六

二十

世の光を増せ

世の救主よ

百七十四

七十二

つ の 部

つ^{つか}勞^{らう}るな
つ^{つた}傳^{でん}説^{せつ}と過^{あやまり}謬^{りう}と見^みゆ
つ^{つめ}づ^づがな^{なく}
露^るの^の間^まに^{はたら}働^{はたら}け

な の 部

な^{なほ}直^{ちよく}くせ^{せよ}よ
な^な汝^が心^{こころ}目^め光^{ひかり}をも^もた^たば
な^な惱^{なや}める^める^る旅^{たび}人^{びと}
な^{なん}何^{なん}と^と歌^{うた}ひ^ひ喜^{よろこ}ば^ばむ
な^{なん}汝^{なん}の^の冠^{かんむり}は^は何^{なん}ぞ

ら の 部

ラ^{ラッ}叭^パの^の音^{おと}聴^きけ

む の 部

八十三

百三十

百四十五

三十一

七十六

三十五

百九十三

十九

百三十二

百十四

向^{むか}ふ^{いへ}家^け路^ろは

往^{むかし}昔^こユ^ユダ^ダヤ^ヤの^の野^のに

結^{むす}べ^し主^{しゅ}の^の子^こに

う の 部

美^{うるは}し^は我^わが^がシ^シオ^オン

美^{うるは}し^はガ^ガリ^リラ^ラヤ^ヤよ

美^{うるは}し^はき^き愛^{あい}の^の御^み言^{こと}葉^は

歌^{うた}へ^へ祈^{いの}れ

歌^{うた}へ^へ奇^くし^しき^く歌^{うた}

唱^{うた}へ^へ讚^{さん}美^びの^の歌^{うた}

嬉^{うれ}し^しき^き聚^つひ

嬉^{うれ}し^しシ^シオ^オンの^の朝^{あさ}に^に遇^あふ

お の 部

音^{おと}を^をば^ば皆^{みな}鎮^{しづ}めて^て聴^きけ

恐^{おそ}る^るな^な聖^{せい}徒^とよ

百三十五

四十一

百九十九

九十五

百八十一

三十七

十二

百

五十八

十四

九十一

百八十二

八十二

くの部

黒き雲おほひ來て

苦は妨碍ぐども

クリスマス搖籃の歌

車を押せよ

苦の記念

歡喜に歌に

降れる天使

やの部

山に圍まれしシオン

山の力のため

山の上に

山の朝

破るな安息日

休め疲れては

まの部

迷ふ者を良く思へ

再旅に立たむ

また試みむ

けの部

今日我善をなしたるか

ふの部

航路に導かせ

福音を持つ

この部

コロブに飛ばし

子供よ神守ります

子供よ主を愛し

來よ日曜日

百八十七

百八十七

八十七

八十四

百七十三

百五十八

百八十

百九十四

四十七

四十四

四

子等を來させよ
子等の歌を聴けよ
懇切に語れ
心の光
聲うち揃へて

えの部

エスは輝けと命ず
エスに委せむ
エスに來れ
エスの御名を祝ひ
エス榮て來らむ時

ての部

天に何をか見し
天に坐す父よ
天地の主よ
天使の飛ぶを看よ

四十三
二百八
二十九
三十四
百三十一

二百十五
四十五
百八十八
五十七
百五十四

百五
二百五
百六十七
百二十四

あの部

愛をば蒔けよ
愛を満て
愛しきデゼレトに
青き山あり
崇め謙遜りて
惡を口にすな
過失を責めむと思はい
明け行く空
嗚呼不可思議よ
朝日照る間も
按手禮の歌

さの部

讚美の歌

きの部

二十四
二十二
十八

百九十八

五十一

二十三

百九十六

十六

六十

百二十八

百八十三

二百十八

キリスト降誕聖歌
共和の軍歌

來れどのたまふは
來れ約束せし日よ

來よ子供よ

來れ、來れ

來れ主の子等

祈禱は靈の希望なり

北のはてより

義のために祈り

來ませ王の王

聽け級友の歌を

ゆの部

ゆゑしき智と愛と

みの部

福音の旗樹てり

四十二

百七十九

六十一

百五十七

十三

百十三

十五

百五十九

百二十六

七十七

六十九

百九十二

五十六

二百四

御業を讃美む

御神よ降らせ

亂雜騷擾繁き世に

御靈の助乞ふ

皆進め

御言葉により働く者よ

御言葉聽け

御恵數へあげ

御恵深き父

耳を驚かす聲は何ぞ

御記念分つ

しの部

ジョセフ、スミス

ジョセフ、スミス 最初の祈禱

親み語らばむ

親みて能く直かれ

白露の如く

百四十二

八十

百六十三

五十九

二百十六

百十二

百七

三十三

百四十一

百二十

五十三

百九十

九十九

二十一

二十六

百四

シオンが榮ゆる

シオンのみさかえ

シオンの聖徒の子等

情を燃えさせそ

頌歌(一)

頌歌(二)

主は生けりと知る

主は我牧羊者

主は光ぞ

主に近づかむ

主は何時逢ふならむ

主よ我をば捨てな

主よ我を聞きたまへ

主よ絶へず汝に頼らむ

主よ暴風雨荒び

主よ往かむ仰のまゝに

主の犠牲

主の愛を歌ふ

九十三

九十四

十七

百三十九

百四十八

百四十九

百七十二

四十六

六十七

六十八

百五十三

七十三

百六十五

百六十一

四十八

百六十八

五十四

六十二

主の御働き

主の御靈は燃え

主の御誕生ベテレヘム

眞理は何ぞ

眞理は胸に照り

信仰なき心は闇なり

ゑの部

エホバよ我等を導給へ

ひの部

光を撒け

光の導き

美なる市街を讀めり

美なる島

美なる世界

日の照る間に働け

日暮れぬうち

七十九

百九

二百九

百四十

百三十八

百三十七

八十九

百七十五

六十五

九十七

八十一

百九十五

三十

二百七

もの部

百年もろとせ

百九十一

すの部

救の岩すくひいは

六十三

いろは索引をはり

Haste to the Sunday School.

W. G. B.

W. G. BICKLEY.

鳥の歌

1. ににちち(さう)が(く)かうにいいそそげな(ふ)に(ふ)をそきかろかまへみのつての

2. ににちち(さう)が(く)かうにいいそそげな(ふ)に(ふ)をそきかろかまへみのつての

3. ににちち(さう)が(く)かうにいいそそげな(ふ)に(ふ)をそきかろかまへみのつての

わかれみきにすべしなむ(ま)なみやならすまはれくなくぞぶにききたたれれたしなためにしらを

れれれ
たたた
ききき
むめぞ
をく
るすね
ゆくま
しやを
なはな
めでべ
たます
のぎむ
ろかに
のれ
こわ
はにつ
しすま
きはか

第一、日曜學校に急げ。

ダブルユ、ジー、ピクリ作

急いそげ	われに結ぶ	來きた	心のため	急いそげ	神を讃美し	來きた	天の門まで	來きた	急いそげ	貴き神の	やすらはずに	何をかまつ	一日曜學校に
急いそげ	われに結ぶ	來きた	心のため	急いそげ	神を讃美し	來きた	天の門まで	來きた	急いそげ	貴き神の	やすらはずに	何をかまつ	一日曜學校に

第二

いとよき日。

ジエムス、ガラヘル作歌
ジエ、エス、ルーイス作曲

一、よろこびあふるゝ

いとよき日ぞよ

我等の心は

樂園のごとし

教師のいましめを

よくきゝ守れ

集り來れる

生徒を見よや

二、野山を照すは

お日様なれど

眞理は我等の

つごひをてらす

三、此の世を去りにし

その後までも

永久なる進みを

なさむがために

天なる使よ

我等を守り

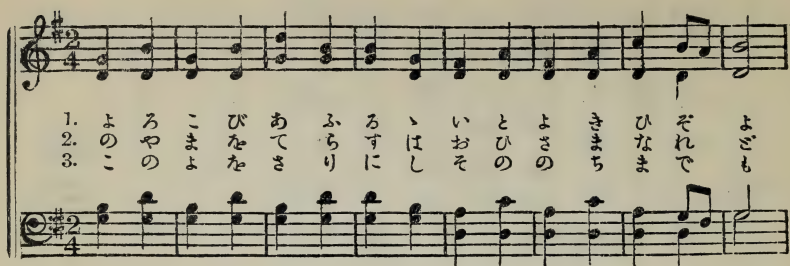
聖なる御國に

導き給へ

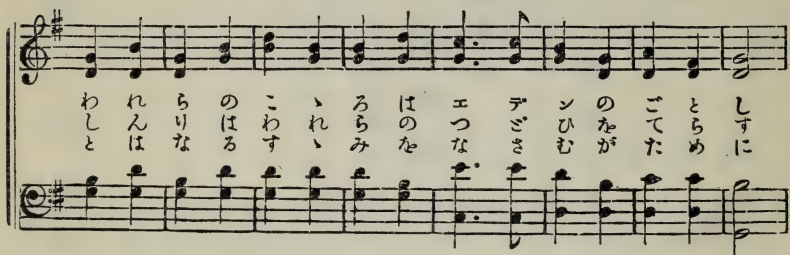
No. 2. Sabbath Morning Comes With Gladness.

JAMES GALLAHER.

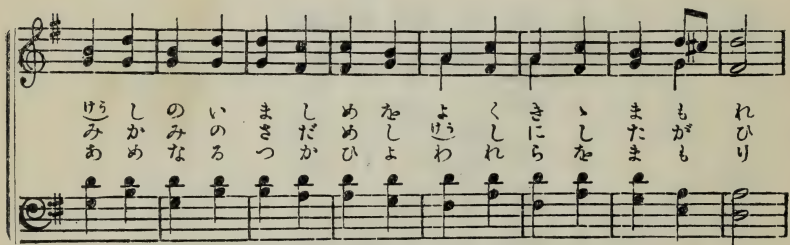
J. S. LEWIS.



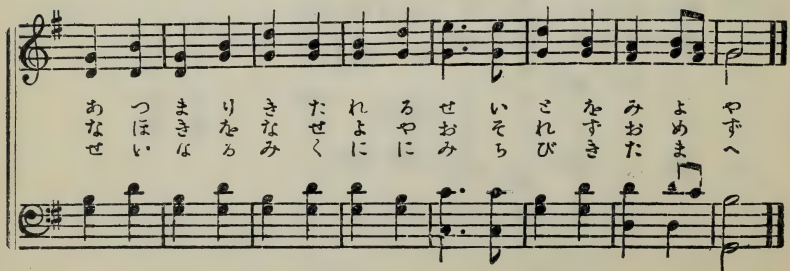
1. よのこまを あてふ るすに はし いおとよき ひなで よごも
2. のやの まを さ りに し おの の まち なで
3. こ の まを さ りに し おの の まち なで



わしと れんは らりな のほろ こわす くれ ろらみ はのを エつな デジさ ンひむ のなが ごてた とらめ しすに



けみあ しかめ のみな いのろ まさつ しだか めめひ をしよ けわ くしれ きなら したま もがも れひり



あなせ つほい まきな りなる きなみ たせく れよに るやに せおみ いそち これび をすき みおた よめま やすへ

第三、樂し安息日。

一、樂し安息の日の世のわざやすむ

樂し此の朝こや祈禱の日

師は待ち給へり日曜學校に

エスの御法もて我等教へむと

(返折) 樂し安息の日の世のわざやすむ

樂し此の朝こや祈禱の日

二、聽け此の日の鐘あたりに響く

聽け子供の歌嬉しく樂し

やさしき響は我等を招く

三、途中に聞ゆなり「疾く急げよ」と

我等樂しみて主の道學ぶ

御書の啓示もて年少きも學び

天つ御言葉に眞理をさとり得む

四、知る人友だちはた親も會ひ

つとめにいそしみ主の民となる

苦は信仰を増し眞理いと貴し

我等はよく堪へむ世はつらくとも

アール、ビル、バールド作歌
イー、ピースリー作曲

No. 3. Welcome, Welcome Sabbath Morning.

R. B. BAIRD.

E. BEESLEY.

1. むくひひ
2. すゝたあ
3. やひうも
4. ざになや
わりたを
のたうた
よあみは
ひねしち
のかふだ
くのれも
そひひと
あのみと
しながひ
のけろろ
たきをなし

(折返) た の し め そ く の ひ よ の わ さ や す む

ひしふる
ののな
りたま
のくち
いし
やれの
こうじ
たてみ
しうみ
あのし
ものい
ござに
しこめ
のけれ
たきわ

たのしみのあした　こやいのりのひ

にくびし
か^うねな^か
か^くまた
一なもご
ふらきい
ちれかり
にわわ^ん
りはてし
へきもま
ま^まげな
たひつ^か
ちきのん
ましみし
はさふは
しやみく

D. C. for Chorus.

とと^およりと
しげとく
なそさら
らいなつ
れくりは
わ^{さん}よ
てりに^む
もなばた
りゆとく
のここよ
みきみは
のにつら
すちまれ
エみあわ

No. 4.

Welcome, Happy Sunday.

GEO. MANWARING.

E. BEESLEY.

1. こよにちえびよきあんそくびよろこび
 2. てんにますしゆなふしながみてあいなし

もてなをむこーうれしきこゑに
 つゝせいらいのるなぬかのなかに

ささげまつるそのうたてんししゆにもちゆか
 いとたのしきあんそくのひのこのみいのり

第四、来よ日曜日。

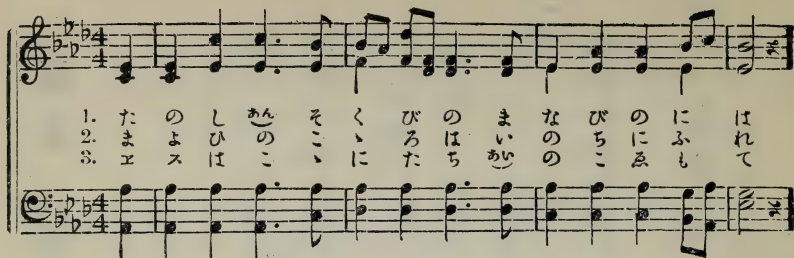
ジヨールゲ、マンウエルイグ作歌
 イー、ビー、スリー作曲

一、来よ日曜日
 よろこびもて
 汝を迎ふ
 よき安息日

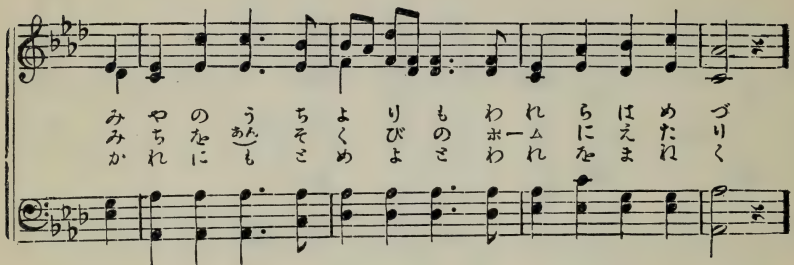
二、天に坐す主を
 伏し拜みて
 聖徒等祈る
 いと樂しき

其の歌天使
 主に持ちゆかむ
 捧げまつる
 此のみいのり

安息の日の
 七日のなかに
 愛を謝しつゝ
 七日のなかに

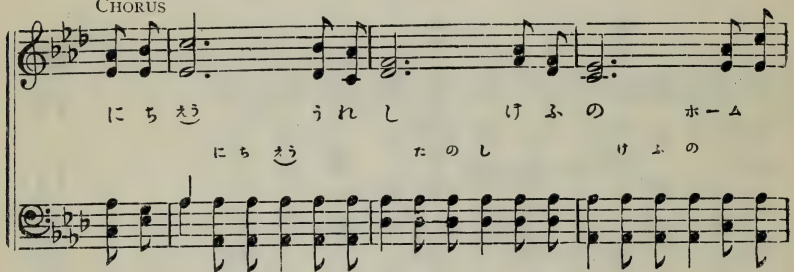


1. た の し あん そ く び の ま な び の に は
 2. ま よ ひ の こ こ に ろ は ま の ち に ふ れ
 3. エ ス は こ こ に た ち あい の こ ゑ も て

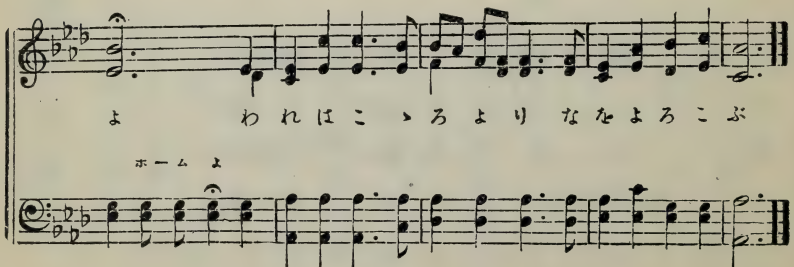


み や の う ち よ り も わ れ ら は め づ
 み ち な あん そ く び も ほー ん に え た り
 か れ に も こ め よ さ わ れ を ま れ く

CHORUS



に ち えう う れ し け ふ の ほーむ
 に ち えう た の し け ふ の



よ わ れ は こ ろ よ り な を よ ろ こ ぶ
 ほーむ よ

第五、日曜のホーム。

一、樂し安息日の學の庭
 宮殿の裏よりも我等は愛づ
 (返折) 日は曜うれし今日のホームよ
 我は心より汝をよろこぶ

二、迷の心は生命に觸れ
 福音を安息日のホームに得たり

三、エスは此處に立ち愛の聲もて
 彼に求めよと我を招く

第六、日曜學校にまた集り。

シヨールヂ、マンウエルイグ作歌
 イー、ピースリー作曲

一、主の日にまた集ふ
 喜びあふべく
 天に統べ給へる
 聲と心とに
 御旨を學ばむと
 狭き道あゆむ
 父よ愛を捧げ
 心にみたまを
 師と友とに會ふ
 聖き御教を
 眞理に満ちたる
 安息の日毎に

二、また集へり
 皆感謝せむ
 主の愛のため
 智をもとめて
 從ひまつる
 やどし給へ
 樂しき日よ
 たのしく聴く
 福音をもとめ
 また集らむ

三、

No. 6. We Meet Again in Sabbath School.

GEO. MANWARING.

E. BEESLEY.

f

1. しゅ の ひ に ま た つ と に ち ろ が か に
 2. み む ね な ま っ と ま た の つ き ど ひ り
 3. し と と も だ に お ー ま た の し ひ よ

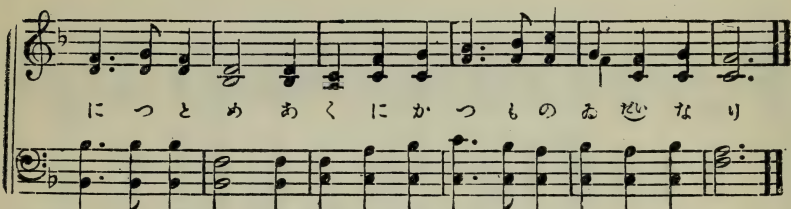
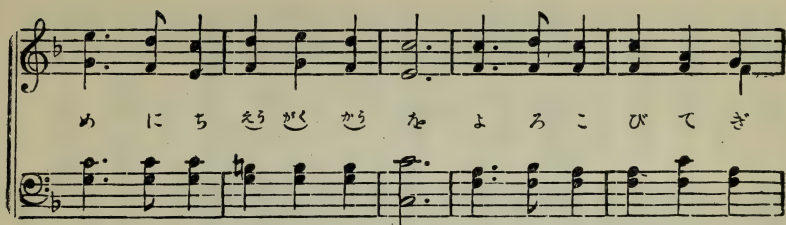
よ ろ こ び お 一 べ く あい ぞ な ゐ さ む る
 せ ま き み ち あし ゆ む ち た の く め て
 き ま き み な を へ な た の し く き く

mp

てん に す べ た ま へ る し の あい の たつ め
 (ちん) ちり よに み なち さ た さ げ し た の まも たつ め
 め

f

こ ゑ と こ こ ろ た さ に み な か い や た せ む
 こ へ と ろ の み こ ひ た ま に ま な し あ たつ まま へ
 や す の ひ こ ひ こ ま と に ま た あ し あ たつ まま へ



第七、日曜學校の感謝にちえうがくこう。

ウキリアム、ウキリス作歌
ジエムス、アール、マリー作曲

一、過失あやまちも惡あくも去るさ

日曜學校にちえうがくかうを感謝かんしゃせよ

光榮はえある福音みちさづ授けむと

働はたらける師しに感謝かんしゃせよ

結合くわつへ祭まつりに歌うたに

樂たのいめ日曜學校にちえうがくかうを

喜よろこびて義ぎにつとめ

惡あくに勝かつ者もの偉だいなり

二、若わかき時とき惡あくを去さり

すべての德とくを尊たつとべよ

行爲おこなひ高たかく貴たふとくて

かひなき咎とがに侵をかさるな

三、憂うれき人生じんせいをわたるほど

眞しんの智ちもて心留こころどめ

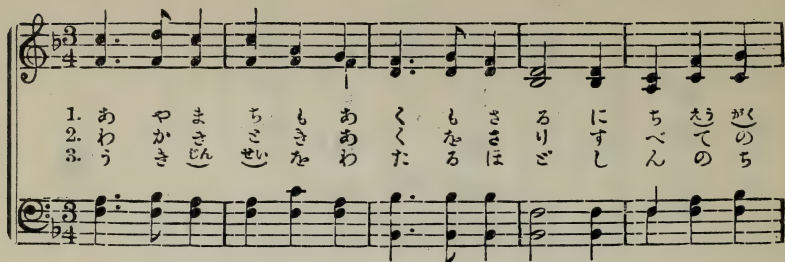
惡あしき誘さそひに勝かち果おほせ

完全また救すくひは求もとむべし

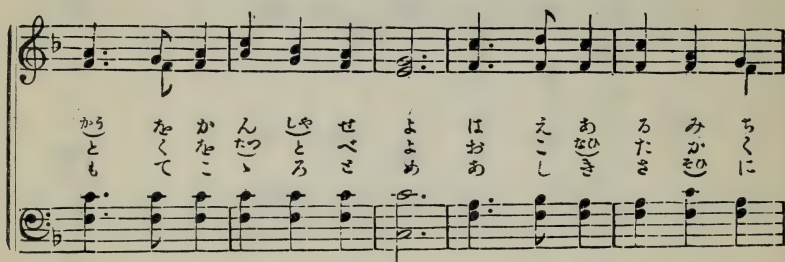
No. 7. Thanks for the Sabbath School.

WM. WILLES.

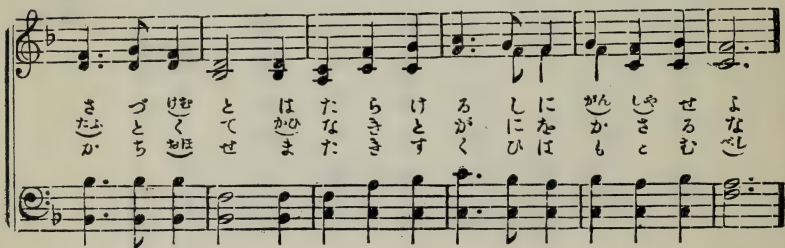
JAS. R. MURRAY.



1. あ わ ま ち も あ く も さ る に ち ち が
2. わ や か さ こ き あ く た る さ る り す べ ん て の
3. う き じん せい な わ た る ほ り し べ の ち

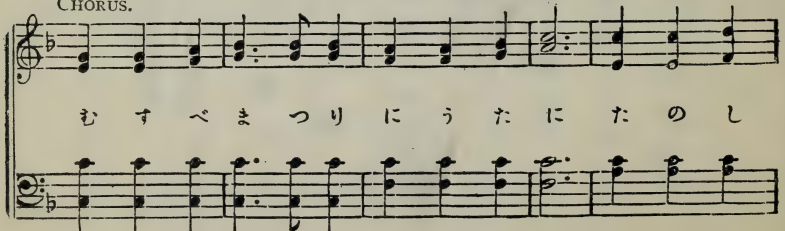


か ら な か ん し や セ よ は え あ る み ち
と も くて こ た つ と ろ べ よ お こ あ た さ か くに



さ づ り と は た ら け る し に が ゐ さ せ る ふ
た ち む と て か な き と く に な か も さ る な
か ち せ ま ひ た き す ひ は か と む べ

CHORUS.



む す べ ま つ り に う た に た の し

第八、

樂しく歌へ子等よ。

ジヨルヂ、マンウエルイグ作歌
イー、ビースリー作曲

一、聖き此の日に

歌へ子等

三、吾等を救ふて

死に就ける

心の感謝を

主に致せ

主のため廣く

世に叫べ

聲に心に

樂しく歌へ

福音ゆる歌へ

御名にホザナを

今日諸共に

主を讃美せむ

エスは世の罪

贖へり

二、樂しき此の日

神を祝げ

四、樂しき歌に

聲揚げよ

奇しき愛のため

感謝をのべむ

やがて主は世に

天降るべし

生命給ふべく

苦しみ逝ける

讃美は地に鳴り

愛は世に満ちむ

主は此の日にぞ

よみがへる

よいかなすべてに

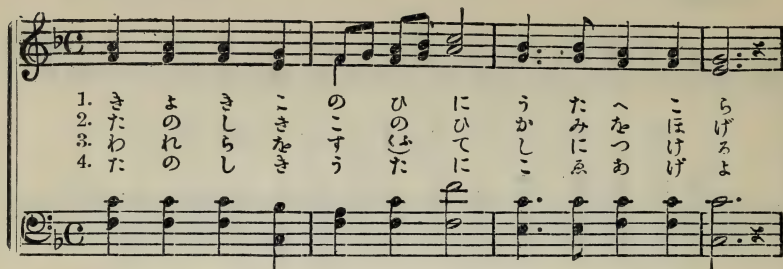
恐なし

No. 8.

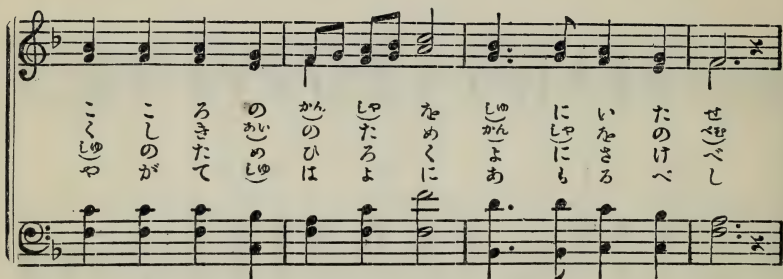
Children, Gladly Join and Sing.

GEO. MANWARING.

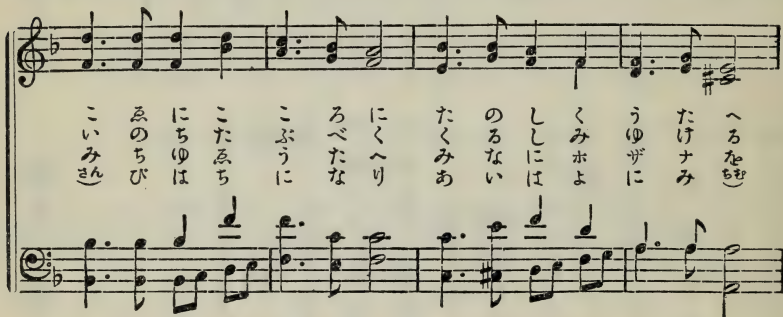
E. BEESLEY.



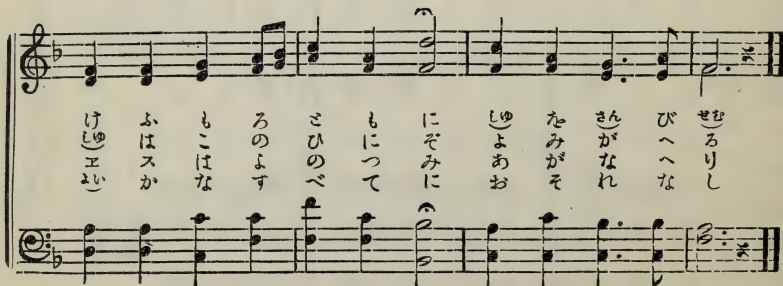
1. きたわ 2. よのれ 3. きしらし 4. こきをき
のこすう ひのふた にひてに うかしこ たみにん へなつあ こほけげ らげるよ



こくしや こしのが ろきたて のあいめしゅ かのひは じたるよ なめくに しゅかんよあ にしゅにも いなさる たのけべ せせべし



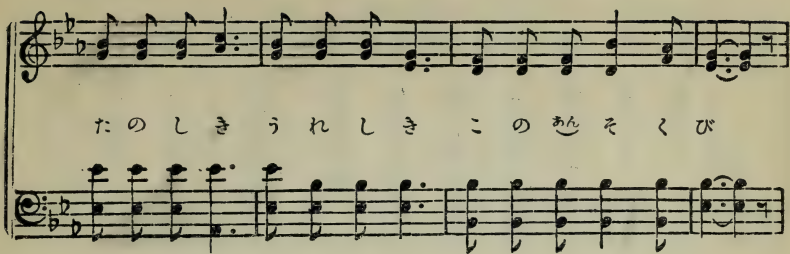
こいみん ゑのちび にちゆは こたゑち こぶうに ろべたな にくへり たくみあ のるない ししには くみホよ うゆザに たけナみ へるなぢ



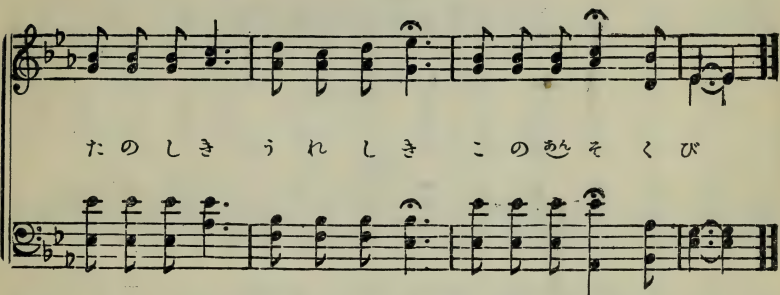
けしゅえい ふはスカ もこはな ろのやす さひのべ もにつて にぞみに しゅよあお なみがそ さんがなれ びへへな せむりし

Sweet Sabbath Day.

CHORUS.



たの し き う れ し き こ の あん そ く び



たの し き う れ し き こ の あん そ く び

三、

二、

一、

過^す此^こ天^{てん}其^そ御^みわ^れ天^{てん}人^{ひと}(返^{かへ}折^を神^{かみ}嬉^{うれ}世^よ樂^{たの}
ここの日^ひ使^{つかひ}の^な名^なを^を愛^あづ^くる^ぞ恵^{めぐみ}今^{いま}ひ^ふれ^ふし^しに^に導^{みちび}き^{ます}る^るに^に賜^{たま}ひ^ぬる^る返^{かへ}樂^{たの}し^しき^き嬉^{うれ}し^しき^き折^を樂^{たの}し^しき^き嬉^{うれ}し^しき^き神^{かみ}こ^こそ^そ給^{たま}ひ^{けれ}嬉^{うれ}し^しき^き世^よの^の業^{わざ}を^をや^やす^すむ^む樂^{たの}し^しき^きい^いは^はへ^へや^や

ジヨルヂ・マンウエルイグ作歌
アー・ル・ロウリ作曲

第九、樂しき安息日。

此^この^の安^{やす}息^{すみ}の^の日^ひに^に御^み旨^{めづ}きの^のま^まに^にま^まに^によ^よき^き安^{あん}息^{いき}の^の日^ひに^によ^よき^き安^{あん}息^{いき}の^の日^ひに^に主^{しゅ}に^に感^{かん}謝^{しゃ}し^しま^まつ^つる^る此^この^の安^{あん}息^{いき}の^の日^ひに^によ^よき^き安^{あん}息^{いき}の^の日^ひに^に此^この^の安^{あん}息^{いき}の^の日^ひに^に此^この^の安^{あん}息^{いき}の^の日^ひに^に讚^たへ^へ敬^{うやま}は^はは^はの^の日^ひに^によ^よき^き安^{あん}息^{いき}の^の日^ひに^によ^よき^き安^{あん}息^{いき}の^の日^ひに^によ^よき^き安^{あん}息^{いき}の^の日^ひに^に

No. 9.

Sweet Sabbath Day.

GEO. MANWARING.

R. LOWRY.

1. た の し さ い は へ や よ き あん そ く び
 2. ひ と の な た い ひ ぬ る ぞ よ き あん そ く び
 3. そ の な た い め づ る ぞ よ き あん そ く び

よ の わ さ な や す む よ き あん そ く び
 3. み に つ み か ひ う た き け る き あん そ く び

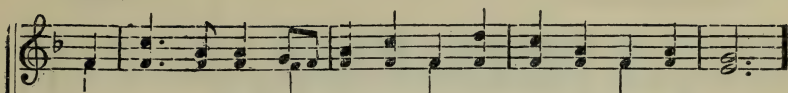
う れ し き ひ か り よ た と へ う や ま は む
 わ れ い ま ひ か り して に め じ ま ま つ る
 こ の ひ な ま も ふ る み む ね の の ま に ま に に

か み め こ そ た び け れ こ の や す み の ひ
 す め こ は ゆ た の け れ こ の や す み の ひ
 す め こ は ゆ た の け れ こ の や す み の ひ

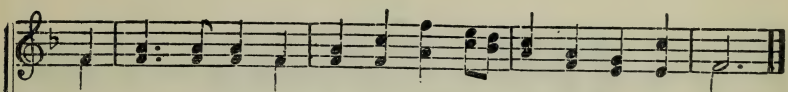
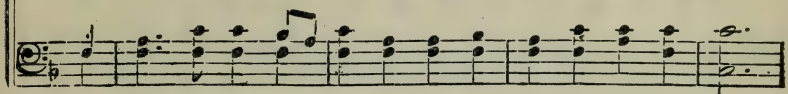
Copyright property of Mary R. Lowry, used by permission.

Break Not the Sabbath Day.

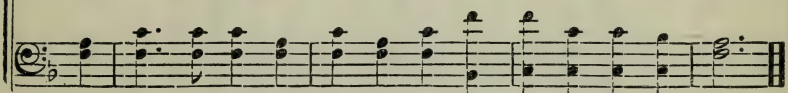
CHORUS.



み ち や す ま す ゆ け に ち ち ゅ う ぐ ら に



や ぶ ら で ま も れ や こ の あ ん そ く び



第十 破るな安息日。

アール、ビー、ペールド作

<p>三、 此の日にあらむ 眞理を尋ねつゝ 常に師の愛を 子等は正しく 此の安息の日に いと樂しきかな もの皆さらに 安息日の朝 返やぶらで守れや 折途中やすまず行け 安息日給ひし 心をあはせて 樂しき聲に 喜びぶこゝろ</p>	<p>二、 此の日にあらむ 眞理を尋ねつゝ 常に師の愛を 子等は正しく 此の安息の日に いと樂しきかな もの皆さらに 安息日の朝 返やぶらで守れや 折途中やすまず行け 安息日給ひし 心をあはせて 樂しき聲に 喜びぶこゝろ</p>	<p>一、 此の日にあらむ 眞理を尋ねつゝ 常に師の愛を 子等は正しく 此の安息の日に いと樂しきかな もの皆さらに 安息日の朝 返やぶらで守れや 折途中やすまず行け 安息日給ひし 心をあはせて 樂しき聲に 喜びぶこゝろ</p>
<p>日曜學校に またまよはし こひ求めむ 命令を守り 御法のなふ こゝろに集ひて 輝きを見ゆ 光を照れ 此の安息日に 神の學を結 歌を讃めむ いざ讃美せむ 鳴り響かせ</p>	<p>日曜學校に またまよはし こひ求めむ 命令を守り 御法のなふ こゝろに集ひて 輝きを見ゆ 光を照れ 此の安息日に 神の學を結 歌を讃めむ いざ讃美せむ 鳴り響かせ</p>	<p>日曜學校に またまよはし こひ求めむ 命令を守り 御法のなふ こゝろに集ひて 輝きを見ゆ 光を照れ 此の安息日に 神の學を結 歌を讃めむ いざ讃美せむ 鳴り響かせ</p>

No. 10.

Break Not the Sabbath Day.

R. B. B.

R. B. BAIRD.

1. よろこぶこのゝろなひりひりよかれせ
 2. めんそくびのあさくおほかせをまもり
 3. こそはたのしきあひおほかせをまもり

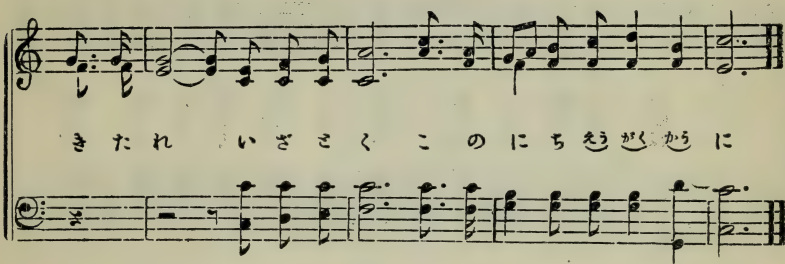
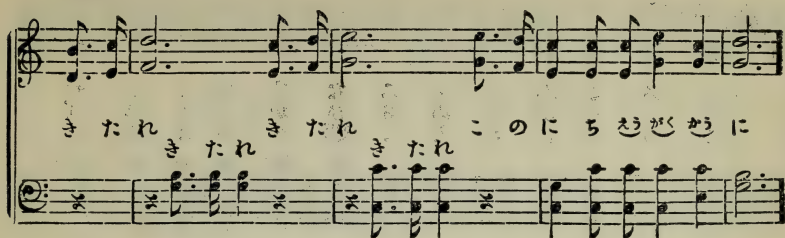
たのしきこのゝろなひりひりよかれせ
 のれしみにきなこのゝろなひりひりよかれせ
 もつたのしみにきなこのゝろなひりひりよかれせ

こいゝとりろたをのたあしづはきれせかつてなうこまたにむつすひび
 いとりろたをのたあしづはきれせかつてなうこまたにむつすひび
 いとりろたをのたあしづはきれせかつてなうこまたにむつすひび

あんそのくびたまひひしにかみのりをたゝなへ
 あんそのくびたまひひしにかみのりをたゝなへ
 あんそのくびたまひひしにかみのりをたゝなへ

When the Rosy Light of Morning.

CHORUS.



第十一、薔薇なす朝日。

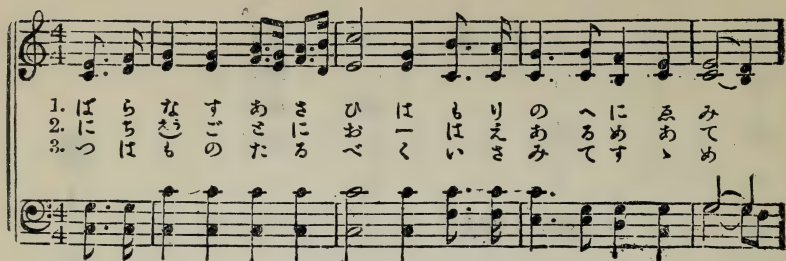
アール、ビー、ペールド作

<p>三、 世に疑主兵求は主日 に敵ひそ士むの曜 ありてひそむる道毎 ともすずる者報に會 すすすばありひふ</p>	<p>二、 (返折) 來來來來來來來來 來來來來來來來來 疾疾疾疾疾疾疾疾</p>	<p>一、 物睡谷薔 皆眠には薇 香をさす朝 に出ませば日は づ</p>
<p>主つな勇神何救光此此聖心歌森 ぞとすみはをかをも榮のの日日きも満の上 味めてみ拒かもあある日曜安もつに 方行進まこと目學校息息光る笑 なるかばめじつ的にに日</p>	<p>此の日の曜學校に 此の日の曜學校に 此の日の曜學校に 此の日の曜學校に 此の日の曜學校に 此の日の曜學校に 此の日の曜學校に 此の日の曜學校に</p>	<p>聖心歌森 きも満上 安もつに 息息光る 日曜日 時</p>

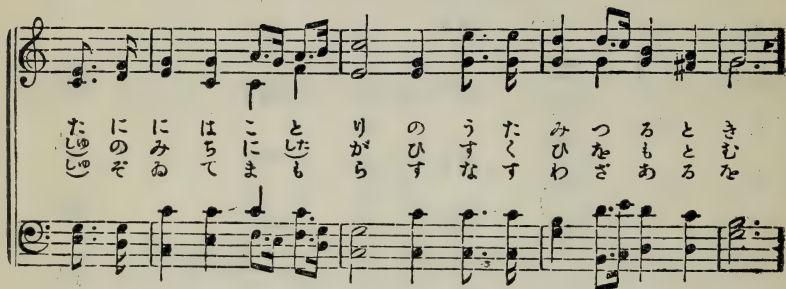
No. 11. When the Rosy Light of Morning.

R. B. B.

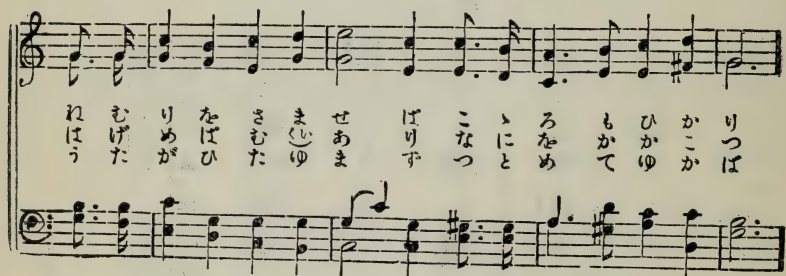
B. B. BAIRD.



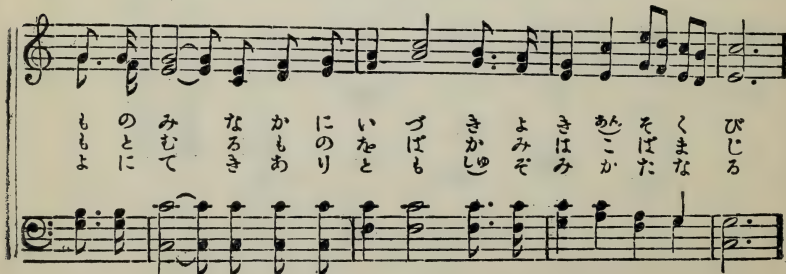
1. ば ら な す あ さ ひ は も り の へ に ぶ み
 2. に ち ら う ご あ に お 一 は い え あ る め あ
 3. つ は も の た る べ く い さ み て す ぁ ぁ ぁ



た に に は こ と り の う た み つ る と き
 (ゆ) の み み ち に (ち) が ひ す す ひ わ も と む
 (し) の み め て ま も ら あ と る な



ね む り な さ ま せ ば こ ろ も ひ か り
 ほ げ め ば む ま り り す な と め か ゆ か つ
 う た が ひ た ゃ ま ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ



も の み な か も に い づ き よ き あ そ く び
 も と む な る あ の り ば か み こ ば ま じ
 よ に て き あ り も し そ み か た な る

第十二、歌ひ祈れ。

ジヨールヂ、マンウエルイグ作歌
ウキリアム、エチ、フオステル作曲

一、日曜學校には 毎回 ゆけ

歌ひ祈るため とくゆけよ

樂しくほめよ 汝が造主

其の歌ふ聲 天使は聴かむ

二、聲に心に 歌ひあげよ

祈り歌ふを 天使きかす

三、つとめ忘るな 樂しき今日

聞くもうるはし 子等の歌

主に寄れ共に たへ祈りて

とくより狭き 道を擇れ

その道により 智を天に得よ

愛なる主を日に 讚美せよ

No. 12.

Sing and Pray.

GEORGE MANWARING.

WILLIAM H. FOSTER.

1. に ち え が か に は い つ も ゆ け
 2. こ ち え に が こ る に な う た の あ し げ き よ
 3. つ と め わ す る な

う た い の い の る た め と く ゆ け よ
 い の く り よ う と ま な き と し かな か ら す れ

た の の し く ほ め よ な が つ く り の め し
 し そ の し ち と も ち ら へ い ん に え て よ

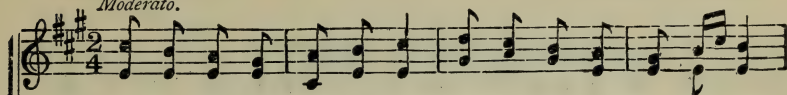
そ の う さ 一 こ 原 てん しら は き か
 き な も う る る ひ しに ん の び う せ た
 かい なる らる を ひ に さ ん の せ たよ

No. 13. Come, Dear Children, Join and Sing.

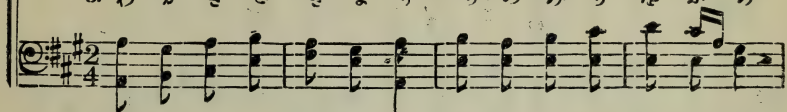
ANNIE SMITH

CHARLES J. THOMAS.

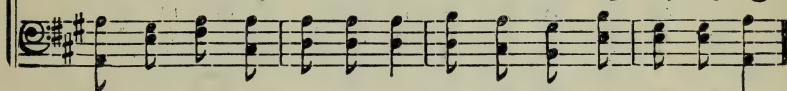
Moderato.



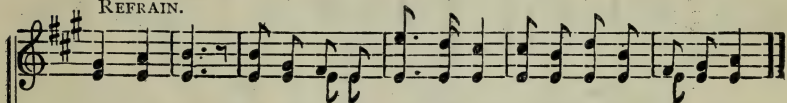
1. き た れ こ じ ゃ も よ き た れ し め な ほ め う た は め
2. く わ か な き こ ひ き ら き よ て り み の め む み
3. わ か な き こ ひ き ら き よ て り み の め む み



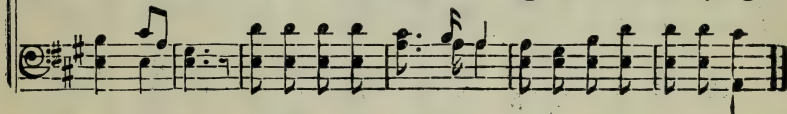
み き ま も ら り と あ い そ み め ぐ み の の た め り
き よ の わ に て ら へ す ふ く の ひ り な め
よ の わ に て ら へ す ふ く の ひ り な め



REFRAIN.



き た れ こ じ ゃ も よ き た れ し め な ほ め う た は め



第十三、 來れ子供よ。

アーンニー、スミス作歌
チャールス、ジエ、トーマス作曲

一、來れ子供よ 主をほめ歌はむ

御守と愛と 御恵のため

(返折) 來れ子供よ來れ
主をほめ歌はむ

二、口を開きて 御恵はめむ

きよらに照す 福音の光

三、若き時より 智の道をふみ

世のわざ終へて かの冠を得む

1. う れ し く な つ か し く た と き つ つ の
 2. う れ し く な つ か し く た と き つ つ の
 3. う れ し く な つ か し く た と き つ つ の

ひてに かみなく きらろ おにも ひかす てて しわの づがぞ かつみ にみさ ざあた なかか

しめ めむ とこめ ものぐ にざみ かなを みさう なるけ よまへ びへて うみな いぐび のみは りこげ ておはき

第十四

嬉しき聚ひ。

エヴァン・ステヴェンズ作曲

一、嬉しく懐しく
 かひなき思想棄て
 共に神をよび
 静かに座を占め
 歌ひ祈りてむ

二、嬉しく懐しく
 御座に向ひて
 我が罪明かさむ
 天福請求はむ

三、嬉しく懐しく
 心を研きて
 神恩を受け得て
 集ふ度毎に
 望を高めむ
 學びはげまむ

貴き集會の日
 一つに集ひて
 我が罪明かさむ
 天福請求はむ

第十五、來れ主の子等。

ジエムス、エチ、ウアーリス作歌

一、來れ主の子等共に歌ひて

惡は世に滅ゆいかに歌まし

世を治むべき主をば讚美せむ

恐は去りて愛は世を治む

地は邪をはらひ人は罪なく

三、眞白く潔き衣身に纏ひ

愛と平和とに樂しくあらむ

眞理と光に讚美を歌ふ

二、嬉し救の主にまみゆるは

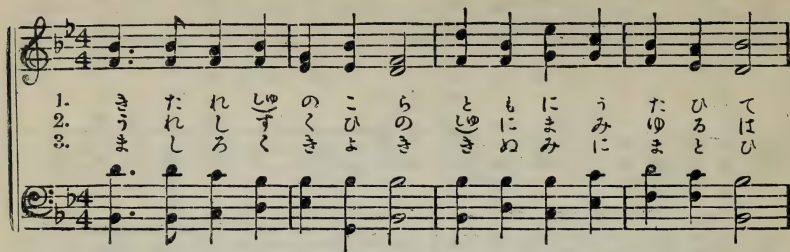
罪過はあとなく愛と美とに生き

輝き來ます吾が主吾が王

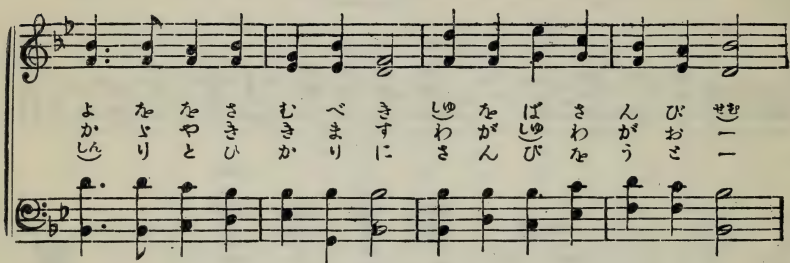
樂み溢れむ世人の心

No. 15. Come, Ye Children of the Lord.

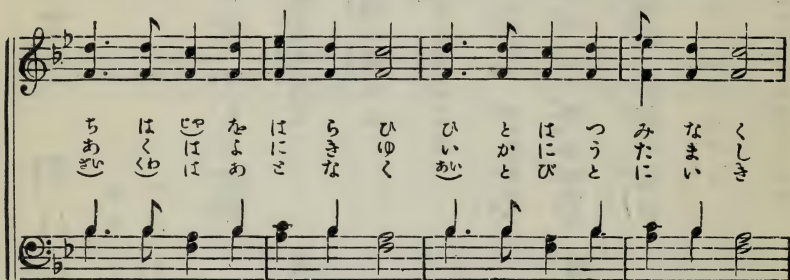
JAS. H. WALLIS.



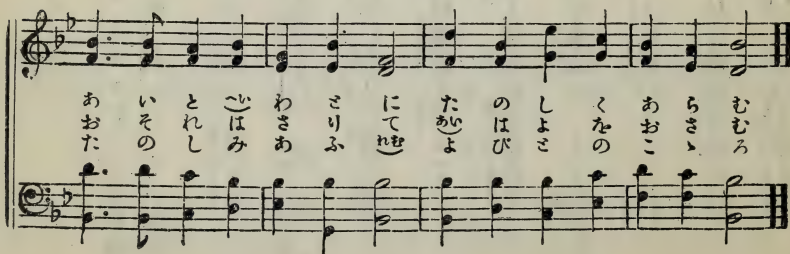
1. き た れ し の こ ら と も に う た ひ て
2. き た れ し の こ ら と も に う た ひ て
3. ま し ろ く き よ き に め ま と ひ



よ か な や さ む べ き し な ば さ ん び せ
か り り と き ひ わ が し わ う お ー
し ん り と き ひ わ が し わ う お ー

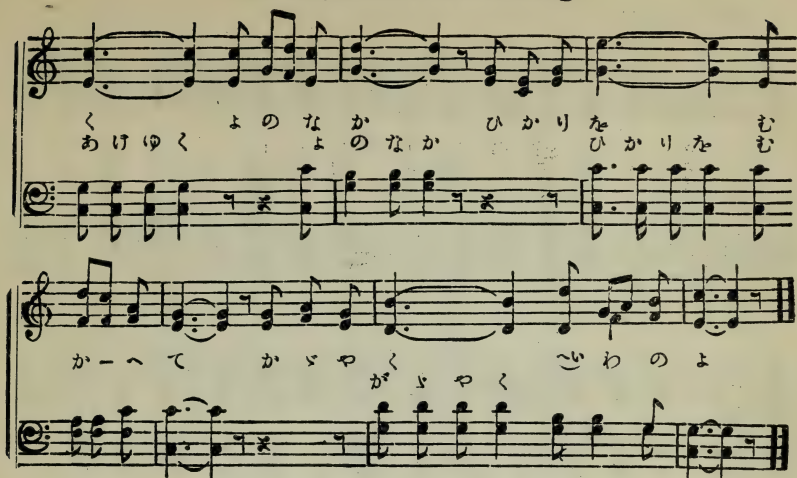


ち は じ な は ひ ひ ひ と は つ み な く
あ は く は な り ゆ い か に う た ま い し
い り は な り ゆ い か に う た ま い し



あ い と 心 わ さ り に た の し く あ ら む
お そ れ は さ り て あ は よ の こ お さ る
た の れ は さ り て あ は よ の こ お さ る

The Day-Dawn is Breaking.



第十六、明けゆく空。

ジエ、エール、タウンシエンド 作歌
ウキリアム、クレイソン 作曲

一、明けゆく空 目さむる世界

會ひて楽しく交らむ

夜半の黒雲皆消え

三、なほ習ひてむ 神の教

海より海に賑ふは

啓示し給ひし其の道を

美しき日を傳ふなり

神は光榮と力もて

(返折) 美し平和の日 明けゆく世の中

美しき日に現出れむ

光を迎へて 輝く平和の世

四、さて永遠の きよき愛もて

二、あまたの聖徒 神殿に集ひ

救のためにはたらかむ

つひに國民皆救はれて

其の美なる日に友とまた

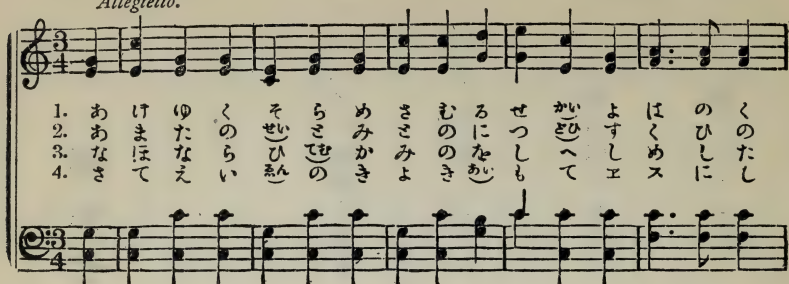
美しき日の主拜まむ

No. 16.

The Day-Dawn is Breaking.

J. L. TOWNSHEND.
Allegretto.

WILLIAM CLAYSON.



1. ああなき
2. ああなき
3. ああなき
4. ああなき

けまほて
けまほて
けまほて
けまほて

ゆたなえ
ゆたなえ
ゆたなえ
ゆたなえ

くのらい
くのらい
くのらい
くのらい

そせいひん
そせいひん
そせいひん
そせいひん

らさひの
らさひの
らさひの
らさひの

めみかき
めみかき
めみかき
めみかき

ささみよ
ささみよ
ささみよ
ささみよ

もののき
もののき
もののき
もののき

るになか
るになか
るになか
るになか

せつしも
せつしも
せつしも
せつしも

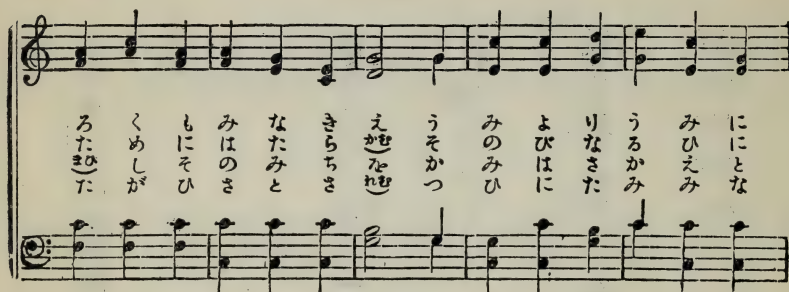
かいどへて
かいどへて
かいどへて
かいどへて

よすしエ
よすしエ
よすしエ
よすしエ

はくめス
はくめス
はくめス
はくめス

のひしに
のひしに
のひしに
のひしに

くのたし
くのたし
くのたし
くのたし



るたまた
るたまた
るたまた
るたまた

くめしが
くめしが
くめしが
くめしが

もにそひ
もにそひ
もにそひ
もにそひ

みはのさ
みはのさ
みはのさ
みはのさ

なたみと
なたみと
なたみと
なたみと

きらちさ
きらちさ
きらちさ
きらちさ

えかたわ
えかたわ
えかたわ
えかたわ

うそかつ
うそかつ
うそかつ
うそかつ

みのみひ
みのみひ
みのみひ
みのみひ

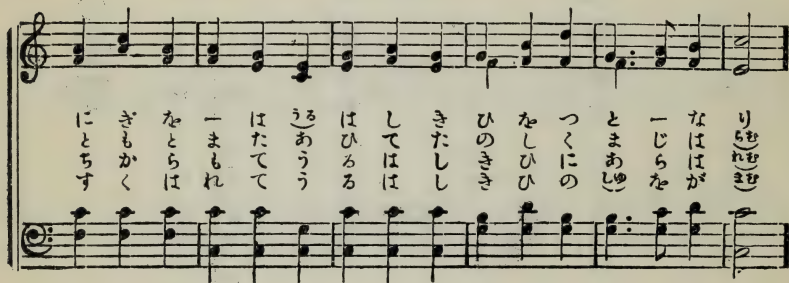
よびはに
よびはに
よびはに
よびはに

りなきた
りなきた
りなきた
りなきた

うるかみ
うるかみ
うるかみ
うるかみ

みひえみ
みひえみ
みひえみ
みひえみ

ににとな
ににとな
ににとな
ににとな



にとちす
にとちす
にとちす
にとちす

ぎもかく
ぎもかく
ぎもかく
ぎもかく

をとらは
をとらは
をとらは
をとらは

一まもれ
一まもれ
一まもれ
一まもれ

はたてて
はたてて
はたてて
はたてて

うあうう
うあうう
うあうう
うあうう

はひるる
はひるる
はひるる
はひるる

してはは
してはは
してはは
してはは

きたしし
きたしし
きたしし
きたしし

ひのきき
ひのきき
ひのきき
ひのきき

をしひひ
をしひひ
をしひひ
をしひひ

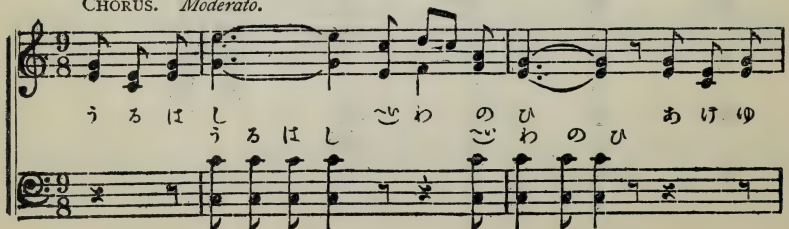
つくにの
つくにの
つくにの
つくにの

とまあし
とまあし
とまあし
とまあし

一じらな
一じらな
一じらな
一じらな

なははが
なははが
なははが
なははが

りらわ
りらわ
りらわ
りらわ

CHORUS. *Moderato.*


う る は し り は し め わ の ひ の ひ あ け ゆ

う る は し り は し め わ の ひ の ひ あ け ゆ

第十七、

シオンの聖徒の子等。

ジー、エン、クラーク作歌

ジョセフ、ジェ、デエンズ作曲

一、シオンの聖徒の子等

讃美に和してよ

二、誇らずやさしく

主のごと謙遜り

神の正義に頼り

其の愛にすぎり

善きわざなすべし

神の子なりと

(返 折)

歌ふはハレルヤ
響くはハレルヤ

讃美と愛に満て
末の日光れ

暗きに光の

助けを祈れ

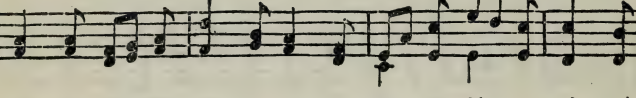
三、御恵乞ひては
善きわざをなせ

No. 17.

Children of the Saints of Zion.

G. N. CLARKE.

J. J. DAYNES.



 りされ
 がりの
 すない
 にこを
 ちのけ
 のみす
 そかた
 りしの
 よべり
 にすか
 ぎなひ
 せいに
 のわき
 みきら
 かよく

CHORUS.

CHORUS.

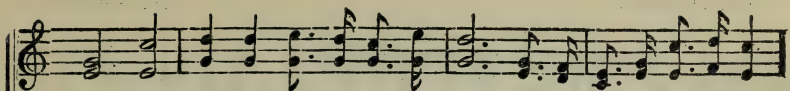
The musical score for the Chorus is written on two staves. The top staff is in treble clef and the bottom staff is in bass clef. Both staves have a key signature of two sharps (F# and C#) and a 2/4 time signature. The melody is written in the treble staff, and the bass staff provides a harmonic accompaniment. The lyrics are written below the staves.

p *ff*

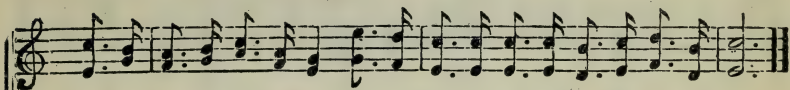
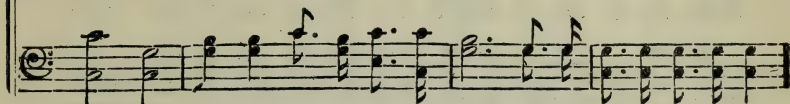
う さ - は ハ レ ル ヤ さ ん び と あ い に み て

ひびくはハレルヤすゑのひひかれ

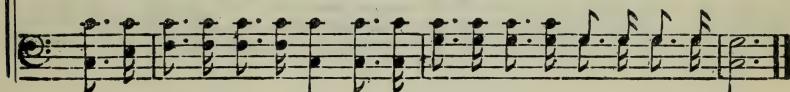
In Our Lovely Deseret.



た た の し き こ ゑ や ひ の ご と く に



あ い あり つ み な く う れ し げ に つ ど へ る な り



第十八、愛しきデゼレトに。

イライザ、アール、スノー作歌
ジイ、エフ、イルツト作曲

一、聖徒の出會へる
集へる子等はいと多し
愛しきデゼレトに

を、しく貴き
よく主の福音に従へ
魂は救はれむ

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

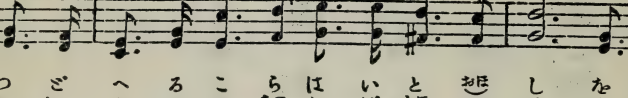
（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

（返折）
天使の如くに
愛あり罪なく

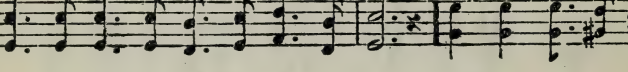
1. せい との のち で あ へ る か し よ き テ せ な し にとてな
 2. いわ の か き くつ の び の り
 3. わ の か き くつ の び の り
 4. あ の か き くつ の び の り



 なげとみ たさひか しけしり ねざへも とほらふま いばなな はなな らちとて こころし るバつせい へたかな びーにく つー(じゃ)あ

くよつか
よついち
むべしー
はたくの
くかもか
すづおに
はわなれ
まくとむ
たにひみ
きずて
とまくし
たのつい
くばあ
しなにな

CHORUS.



うこんのころに ちこれに みしも (し) のかてな (じゅ) にくにら がとなべ た(お)ろ一 しなごこ へすれし } き け こ ら の う

第十九、何ぞ歌ひ喜ばむ。

ジエ、エール、タウンシエンド作歌

ウキリアム、クレーション作曲

一、再び天に集へる時
何ぞ歌ひ喜ばむ)

三、恵まれたる天のまぼろし
表はさむ言葉なし

恵まれたる人にあひて
永遠に愛に添ふ

さはれ心の歌をもて
あらはさむ嬉しさは

其の時美なる天にして
何ぞ歌ひ喜ばむ)

あゝ幻は幸なるよ
歌をもてあらはさむ

二、吾等の幸や嬉しさや
よし歌はなくとも

四、いかに楽しく迎へられ
歌はむあゝいかに

うるはしむ心の節を
繰返し歌ひてむ)

愛の極よ幸の幸
天に坐す親にあひ

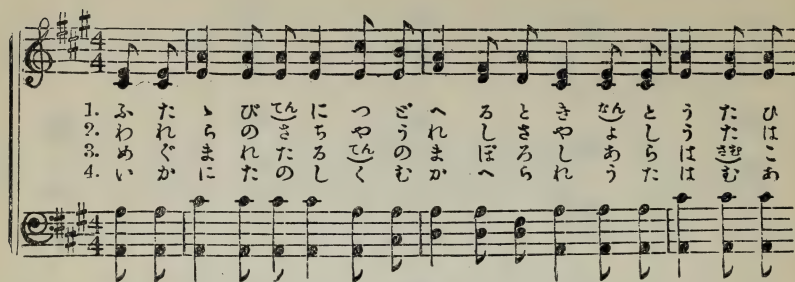
嘗て逝きたる人々と
親しく抱く時

喜あふる幸あふる
何ぞ歌ひ喜ばむ)

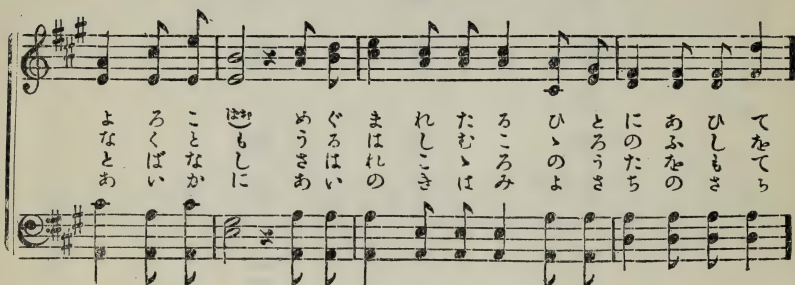
No. 19. O What Songs of the Heart.

J. L. TOWNSHEND.

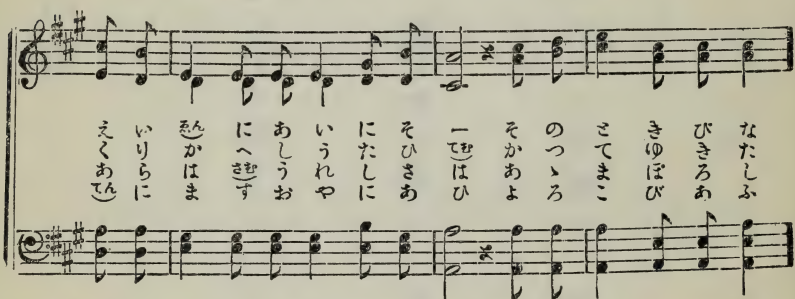
WM. CLAYSON.



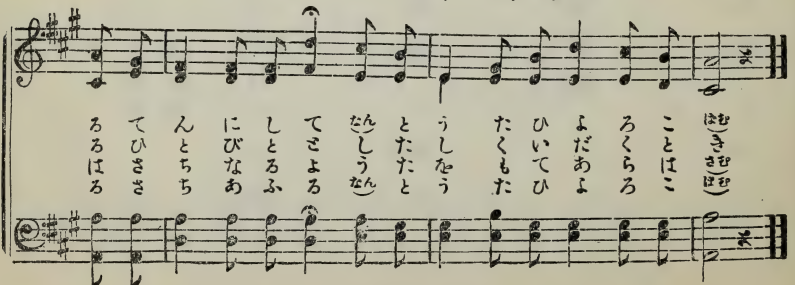
1. ふ た り び ひ に つ ぎ れ と き な と う た ひ
2. わ た ら の さ ち り ゃ の ま へ る さ や あ し ら は た こ あ
3. め が ま に た の し く む か へ へ ら し ゃ ら へ ら ら ら
4. い か に た の し く む か へ へ ら し ゃ ら へ ら ら ら



よ る こ は め ぐ ま は れ し た る ひ の と ろ う さ に の た ち あ ふ の ひ し も さ て を て ら
な と あ ば い な し ゃ い の ま れ し こ き る ら み ひ の よ と ろ う さ に の た ち あ ふ の ひ し も さ て を て ら



え い 愁 に あ し い う そ ひ さ あ 一 は ひ そ か あ よ の つ ら ざ て ま こ き ゆ ほ び び き ら あ な た し ふ
く ら に か は ま し う お ひ さ あ 一 は ひ そ か あ よ の つ ら ざ て ま こ き ゆ ほ び び き ら あ な た し ふ



る て ん に し て と た う ひ ぶ だ る こ は (は) (き) (せ) (は)
は ら ひ さ ち な る よ た し ゃ て ひ あ ら こ は (は) (き) (せ) (は)

第二十、 樂める子等の群。

エー、バルソンス作歌
イー、エフ、バーリ作曲

一、主よ樂める

子等の群は

二、わきて謝すべし
あがなひの愛

感謝と讚美もて

御前に伏す

救を受け得て
御顔を拜す

嬉し御恵

生命を給ひ

エスよ王國に
天福給ふべく

身は健康に

まどふ衣まで

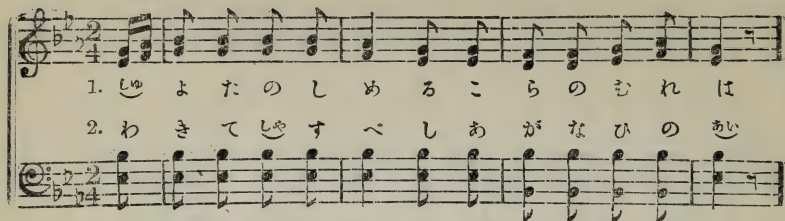
日々に守れど
子等は祈る

No. 20.

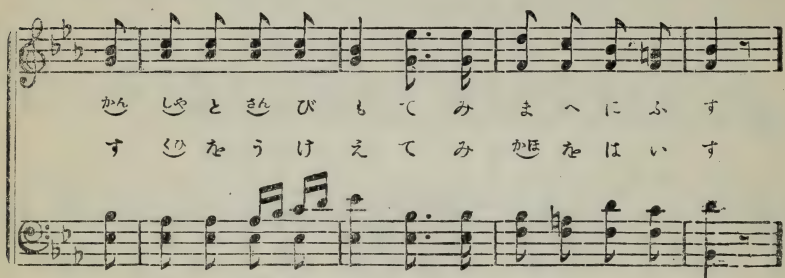
A Happy Band of Children.

A. PARSONS.

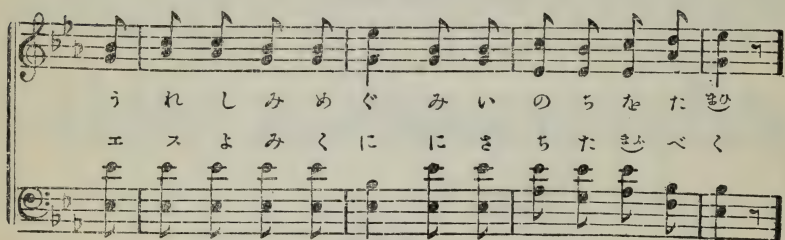
E. F. PARRY.



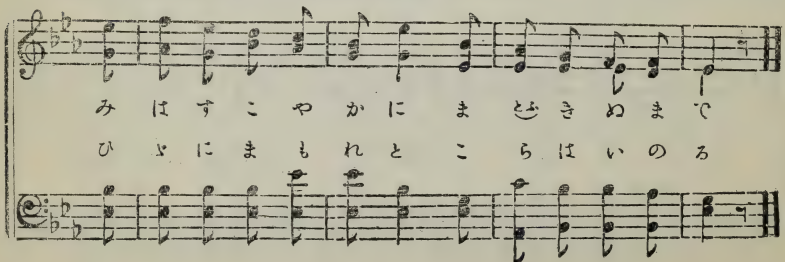
1. じよ た の し め る こ ら の む れ は
 2. わ き て しゃ す べ し あ が な ひ の あい



かん しゃ と さん び も て み ま へ に ふ す
 す け な う け え て み かな は い す

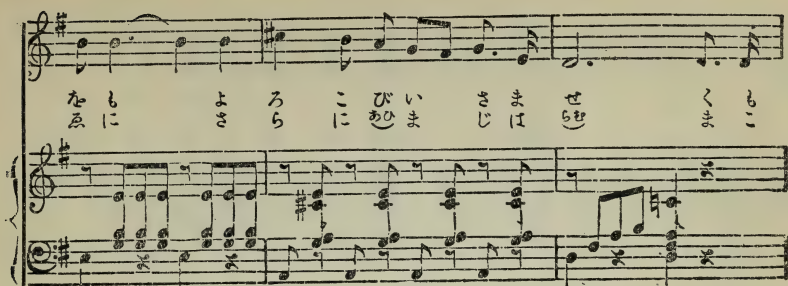


う れ し み め ぐ み い の ち な た せ
 エ ス よ み く に に さ ち た せ べ く

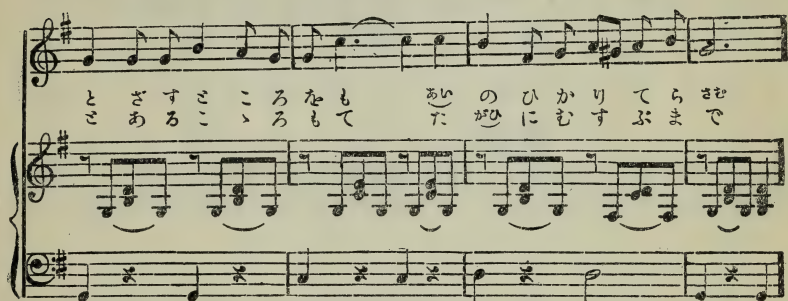


み は す こ や か に ま と き め ま で
 ひ と に ま も れ と こ ら は い の る

Kind Words Are Sweet Tones of the Heart.

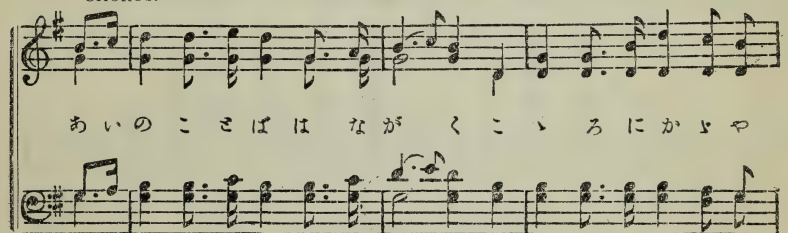


な も ろ こ び い さ ま せ く も
 ぶ に ら に ひ ま じ は ら ま こ

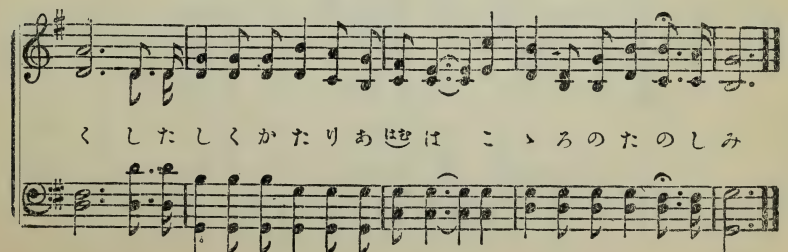


と ざ す こ ろ な も あ い の ひ か り て ら さ
 こ ある こ ろ も て た が ひ に む す ぶ ま で

CHORUS.



あ い の こ さ ば は な が く こ ろ に か と や



く し た し く か た り あ は こ ろ の た の し み

No. 21. Kind Words Are Sweet Tones of the Heart.

J. L. TOWNSHEND.

E. BEESLEY.

1. ホームにもいづくにも　　したしみかたら
2. のぼるあさひのごと　　こゝろなさまさ

The first system of the musical score. It features a vocal melody on a treble clef staff with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). Below the melody are two lines of Japanese lyrics. The piano accompaniment consists of a right-hand part on a treble clef staff and a left-hand part on a bass clef staff, both in the same key and time signature. The piano part uses chords and moving lines to support the vocal melody.

はむ　　き　　な　　く　　さ　　り　　の　　ご　　と　　こ　　た
せ　　い　　づ　　み　　の　　わ　　き　　づ　　る　　ご　　と　　こ　　た

The second system of the musical score. It continues the vocal melody and piano accompaniment from the first system. The lyrics are written in Japanese characters. The musical notation includes various note values, rests, and articulation marks.

ふ　　う　　れ　　し　　く　　あ　　つ　　ら　　む　　な　　げ　　き　　の　　こ　　い　　ろ
の　　し　　き　　お　　さ　　つ　　だ　　ふ　　さ　　は　　た　　の　　し　　き　　こ

The third system of the musical score. It concludes the piece with a final vocal phrase and piano accompaniment. The lyrics are written in Japanese characters. The musical notation includes various note values, rests, and articulation marks.

第二十一、親しみ語らむ。

ジエ、エール、タウンシエンド作歌
イー、ビースリー作曲

一、家庭^{ホーム}にもいづくにも

親しみ語らむ

二、昇^{のぼ}る朝日^{あさひ}のごと

心をさませ

樹^きになく小鳥^{こどり}のごと

聲^{こゑ}うれしくあらむ

泉^{いづみ}の湧^わき出^でるごと

樂^{たの}しき音^{おと}傳^{つた}ふ

なげきの心^{こゝろ}をも

喜^{よろこ}び勇^{いさ}ませ

雲^{くも}とざす處^{ところ}をも

愛^{あい}の光^{ひかり}照^てさむ

さは樂^{たの}しき聲^{こゑ}に

更に相^{あひ}交^{まじは}らむ

(返折)

愛^{あい}の言^{ことば}葉^はは永^{なが}遠^{とほ}く

心^{こゝろ}にかゝやく

心^{こゝろ}のたのしみ

誠^{まこと}ある心^{こゝろ}もて

互^{たがひ}に結^{むす}ぶまで

第二十二、愛を満て。

ジエ、エール、タウンシエン、作歌
エヴァン、ステヴァ、エンズ、作曲

一、天に輝く市の

我等相和し住まむ

そのよき市にて

愛に富め

喜悅あふる

(折) 地にも愛を満て

愛満たせ

(返) 地にも愛を満て

愛満たせ

二、争をもてなご

聖きやかたに

神は愛なれば

喜悅あふる

愛に富め

愛に富め

其をたもたせよ

愛満たせ

其をたもたせよ

愛満たせ

進むを得べき

三、

たゞ慈仁を以て

一つ親族と

愛に富め

一つ親族と

愛と望ともて

樂しき我が運よ

我等の願望ぞ

愛に富め

神の要求ぞ

愛の世は立てり

皆うるはしめ

愛に富め

愛に富め

互に笑まふ

愛のために生く

神の要求ぞ

愛に富め

愛に富め

愛に富め

Let Love Abound.

あいに と め よ り こ び あ ふ る
 あいに に と め ひ と つ や か ら と
 あいに に と め か み の も と ぞ

CHORUS.

あいに と め り に も あい な み
 あいに に と め

て そ な た も た せ よ あい み た せ あい

み た せ ち に も あい な み て そ な

た も た せ よ あい み た せ あい み た せ

No. 22.

Let Love Abound.

J. L. TOWNSHEND.

E. STEPHENS.

1. てん にか が や く し の き よ き や か た
 2. あい らと そ の な も と な も の ぞ か う べ
 3. あい と の ぞ み と な も の ぞ か う べ

に き わ れ ら あ わ し す ま か み
 お た の め ぐ み わ が うん て め の
 あい たい たい たい たい たい たい たい たい

は まい な れ ば そ の よ き し に て
 よ はめ たに てい りわ とれ つら やの しかれ らがひ こそ

よ ろ こ び あ ふ る まい に と め
 み な の る も は し め る まい に と め
 か な の る も は し め る まい に と め

第二十三、惡を口にすな。

一、惡を口にすな

善きには刺なし

高く思ひ見て

人をば尊ばむ

聞いて皆語るは

心貴からじ

善きをば索めて

つとめて語らむ

愛の道選めば

蒔かるゝ種よし

三、人をな咎めそ

ゆるせ己がごと

わづかの善きをも

つとめて語らむ

先づ知りたりとも

言ふな人の罪を

二、與へよ世人の

罪ゆるす心

世はたい一日と

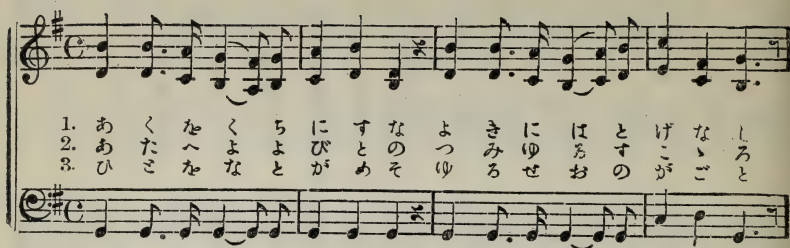
誰かはさとれる

その罪數へて

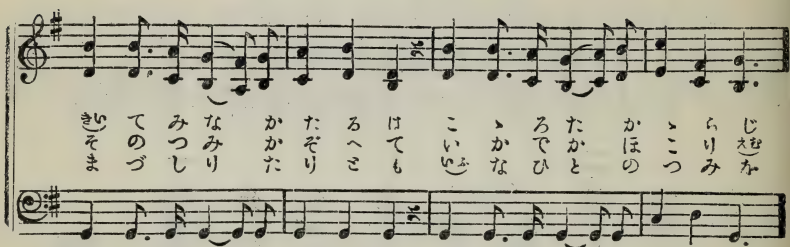
いかでか誇り得む

此の間に善きをば

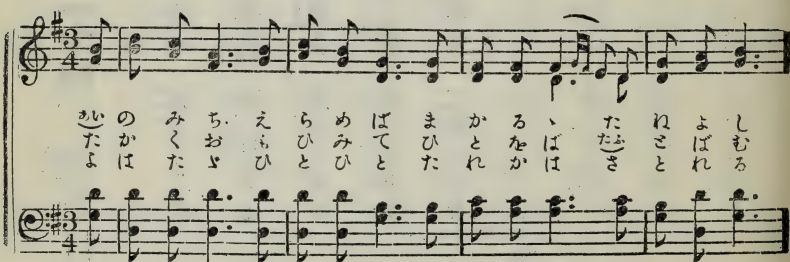
つとめて語らむ



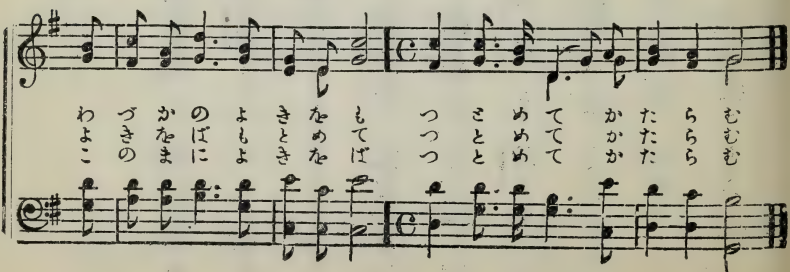
1. あ く な く ち に す な よ き に は と げ な し
2. あ く な く ち に す な よ き に は と げ な し
3. あ く な く ち に す な よ き に は と げ な し



き て み な か た る け こ い かな ろ た か ほ たり じ
そ の つ し り か た る こ い かな ろ た か ほ たり じ
ま づ し り か た る こ い かな ろ た か ほ たり じ



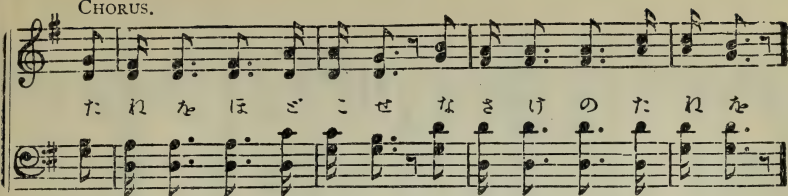
め の み ち え ら め ば ま か る へ た ね よ し
た か は み お も り び べ ひ た と ば こと ば ゐ る
よ か は み お も り び べ ひ た と ば こと ば ゐ る



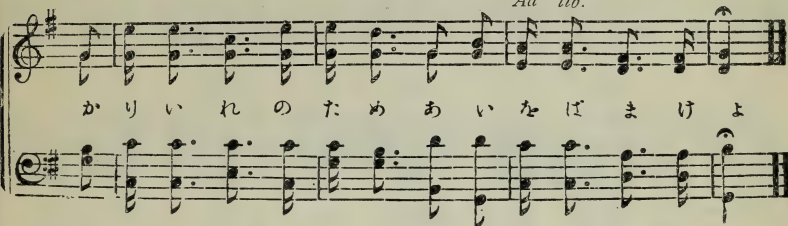
わ づ か の よ き な も つ つ さ め て か た ら む
よ こ の ま に よ き な も つ つ さ め て か た ら む
こ の ま に よ き な も つ つ さ め て か た ら む

Scatter Seeds of Kindness.

CHORUS.



Ad lib.



第二十四、愛をば蒔けよ。

一、我等道の邊の輝どらむ

雪降る冬にぞ夏をば思ふ

麥を得、薔薇を得、刺、稈棄てむ

三、惡戯絶えせぬ小さき指も

今日の御恵をば慰めと思ひ

明日の日つめたくならむと知るに

堪へつ、取り去れ道の荊棘を

その眼は吾等の怒を見るか

(返折) 種を播せ仁慈の種を

その指吾等をなほ惱ますか

收穫のため愛をば蒔けよ

四、冷くなりたる幼きものよ

二、聲よき小鳥の飛び去る前に

無情き言の葉まけるをせめて

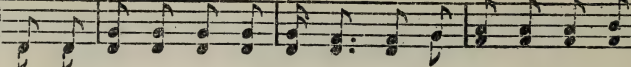
吾等は其の音の價値を知らず

吾が後の爲に荊棘をばらひ

花咲く莖は枯れて慕はれ

よき愛の薔薇をまくべく教ふ


Scatter Seeds of Kindness.



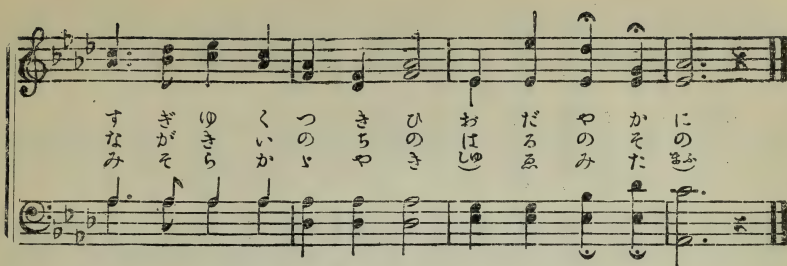
1. わこいつ
 2. れゑため
 3. らよづた
 4. みきらく
 ちこたな
 のとえり
 べりせた
 ののぬる
 かさちな
 らびひさ
 やささな
 きるきき
 とまゆも
 らへびの
 むにもよ

むずにて
 てらるめ
 すししせ
 らなさを
 かひむる
 げたらけ
 とあなま
 ゑのくは
 をれたの
 らのめと
 ばそつこ
 えはひき
 ならのな
 ぎれすれ
 むわあつ

ひれかひ
もはろち
とたみは
めしをを
さてりら
ぐれかば
なかい
ばはのに
なれらめ
みみれた
ぐすわの
めくはち
みさめの
のなが
けはそわ



 なーかゆ
 らもすし
 ばおまな
 いばやく
 のをなべ
 ちつほく
 みななま
 れぞをな
 さにらら
 りゆれば
 とふわの
 とるびい
 つふゆあ
 へきのき
 たゆそよ



第二十五、家庭の愛。

一、家庭の内に

愛あらば

足のもとにも

花咲きて

見るものすべて

美しく

愛ある

家庭よ

聞くものすべて

楽しくあらむ

永き生命の

春の園

平和は四邊に

ほ、笑みて

三、家庭の内に

愛あらば

愛ある

家庭よ

天つ御神も

愛に笑み

過ぎ行く月日

おだやかに

世界も愛をもて

皆満されむ

二、家庭の内に

愛あらば

小川の音も

おもしろく

賤が伏屋も

楽しくて

愛ある

家庭よ

怒妬の

影も無からむ

み空輝き

主笑み給ふ

1. ホ ー △ の う ち に あ い あ ら ば み る も の
 2. ホ ー △ の う ち に あ い あ ら ば み し づ が つ
 3. ホ ー △ の う ち に あ い あ ら ば あ ま つ

す べ て う つ く し く き く も の す べ て
 せ や も た の い に へ み れ い た み て
 か み も あ い に ゑ よ い な も て

た の し く あ ら む べ わ は あ た り に も
 か げ な み た か ら む あ こ が は の お と と も
 み な た か ら む あ こ が は の お と と も

ほ い ゑ み て あい あ る ホ ー △ よ
 は な さ き て あい あ る ホ ー △ よ
 お も し ろ く あい あ る ホ ー △ よ

Let Us All be Good and Kind.

J. EDWARDS.

よなな なな ら な ら
めむまは
とゆゝな
もたすそ
をはずに
ちでれこ
のまなそ
いるはな
きうなみ
がちちの
なかみも
すしきち
らくまの
いつせ い せ
はむにと
にぎぐり
みがすか
つわまひ

親したしみてよく直なほかれ。

ジエ、エドワヅ作

一、親したしみてよく直なほかれ
義務ぎむの道みちをば守りて

罪つみには入いらず

永遠き生命を求めよ
二、^{いそ}急ぎて^{かみ}神に^{もと}求めよ

今共いまだともによく求めよ
御旨みおねをおぼえ

我^わが義務盡^{ぎむつく}し

勝ち得るまではたゆむな

三、我等はわかき時より

罪の道をば皆避け

直ただく語かたりて眞直まことに狭せまき

道をはなれず進まなむ

四、主^{しゆ}のため我^わが日^ひ送^{おく}らば

主^{しゆ}はわがために報^{むく}い

天^{てん}に
ある
や
か
て
光^{ひかり}
と
受^{あい}
の
也^ち

物^{もの}み^いな^ひ其^そ處^こに^な蒲^よよ

うと愛の地

第二十八、

樂しき夢見ぬ。

ジエ、エス、ルース作曲

一、母よわれ美しき

樂しき夢見ぬ

休息の谷にかゝりたる

鳥鳴くちひさき巢

休息の谷にかゝりたる

鳥鳴くちひさき巢

二、百合咲く小川流る

苔むす岩の上

われは其處に臥して聞きぬ

樂しき水けぶり

われは其處に臥して聞きぬ

樂しき水けぶり

三、日蔭をも日向をも

海にと流るゝ

樂しき音に眠りつゝ

著けるは夢の島

樂しき音に眠りつゝ

著けるは夢の島

四、露に光る冠の

美しき天使

われに語ると見しは夢

さめてはわが母よ

われに語ると見しは夢

さめてはわが母よ

No. 28. Oh, I Had Such a Pretty Dream, Mamma.

J. S. LEWIS.

1. は り よ わ れ う つ く し さ た の し き
2. ゆ り さ く な が な が り る の け む す
3. ひ か げ な も ひ り な た る も つ み く と
4. つ ゆ に ひ か ん む む の う し く し

ゆいなき めはがみ みのるつ めるか やわすれに みはしに のそき たこおた ににとる かしれみ ゃてむし りきりは たつゆ

るぬつめ とたつさ りのけめ なしるて くきはち みづめが さげのは きぶしは すりまよ やわすれに みはしに のそき たこおた

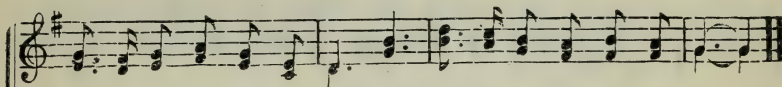
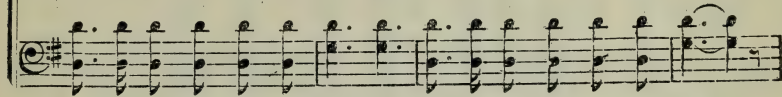
ににさる にふにさ かしれみ ゃてむし りきりは たきつゆ るぬつめ とたつさ りのけめ なしるて くきはち みづめが さげのは きぶしは すりまよ

Speak to Me Kindly.

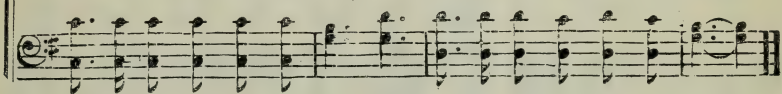
CHORUS.



まことのあいにてこはよくならむ



あいもてわがゆくみちをしへたべ



第二十九

懇切に語れ。

エヴァン、ステヴエンズ作

一、

親しき我が父の懇切に語れ

苛酷き言葉は子の心より

光輝を奪ふて暗きにおどす

折誠の愛にて子はよくならむ

(返愛もて我がゆく道教へたべ

二、

永く汝をはなれ又死なむには

苛酷き言葉に汝は苦しむ

我はなほねがふよき子となるを

助と愛とになほよくならむ



1. し た し き わ が ち ち こ ま か に か た れ
2. な が く な を ば な れ ま た し な む に は

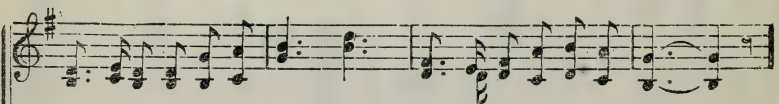
INTSR.



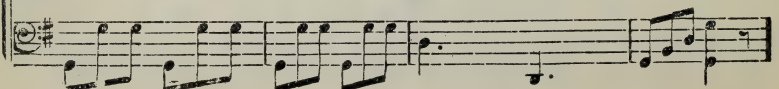
わ れ は ち ち は は の こ と を ぞ る ま も る
い ら な き こ と ば に な ほ く る し ま む



い ら な き こ と げ は こ の こ と ろ よ り
わ れ は な ほ れ ご ー よ き こ と な る を



ひ か り を う ぼ ー て く ら き に お そ す
た す け と あ い と に な ほ よ く な ら む



To-day, While the Sun Shines.

む つ く せ け ぶ よ く つ と め よ
 は よ く
 や た り け ば か り あ す は な し

第三十、日の照る間に働け

エヴァン、ステグエンズ作

一、日の照る間に働け

今日^{けふ}汝^なが義務^{ぎむ}をよく盡^{つく}せ
 安^{やす}くあれ鳥歌^{とりうた}ふ間^ま

うつし世^よを好^よくおもひ

今日^{けふ}よく働^{はたら}け
 今日^{けふ}よく義務^{ぎむ}盡^{つく}せ

(返折)
 今日^{けふ}よくつとめよや
 今日^{けふ}よく明日^{あす}は無^なし

二、黄金にます寶得よ

御群^{みぐん}にある平和^{へいわ}と幸福^{さち}
 今日^{けふ}探^{さが}せ心の寶^{たから}玉^え

世^よによきものを探^とれ
 今日^{けふ}得^えよ善^{ぜん}と眞^{しん}と德^{とく}

三、生涯の冠ぞ若き美ぞ

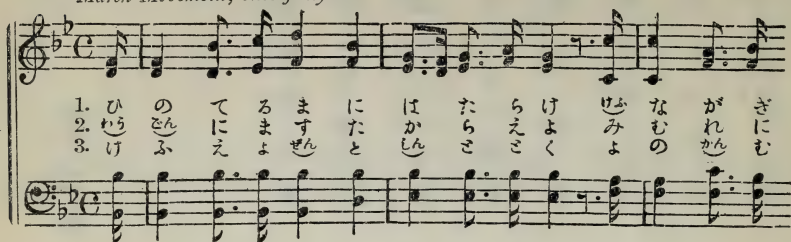
今日^{けふ}の日^ひを直^{なほ}く暮^{くら}せ
 絶^たえせず何^い時^つにても

生涯^{せいぎ}の冠^{かんむり}ぞ若^{わか}き美^みぞ
 今日^{けふ}の日^ひを直^{なほ}く暮^{くら}せ

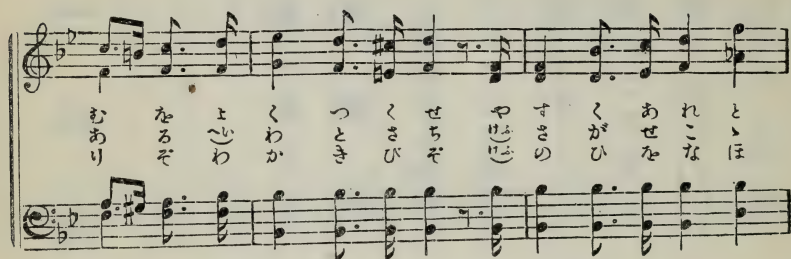
No.30.

To-day, While the Sun Shines.

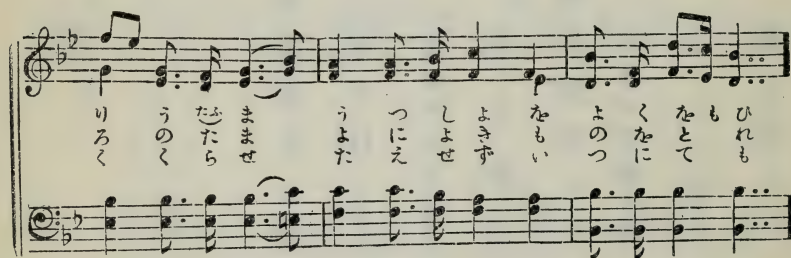
E. STEPHENS.

March Movement, Cheerfully.


1. ひ の て る ま に は た ら け け な が
2. わ ん じ ん へ ま す た か さ え よ み の れ ぎ
3. け ふ に え ょ ぜん と かん さ く け ん

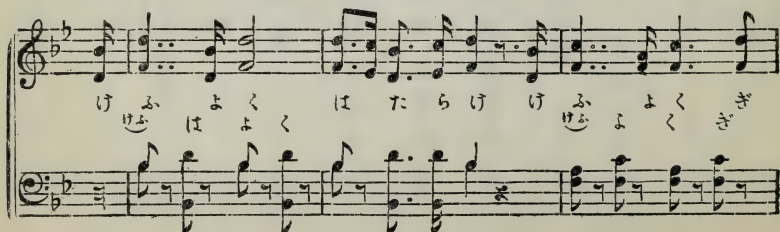


む な よ く つ く せ や す く あ れ と
あ る じ わ か と き さ ぢ り の ひ を こ ほ
あり ぞ わ か と き び ぞ り の ひ



り う た ま う つ し よ き な よ く な も ひ
ろ の たら ませ した せす もい のつ に と て れ
く く ら せ た え せす い つ に と て れ

CHORUS.



け ふ よ く は た ら け け ふ よ く ぎ
け ふ は よ く

第三十一、露の間に働け。

アール・ビー、ベールド作

一、光陰惜めや

露の間をも

三、夏過ぎて後

冬あるごと

夜はとく來べし

晝働け

喜び目より

消ゆるもあり

誰かひかりを

ひきのばし得む

さはたゆみなく

日々にゆかむ

またその影を

ひきとごめ得む

惡を退け

善をなすため

二、電の羽を

時は持てり

四、光陰惜めや

汝は能くなさむ

來ると見るまに

飛びてぞ去く

疾きは幸福を得

また安全からむ

心とめずば

逢ふ時なけむ

おこなひ慎み

まさしくあれ

我が世過ぐるも

あいたい一日

恵と愛もて

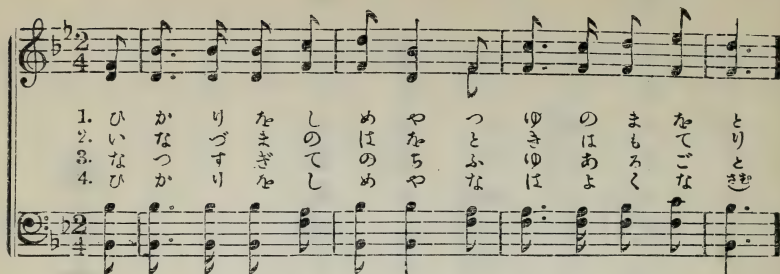
御助あらむ

No. 31.

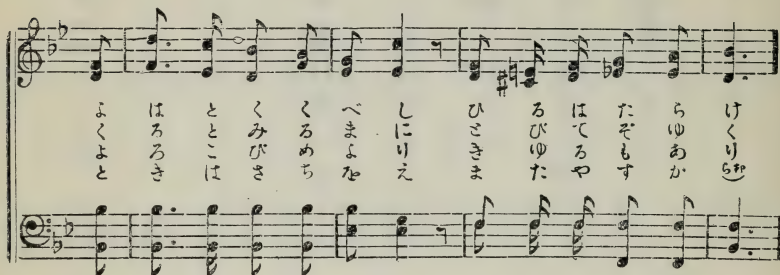
Improve the Shining Moments.

R. B. B.

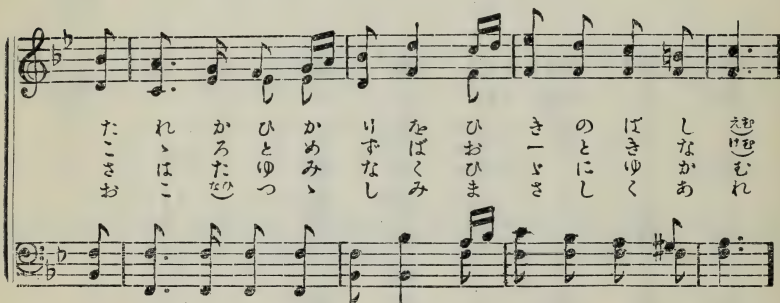
R. B. BAIRD.



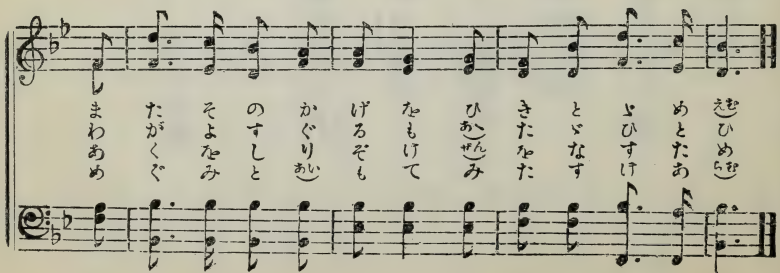
1. ひいなが
2. かなつか
3. りづすり
4. なまぎを
しのでし
めはのめ
やなちや
つとふな
ゆきゆは
のはあよ
まもろく
なてごな
とりとさむ



よくよと
はろろき
ととこは
くみびさ
くるめち
べまよを
しにりえ
ひさきま
るびゆた
はてるや
たぞもす
らゆあか
けくりらむ



たこさお
れはこ
かるたひ
ひとゆつ
かめみ
りおなし
なばくみ
ひおひま
き一とさ
のとし
ばきゆく
しなかあ
おむれ



まわあめ
たかくぐ
そよなみ
のすしと
かぐりあい
げるぞも
なもけて
ひあんみ
きたなた
ととなす
とひすけ
めとたあ
おひめむ

第三十二、とれ日^ひ光^{かり}。

ジイ、エフ、ルツト作曲

一、とれ日^{ひかり}光^{くも}雲^も間^まより漏^もれ出^いづも

悲^{かな}しき心^{こころ}によわくさすとも

疾^さくとれ光^{ひかり}は今^{いま}疾^とく行^ゆけり

なほ輝^{かがや}かむ日^ひをたい告^つげて行^ゆく

二、とれ日^{ひかり}光^{じん}人^{せい}生^いの嵐^{あらし}吹^ふくとも

望^{のぞみ}の光^{ひかり}はほごなく見^みえむ

捉^{とら}へよ絶^み望^すてて悲^{かな}むなかれ

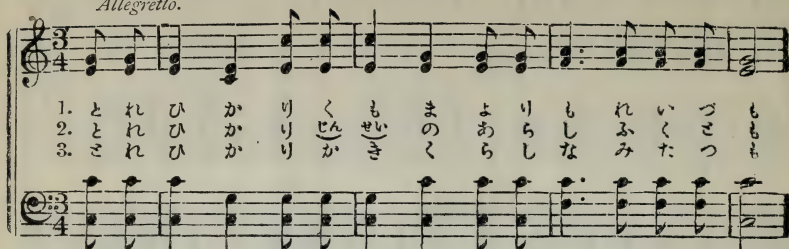
見^みよ光^{ひかり}は來^きぬ取^とれ喜^{よろこ}悦^びを

三、とれ日^{ひかり}光^{かり}かきくらし波^{なみ}立^たつも

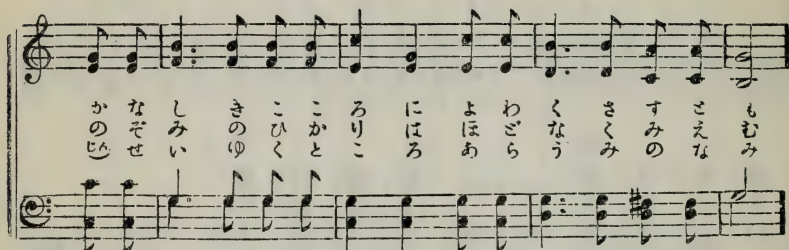
人^{じん}生^{せい}ゆくところ荒^{あら}海^{うみ}の浪^{なみ}

恐^{おそ}るなうち勝^かて湧^わき來^くる潮^{しほ}に

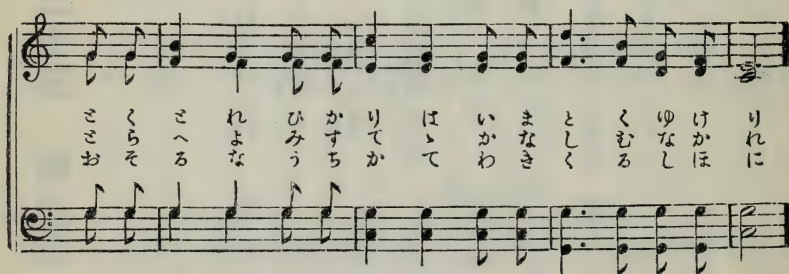
彼^ひ岸^{がん}に輝^{かがや}く光^{ひかり}を認^{みと}めむ

Allegretto.


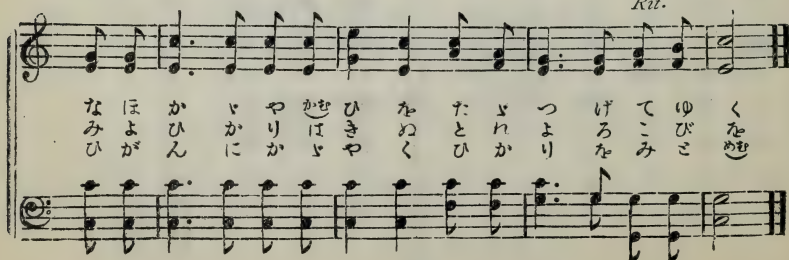
1. と れ ひ か り く も ま よ り も れ い づ も
 2. と れ ひ か か り り じん せい の あ ら し な ふ く た っ も
 3. と れ ひ か か り り か き の く



か な し き こ こ ろ に よ わ く さ す さ も
 の ぞ せ い の ひ か り は ろ あ ご な く み の え な む
 じん

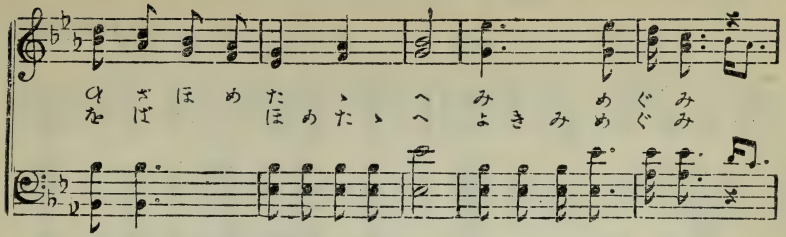


さ く さ れ ひ か り は い ま と く ゆ け り
 お ら そ な み ち て か わ な し く な ほ れ
 せ

Rit.


な ほ か い や ゐ ひ を た と る つ げ て ゆ く
 み ほ ひ ん かに り ば き め と ひ か り な ゐ
 ひ が

Count Your Blessings.



第三十三、御恵數へあげ。

ジエ、オートマン作歌
イー、オー、エクセル作曲

一、世の大波に打ちゆられ

望絶えてうき時も

嘗てうけし主の恵

數へて見なば驚かむ

折) 御恵數へあげ

(返 御恵數へあげ

二、嘗て苦の荷を負ひたるか

汝が十字架を重かるか

神の恵數へ見て

過ぎ行く日をば歌はなむ

三、富に誇る人を見ば

主の約せる恵思へ

天の報酬は無價の寶

天のホームに若くものなけむ

主のわざほめたへ

主のみなさけ思ひ出よ

四、いかなる苦と闘ふとも

撓むなかれ神ませり

御恵思へ天使あり

汝がゆく旅守り給ふ

Count Your Blessings.

E. O. EXCELL.

たじく
な
み(は)やむ
ぞがのわ
のな(ゆ)た
れかばも
らるみと
ゆた(な)か
ち(お)と
うをひた
ににると
みのこく
なくほる
おほてに
のつみか
よかとい
1.
2.
3.
4.

のぞのて
 いかかへ
 しむも
 けぐはを
 うめ(い)み
 てのむぐ
 つみのめ
 かか(て)み
 もか(り)り
 きるおせ
 とかみま
 きもぐみ
 うおめか
 てゐるれ
 えかせか

かなかな (かなかな)

ろはなた
 ぎたのり
 おうもも
 ばばくま
 ななしび
 みひにた
 てくムく
 へゆホゆ
 ぞぎのが
 かすてな
 みてらり
 ぐみかあ
 めへたし

みきみめぐみかぞへあげしゆの の わざ

第三十四、心の光

一、心こころに今日けふ日光ひあり

世間の光ひかりよりも

(折) 幸さきはふ日光ひはあり
(返) エス笑あはみ給たまひて

二、心こころに樂がくあり

歌うたはぬ聲こゑをも

主しゅいますゆゑ

いとまばゆし

平和へいわのゆく東つかの間ま

心こころに日光ひあり

王わうをば讚た美うふ

エス聴きき給たまふ

三、心こころに春はるあり

平和へいわの鳩はと鳴なきて

四、心こころに今日けふはあり

讚さん美びと愛あいと皆みな

主しゅ近ちかきをり

恩おんの花はな咲さく

希き望ぼうと喜き悅えつ

神かみのめぐみ

イー、イー、ヒウエツト作歌
ジョン、アール、スギニ作曲

No. 34.

Sunshine in the Soul.

E. E. HEWITT.

JNO. R. SWENEY.

1. こゝろにりふ一ひあり(ゆい)いなまはすたきゆふ
 2. こゝろににが一くるあり(わ)いちばかとえ
 3. こゝろににが一くるあり(し)いちばかとえ
 4. こゝろににが一くるあり(き)いちばかとえ

よう(い)のひかえりよをもいとまきばゆし
 (き)のたわひはなこゝろなまはのたさく
 (き)のたわひはなこゝろなまはのたさく
 (き)のたわひはなこゝろなまはのたさく

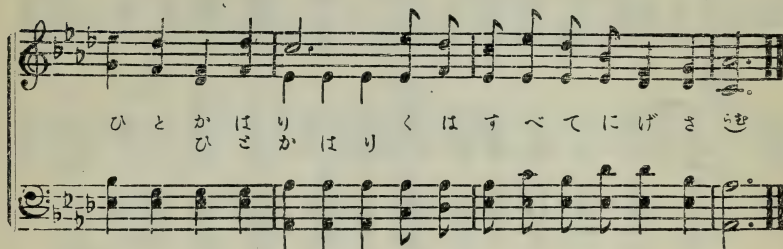
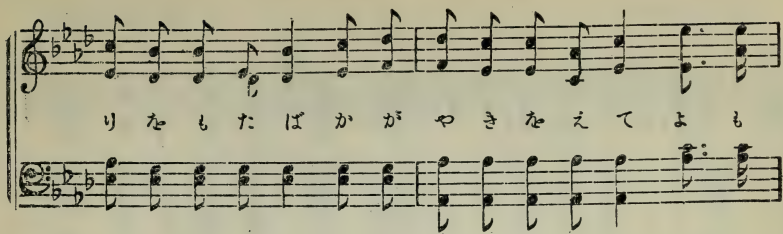
REFRAIN.

さきふはふりひあ(わ)のゆくつかの
 さきふはふりひあ(わ)のゆくつかの

ま(き)のまエふみたまひてこゝろにひあり
 ま(き)のまエふみたまひてこゝろにひあり

Copyright, 1887, by Jno. R. Sweeney. Used by per.

If There's Sunshine In Your Heart.



一、二、三、四

天てん苦くるも 苦くるの隣となりも 事こと怒いかも (返折) かげ道みちも
の しき世よ 汝なが心こころ の し小ちひさる し 輝かがやきを得えて 汝なは照てらし
光ひかりも て も 心こころ に が と 人ひとに が 心こころ 逃に去さらむ
も て も 心こころ に が と 人ひとに が 心こころ

第三十五

もたげ。汝が心は日光を

ヘレン、ダンガン作曲
ジエ、エム、ダンガン作曲

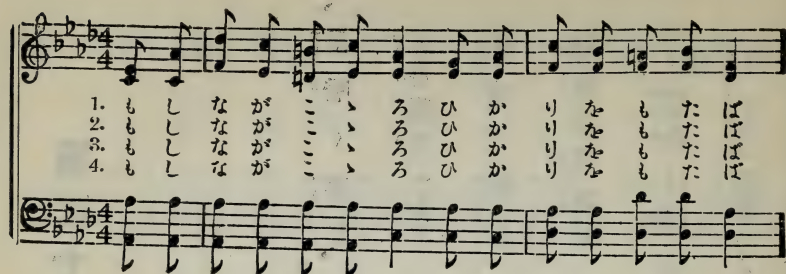
ひ日光をもたば
おだしくかたらむ
てん天の恵もつべし
ひ日光をもたば
した親しみかけむ
よく助けとるべし
ひ日光をもたば
たの樂しく送らむ
こゝろ心愛に富むべし

夜^よも日^ひとかがはるべし
 日^ひ光^{かり}をもたば
 心^{こころ}も輝^{かがや}かし
 日^ひ光^{かり}をもたば

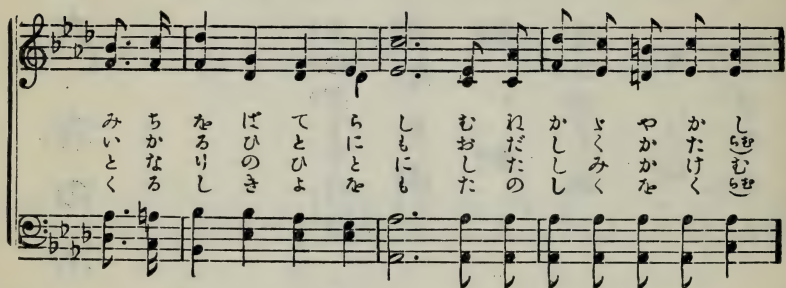
No. 35. If There's Sunshine In Your Heart.

HELEN DUNGAN.

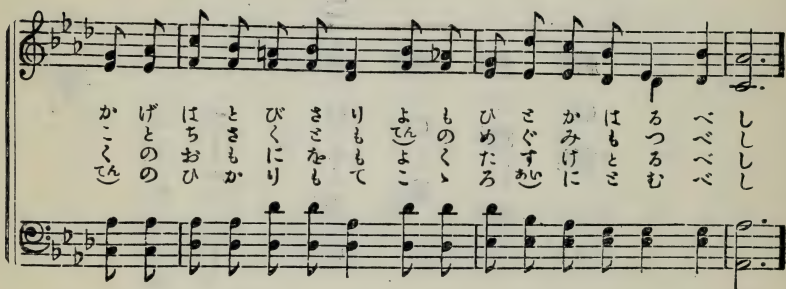
J. M. DUNGAN.



1. も し な が こ ろ ひ か り な も た ば
 2. も し な が こ ろ ひ か り な も た ば
 3. も し な が こ ろ ひ か り な も た ば
 4. も し な が こ ろ ひ か り な も た ば

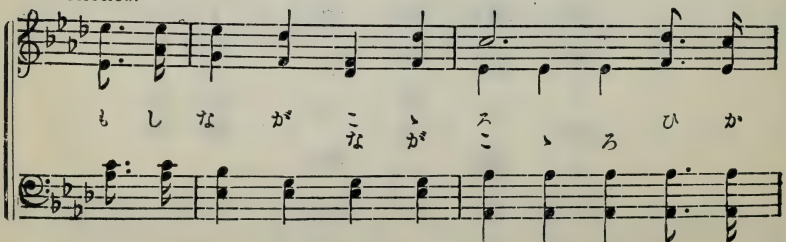


み ち な る ば と ら し も む れ か し く や か た し
 い かな り ひ の き と に も お だ し み か た ら
 と く なる し の き と に も お だ し み か た ら



か げ は と さ び さ り も よ も ひ さ か は る べ し
 こ の の お か に な も て よ く め ぐ み と つ べ し
 こ の の お か に な も て よ く め ぐ み と つ べ し

CHORUS.



も し な が こ な が ス ろ ひ か

Words and music copyright, 1898, by E. O. Excell. Used by per.

第三十六、春の木の芽。

エー、ビー、ウエルシマン作歌

アール、ビー、べールド作曲

一、鳥啼く春に 木の芽もきはひ

二、秋は千草に たなつ物に

王を讚美へむと 我等を誘ふ

神の恵を 我等讚美へむ

夏咲く花も 畑の麥も

冬は地に敷く 眞白き葢ひ

我等の感謝を 呼び立て歌ふ

神の親しき 庇護を謝せむ

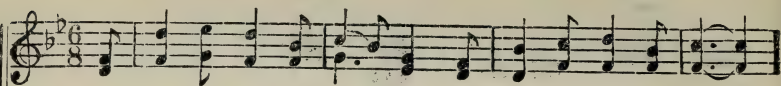
折) 生命は神の 恵に満つ

(返 エホバ讚美へよ 聖徒等常に

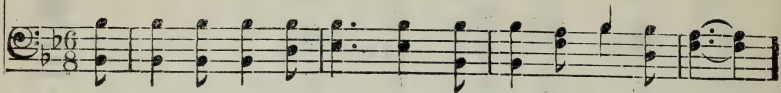
No. 36. The Opening Buds of Spring-time.

A.P. WELSHMAN.

R. B. BAIRD.



1. さ り な く は る に こ の め も き ばに
2. あ き は ち ぐ さ に た な つ も の に



(折返) い の ち は か み の め ぐ み に み つ *Fine.*



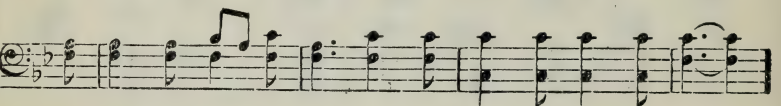
う な た と へ む と わ れ ら な さ そ
か み の め ぐ み と わ れ ら た へ ね



エ ホ バ た た へ よ せ い と ら つ れ に



な つ さ く は な も は た の む き も
ふ ゆ は ち に し く ま し ろ き お ほ ひ



D.C.

わ れ ら の し かん じ を き よ び た り て う た
か み の し た し き ま も た り な しや せ



第三十七、美しき愛の御言葉。

ジエ、エール、タウンシエンド作歌

イー、エフ、バーリ作曲

一、神の教なる

眞理と愛との

三、御言葉傳ふるは

神の豫言者

御言葉日に日に

聞く我が聖徒

惡しきを咎めて

善きを勧む

折) 嗚呼美しき

愛の御言葉

四、御靈の力を

得たる人は

(返 神より賜へる

御言葉うれし

御言葉語りて

世を皆救ふ

二、我等は敬ふ

使徒の御名を

五、輝く悟の

其の御言葉

愛と喜もて

吾が道示す

實と求めて

御旨にそはむ

No. 37.

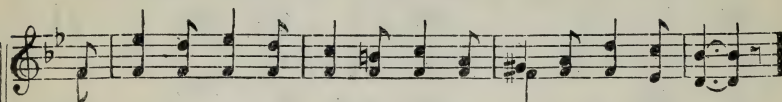
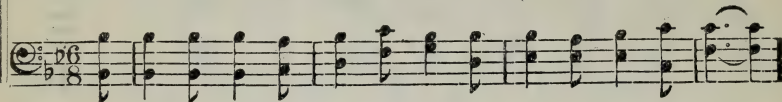
Beautiful Words of Love.

J. L. TOWNSHEND.

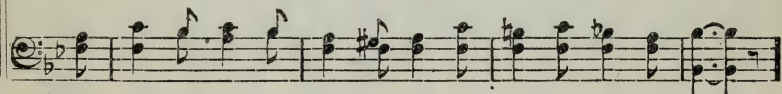
EDWIN. F. PARRY.



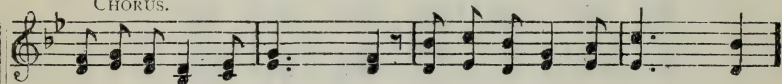
1. 2. 3. 4. 5.
 か わ み か
 み れ こ た
 の ら さ ま
 を は ば の
 し う つ ち
 へ や た か
 な も る ら
 る 一 は を
 しん し か え
 り と み た
 と の の る
 あい み よ ひ
 と な げん
 の な しゃ



み あい あ
 こ さ し こ
 と よ き と
 ば ろ な ば
 ひ こ さ か
 に び が た
 ひ も め り
 に て て て
 き わ よ よ
 く み き な
 わ ち な
 が し す な
 せ い め
 と す む



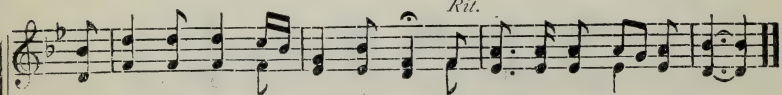
CHORUS.



あ う る は し き あ い の み こ と ば
 う る わ し み こ と ば



Rit.



か み よ り た ま へ る み こ さ ば う れ し



第三十八 若葉の春。

一、若葉、花、紅葉

春 夏 秋 と

愉快さあふるゝ

年を迎へて

過ぎては寂しき

冬やがて來む

年を迎へて

されども樂しさ

なほ齋せり

三、森蔭寂寥に

鳥は去るども

心はよろこぶ

年を迎へて

吾等ぞかはりて

樂しく歌ふ

年を迎へて

嬉しき此の時節

言葉をかはす

二、笑ひつさけびつ

すべる雪氷

朋友も兄弟も

年を迎へて

小山を下りゆく

きけ櫓のベル

年を迎へて

冬を寂しとは

誰かおもへる

No. 38. Verdant Spring and Rosy Summer.

Joyfully.

1. わ から ば は な も み ち は る な つ あ き こ そ い
 2. わ から ば は な も み ち は る な つ あ き こ そ い
 3. わ から ば は な も み ち は る な つ あ き こ そ い

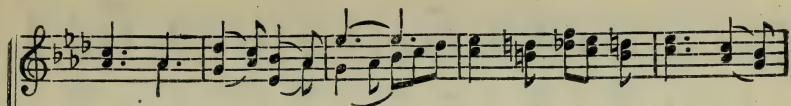
す ぎ て は さ び し き ふ ゆ や が て こ む
 こ や ま ら を お り ゆ く た の し く の う べ ル
 わ れ ま ぞ か は り け の し く の う べ ル

さ れ ご も た の し さ な ほ も た
 ふう ゆ れ な き び の し さ な ほ も た
 ふう ゆ れ な き び の し さ な ほ も た

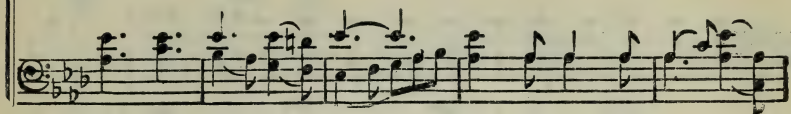
ら せ り こ う れ ろ は さ よ ろ こ ぶ
 か へ る と も も は さ よ ろ こ ぶ
 か へ る と も も は さ よ ろ こ ぶ

と し な む か へ て と し な む か へ て

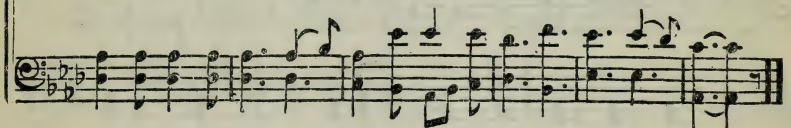
Kind and Heavenly Father.



に て さ ん び せむ そ ら に ひ び く



わ れ ら が こ ゑ で し の う た と め ま で



第三十九

いとやさしき
天なる父よ。

エヴァン、ステヴエンズ作

一、

いとやさしき
天なる父よ
汝を讃美せり
聲を聴かれよ
ゆるさるれよ
霊そゝがれよ
讃美せむ
我等が聲
あふまで
御手より給ふ
讀へまつらむ
平和の谷と
流を
御旨を説き
親の身を給へ
果すべく

(返 折)
若き聲にて
愛に笑まれよ
御恩恵頌ふ
あやまちをば

二、

いとやさしき
天なる父よ
汝を讃美せり
聲を聴かれよ
ゆるさるれよ
霊そゝがれよ
讃美せむ
我等が聲
あふまで
御手より給ふ
讀へまつらむ
平和の谷と
流を
御旨を説き
親の身を給へ
果すべく

三、

いとやさしき
天なる父よ
汝を讃美せり
聲を聴かれよ
ゆるさるれよ
霊そゝがれよ
讃美せむ
我等が聲
あふまで
御手より給ふ
讀へまつらむ
平和の谷と
流を
御旨を説き
親の身を給へ
果すべく

No. 39.

Kind and Heavenly Father.

E. S.

E. STEPHENS.

Andante.

1. い さ や さ し き ひ な る ち ち よ み よ な が
 2. い と ゆ た し け き ひ な る ち ち よ み よ な が
 3. わ れ ら に し の み む れ を た さ き ひ き ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ

こ ら な た た き び せ り み め ぐ み う た
 の み な た へ ま つ り ゐ わ れ なら み が す た
 の な め ぐ み た ま へ へ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ

こ ゐ な き か し あ や ま ち か ば ゆ る さ れ よ
 お わ の た に そ そ な う ら ほ す な が た す べ く
 お や の み な も き ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ

CHORUS.

お に ゐ ま れ よ ゐ そ が れ よ わ か き

第四十、年少きより神に従ふ。

イライザ、アール、スノー作歌

トマス、マキンタヤ作曲

一、我等は天にして

主の愛を受け

昔の忠實なる

聖徒のごとく

親と生れとを

給ひたるもの

我等の徳をば

成させ給へ

されば年少きより

神に従ひ

三、年少きみさかりに

冠かざせ

救の主をば

讃め歌ふべし

智の奥深くに

よき寶玉得なむ

二、さ迷ふなかれど

正義を諭す

此處に汝が聖徒と

讚美を歌ひ

我等が親をば

守護り給へ

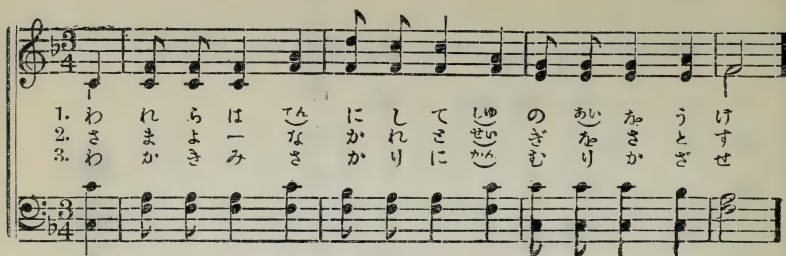
永遠き榮をも

共にうけなむ

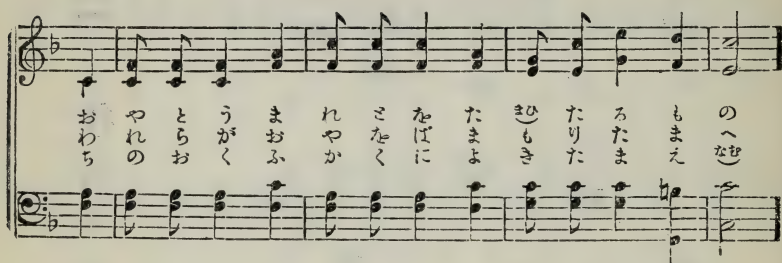
No. 40. I'll Serve the Lord While I Am Young.

E. R. SNOW.

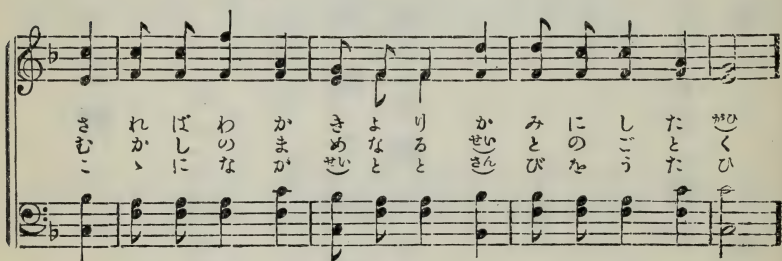
THOS. MCINTYRE.



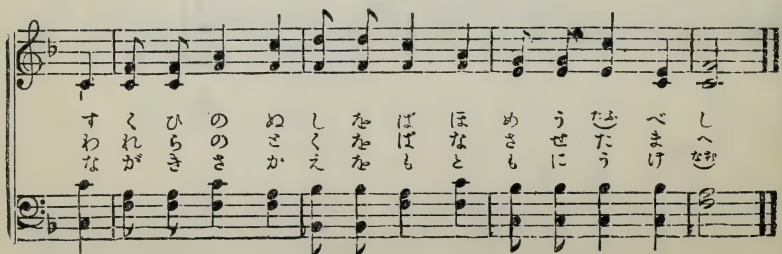
1. わ れ ら は てん に し て し の あ な う け
 2. さ ま か よ は な か り せ む な か と せ
 3. わ ま き み さ か り に か ん む り ざ せ



お や と う ま れ さ な を た き た る も の
 わ れ の ら が お ふ や か く な ば よ も き た ま え (へなせ)



さ れ ば わ か き よ り か み に し た (ひ
 む こ ば し な ま が せ め な と さん び の う た く
 ひ



す く ひ の め し な を ば ほ め う た べ し
 わ れ が き の さ か く え な も な さ も せ に ま け (へなせ)

第四十一、往昔ユダヤの野に。

ジエ、マクファーレン 作

一、往昔ユダヤの野邊に

歌聞けり牧羊者

三、天使と相歡び

心より歌うたはむ

(返折) 神に は 御榮
 高くます御神に
 地には穩やか 人に親しみ

二、樂しすくひの歌よ

天の御恵のたより

四、やよ此世の國民よ疾く

聲そろへて歌へよ

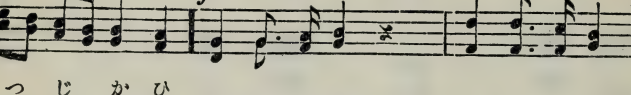
No. 41. Far, Far Away On Judea's Plains.

J. M.

J. MACFARLANE

ひみうて
りぐりへ
けめよろ
きみろそ
たのゝゑ
うてこ
によびく
べたこと
のうろよ
ののよみ
やひた
かくさの
ユすひよ
ししかこ
かのつよ
むたみや

1.
2.
3.
4.



 つのたう じたうた かやたへ ひり(は)よ か み に は み さ か え か み に は み さ

か み に は み さ か え

た か く ま え す み か み に ち に は お

た か く ま す み か み に

だ や か ひ と に し た し み

第四十二、キリスト降誕聖歌。

一、奇しき星をば 見し博士達

三、此の聖きはなし なほ傳りて

樂しき天使の 歌聞きにけり

世は皆唱へり 此の天使の歌

(折返) ホザナ ホザナ 御名にホザナ

二、星に導かれ 旅路をたどり

四、星の御光は あまねく照す

御子をば見出でぬ 馬槽の床

神聖き平和の 世に満つるまで

*With Spirit.**mf*

1. くすしにききほしびをばみたしはぢつかなたはせたはたごりち
 2. ほしのきのよみちひかなりしはまはぢつかなたはせたはたごりち
 3. こほしのきのよみちひかなりしはまはぢつかなたはせたはたごりち
 4. こほしのきのよみちひかなりしはまはぢつかなたはせたはたごりち

たのしきみつめでのうたまききれにけり
 みよこはなみうたいぬりのまぶししののさうた
 よ一ミヘイハミツメタマキレノケリ
 と一ミヘイハミツメタマキレノケリ

REFRAIN.

ホザナホザナみなにホザナ

第四十三、子等を來させよ。

一、つごへる母人

めづ子のため

御腕に集めて

御胸に寄せ

聖き御恵を

求めし時

ちひさき子等をも

恵み給ひぬ

其を拒まむとして

狂ひし者に

三、子供よ主は今

高く座せご

「子等を來させよ」と

主のたまひぬ

昔にかはらず

汝を待ち給ふ

二、「彼等を拒むな

我が顔見せむ

求むる者をば

顧み給ふ

此は父の國を

飾る者」と

疾く乞ひ求めよ

其のかひあらむ

Allegretto.

1. つか どれ へら る は い び こと め づ こ の た め
 2. か こ ぞ も を こ ば む な わ か く ほ み せ せ
 3. こ ぞ も を こ ば む な わ か く ほ み せ せ

き よ き み め ぐ み な ち と め る し と き
 こ ば し に の か く ら かな ざ ま ち の た ま
 む か し に の か く ら かな ざ ま ち の た ま

そ な こ ば き と つ し て く る ひ し も の の に
 み う で に む あ の し て む む し に み よ た せ
 も と む む あ の し て む む し に み よ た せ

こ ら な こ さ せら よ と も し の の た ま ま ひ め
 ち ひ さ こ も と め め の の た ま ま ひ め
 と ひ さ こ も と め め の の た ま ま ひ め

第四十四、子供よ主を愛し。

イー、ビー、ウエルス作歌

エー、プレストン作曲

一、子供よ主を愛し

御旨を學べ

世に益あれとて

吾等ハ學ぶ

義務をせよとは

主のさゝやき

智の樂しき道

直く進まむ

相愛せよとは

エスの御教

三、父母をば敬へ

これ主の教

同胞と共に

智の道ゆかむ

互に親しく

相交らむ

二、主のごとやさしく

御神に祈り

主の道によりて

御恵求め

狭くも正しき

道をまよはじ

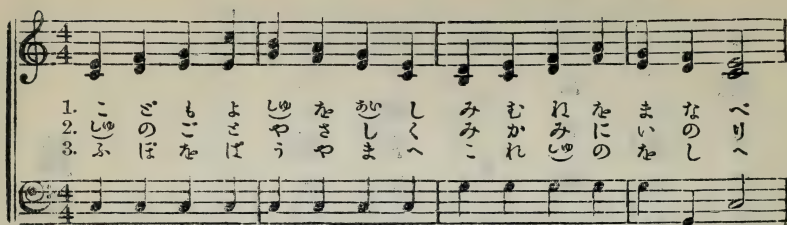
鐵の杖により

勇み勵まむ

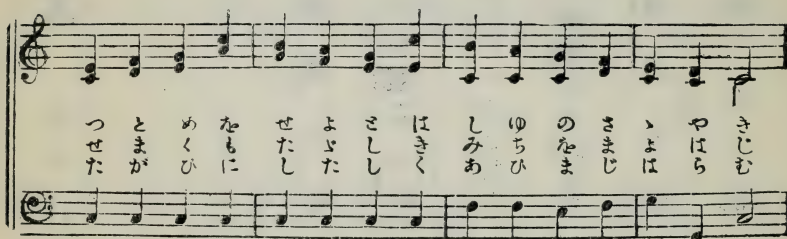
No. 44. Little Children, Love the Savior.

E. B. WELLS.

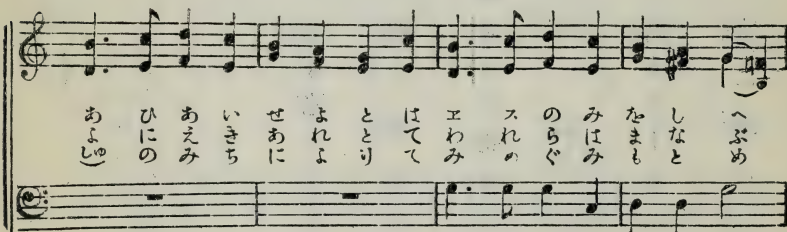
A. PRESTON.



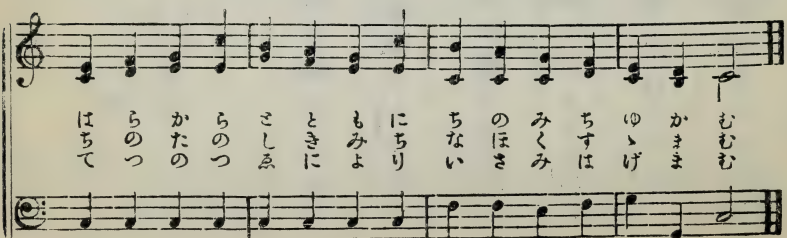
1. こしごもよしなをいしくみむれをまいなのしべりへ
 2. しごのぼをさやしまへみかれみのにをのしべりへ
 3. ふのぼをさやしまへみかれみのにをのしべりへ



つせたとまがめくひなもにせたしよださしはきくしみあゆちひのなまさまじよはらきじむ



あよひにあえみいきちせあによれよとりはててエわみすれのらぐみはみなまをしなとへぶめ



はちてらのつかたのらのつさしふときにもみよにちりちないのほさみくみちすはゆげかまむむむ

第四十五、 エスに委せむ。

ベンジャミン、スモルケ作歌
 ジエ、ビー、ホウルブルク
 マリア、ウキベル 作曲

一、エスに委せむ) 我從は)む

愛の御手をば たゝ頼みなむ

導きませ いかにあらむも

言はせ給へ 「御旨なさむ」と

二、エスに委せむ) 涙はあれ

な曇らせそ 望の星

主も地にして 泣き給ひしを

願ふ) 我また 「御旨なさむ」と

三、エスに委せむ) われ善くあらむ

行く末みな 主にたよりなむ

高きホームに 静にゆかむ

常に歌はむ) 「御旨なさむ」と

No. 45.

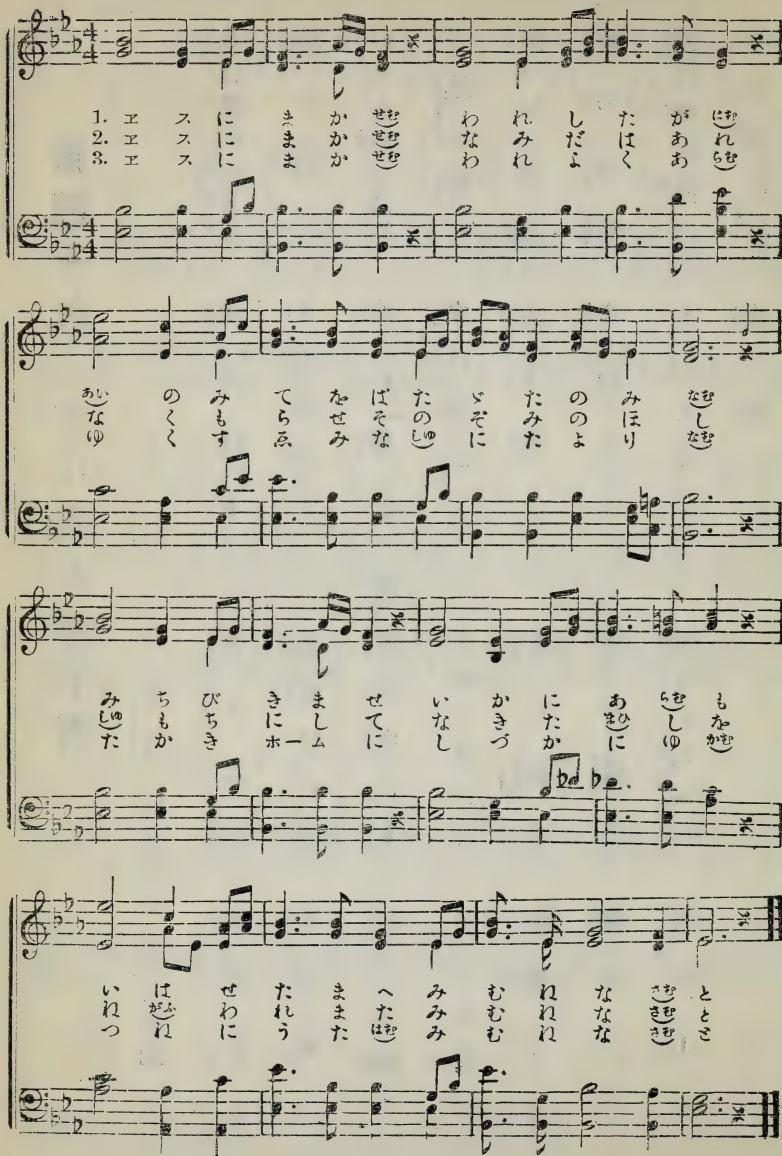
My Jesus, As Thou Wilt!

BENJAMIN SCHMOLKE.

Tr. by Miss J. BORTHWICK.

Arr. from CARL MARIA V. WEBER,

by J. P. HOLBROOK.



1. エ ス に ま か せ わ れ し た が は
 2. エ ス に ま か せ わ れ し た が は
 3. エ ス に ま か せ わ れ し た が は

い の み て な ば た ど た の み な
 な く く も ち ら せ そ の し ゃ
 ゆ く す ち ら き ホ ム に し か た あ ら も
 た か に ひ し ゆ か せ

い は せ た ま へ み む な な と
 れ が わ れ う ま た は み む な な と
 つ れ に う た は み む な な と

第四十六、主は我が牧羊者。

チイ、コスチアト作曲

一、主は我が牧羊者

我足れり

筈となり杖となる

緑の野に

すまはせて

主近ければ害は来じ

いこふ水ぎはに

伴れ給ふ

三、苦の中にも給へる膳の

さ迷ふ時に

主は活かし

さかづきにはめぐみ盈つ

苦しむ時

主は救ふ

主は油と乳香とを

二、死の谷蔭

歩むとも

我が頭に灌ぎます

主は我が身に

ましませば

何をか乞はむ此の上に

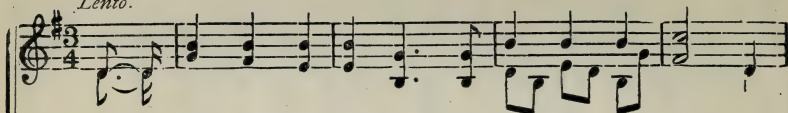
何か恐れむ

災殃を

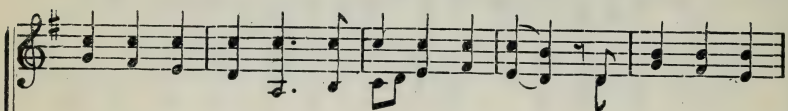
No. 46.

The Lord is My Shepherd.

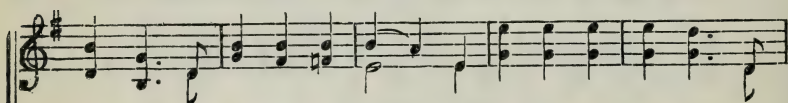
T. KOSCHAT, Arr.

Lento.

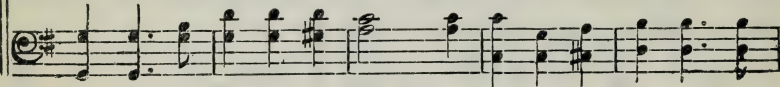
1. しゅ は わ が か て わ れ た れ り み
 2. しく は の わ に か げも あ ゆ む ん も しゅ
 3. く の な か に も あ きへ る せん の さ



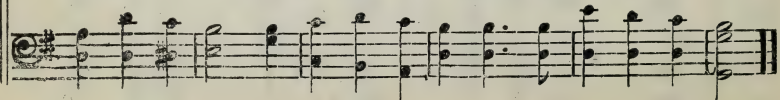
ご り の の に す ま は セ て い な み か ぎ
 ば わ が み に は め ま せ ば な あ あ お
 か わ き に に め ん り ゑ ゑ ぶ



は に つ れ た も 一 さ ま よ と き に しゅ
 そ れ わ こ り は は 一
 ら と じ ん こ は へ そ

*Rit.*

は い か な し く る し む れ き しゅ はい す く 一
 ふ と ま る こ エ た け こ ば が の う こ じ
 そ ぎ ま す な に を か こ は の う へ に



No. 47. Dearest Children, God is Near You.

C. L. WALKER.

J. M. MACFARLANE.

1. こごもよるひるかなみまもりまつす
 2. こごもよるひるかなみまもりまつす
 3. こごもよるひるかなみまもりまつす

よきこよきこしけはあひげしにめとひばもにさみよいふろはみこひにびたしあもるふ一すねわ
 かこみにのたのよきたりよシなきンばににみめごぐぐこみみろああつららくむむせ

第四十七

子供よ神守ります。

ジー、エール、ウアカ作歌
 ジエ、エム、マクフアーレン作曲

一、

子供よ夜晝 神守護ります

善きこと勵めば 幸ひ給ふ

神に依頼りなば 天福あらむ

二、

子供よ天使も 汝がわざ見つ、

言善惡ども 御書に記録す

心の清きに 天福あらむ

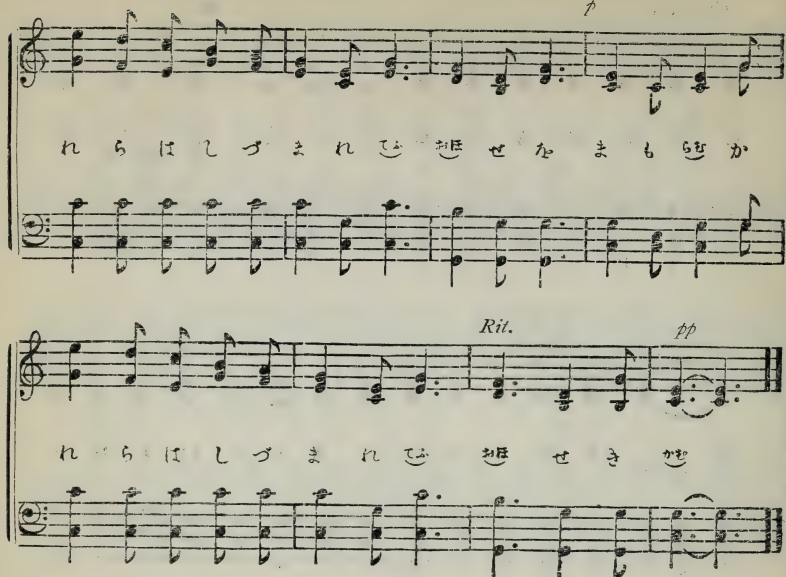
三、

樂しみ教ふる 聖靈の御聲

疾く聴け日に よろこび溢れむ

神にはたシオンに 忠誠盡せ

Master, the Tempest is Raging!



第四十八

主しゅよ暴風雨荒あらしび。

エム、エー、ベーケル作歌
エチ、アール、バアルメル作曲

一、主よ暴風雖荒び
空は黒く蔽はれ
我等海底に
主はなごて顧みず
波風も「静まれ」てふ
折荒海や妖魔等の
天地の主の乗りませる
「返彼等は「静まれ」てふ
彼等は「静まれ」てふ
二、主よわが心今日
悲しきなやみをば
罪と苦の流
われは死ぬわれは死ぬ
主よ恐怖は去り
日は湖水に照り
めぐみ深き主よ
幸ある港につき
三、世は静かなり
心は長閑けし
我れ離るな
彼岸に休息はむ
波はいさ高し
行ゆく港なし
藻屑となるも
睡り給ふか
仰り聞かむ
怒はいかにあらむとも
船を洗得べけむや
船を「守らむ
仰せを「守らむ
仰せを「守らむ
目覺めて救へ
憂を「救ひませり
疾く救ひませり

Master, the Tempest is Raging !

CHORUS.

p

な み か ぜ も し づ ま れ て お ほ せ き
み お ほ せ

pp

か ゐ ま か ゐ あ ら う み や え ま ら の い か り は
き ま か ゐ

Cres

cen

い か に あ ら ゐ と も て ん ち の し ゅ の の り

do

ff

ま せ る ふ れ な し づ め う べ ゐ ん や か

No. 48.

Master, the Tempest is Raging!

M. A. BAKER.

H. R. PALMER.

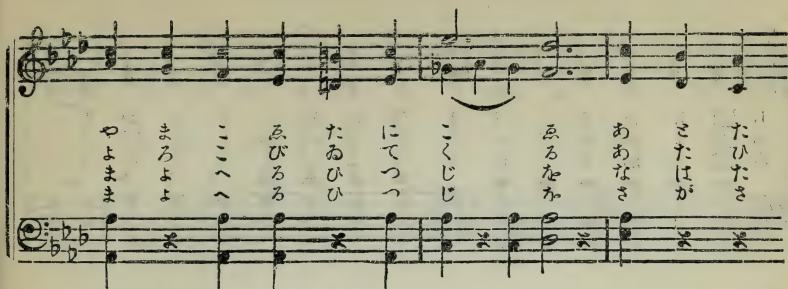
1. しよ よ あわ ら し す さ び な み い さ た か し
 2. しよ よ お が こ ほ さ り ひ れ ふ し な か げ り
 3. しよ よ お が こ ほ さ り ひ れ ふ し な か げ り

そ ら は く ろ く お は れ ゆ く み な と な く し
 か な し み き な や み に は べ り め ざ ろ の す け し
 ひ は づ う み に て り こ ろ の ぎ け し

わ れ ら み な そ こ に く す と な お る も
 つ み と み の か が し れ よ う ね は お へ り な
 め と み の か が し れ よ う ね は お へ り な

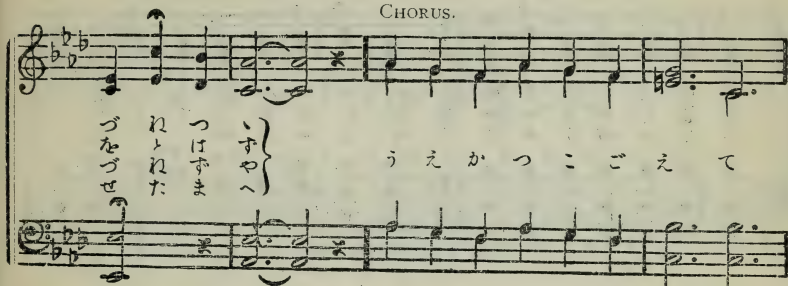
し は な ご て か へ り み す れ と む り た も 一 か
 わ れ は し め な れ と ば し つ ぬ と ひ かん に や ひ ま せ
 さ ち あ し め な れ と ば し つ ぬ と ひ かん に や ひ ま せ

Dear to the Heart of the Shepherd.



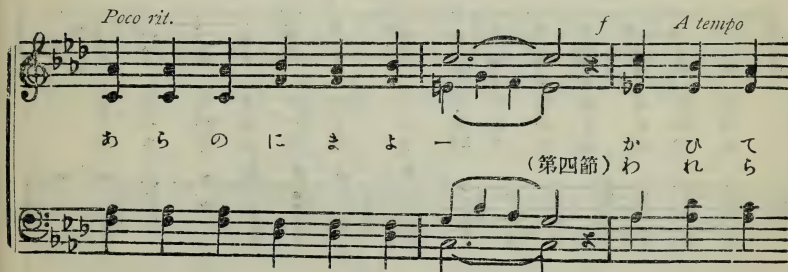
やま まろ こゝろ ぶる たゐ にて こく ぶる ああ さた た
ま ま よ へ る ひ つつ じ な な さ は た
ま ま よ へ る ひ つつ じ な な さ は た

CHORUS.

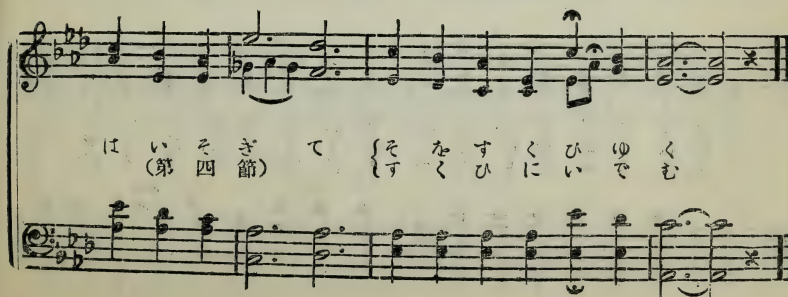


づね つけ い } う え か つ こ ご え て
づね つけ い } う え か つ こ ご え て
づね つけ い } う え か つ こ ご え て

Poco rit.



あ ら の に ま よ ー (第四節) か ひ て
あ ら の に ま よ ー (第四節) わ れ ら



は い そ ぎ て { そ を す く ひ ゆ く
(第 四 節) { す く ひ に い で む

No. 49. Dear to the Heart of the Shepherd.

Mrs. MARY B. WINGATE,

WM. J. KIRKPATRICK.

DUET.

1. む ら が る ひ つ じ な か ひ て
 2. む ら が る ひ つ じ な か ひ て
 3. つ ゐ が る ひ つ じ な か ひ て
 4. み ゐ が る ひ つ じ な か ひ て

ぞ め づ る し ろ が れ こ が れ も
 ぞ め づ る し ろ が れ こ が れ も
 ぞ め づ る し ろ が れ こ が れ も
 ぞ め づ る し ろ が れ こ が れ も

お さ よ ま ば め ば か り り せ た
 お さ よ ま ば め ば か り り せ た
 お さ よ ま ば め ば か り り せ た
 お さ よ ま ば め ば か り り せ た

る ひ づ じ を か ひ て た ぞ め づ る
 る ひ づ じ を か ひ て た ぞ め づ る
 る ひ づ じ を か ひ て た ぞ め づ る
 る ひ づ じ を か ひ て た ぞ め づ る

Copyright, by Wm. J. Kirkpatrick. Used by permission.

第四十九、牧羊者の愛。

マリア、ビー、ウインヌゲート作曲
ウキリアム、ジエ、キルクバアトリック作曲

一、群る羊を

白金黄金も

失せたる羊を

山越え溪越え

(返折) 餓るかつ凍えて

牧羊者は急ぎて

二、群る小羊

餓るかつ凍えて

見よよき牧羊者は

喜び率て来る

牧羊者ぞ愛づる

及ばぬばかり

牧羊者ぞ愛づる

あと尋ねつゝ

荒野に迷ふ

其を救ひゆく

牧羊者ぞ愛づる

さ迷ふもあり

其を尋ね行く

あたひを問はず

三、集へる九十九を

荒野に迷へる

聴け眞心もて

「迷へる羊を

四、緑なす牧場

我等はよろこび

我を牧羊者として

(第四節後の折返) 迷へる羊を

餓るかつ凍えて

我等は急ぎて

牧羊者ぞ愛づる

其の羊をも

呼ぶ彼の聲

汝は尋ねずや

静けき流

仰に應へむ

主の愛を持たせ

探させ給へ

荒野に迷ふ

救ひに出でむ

No. 50. Lord, We Ask Thee, Ere We Part.

GEO. MANWARING.

E. BEESLEY.

1. 2. 3. 4.
いと ざし わか れむ とし て い は ひ の な し ま れ へ に
あつ み あ かる く ち ゃ る よ め り め に せ ず
な た が く こ み い ち ろ ふ に お か し め た た ま ま へ
た よ ろ よ び つ わ た ち ろ る こ た す け た た ま ま へ

第五十、いざ散會むとて。

ジョー ルザ、マンウエルイグ作歌
イー、ビースリー作曲

一、いざ散會むとて 祝ふ今日のをしへ
ながく心に おかしめ給へ
二、年若くして 掟のまにまに
正しい道履む 力を給へ
三、愛ある父よ 忠實なる我に
喜び事へる 心を給へ
四、罪をばゆるし 迷に入らせず
清く世渡る 助を給へ

第五十一

崇め謙遜りて。

ジエ、エール、タウンシエンド作歌
イー、ビースリー作曲

一、崇め謙遜りて

頭をば垂れよ

三、兄弟うちどけ

争やめよ

救はれし者

我がわざ思へ

我にこふごと

人をもゆるせ

十字架の身に

血の雨や汗

祈りかしこみ

我をば依頼れ

汝が罪までも

贖はれけり

我が御靈こそ

めぐみの泉

二、看よ祝福の

麵包は我が身よ

四、御座の前に

汝をとりなす

看よきよらなる

水は我が血よ

我が友のごと

汝をいつくしむ

思ひ出せ汝が

罪のあがなひ

我を救の

主とたのむべく

カルバリの山

十字架の上に

祈り事へて

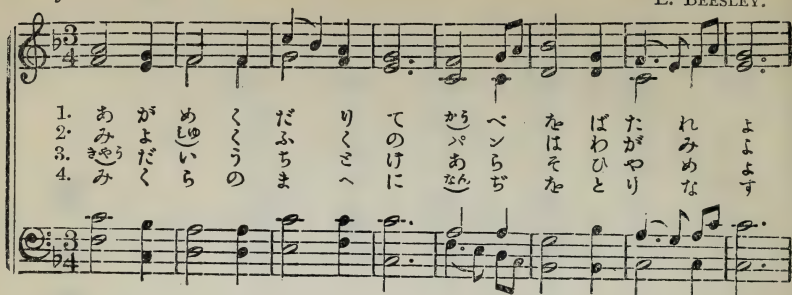
まごころ盡せ

No. 51.

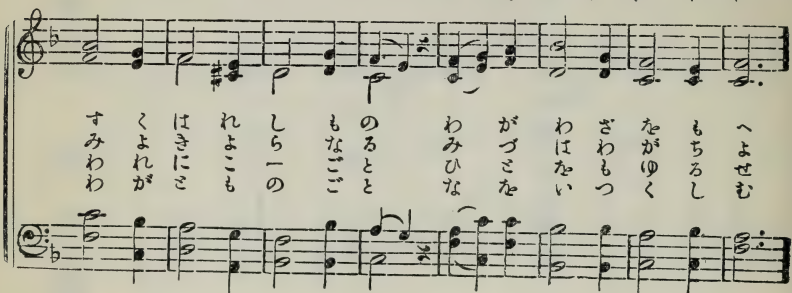
Reverently and Meekly Now.

J. L. TOWNSHEND.

E. BEESLEY.

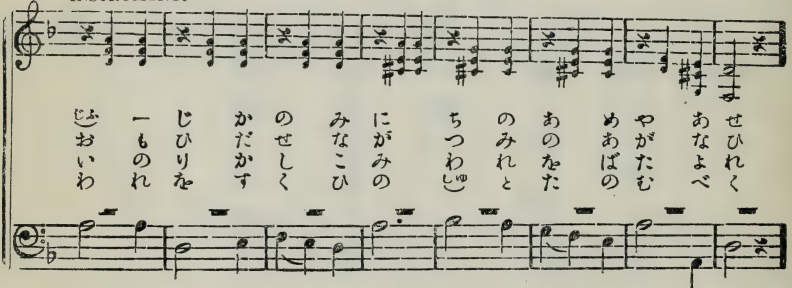


1. あみ が め く だ り て か ペ な は た れ よ
 2. み きや だ い い ふ く の け に パ ン ら そ が や め ふ
 4. み だ く い の ま へ に あ ん ぢ を り な な す



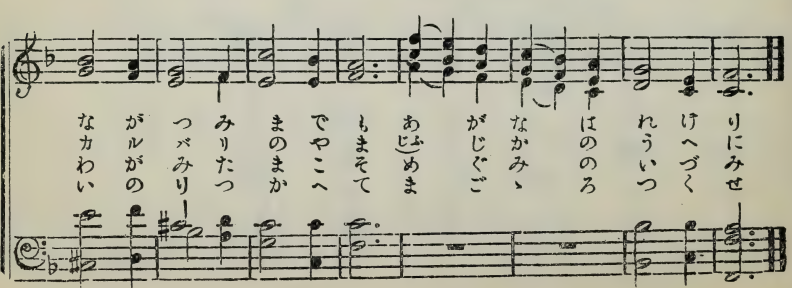
す く は れ し も の わ が わ は さ な も へ
 み よ き よ こ 一 と な ん な ん づ こ は い も ち
 わ が れ が こ の と な ん な ん づ こ は い も ち

INSTRUMENT.



じ 一 じ か の み に ち の あ め や あ せ
 お も ひ り だ し な が み の つ の を あ が た な ひ れ
 い わ れ を か す ひ こ の ん じ た の む べ く

1st & 2d SOPRANOS.



な が り つ み ま で も あ が な は れ け り
 か わ れ が み た の ま や そ じ な の の う へ に
 い の が み り ま こ こ み の の う へ に

第五十二、苦の紀念。

エヴァン、ステヴエンズ作

一、主の苦を追懷びて

御しるしわかつ

誘惑に打勝つ

力を授け

身を捨て給へり

罪人のため

此の世を去るまで

よく守りませ

我等も罪ある

者をゆるせり

三、光華もたらし

世をしらしめし

我等の罪をも

またゆるし給べ

最と能く忍びし

聖徒の分つ

二、迷を去るべく

吾を淨めませ

悩みの御しるし

パンと水とを

漸々御靈を

受くべくならむ

新に受くべく

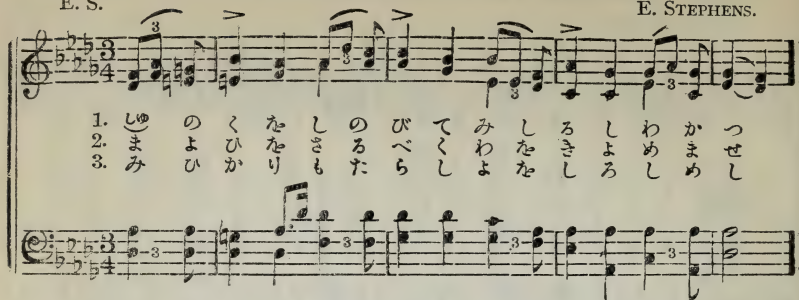
御座に我等も

No. 52.

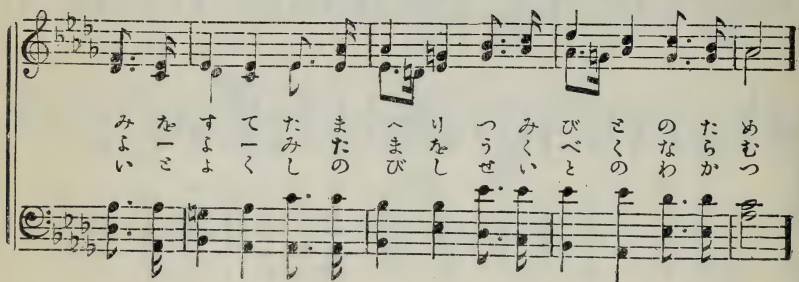
E. S.

In Remembrance of Thy Suffering.

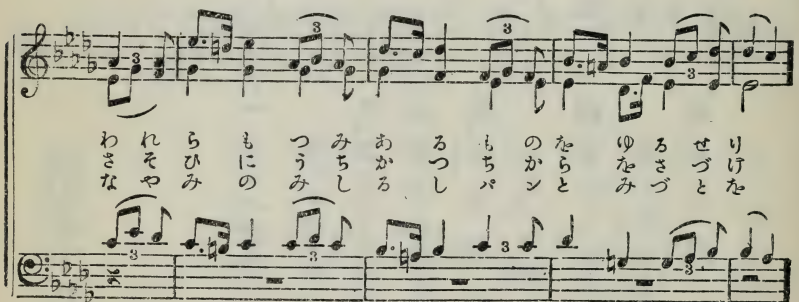
E. STEPHENS.



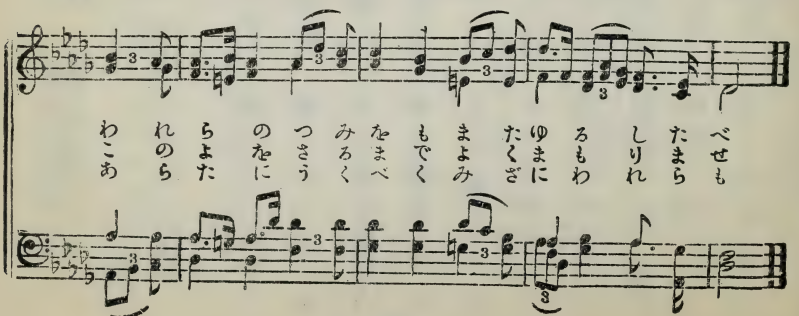
1. し の く な し の び て み し る し わ か つ
 2. ま よ ひ な さ も る た べ く わ な き し ょ め し まめ
 3. み ひ か り も た し よ な し ろ し め し



み な す て た ま た へ り つ み び さ の た め
 よ い こ よ く し の ま び な し う せ い と の な ら か む
 い こ よ く し の ま び な し う せ い と の な ら か む



わ れ ら も つ み あ る も の な り ゆ る せ り
 さ そ ひ に の み かる し パ ン と み づ と げ
 な や み の み かる し パ ン と み づ と げ



わ れ ら の つ み ゐ ま も た ゆ る し た べ
 こ れ ら の な り ゐ ま も た ゆ る し た べ
 あ れ ら の な り ゐ ま も た ゆ る し た べ

No. 53. While of These Emblems We Partake.

JOHN NICHOLSON.

S. MCBURNEY.

1. エ 2. ス 3. の 4. み 5. な に よ り み し る わ なく し か つ に
わ が た め し ゃ じ ぶ け り と と せ ひ ま え
お き ぶ け し ば お け け い に へ へ へ
や は か し ば お け い に へ へ へ
は が け し ば お け い に へ へ へ

わ が け し ば お け い に へ へ へ
は が け し ば お け い に へ へ へ
は が け し ば お け い に へ へ へ

わ が け し ば お け い に へ へ へ
は が け し ば お け い に へ へ へ
は が け し ば お け い に へ へ へ

第五十三、御記念分つ。

ジョン、ニコルソン作歌
エス、マクブルニ作曲

- 一、エスの御名により
我が手と心の
浄きをおぼえよ
主は血を流せり
世は死を免ぬ
人の救ひにと
御しるしわかつに
- 二、我ため十字架に
斯くて闇黒は去り
エホバの旨もて
義に失せ給ひて
陰府と死と墓と
無窮に榮えつゝ
主と治め住す
- 三、掟を破れる
エホバの旨もて
義に失せ給ひて
陰府と死と墓と
無窮に榮えつゝ
主と治め住す
- 四、破れしおきてに
エホバの旨もて
義に失せ給ひて
陰府と死と墓と
無窮に榮えつゝ
主と治め住す
- 五、墓をば勝ち出で
死と苦を離れて
主と治め住す

第五十四、主の犠牲。

イライザ、アール、スノー作歌
ジイ、カルレ 作曲

一、見よ救の主は

掟を贖ひ

三、苦をかけるも

咄きかこたず

罪の犠牲となり

身を捨て給へり

使命を荷ひて

あまねく果せり

生ける人のため

父の御心を

二、罪人イエスの

手脚肋をも

四、盃献げむ

はたわれ飲まむか

罵り刺しつゝ

頭にのせたり

仰のまに

働きなしたり

刺の冠をば

うけよ我が靈を

Jesus, Once of Humble Birth.

はははは きくさけ たもかだ りぢえか てのてき こくわお のるれ一 よまらぬ をにかに おのおあ さりーる むてよみ

No. 54. Behold the Great Redeemer Die.

ELIZA R. SNOW.

G. CARELESS.

Adagio.

1. みつ 2. よみ 3. すび 4. く と ひ の し は お て き て を あ あ
く さ な か け き ら エ も つ あ き ば
き かな づ き さ ヾ づ む ば や し か
の

がらこま ななむ ひもずか つのしお みゝめー のしいせ にりをのへさにま としなに なつひま りゝてに みかあは なしまた すられら

てにくき たのはな ませたし へたせた りりりり いとちう けげゝけ るののよ ひかみわ とむが のりゝれ たなろい めばなを

第五十五、

嘗て賤く生れしエス。

バーリ、ビー、プラット作歌

一、嘗て賤しく

此の世を治む

二、嘗て小羊

ゆゑしき神よ

三、嘗て流し

否まれし身は

四、嘗て棄てられ

王位にある身

今苦しみに受けし

今十字架に失せぬ

今血しほと涙

今苦に堪へにしを

No. 55.

Jesus, Once of Humble Birth.

P.P.PRATT.

FROM ENGLISH CHORISTER.

1. か つ て い や し く く る し か み
2. か つ て い ひ し く く る し か み
3. か つ て い ひ し く く る し か み
4. か つ て い ひ し く く る し か み

う け し め ぬ エ ス さ し か え も て い ま
う け し め ぬ エ ス さ し か え も て い ま
う け し め ぬ エ ス さ し か え も て い ま
う け し め ぬ エ ス さ し か え も て い ま

No. 56. How Great the Wisdom and the Love.

ELIZA. R. SNOW.

THOS. MCINTYRE.

1. ゆゝしきちさあいとみそのらにみち
 2. だこのしきちさあまはずみそのらにみち
 3. ここのしきちさあまはずみそのらにみち

すくひのひののしなくたびちなみながさす
 つみのみのみよづすはくへなばつみなるきぎるし

第五十六、 ゆゝしき智と愛と。

イライザ、アール、スノー作歌
 トマス、マキンタヤ作曲

一、 ゆゝしき智と愛と みそらに満ち

救の主を給び 血を流さす

二、 貴き血惜まず 命を棄て

罪の世救へる 罪なき犠牲

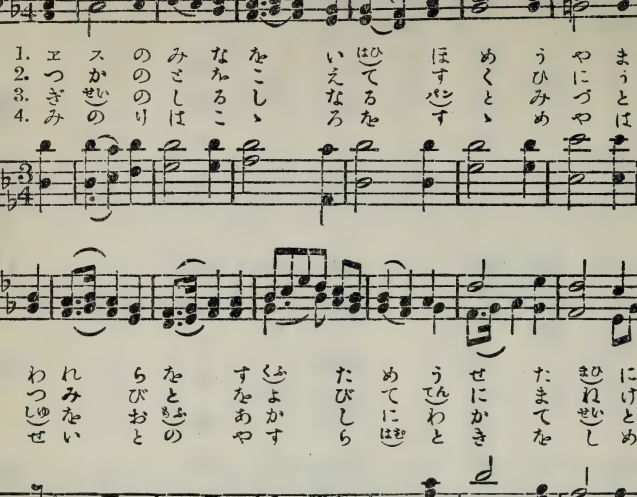
三、 此のさけたるバンは 主の身の記念

此の水は主をば 信するしるし

No. 57. We'll Sing All Hail to Jesus' Name.

R. ALLDRIDGE.

JOS. COSLETT.



1. エつぎみ
 2. スかぜいの
 3. ののり
 4. みさしほ

なるこ
 をこし、
 いえなる
 はてるを
 ほすべす
 めくと、
 うひみめ
 やにづや
 まうとは
 せむたをし

きりよす
 にけとめ
 むねをし
 たまてな
 せにかき
 うてわと
 めてには
 たびしら
 ふよかす
 すなあや
 をとふの
 らびおと
 れみない
 わつしせ

第五十七、

エスミナの御名を祝イハひ

アール、アルドリジ作歌
ジョセフ、コスレット作曲

一、エスの御名をいはいはひ
讃め敬はむ

我等を救ふため 失せ給ひにき

塋墳の門を超えて
救済に歌ひ

罪人^{つみびと}をよびて
天^{てん}に
招^{まね}けり

三、犠ぎ牲せいのしるしなる
麵めん包ぱうと水みづとを

主(しゅ)を思(おも)ふ證(あかし)明(めい)に分(わ)配(か)て聖(せい)徒(と)よ

四、聖みの禮りは心こころを獎すすめ和やはし

聖徒の休息はむ時を示す

第五十八、 唱へ讃美の歌

ダブルユ、ダブルユ、フエルプス作歌
トマス、シー、グリグス作曲

一、 唱へ讃美の歌

安息の日來ぬ

三、 清き讃美の歌

楽しくうたへよ

人 皆 の

休む日よ

御めぐみの

しるしとて

讃美を唱ひて

神の御恵に

賜はる麵包をば

うくる其ほごも

感謝をさへげむ

皆唱ひてよ

二、 争なき日よ

聖き今日の日よ

四、 唱へ讃美の歌

御恵と愛を

御恵に

窮極なき

受けんため

食を斷ち

生命をもとめむ

主の記念なる

御旨のまに

祈をする間も

御餐賜はりて

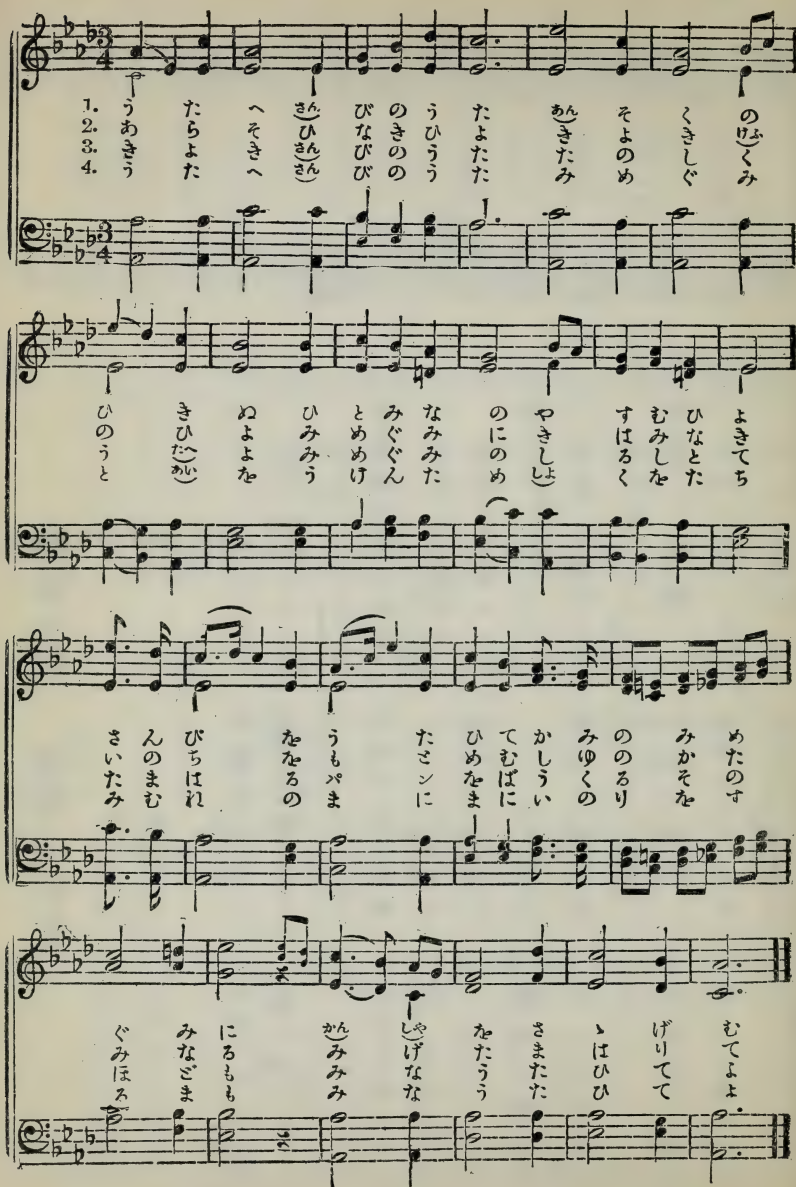
皆唱ひてよ

No. 58.

Gently Raise the Sacred Strain.

W. W. PHELPS.

T. C. GRIGGS.



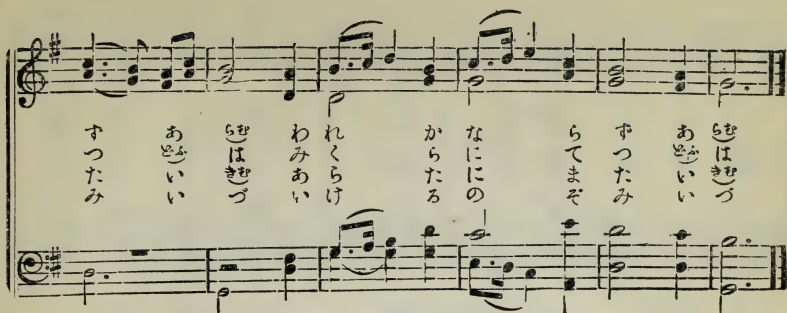
1. うあきう たらよた へそきへ さひんさん(さん) びなびび のきのの うひうう たよたた あんきたみ そよめ くきしぐ のりくみ

2. ひのうと きひた(かい) ぬよよな ひみみう とめめけ みぐぐん なみみた のにのめ やきし(し) すはるく むみした ひなとた よきてち

3. さいたみ んのまむ びちはれ をなるの うもパマ たさん(さん)に ひめをま てむばに かしうい みゆくの ののりり みかそを めたのす

4. ぐみほろ みなごま にるもも かん(かん)みみみ げげなな をたうう さまたた とはひひ げりてて むてよよ

For Our Devotions, Father.



第五十九

御靈の助乞ふ。

エチ、ダブルユ、ネズビット作歌
ジエ、シー、フオンズ作曲

一、父よ心もて
聖約を依頼ませよ
我必すあらむ
二、安息の日に給ふ
かしこき御旨ぞ
御座にて集ふは
三、分配よさきしパンを
福音に導けり
新にまた生きむ
四、力は言葉に
義務にとそがむ
生ける望出づ

御靈の助乞ふ
聖約を依頼ませよ
我必すあらむ
平和さまた生命
かしこき御旨ぞ
御座にて集ふは
しるしのさかづき
福音に導けり
新にまた生きむ
眞理の聲示し
義務にとそがむ
生ける望出づ

世間のおもひ離れ
「我が名に集はば
いとよき此の日は
貴き幸なり
神權は聖徒を
あな聖約の力
心地よき雨は
祈れる聖徒等に

No. 59.

For Our Devotions, Father.

H. W. NAISBITT.

J. C. FONES.

1. ち ゝ よ こ ゝ ろ も て み た ま の た
2. あん そ く の ひ に た ぶ へい わさし の た
3. わ そ け ゃ ひ し と ば に し り の こ
4. ち か ら さ ば に し と ば に し り の こ

すい けの ち ふい の お も ひ は な れ ち か ひ な
かし づめ き み ち かち きら せ あ は な む かに
し け し こ ち ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ

た の ま せ ふ ち か ひ な た の ま せ ふ
き み ち む ね ぞ ゃ か し こ み み ね ね
と そ び が り ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ

わ が な と に つ ご は ば ら わ れ か ら な ら
さ 一 な と き の ち な か り ら あ く た に ま
あ の の ち ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ ゃ

Oh, It is Wonderful.

CHORUS.

あ ふ か し ぎ よ わ れ な あい し て し に た
ふ し き

まふ と は き あ ふ か し ぎ よ ふ か し ぎ よ

第六十、

嗚呼不可思議よ。

チャルス、エチ、ガブリエル作

一、主エスの給ふ愛に驚く
其の恵のなごかく深き
罪人の爲に流されたる
十字架の血を見て身は慄ふ
嗚呼不可思議よ

二、(返) 我を愛して
嗚呼不可思議よ
死に給ふとは
不可思議よ

三、我が暗き心を救はむと
御座を降りますあやしきよ
いかなれば我等にまでかく
愛を施し義を得させ給ふ
刺されましける手足を思ひ
恵と愛とを何時か忘れむ
御座の前に跪きて
主の御恩恵を讃へまつらむ

No. 60.

Oh, It is Wonderful.

C. H. G.

CHAS. H. GABRIEL.

1. い エ ス の た ふ あ い に お ど る く そ
2. わ が く ら ま し こ ろ へ て な か ら と と み
3. さ さ くれ ま し け る て あ ら へ ら お ひ め

の め め み の な ご す か く ふ か さ き ざ
く ら み こ お り ま す い あ つ や し ら す れ い
ぐ み こ お り ま す い あ つ や し ら す れ い

い に の た め に な が さ ま れ た る (い)
く ら ら の ま わ れ に ひ ざ ま で き て (い)
く ら ら の ま わ れ に ひ ざ ま で き て (い)

Rit. — — — — —

じ か の の ち な み て み け ふ る 一
の ほ め こ し ゐ た え さ せ た (ふ)
の ほ め こ し ゐ た え さ せ た (ふ)

Words and Music copyright, 1898, by E. O. Excell. Used by permission.

スもげめば
エゴかゝは
しれにすが
ぬあたきた
のくのかし
ひかいたす
くじあてえ
すみひたた
はははもに
まのがさゝ
たとたりま
のこしあの
とのによせ
れれスキ
たたエロの
ききイひ
1. 2. 3. 4. 5.

くくです
べやまみは
一とにりま
もかんへた
すこえかに
にりきなら
もかよれ
とひきんわ
かぐはれみ
ゆびかよぐ
ひちみため
がみのなみ
たなよの
しらるにて
ざれたねべ
いわわつす

第六十一、來きたれこのたまふは。

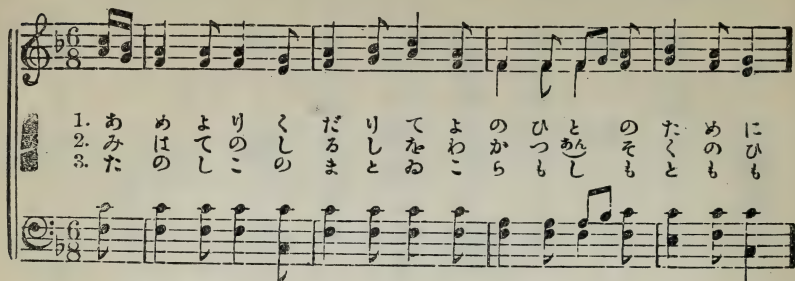
ジョン、ニコルソン作歌
エス、マクブルニ作曲

一、「來れ」どのたまふは 救の主エス
いざ從ひゆかむ 共に住まふべく
二、「來れ」の言の葉 短くあれども
我等を導く 光と輝く
三、イエスに從ふは 悲哀の谷蔭
わたる世のみかは 聖き永遠にまで
四、廣き世ありども たゞ高く進め
常に主を信賴れ 運命を顧みず
五、主の仰のまゝに 絶えず從は
すべての御恵 我等に給はらむ

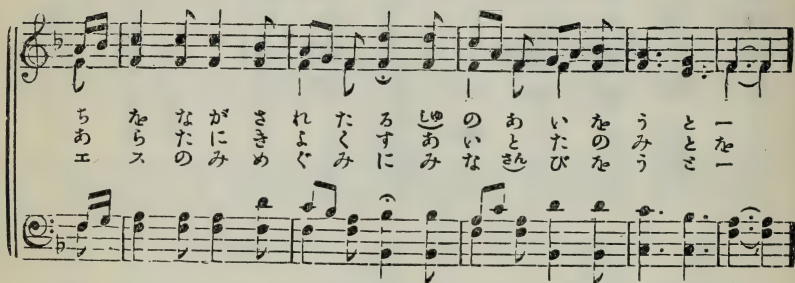
No. 62. 'Tis Sweet to Sing the Matchless Love.

GEO. MANWARING.

E. BEESLEY.

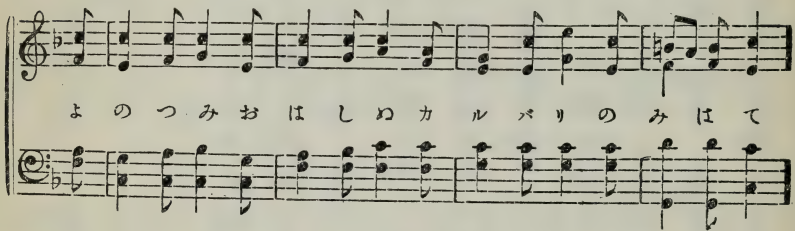


1. あみ めの よりの くし だる りし てよ の ひ と の た め に
 2. あみ めの よりの くし だる りし てよ の ひ と の た め に
 3. あみ めの よりの くし だる りし てよ の ひ と の た め に

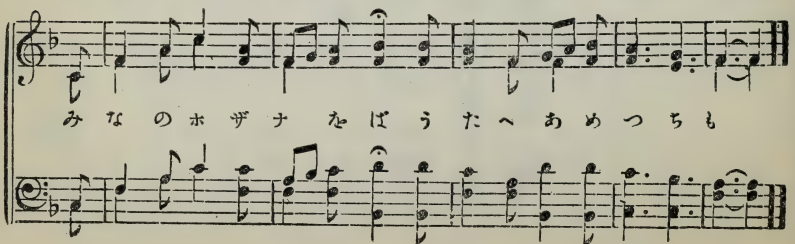


ち なら な が さ き れ た る い あ の う と 一
 あ エ ス の み め ゑ み あ な と き た の う と 一

CHORUS.



よ の つ み お は し め カ ル バ リ の み は て



み な の ホ ザ ナ を ば う た へ あ め つ ち も

第六十二、主の愛を歌ふ。

ジョールヂ、マンウエルイグ作歌
イー、ピースリー曲作

一、天より降りて

血を流されたる

世の人のために
主の愛をうたふ

(返折) 世の罪負はしぬ

カルバリの御最期

御名のホザナをば

うたへ天地も

二、御最期のしるしを

別つ安息の日

新に聖くす

愛と信仰とを

三、樂し此のまどゐ

子等も師も友も

エスの御恩恵に

皆讚美をうたふ

第六十三、救の岩

一、流れゆく我が船は

よし風に漂ふとも

父よ我はかく歌ふ

(折) 汝は救の岩 汝は救の岩

(返) 堅さいはほよ 強さいはほよ

救へ罪と害とより 我がかく歌ふ時

二、悲しき闇は至り

苦しき世せまるとも

三、天使の招きにあひ

われ此の世を去らむまで

1. な が れ ゆ く わ が ふ れ は よ し か ぜ に た
 2. な が れ し き や み が い た り く し きの よ せ
 3. み かつ か ひ の ま れ き に め わ れ こ の よ を

と ま る と も } ち 、 よ わ れ は か く う た な
 ら れ る ま で

は す く ひ の い は な は す く ひ の い は

か た き い は ほ よ つ よ き い は ほ よ す
 い は よ い は よ

く へ つ み と め と よ り わ が か く う た き

第六十四、

我靈の愛するエスよ。

チャールス、ウエスリー作歌
 ジョセフ、ピー、ホウルブルク作曲

一、我靈の愛する

エスよ御胸に

三、我主キリストよ

やめるをいやし

依らせ給へ主よ

世の雨風の

ころべるをおこし

めしいをたすく

あらしのさるまで

我身まもりて

君が名は清く

我身は汚る

天のかくれがに

かくまひたまへ

君は徳に充ち

我は罪どが

二、よるべなき此身

たゞ主にすぎる

四、主の高き徳は

我が罪をおほふ

望みもたよりも

たゞ君にこそ

命の泉より

救ひの流れ

御翼のもとに

おほひつゝみて

我胸の中に

湧きいでしめて

見棄てたまひそよ

はかなき此身

此身を清めよ

内よりとはに

No. 64.

Jesus Lover of My Soul.

CHARLES WESLEY.

JOS. P. HOLBROOK.

1. わ が らい の あ い す る エ ス よ み む れ に
 2. よ ら べ な き こ の み や ど め ゐ す い が や し
 3. わ が た か と く は わ が つ な み を お
 4. れ た か と く は わ が つ な み を お

よ ら せ た ま へ し ゑ よ の あ き め か ぜ の
 の ら せ た ま へ し ゑ よ の あ き め か ぜ の
 の ら せ た ま へ し ゑ よ の あ き め か ぜ の
 の ら せ た ま へ し ゑ よ の あ き め か ぜ の

あ ら し の さ る ま で わ が み ま も り て
 み つ が ば の は き さ お が び け り てる
 き わ が む の は き さ お が び け り てる
 き わ が む の は き さ お が び け り てる

て ん の か く れ が に か は く ま な ひ た ま へ
 み す の て と く れ が に か は く ま な ひ た ま へ
 み す の て と く れ が に か は く ま な ひ た ま へ
 み す の て と く れ が に か は く ま な ひ た ま へ

第六十五、 光の導き。

ジョン、エチ、ヌーマン作歌
ジョン、ビー、ダイクス作曲

一、主しゆよ此この闇ぐみの歩あゆみを

導みちびけ

たかぶりし其そのこゝろ

光ひかりなく遠とほく迷まよひし

此この身みを

すてはてゝ主しゆに従したがふ

主しゆの守まもりあらばわれ

三、御みちから力ちからにすがりて夜よの

あくるま

行ゆくてをみるを願ねがはじ

山やまを越こえ谷たにを越こえて

進すすまん

二、昔むかしし我われれ主しゆの守まもりを

覺さらず

あしたには笑えみたまふ

自みづから道みちを撰えらびし

愚をろかさ

天てん使しの御み顔かほむかへん

No. 65.

Lead, Kindly Light.

Rev. JOHN. H. NEWMAN.

JOHN. B. DYKES.

1. じよ こ の や み の あ ゆ み な み ち び
 2. む よ か の わ れ み の あ も り な み さ ち び
 3. み ち か ら に す が ま り の り ゃ あ く ら

け ひ か り な く と く ま ふ り ひ し
 ず み ま づ か こ み ち かに え こ び え して

こ の み な い の ま も り り あ ら ば わ
 お ろ か さん た か ぶ に し そ の た も
 す ー ま あ だ に は 点 み た も

れ ゆ て て を み る れ が は じ
 お す くん し の み しか ほ しむ た ご ー ー
 お す て し の み か ほ しむ た ご ー ー

第六十六、御許に導け。

オー、ビー、ヒュイシ作歌

一、主^{しゆ}よ御^み許^{もと}に導^{みちび}け

汝^なが御^み旨^{めい}をなすべく

暗^{くら}き夜^{よる}も朝^{あさ}けのごと

光^{ひかり}賜^{たま}ひて導^{みちび}け

二、つらき世^よより導^{みちび}け

なほよき世^よを教^{をし}へよ

常^{つね}に救^{すく}ひの御^み力^{ちから}賜^{たま}ひ

岩^{いど}どなり導^{みちび}け

三、死^し迫^{せま}るとき導^{みちび}け

我^わが恐^{おそ}怖^れをしづめて

汝^なが慈^じ悲^ひ賜^{たま}ひ耐^たゆる愛^{あい}もて

天^{てん}にと高^{たか}く導^{みちび}け

No. 66.

Guide Me to Thee.

O. P. H.

O. P. HUISE.

Slow, with expression.

p

1. ゆ よら み も と にり み ち び け
 2. つ せ き よ と き み ち び け
 3. し せ ま る と き み ち び け

な が み む れ を な な す べ く
 な ほ み き れ を な し し へ く
 わ が お え れ な し づ め て

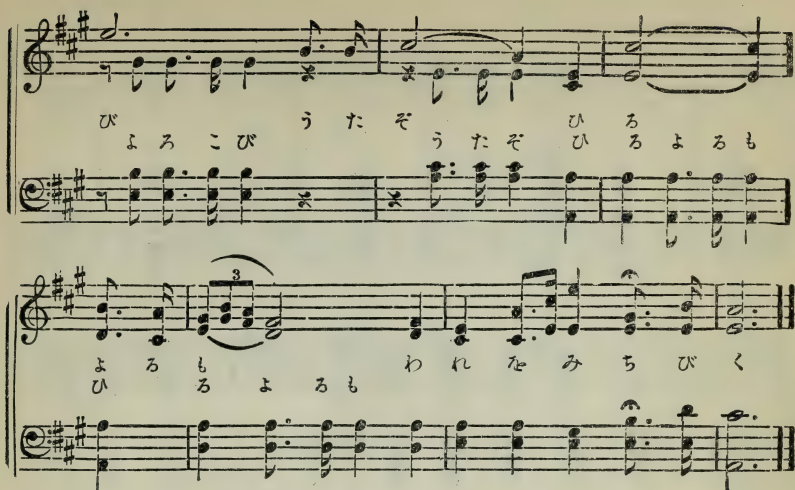
mf

く ら き よ る も あ さ け の ご こ
 つ れ に す くの の み た ゆ か ら い た ひ
 な が じ ひ た まい た め ゐ も て

p

ひ か り た き て み ち び け
 と かり り と な りく み ち び け
 てん に と た か け

The Lord is My Light.



第六十七、主は光ぞ。

ジエムス、ニコルソン作歌
ジョン、アール、スキニ作曲

一、主^{しゅ}光^{ひかり}ぞ など恐^{おそ}れむ

三、主^{しゅ}光^{ひかり}ぞ 力^{ちから}あり

夜^{よる} 晝^{ひる}に 近^{ちか}く護^もり

たよる者^{もの} つひに勝^かたむ

罪^{つみ}と憂^{うれひ}を救^{すく}ひたまふ

弱^{よわ}きを主^{しゅ}は強^{つよ}くせり

幸^{さいは}ふ御^み霊^{たま}かくにこそ

信^{しん}を踐^{ふみ}む身^みは幸^{さいは}絶^たえず

二、主^{しゅ}光^{ひかり}ぞ 雲^{くも}あるも
(返折) 晝^{ひる} 主^{しゅ}は 光^{ひかり}ぞ
夜^{よる} も

喜^{よろ} 悦^こび 歌^{うた}ぞ
我^{われ}を 導^{みちび}く

信^{しん}仰^{かう}目^めより よく照^てれば

四、主^{しゅ}光^{ひかり}ぞ たゞ頼^{たの}め

治^{をさ}むるエスを仰^{あふ}ぎ見る

御^み前^{まへ}には 暗^{くろ}きなし

なごて暗^{くら}きにとよまらむ

天^み使^{つかひ}聖^{せい}徒^とと讚^{さん}美^びしあはむ

No. 67.

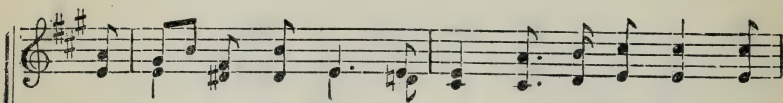
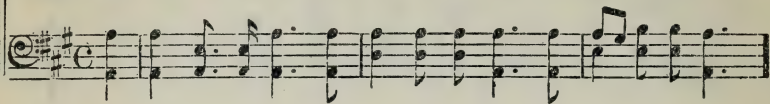
The Lord is My Light.

JAMES NICHOLSON.

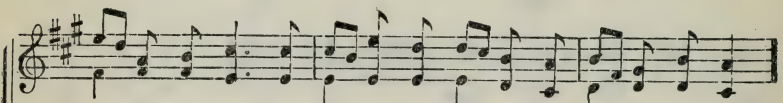
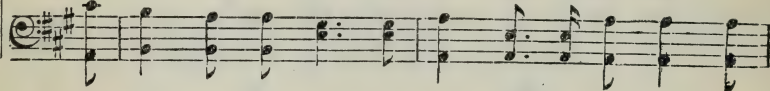
JOHN. R. SWENEY.



1. (しゅ) ひ か か り ぞ ぞ な く ご お そ れ ゐ よ る ひ る に
 2. (しゅ) ひ か か り ぞ ぞ な く ご お そ れ ゐ よ る ひ る に
 3. (しゅ) ひ か か り ぞ ぞ な く ご お そ れ ゐ よ る ひ る に
 4. (しゅ) ひ か か り ぞ ぞ な く ご お そ れ ゐ よ る ひ る に



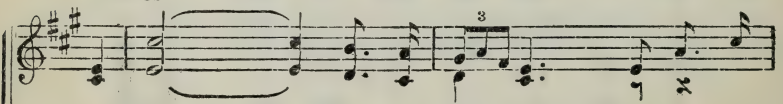
ち か く くて も り っ み と う れ を へ す
 ち か く くて も り っ み と う れ を へ す
 ち か く くて も り っ み と う れ を へ す
 ち か く くて も り っ み と う れ を へ す



く ひ た め さ き は み た ま か に く に こ そ
 く ひ た め さ き は み た ま か に く に こ そ
 く ひ た め さ き は み た ま か に く に こ そ
 く ひ た め さ き は み た ま か に く に こ そ



CHORUS.



(しゅ) は ひ か り ひ か り ぞ よ ろ こ
 (しゅ) は ひ か り ひ か り ぞ よ ろ こ



第六十八、主に近づかむ。

ジエ、エール、タウンシエンド作歌
ウキリアムクレーション作曲

一、主しゅに近ちかづかむ

御み許もとにゆかむ

三、主しゅに近ちかづかむ

御み許もとにゆかむ

常つねにつとめて

いいや近ちか寄よらむ

常つねに歌うたもて

いいや近ちか寄よらむ

たい主しゅにたより

主しゅに望のぞもつ

導みちびき給たまへ

祈いのり乞こふ身みをば

御み側そばに近ちかく

撫なで慈いつくめ

御み側そばに近ちかく

撫なで慈いつくめ

二、主しゅに近ちかづかむ

御み許もとにゆかむ

四、主しゅに近ちかづかむ

御み許もとにゆかむ

苦くに耐たへつゝも

いいや近ちか寄よらむ

神き聖よらかにして

いいや近ちか寄よらむ

謙く遜だり謙く遜だりて

ひひれ伏ふし祈いのる

惱なやみ終をはりて

羸かち得うる報むく酬い

御み側そばに近ちかく

撫なで慈いつくめ

御み側そばに近ちかく

撫なで慈いつくめ

No. 68.

Nearer, Dear Savior, to Thee.

J. L. TOWNSHEND.

WILLIAM CLAYSON.

Andante.

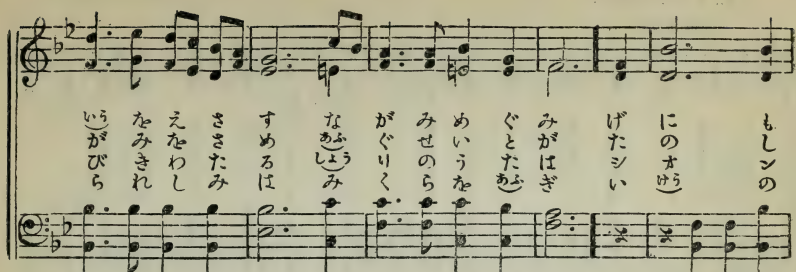
1. しゅ に ち か づ か む み も と に ゆ か
 2. しゅ に ち か づ か む み も と に ゆ か
 3. しゅ に ち か づ か む み も と に ゆ か
 4. しゅ に ち か づ か む み も と に ゆ か

つ ね に た つ と め て い や ち か よ ら む
 つ ね に た つ と め て い や ち か よ ら む
 つ ね に た つ と め て い や ち か よ ら む
 つ ね に た つ と め て い や ち か よ ら む

た だ しゅ に た よ り り しゅ に の そ み も つ
 く だ り に た ま り ひ れ の し い み の ば
 み な や び き は ま り い の ち り む く い
 な や び き は ま り い の ち り む く い

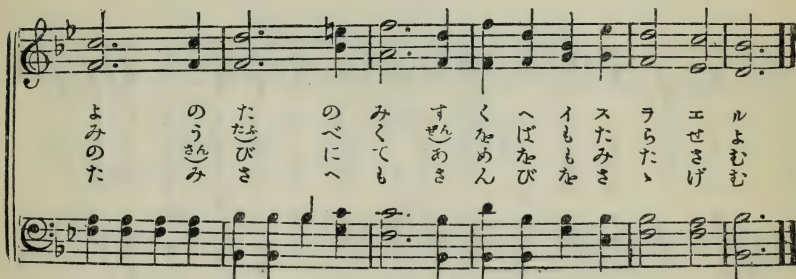
み そ ば に ち か く な で い つ く し め

Come, O Thou King of Kings.



もしんの
にのさけ
げたしい
みがはぎ
ぐとたあ
めいうを
みせのら
がぐりく
なふしう
すめるは
さきたみ
えなわし
なみきれ
いがびら

げにも



ルよむむ
エせさげ
ラらたゝ
スタみさ
イもを
へばなび
くをめん
すぜんあ
みくても
のべにへ
たふびさ
のうさみ
よみのた

よげにもよのた

第六十九、來ませ王の王。

パーリ、ビー、プラット作歌

一、來ませ王の王、
自由を得さす
罪をば滅せ
汝が御治め
樂しみ歌ふべく
救はれたる
響きわたる
シオンの讚美にて
生命の君
選られし身は
異教の民さへも
待ちに待てり
汝が御恵
救へイスラエル
火に淨めよ
仰ぐ聖徒が
善をばもたらせよ
人々よ
勝利の歌は
天をも満さむ
平和の君
御座を仰ぎ
讚美を捧げむ

No 70.

Redeemer of Israel.

W. J. W. PHELPS.

1. よろこびたよ りて めづ みを ぶは イ
 2. いはかあひの しに つま まどり シ
 3. いシ
 4. シ

ス ラ ェ の す ひ め し ひ る は か
 ゾ シ にな とのか りた もし 一 な に は い わ
 ゆ し る の には や み か ぎ き は し
 し

げの や る は は し ら め は ら わ が す す ま く ひ の め
 が た な に な は な と ゃ あ い う の を い イ
 め ん こ く な え と む し の す く は や し
 ん

No. 69.

Come, O Thou King of Kings.

P. P. PRALT.

1. き ま せ わ の わ ま ち に き ま て り じ
 2. つ み せ ば の せ ら ひ と び よ り な
 3. す く の ち の た る へ い わ よ み え
 4. い の ち の き み

第七十

イスラエルの救主すくひわし。

ダブルユ、ダブルユ、フェルプス作歌

一、喜び依頼よろこびたより

恵めぐみを希こふ

三、いかに久ひさしく

罪つみにまごひ

イスラエルの救主すくひわし

主しゅを野のに呼よびしか

晝ひるはかげ

夜よるは火は柱ち

敵てきは我わが苦くを笑わらふとも

王わうは我わが救すくひの主しゅ

自由じゆうを得えむイスラエルは

二、主しゅは愛あいをもて

羊ひつじをば

四、シオンの子等こらによき消な息き

シオンシオンにと驅かり給たまふ

みしるしははや見みゆ

何なにを死しの

谷たにに泣なかむや

善ぜんに勇いさめ天てん國こくを得えむ

荒野あらに迷まよはむや

主しゅの救すくひは近ちかし

No. 71. God Moves in a Mysterious Way.

COWPER.

Arranged by E. D. MANN.

1. 2. 3. 4. 5. 6.

すくはれにら
めなわがでか
しちもすまち
ざまくにひみ
わやかてくの
みあわみさし
ててよくんど
もめならね
きてさとら
しみいこなし
くきよ一はは
はしとこれひ
みよいたむし
かたせうみめ

むすなめしん
ゆまるのあみ
あひづたばな
ななめほけし
みこながらか
うおなふひあ
ててるれそ
めるもざあこ
づいえみの
しこあみぼも
なみるにつる
しきたてきず
らかちもがん
あふみおにし

第七十一、神はくしきもて。

カ ウ ベ ル 作歌

イー、デー、マヌ作曲

- 一、神はくしきもて
あらしをしづめて
みわざ示す
海をあゆむ
あやまちなく
おこなひます
わかぬ雲井は
汝をめぐるを
御手にすがれ
ゑがほたのめ
咲く日まで
開けばあまし
主の御ちから
あかしを見ん
- 二、正しき御手もて
深き御こゝろを
みちたる愛もて
うたがふことなく
おもてに見ざる
御旨は成るらん
にがき蕾あれ
官はしらねど
信する者こそ
- 三、聖徒よいさめよ
みちたる愛もて
うたがふことなく
おもてに見ざる
御旨は成るらん
にがき蕾あれ
官はしらねど
信する者こそ
- 四、うたがふことなく
おもてに見ざる
御旨は成るらん
にがき蕾あれ
官はしらねど
信する者こそ
- 五、御旨は成るらん
にがき蕾あれ
官はしらねど
信する者こそ
- 六、官はしらねど
信する者こそ

第七十二、世の救主よ。

ジエ、エール、タウンシエンド作歌
ウキリアム、クレーション作曲

一、世の救主よ

巖なす主よ

三、正しくたしかに

歌ひて進め

低き吾が身もて

御旗揚げむ

我が力は見ゆ

戦ふごとに

(返折) 若き力もて

寄れ旗の手に

四、吾等が求むる

義に勝を得て

(返) 眞理に戦ふ

ゆくてに利あり

此の世のはたらき

終らむ時に

二、罪に敵対ひ立ち

義に戦へり

(返折節四) 世の救主よ

巖なす主よ

勝閑あぐべく

主よ助けませ

(返折節四) 低き吾が身より

御旗をさめなむ

No. 72.

O Thou Rock of Our Salvation.

J. L. TOWNSHEND.

WM. CLAYSON.

1. よつ の す く ひ わ し よ い は ほ な す し より
 2. つま み に む か た め ひ し た か り ぎ た ひ な か す え りめ
 3. わ さ ら が も と と む り ん へ た ひ て な ら へ
 4. わ さ ら が も と と む り ん へ た ひ て な ら へ

ひ か く き わ が あ み も て み は た か け ま む
 わ ち り き か あ ら ぐ べ く し た よ た こ ー げ と き に
 こ の ち ょ の は た は へ は ら ー む り ん

CHORUS.

わ か き ち か ら も て よ れ は た の て に
 四節折返
 よ の す く ひ め し よ い は ほ な す し よ

し ん り に た こ ー ゆ く て に り あ り
 ひ く き わ が み よ り み は た な ら へ り

第七十三

主よ我をば捨てな。

オー、ピー、ヒ ユイ シ作

一、主よ我をば 捨てる 三、主よ我をば 見棄つな

耳そむけず 願き、 乞ふなかに居て 小くとも

嘗て行ける 道を 野と荒れにし 生命は

復たふませず 率て行かせ 主のめぐみに 花咲かむ

二、主よ我をば 失ふな 四、主よ我をば 愛し給べ

浪に漂ふ 船のごと 主に逐はれて 生くべきか

罪の大水 追ひ來なば 疑の海に 迷ふ鳩

案内に舵になり 給へ 愛の外には 休みなし

No. 73.

Do Not Forsake Me, Lord.

O. P. H.

O. P. HUISE.

Moderato.

1. しゅ よ わ れ な ば なう す て そ
 2. しゅ よ わ れ な ば なう す て そ
 3. しゅ よ わ れ な ば なう す て そ
 4. しゅ よ わ れ な ば なう す て そ

みな み そ む け す れ が ひ き き
 なみ なにか した あふ さく の こ も
 (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ)

か つ て ゆ け る み ち な ば
 の う と の あ ほ れ に し い は
 (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ)

ま た ふ ま せ す め な て ゆ か か せ
 あ の め に ち に は り た ま (ゆ) か せ
 (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ) (しゅ)

Used by permission.

That the Lord Will Provide.

か み は そ な ふ は そ な ふ さ れ ば た の め で ん た
か み

お ー ぎ て し ゅ は ち ゝ な り そ な へ ま す

第七十四、神は供給ふ。

ジエ、エール、タウンシエンド作歌
エヴァン、ステヴエンス作曲

一、神は供給ふとちかはせ給ふ
三、天の救に何なか給ふ

汝正義の者に向ひて
知られども貧しき時

されば信頼め天を仰ぎて
しばしば給ふ努むる時

主は父なり供給へます
主は智をもて賜び給ふ

折) 神は供給ふ
神は供給ふ

(返主) されば信頼め天を仰ぎて
供給へます

二、天の倉庫よりなごて供給ふる
四、天の倉庫より何時か供給ふる

知られどもしかも祈らむ
御助に聲は聞かず

貧しき時救ひたまへば
とく賜ひば試み給ふ

主にたゞ乞ふ賜び給へ
さはあれ常に供給へます

That the Lord Will Provide.

E. STEPHENS.

りおてに
 そたそ
 なびな
 へたへ
 ままも
 すへす

か み は そ な
 か み は そ な

第七十五、 苦は妨碍とも。

イライザ、アール、スノー作歌
ジイ、カル、レス作曲

一、 苦は妨碍ぐとも

進め 神の聖徒

三、 神をほめたへ

絶えずに喜べ

よみがへりの日は

やがて満ち満ちむ

苦多き世にても

エスはのたまへり

光と生命と

「信頼め平安からむ」と

二、 禍殃の待つ世も

時は長からず

四、 讚美せむ神の御名

直き僕もて

やがてエスの君

輝く御群と

世人を導き

教の道をば

復た世に來まむ

弘めませる神

No. 75.

Though Deepening Trials.

E. R. SNOW.

G. CARELESS.

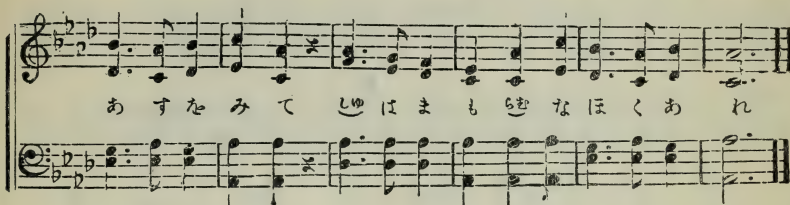
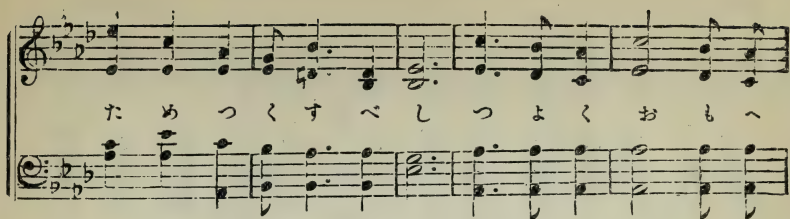
1. く は さ ま た ぐ と も す め
2. わ ざ ひ の の め
3. か み れ を ほ か た め の へ な た は
4. さん び (を) せ び せ び せ び せ び せ び

かな み の せ ん や み が て ヘ リ
に が か ら ら ぐ お ー エ ス
し も べ こ び こ な よ み

の ひ は や が て み ち み ち
の き き み か が や の み ま れ
に て き も エ し へ の ま ま へ

む ひ か り そ い の ち さ
と ま た た り に き ま か ら と
り び や す ま か と み

Do What is Right.



第七十六、直くせよ。

一、直くあれ日出現れ

自由と光ほぎ迎ふ

天使は我がなすわざを

書き給ふ直くあれ

折) 直くあれやためらはす

自由のため盡すべし

強く思へ明日を見て

(返) 主は護らむ直くあれ

二、直くあれ枷械ゆるみ

奴隸の鎖今どれむ

漸々輕からむ望あり

理は通る直くあれ

三、直くあれひるますに

進め行く手は近し

涙もやがて乾きなむ

褒美は待つ直くあれ

f

1. な ほ く あ れ ひ あ ら は れ じ い と の
 2. な ほ く あ れ ひ あ ら は れ じ い と の
 3. な ほ く あ れ ひ あ ら は れ じ い と の

ひ か り ほ ぎ む か み つ か は ら わ が
 く さ り い ま ち さ れ な や か だ も か や が
 ゆ く て は

な す わ さ な り か き た も 一 な ほ く あ れ
 の ぞ み あ り り は ば ま る な ほ く あ れ
 て か わ な う は

CHORUS.

f

な ほ く あ れ や た め ら は す じ い の

七十七、義のために祈り。

ダブルユ、ジー、ヒクソン作歌

一、義のため祈を

天に あぐ

敗れて光榮ある

故人をわれ追懷ぶ

貴き戦も

義のため

義をたゝ

得させよ

誠意は天に知れ

功績は地に成る

三、義のため忍びて

よく耐へむ

義をたゝ

得させよ

恐るべきことは

世に無し

二、義のため祈を

再あぐ

苦もあれ勞もあれ

功は成らむ天の時

負くとも撓まじ

義のため

義をたゝ

得させよ

No. 77.

God Speed the Right.

W. G. HICKSON.

f *mf*

1. ぎ の た め い の り な てん に あ ぐ
 2. ぎ の の た め い の の り な てん に あ ぐ
 3. ぎ の の た め い し の の り な てん に あ ぐ

f *mf*

た と き た と か ひ も ぎ の た め
 ま と く と ろ も べ き こ ま と じ ゃ ん に な し
 お そ へ き こ め と じ ゃ ん に な し

f

ま こ と は てん に し れ い さ な は
 や ぶ も れ ほう えも あ れ こ は な わ
 く も れ らう も あ れ こ は な わ

ff

ち に な る ぎ な た ど え さ せ よ
 れ し の こ ぶ き な た ど え さ せ よ
 れ し の こ ぶ き な た ど え さ せ よ

第七十八、

固き信仰の基。

キ ル ク ハ ム作歌

一、聖徒よ神は汝が信仰の

固き基を授けます

御言葉はいと貴きぞ

イエスにたい依頼る者よ

イエスによりのかる者よ

二、運命はともかくもあれ

強に弱にはた貧に富に

内に外に海に陸に

汝の乞ひて求むる時

何時にても救ひ給はむ

恐るな我は汝が神

常に汝と共にあり

汝を助け汝を強くす

四、

我に従ひて苦を渉れ

其の水汝を溺らさじ

我汝と共にあれば

懊惱をばめぐみ助けて

厄災をば清く掃はむ

イエスにたよる者をば

いかでか敵にまかせむや

よし地獄のせまるども

我彼を豈見棄てむや

彼等をば我救ふべし

五、

How Firm a Foundation.

1. せいのとめよ
2. せいのおわい
3. せいのおわい
4. せいのおわい
5. せいのおわい

のれみれば
かあかたを
いみがわの
がくなをも
なかはくる
はもれてよ
みとわがた
かはなたに
よいるしス
とめそにエ
かきつそい

たにねのか
きみにみで
もくなんづか
とにちなて
なほとをき
さたとおに
づみもぼま
けににらか
まふあさ
すにりじや
みうなわよ
こちをれし
とにたなんぢ
ばさすぢご

はにけとく
いうなとの
さみをせ
たふにつにま
とくよある
きかくれと
ぞにすばも
イなみなわ
エれちやれ
スのかみか
にこらなれ
たひあはな
だてりめあ
たもたぐに

よはははは
のまたらべ
もたりはは
るひもくす
がくまよれ
のすなきわ
りもぢばば
よてなんを
ににてはら
スつにざれ
はいてわか
よきがてや
のさわけむ
もるきすて
るむしたす
よさだみみ

No. 79.

Praise Ye the Lord!

WATTS.

E. STEPHENS.

Animato.

1. じゅ の み は た の ら き は わ れ も
 2. ひた との はし たき イ ス ラ きな はし の く に み の
 3. た の の し たき イ ス ラ きな はし の か み な

ときた もみよ にだる せにも むもの こいち のきか よたひ にえは あてな

らはる むきべ もゆし かたじけなく みけは にきよ のそを ぼのつ らちく むかれ もらり

第七十九 主の御働き。

エヴァン、ステヴエンス作曲

一、主の御はたらきは
 我も與にせむ
 下界にあらむも
 神に昇らむも
 人間は頼なし
 國の君だにも
 息絶えては滅ゆ
 威きそ
 樂しきイスラエルの
 神をたよる者
 誓約は成るべし
 主は天地を造り

No. 80.

Come, Dearest Lord.

WATTS.

E. STEPHENS.

1. み か み よ く だ ら せ た
 2. き か り へ ち だ も ら せ わ
 3. わ た ら が お も ひ の お

の み さ あ い も て わ れ ら
 れ ん ら ね あ ま ち ば ら す べ な て

が こ と ろ に え い は ぬ よ
 の け ゐ ゐ み の は た う か ま ひ ひ さ

ろ こ び あ ち は ひ し る べ く
 ろ さ ざ ゐ ふ か エ な し る べ く
 へ け ゐ ゐ こ こ エ ス に る べ く

第八十、御神よ降らせ。

ワ ー ツ作歌

エヴァン、ステヴァエンズ作曲

一、御神よ降らせ
 信たの仰みとよ
 我れ等が愛もら
 え言はぬ喜が心も
 來りて味ひ知るべく
 吾れ等なきにれを
 はてなき恵給は
 高さを廣さを深さを知るべく
 吾れ等がおもひの
 及おばぬは
 すべての
 尊敬捧げむ
 御子エスによりて

第八十一、美なる島。

ツエ、エス、フエリス作曲

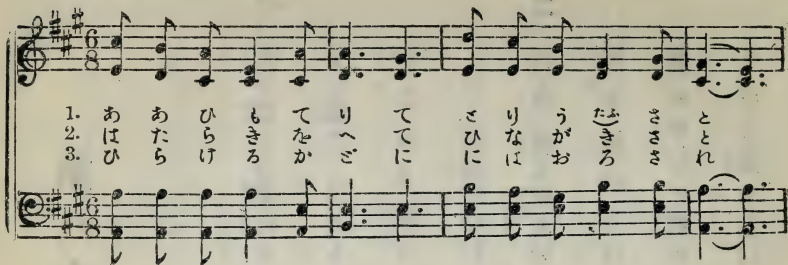
一、あゝ日も照りて鳥歌ふ郷
 哀しみよ去れよし主ませば
 折其處こそ我が樂しき島
 (返新たなる眞理の地) 我が美なる島
 二、はたらき終へて日永き郷
 心は強く褒美は獲らる
 三、開ける門に荷はおろされ
 あゝ雲晴れて天使待つ

No. 81.

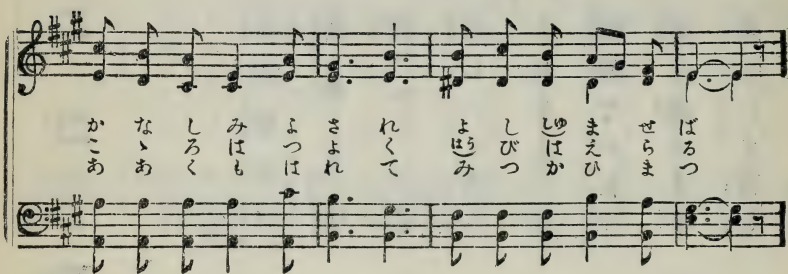
Beautiful Isle.

JESSIE B. POUNDS.

J. S. FEARIS.

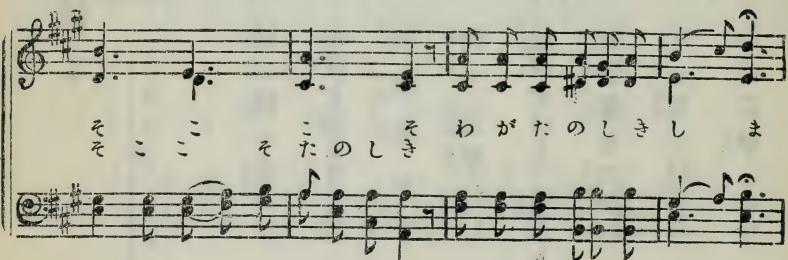


1. あ ば ひ も て り て さ り う たふ さ と
 2. あ ば ひ も て り て さ り う たふ さ と
 3. ひ ら け る か ん に に は お きろ さ と

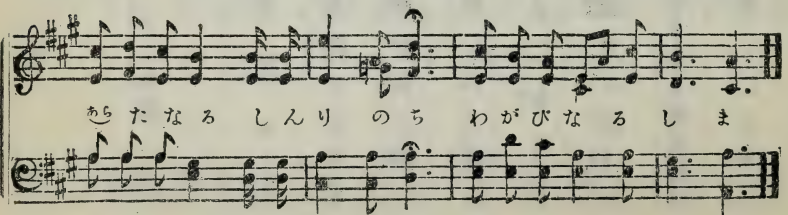


か な し ゐ み ふ さ れ よ し し ま せ ば
 こ あ あ る ほ つ は り び は か え ひ ら ま つ

CHORUS.



そ こ そ こ た の し き わ が た の し き し ま



あ た な る し ゐ り の ち わ が び な る し ま

Words and music copyright, 1897, by E.O. Excell. Used by per.

第八十二、恐るな聖徒よ。

ウヰリアム・クレイトン作歌

一、苦を恐るな聖徒よ

よし旅はつらくとも

かひなき憂は

よろこび満ちなむ

二、吾が世々憂と思ふか

戦を厭ひなば

身を甲ひて勇め

やがて語りなむ

汝が道ゆけ

恵來らむ

拂ひつくしてよ

善しいと善し

さはあらしな

報酬なからむ

神は護ります

善しいと善し

三、神の國を索めむ

聖徒を惱ますもの

歌聲高めて

斯く言舉せむ

四、旅はをはらで逝くも

吾等憂をのがれ

もし又ながらへ

いかに歌ふらむ

西遙かに

其處にあらず

神を賛め稱へ

善しいと善し

よし幸なり

潔きと住まむ

やすらふ聖徒見ば

善しいと善し

No. 82.

Come, Come, Ye Saints.

W. CLAYTON.

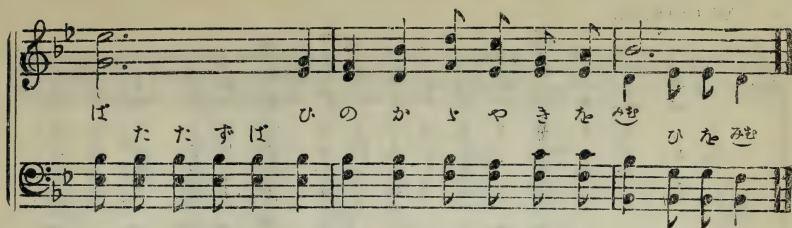
1. くわ おそ るな せい とよ よな がみ みる ゆけ
2. なが おの うに しと おめ かあ はし ちな にな
3. かた びは には から で ゆく もさ しち かな り
4. た びは には から で ゆく もさ しち かな り

よた し た び は つ ら く と も め め め め
せ い か た ひ な いや さ な の ぼ め め
わ い ら たら なれ ひ ま が の れ め め
せ い ら たら なれ ひ ま が の れ め め

か ひ な き う れい ひ は は は
み た ご ろ た い が め ら か か
う た ひ ら が め ら か か
な た ひ ら が め ら か か

し て よ ろ こ び み た ち な む
り ま す が く こ とう あ り な む
た み ば い か こ とう あ り な む
た み ば い か こ とう あ り な む

If the Way be Full of Trial, Weary Not.



第八十三、 勞るな。

一、 苦ある路にも勞るな

拒否むものにも勞るな

今は悲しとも

樂み見るべき

刈入に望絶つな

折途に勞るな 運はともあれ

(返望絶たすば 日の輝を見む)

二、 路悲しとて勞るな

明日は幸福あり勞るな

ダブルユ、エチ、フラヴィル作歌
ジョン、アール、スキニ作曲

今は苦をもうけ

誘惑をも忍べ

救あらむに望絶つな

三、 災殃ありとも勞るな

主の助あり勞るな

誰か主の愛より

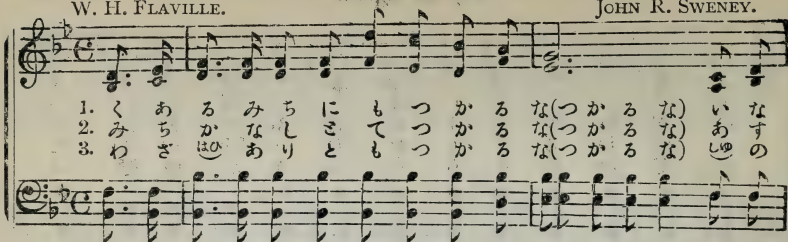
我等を離し得む

主をいはひて望絶つな

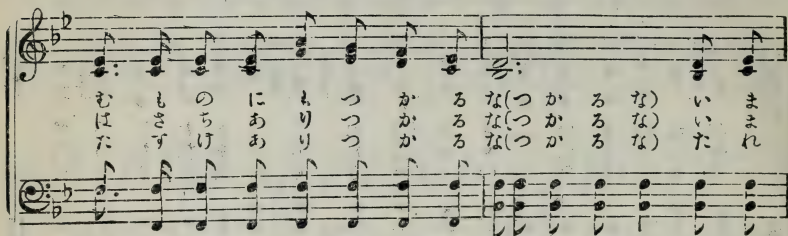
No. 83. If the Way be Full of Trial, Weary Not.

W. H. FLAVILLE.

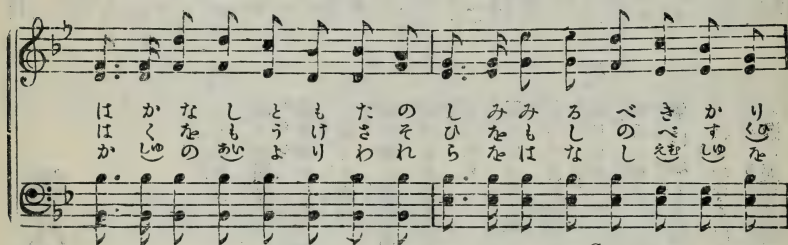
JOHN R. SWENEY.



1. く あ る み ち に も つ か る な(つ か る な) い な
 2. み ち か な し と て つ か る な(つ か る な) あ す
 3. わ ざ は あ り と も つ か る な(つ か る な) い の

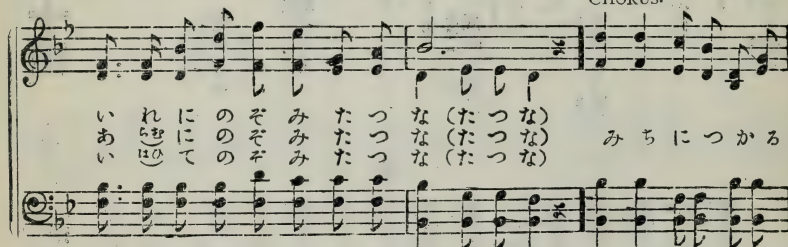


む も の に も つ か る な(つ か る な) い ま
 は さ の あ り つ か る な(つ か る な) い ま
 た す け あ り つ か る な(つ か る な) た れ

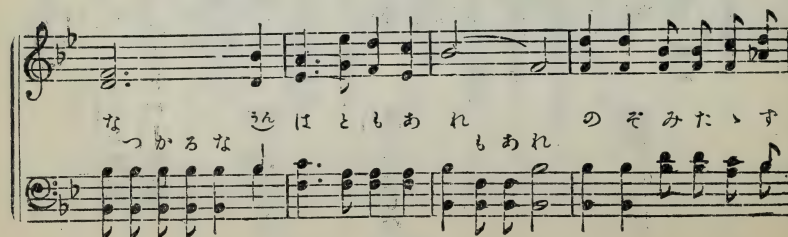


は か な し と も た の し み み る べ き か り
 は く な の う よ さ ら ひ な も し の し べ す し
 か め の め り わ ら な は し な し べ し め ゐ

CHORUS.



い れ に の そ み た つ な (た つ な) み ち に つ か る
 あ め に の の み た つ な (た つ な) み ち に つ か る
 い は の の み た つ な (た つ な) み ち に つ か る



な つ か る な う は と も あ れ も あ れ の そ み た す

Try It Again.

のよの ぞぼぞ みわみ はるの あくそ りもら かかく ぜたも ふりき くふえ まべゆ にしむ なたゆ
 ぎゆく なまさ ばずき ままま たたた ここと ろろし ゐむ ゐめ たたさ ちちら ててに ままま たたた たたさ ちちら ててに

第八十四、

また試みむ。

一、よし人生は
 潮のごと

満千絶間なく
 暴風雨おこりて騒ごとも

か弱き生命の

船の軸に暫時立ち

帆はまきおろすとも

望はあり 風吹く間に

風なばまた試みむ

起ちてまた起ちて

二、谷には山 荒れには風

痛みに樂み

望に恐ともなふは

これ世のならはし

不運に遇ひて朋友も去り

ジョン、ライオン作歌
 ジエ、エルドレー作曲

汝が望破らむと

世は悪くも 談り合ふべし

挽まずまた試みむ

起ちてまた起ちて

三、別れの苦や 悔のかなしみ

苦の溜息みな

望なき心をわれに

たと思ひ知らず

雨の太陽をかくすこと

涙眼をおほふとも

希望の空

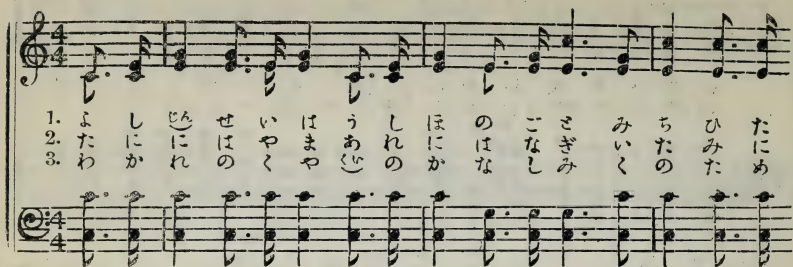
行く先また樂め

更にまた更に

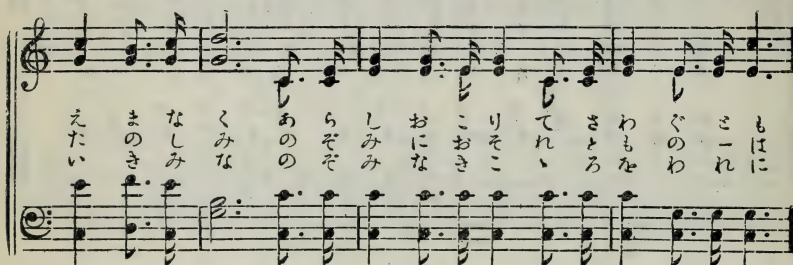
雲消えゆかむ

JOHN LYON.

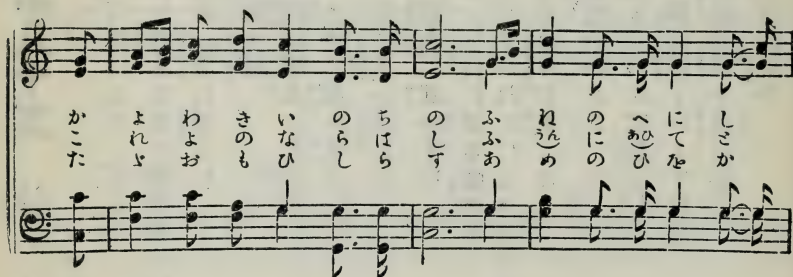
J. EARDLEY.




1. ふた しに じに せは いや ばま うあ しれ ほに のは ごさ みく ちた ひた たに
2. わ か ね の や め の か な し み の た た め
3. わ か ね の や め の か な し み の た た め



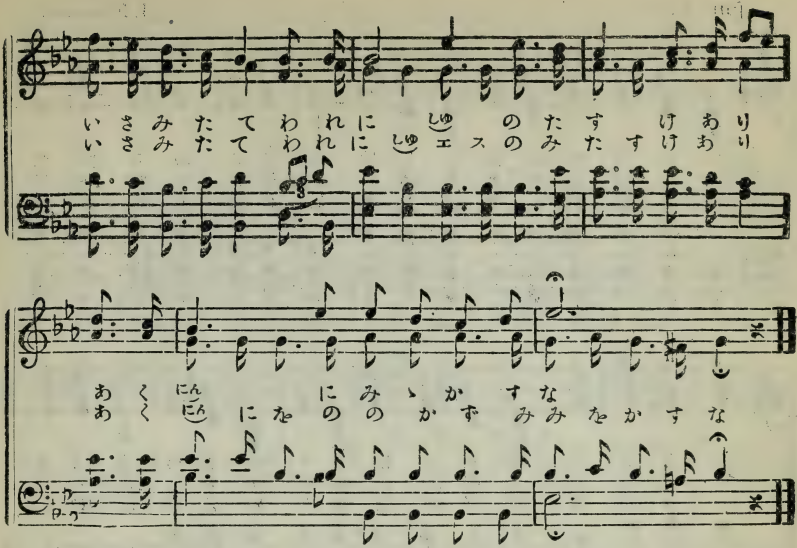
えたい まの なし く あの らぞ しみ おに こり てれ さわ めの ころ もほ
たい き み な の ぞ み な き こ れ ろ わ れ に



か よ わ さ い の ら の ふ ね の に へ に し
こ れ お の も な ら し す あ め の に ひ て か
た ん お も な ら し す あ め の に ひ て か



ば し た ち ほ は ま き お ろ す さ も
も し た り な が の ぞ み や ぶ ら と
く す こ り な み だ め な お ぽ さ と
も す こ り な み だ め な お ぽ さ と



第八十五、神のはたらきに進み。

エヴァン、ステヴエンス作

神のはたらきに進みて
世を終る日に報酬得なむ
義の戦に揮はむ
真理の剣
敵は嘲るども
折れぬ勇み立て
我に主の助あり
(返) 悪人に耳かすな
退く目に見る敵兵は
よしやわれらにまさるども
見えぬ力ぞ救はむ
(いん) 真理のいくさ
直きものには恐なし
み神は近くいますゆゑ
聖徒は苦を救はれて
真理に榮ゆ

No. 85.

Let Us All Press On.

E. S.

E. STEPHENS.

Allegretto marcato.

1. か み の は た ら き に す す み て ふ を
 2. ひ く な ほ め に ら る に へ し は よ し か
 3. な ほ き も の に に は そ な し み み か

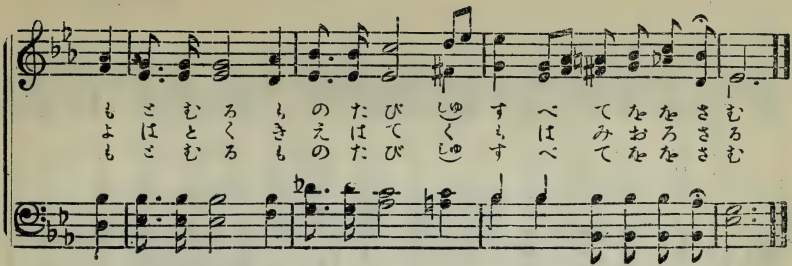
な う る ひ に む く い え な ギ の た た
 や わ れ ち ら に ま き と も み え い め と ち
 み は ち か く ま す ゆ せ い と ね は

か ひ に ふ る は む し り の つ る ぎ
 か ひ ん ず く は れ む し り の つ る ぎ
 く ら ぞ す く は れ む し り の つ る ぎ

CHORUS.

て が き は あ さ け る と も か れ お そ れ す
 わ が き は あ さ け る と も か れ お そ れ す

When Dark and Drear the Skies Appear.



第八十六、

黒き雲おほひ來て。

イー、エチ、ウードマンセ作歌
ジヨセフ、ジェ、デエンズ作曲

一、黒き雲
疑うたがひ 恐る 主すべてを治む
願ふ 神の愛と光
要む 主すべてを治む
主は幸運を
我がおもひ
世の愛を索む
神の愛を索む

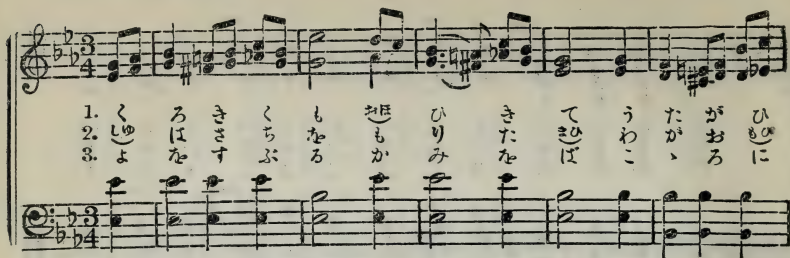
おほひ來て
せまることも
日近し
まゝなる
もの賜び
守り給ひ
天にのぼす
荒るれば

三、雲は瞰下さる
心にかでかに 神を
世を統ぶる 神を
うき世のくるしみ 恐る
平和に あたなす
計策はならじな 者の
要む 者の
主すべてを治む 賜び

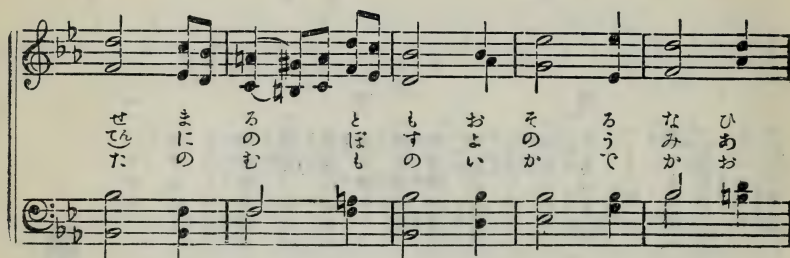
No. 86. When Dark and Drear the Skies Appear.

E. H. WOODMANSEE.

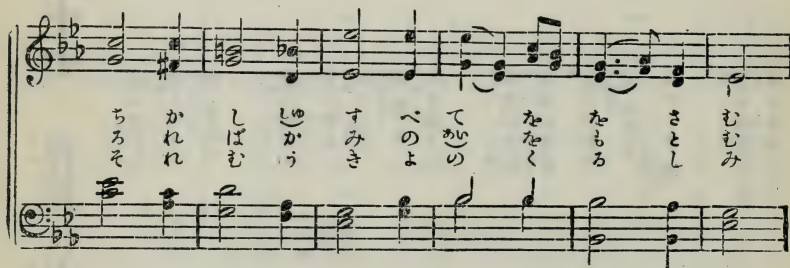
JOS. J. DAYNES.



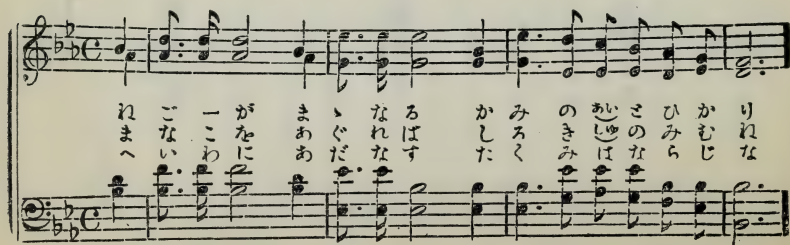
1. く る き く も 世 ひ き て う た が ひ
 2. (ゆ) る は さ ち な も かり きた て わ た が お
 3. よ る を す ぶ る か み な ば こ る に



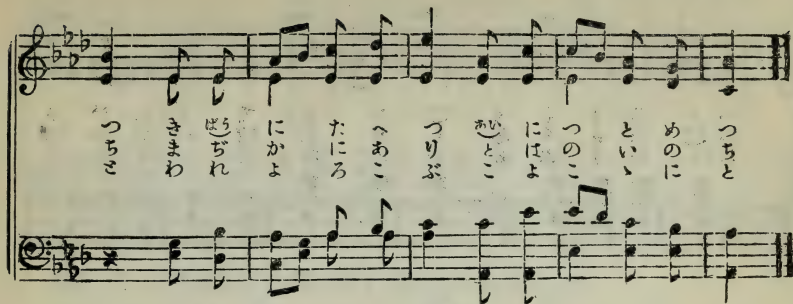
せ ま る と も す お そ る な ひ
 た に の む ぼ の い か で みか お



ち か し し す べ て な た さ む
 る くれ ば かい み の ろ も と し む
 そ れ む か う き よ の く る し み



れ ご 一 が ま い な る か み の あい さ ひ か り
 ま ない こ な に ば す した る き し の みら む ね
 へ ない こ な に ば す した る き し の みら む ね



第八十七、再旅に立たむ。

一、いでや再

やすみなく

よろこびもて

我が智を増さむ

希望に耐へつ

希望に耐へつ

夢の世や

疾く去りて

矢は飛び去り

平和の時よ

目近にあり

目近にあり

主見ゆる日

「よく戦ひ

聞かしめ給へ

「忠實なるわざ

われ喜ぶ

「われ喜ぶ

旅に立たむ

主イエスの

神意遂げ

愛に努めつ

愛に努めつ

愛に努めつ

流るゝ日

瞬間も

時は過ぎぬ

とはいのち

永遠の生命

永遠の生命

言はせ給へ

仰のわざ

うれしき

来よ此處に」と

来よ此處に」と

来よ此處に」と

出でますまで

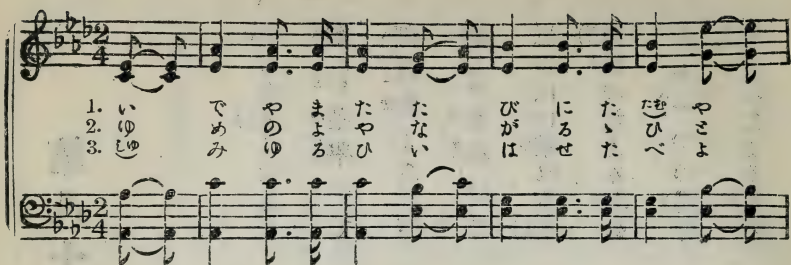
止む時なし

皆成せり」と

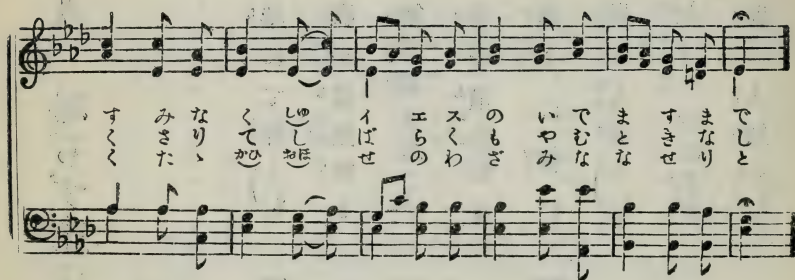
No. 87.

Come, Let Us Anew.

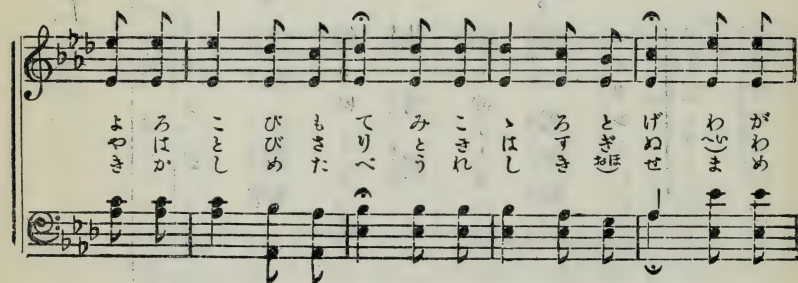
WESLEY'S COLLECTION.



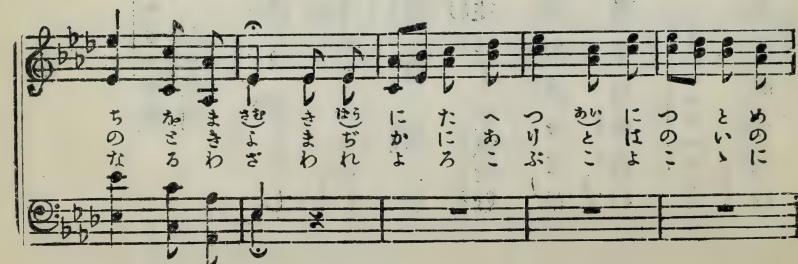
1. い で や ま た た び に た ひ や
2. ゆ め の ま た ない が る た ひ さ
3. め み ゆ ろ ひ は せ た べ ー



すく み なり くて し い エ ス の い で ま す ま で
く さ た か ひ ほ ば ち ら わ や み な な き な り と



よ ろ こ び も て み こ へ ろ と げ わ が
や ば し こと び さ り とう き は す ぎ ぬ ま わ
き か し め た べ ー せ し き せ せ ま め



ち の か ま 趣 き ち た へ つ あ い つ の と い め
の な へ ま ふ ぢれ にか り あ こ に よ こ い に

第八十八、 恥ぢず主にたより。

ダブルユ、ダブルユ、フエルズ作歌
ジヨセフ、ジエ、デエンズ作曲

一、 恥ぢず主にたより

御言葉學びて

御言葉よろこび

御言葉學びて

二、 はのほに乘れる主

聖徒のたよる名を

たゞ一つの名を

聖徒のたよる名を

地にて拜まむ

我が價值知る

御言葉よろこび

我が價值知る

義人に報い

世の人知らむ

たゞ一つの名を

世の人知らむ

三、 主聖き御群と

變りゆくまへに

物皆新に

變りゆくまへに

四、 新に名を給ひ

エルサレムにして

ニユー、エルサレムにて

エルサレムにして

降り來まし

主にそひ立たむ

物皆新に

主にそひ立たむ

義の衣まどひ

盡きぬ幸得む

ニユー、エルサレムにて

盡きぬ幸得む

No. 88. We're Not Ashamed to Own Our Lord.

W. W. PHELPS.

JOS. J. DAYNES.

1. は ぢの すゆに の た る り ち に て を が せ い
 2. ほの き よに の れ り ぎ だ に り む ま い か
 3. あ きら た な を と とび の き の き け し ど エ
 4. あ きら た な を と とび の き の き け し ど エ

こ ば ば ま な る び て わ が あ た し る み た
 と は の り た よ く ま に な へ て を の に さ ひ さ した ら た も
 ル み こ さ ば ム な し て に き け ち た ら ニュ
 こ だ の エ と ひ な ろ の り ち だ の エ と ひ な ろ の り ち だ の エ

み こと と ば ま な る び て わ が あ た し る
 せいはるのりたよくまにへしにきけちしたる
 かエルサレムにへしにきけちしたる
 エルサレムにへしにきけちしたる

第八十九

エホバよ吾等を導給へ。

ロビンソン 作曲

アーンニイ、エフ、ハリソン 作曲

一、エホバよ吾等は

かよわきものぞ

焰の雲もて

吾が道守れ

汝が御力もて

約束の地に

主よ贖の主

嬉しき日給べ

吾等を導き

養ひ給へ

三、地のごよめく時

恐を救へ

聖靈よ聖靈よ

主の來ますまで

世は御裁判もて

滅びゆく時

二、イエスよシオンなる

泉をあけて

シオンの山の上に

吾等を守れ

愛の恵をば

そゝがせ給へ

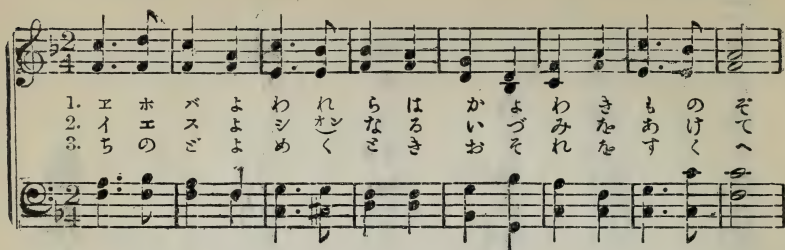
祈りつ歌ひつ

讃美を捧げむ

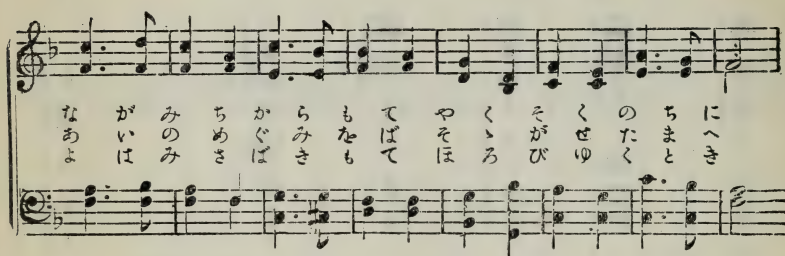
No. 89. Guide Us, O Thou Great Jehovah.

ROBINSON.

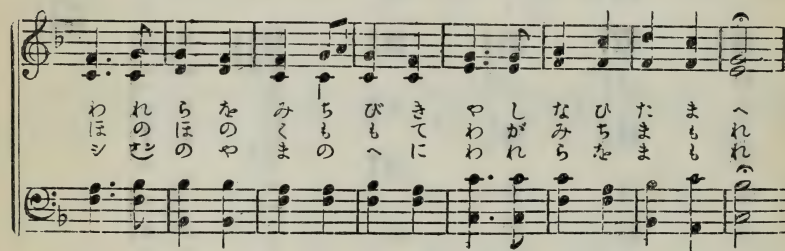
ANNIE F. HARRISON.



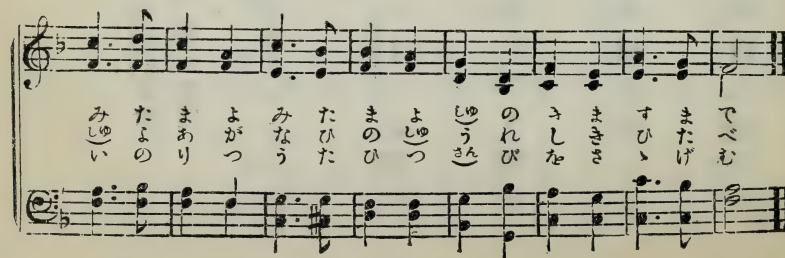
1. エ ホ バ よ わ れ ら は か よ わ き も の ぞ て
 2. イ ホ バ よ シ れ な は る か い づ み な あ の け
 3. ち の ゴ よ め く さ き お そ れ な あ す く へ



な が み ち か ら も て や く そ く の ち に
 あ い の め ぐ ら な ば そ へ る た ま と へ き
 よ は み さ ば き も ば ほ る ゆ く



わ れ ら な み ち び き や し な ひ た ま へ
 ほ の の ま の も へ わ が ら な ま も れ
 シ ゼ の や の の へ ら れ



み た ま よ が み た ま よ (ゆ) の ま き す ま で
 (ゆ) た あり が な ひ (ゆ) し さ ひ た べ
 い の つ な ひ つ (さん) し へ げ む

第九十、イスラエルの頼たのみ。

ジエ、エール、タウンシエンド作歌
ウキリアム、クレーソン作曲

一、頼たのみもしイスラエル

シオンの殿とのばら

勝利しょうりをば見るべく

進すめイスラエル

進すめの下知げちにて

戦た争かひはじまる

三、過あや失まち滅ほろせ

シオンの爲ために

折り理りと義ぎの劍つるぎ

揮ふるやイスラエル

敵てき打うち碎くだきて

勝かちつゝ進すめ

(返)「守まもれ祈いのれ」の

関こ聲きもて勝かたむ

四、戦た争かひ終をらむ

眞しん理りに敵てきなし

二、集よ合あれる罪つみの群むれ

其そを敵てきとして

進すめよ殿このばら

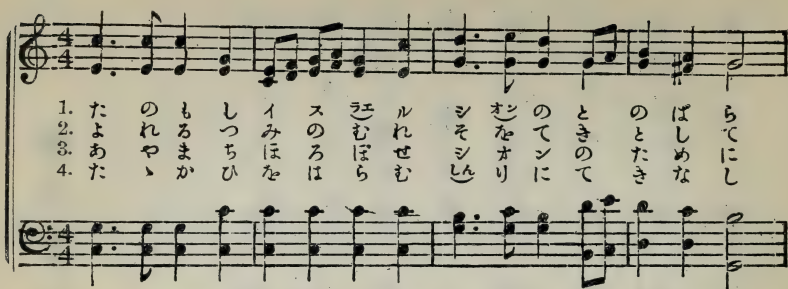
勝しょうり利りの冠かむり得えむ

No. 90.

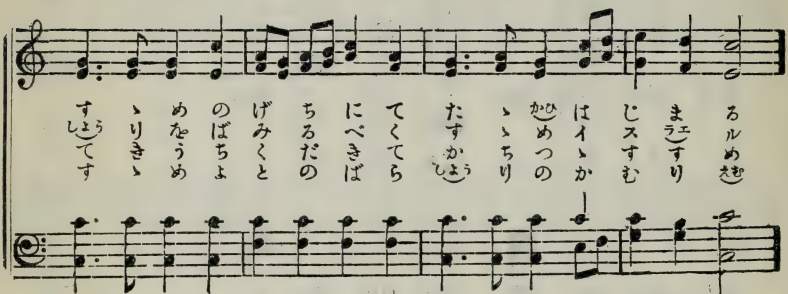
Hope of Israel.

J. L. TOWNSEND.

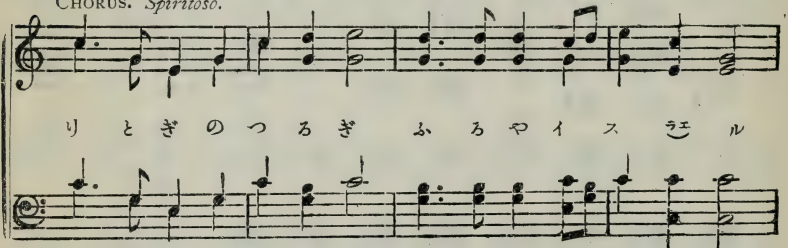
WM. CLAYSON.



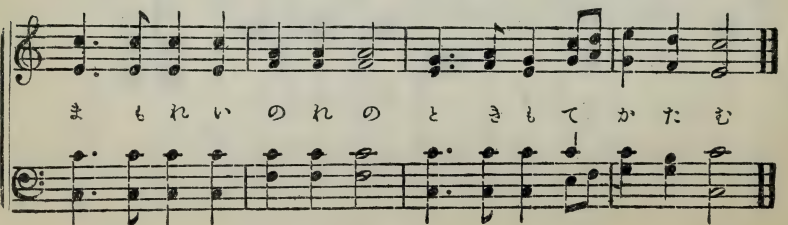
1. た の も し イ ス エ ル シ ム の と の ば ら
 2. よ れ る し み の ろ む せ ン とき の と しめ へ
 3. あ や マ ち は は ぼ ら む かり に た き な
 4. た マ ひ を は ら む し ん へ に て き な し



す り め の げ ち に て た ハ か は じ ま る
 しょう けき よ みく だ くて しか ー イ ス ー る
 す りき ょ と と ば け り ー か す り る
 す りき ょ と と ば け り ー か す り る

CHORUS. *Spiritoso.*


り と ぎ の つ る ぎ ふ る や イ ス エ ル



ま も れ い の れ の と き も て か た む

第九十一

嬉しシオンの朝に遇ふ。

トマス、ヘスチングス作歌
イー、エフ、バーリ作曲

一、嬉しシオンの

朝に遇ふ

三、あゝ、沙漠には

花咲きて

暗かりし

地の笑まひ

流に

音絶えず

悲哀と苦とは

聲なくて

山は響き

荒野には

勝ち得たる

シオンの御代

青草靡き

皆歌ふ

二、嬉しシオンの

朝に遇ふ

四、聴け國といひ

島といひ

イスラエルの

豫言者曰ひき

エホバ讚美

せぬはなし

自由にかへる

者を祝げ

干戈用ゐる

要はあらず

世人皆

迎へ見る

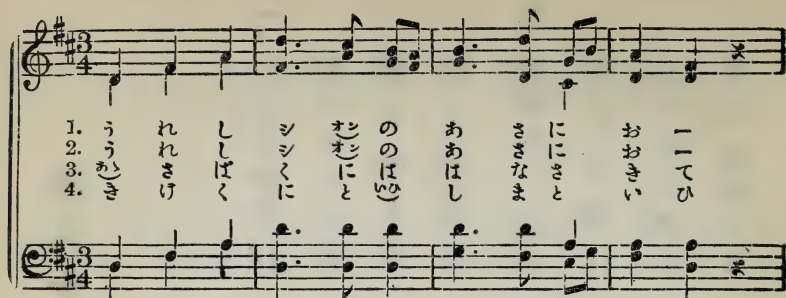
天に救の

聲満てり

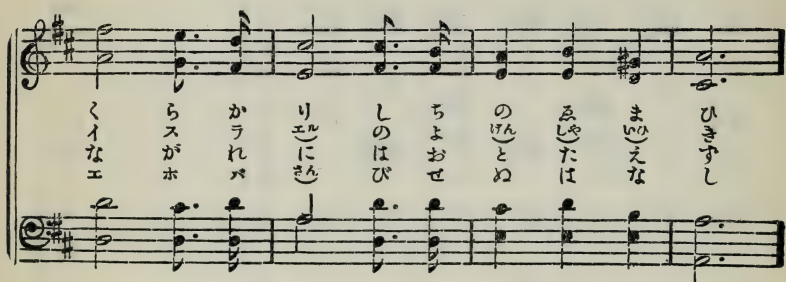
No. 91. Hail to the Brightness of Zion's Glad Morning.

THOS. HASTINGS.

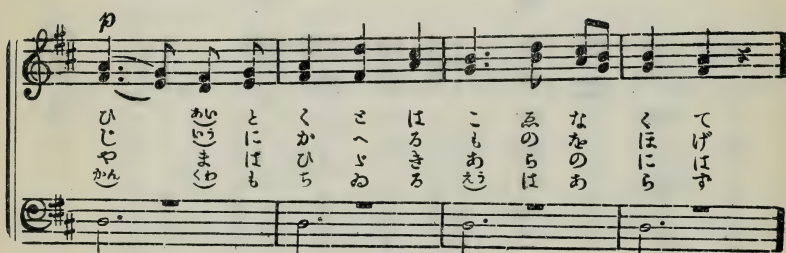
E.F. PARRY.



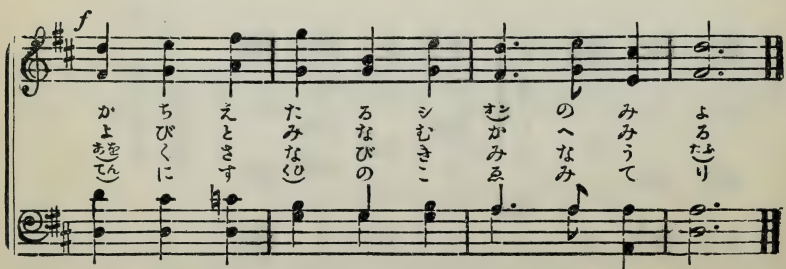
1. う れ し シ の あ さ に お ー
 2. う れ し シ の あ さ に お ー
 3. か さ ば く の の は あ な に き い
 4. き け け く に と い ひ



く ら か リ し ち の む ま ひ
 イ ス ア エ ル の っ っ い き
 ナ ホ ン に は ン た え な し
 エ ホ き ん び ぬ は え な し



ひ かい と く さ は こ ゑ な く て
 じ ろ ま に か へ き も の ら の ほ げ
 や かん ぽ も ひ ち ら あ は の あ に ら ば す



か ち え た る シ む か の み よ
 よ び と さ な び き か へ な み みる り
 め ん に す の の こ ゑ な み う て たり

第九十二、いでシオンの子等よ。

ダブルユ、ダブルユ、フエルブス作歌
ジ ヨ ン、タ リ ジ作曲

一、いで主を讚美へむ

シオンの子等よ

三、樂しめイスラエル

神の御聲

救はれにける

民はかへる

何處に在るも

汝を奴隸より

聖き歌もて

狭き道に

呼びかへします

此の末の日

末の日示す

主を讚美へて

シオン、エルサレムに

主を歌ふべく

二、分散れにしユダ

歌に結び

四、世界の聖徒等よ

シオンに集ひ

絶えぬ調に

王を讚美へよ

御靈によりて

道そなへよ

世にある彼の

腕のため

汝が勝ち得るは

神の御仰

義人は集へり

此の末の日

力なからむ

惡魔惡人

No. 92.

Come, All Ye Sons of Zion.

W. W. PHELPS.

MALE VOICES.

JOHN TULLIDGE.

1. いわたよ 2. であの 3. しれし 4. なにめい たしイ ムス シウ したみ のにの こむみ らすこ よび

すたい くえ はぬ れし にな けべ るに たな みな はた か へ る

きよ よに きあ うる たか もれ ての せか まひ きな みの ちた にめ

すぎ じん のは ひつ しご め すり し な た へ て

第九十三、

シオンが榮ゆる。

エチ、メイビン作歌
シー、ジエ、トマス作曲

一、シオンの子とて

感謝申し

人間の世の

あ、榮ゆる

あ、榮ゆる

二、歌ひ讃へむ

福音傳へし

年少き身も

あ、榮ゆる

あ、榮ゆる

三、主と御法に

シオンの榮え

そこにあり

あ、榮ゆる

あ、榮ゆる

四、讃へよ主の

また感謝せよ

主に

あ、榮ゆる

あ、榮ゆる

忠實に

助けむ

こよなき幸

我がシオン

我がシオン

御力

御恵を

道進む

我がシオン

我がシオン

No. 93.

Zion is Growing.

H. MAIBEN.

Arr. by Prof. C. J. THOMAS.

1. シウ むた の こた と て わ れ ら み な
 2. しゅ た と の よ り に め か ら に
 3. しゅ た と の よ り に め か ら に
 4. た と の よ り に め か ら に

よみシ ま ろち のつ びた きへ しし うた た ひ て む
 ま した の か さ かせ え よ み す め の か て み む
 む

ひわ さ の ふ の さ ち さ に り あ さ か ゆ
 そ こ き み も さ り さ ち り さ り り あ さ か ゆ
 じ こ に り て み な す す り り り り り り り

わ が シ オ ン あ さ か ゆ わ が シ オ ン
 わ が シ オ ン あ さ か ゆ わ が シ オ ン
 わ が シ オ ン あ さ か ゆ わ が シ オ ン

第九十四、シオンのみさかえ。

イライザ、アール、スノー作歌

エヴァン、ステヴエンズ作曲

一、眠れる歌人 覺めよや覺めよ

樂しき聲せよ シオンの榮に

あゝシオンのみさかえ 最もよきかな

二、悲哀知らざる 聲にかなでよ

神聖く樂しき 聲にかなでよ

あゝシオンのみさかえ 最もよきかな

三、シオンの榮をば 我等も受けむ

いと神聖き情もて わが胸をござる

あゝ汝が御榮の 最もよきかな

四、シオンよ汝が日出づ かげ闇きにも

信仰と希望に やゝ明けてゆく

あゝ汝が御榮の 最もよきかな

五、足疾き御使 御門に進む

主の光遍し シオンの榮に

あゝシオンのみさかえ 最もよきかな

No. 94.

Zion Prospers, All is Well.

E. R. SNOW.

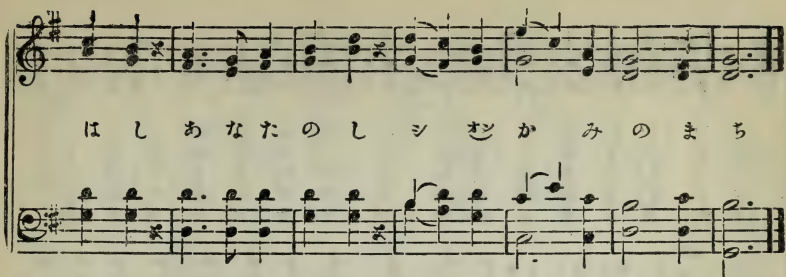
E. STEPHENS.

1. れかシシあ
2. むな(オ)し
3. れしのよと
4. るみさなき
5. うしかがみ
たらえひつ
びざないか
さるばづひ
さこわかみ
めゑれげか
よにらくご
やかもうに
さなうきす
めでけに
ふよむもむ

たといたし
の一のの
しと(オ)みひ
きくさとか
こたきのり
ふの(ウ)ぞま
せしもみね
よきてにし
シこわヤシ
(オ)ゑが(オ)ン
のにむあの
さかれけさ
かななてか
えでどゆえ
によるくに

あ(ア)あ(ア)あ(ア)
シシななシ
の(オ)みひ
の(オ)みひ
みみささみ
ささかかさ
かかええか
ええのえ
いいいい
とととと
もももも
よよよよ
きききき
かかかか
なななな

Beautiful Zion, Built Above.



第九十五、

美し我がシオン。

ジエ、ジー、フオンズ作曲

一、み空に美麗し

輝く宮殿に

カルバリに消えにし

折シオンシオン

(返)あな樂し

二、輝くみ空よ

絶えぬ音曲に

我も群に入り

三、冠は輝く

救はれし子等の

我もいざゆきて

我がシオンのみやこ

珠なす門をば

我が主ぞ開かむ

うるはし

シオン神の街

白衣の天使

琴弾く人々

御前に拜まむ

勝ち得し者の手

衣さへ美しく

永遠き休息を得む

No. 95.

Beautiful Zion, Built Above.

J. G. FONES.

1. み そ ら に う る は し わ が シ め の の
 2. か そ や り く み そ ら よ く び か く え の し み
 3. か む り は か ら や し か ち え し も

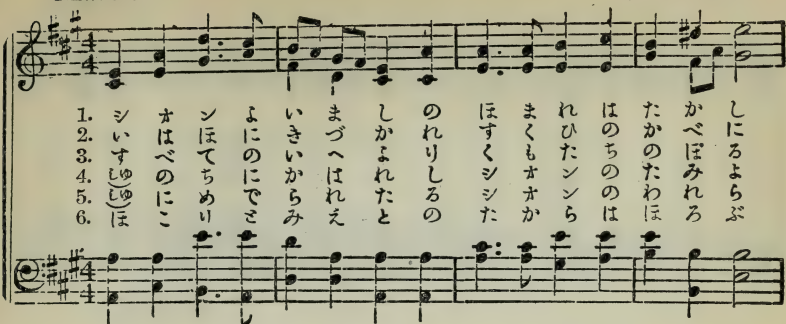
みつ や こ か た え や く め み や る に た ま な
 の か の ひ た え は し し ら べ に き と ひ さ
 の の て す く は れ こ べ の の の の の の の

す か め と を ば カ バ リ に き え に し
 く ひ と び と し わ れ も む い ゆ い き り
 へ う つ く し わ れ も い き り て

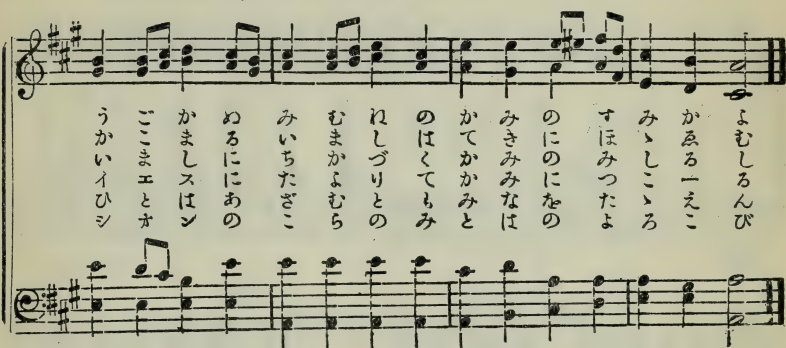
わ が し ゑ ひ ら か む シ シ シ う る
 み ま が へ き に や な す み な む ン シ ン シ

NEWTON.

J. S. HANEY.



1. シにるよらぶ
2. かべみれろ
3. たかのたわほ
4. はのちののは
5. れひたンシら
6. まくもオオか
ほすくシシた
のれりしるの
しかよれたと
まづへはれえ
いきいからみ
よにのにでさ
ンほてちめり
オはべのにこ
しいすしほ



ふむしるんび
かゑる一えこ
みしころろ
すほみつたよ
のにのになの
みきみみなは
かてかかみと
のはくてもみ
れしづりと
むまかふむら
みいちたざこ
ぬるににあの
かましスはん
ごこまエとオ
うかいイひシ

第九十六、ほまれは高し。

ジヨン、ヌートン作歌
ジエ、エス、ハネシ作曲

一、シオンよ汝のほまれは高し
動かぬ御旨の神のすみかよ
二、巖にきづかれ救ひの壁に
かこまる汝は敵にほゑむ
三、すべての家より雲たちのぼる
汝に近づく神の御しるし
四、主の血に買はれしシオンの民よ
イエスにたよりて神に仕ふる
五、主にめであられたるシオンの我等
人はあざむとも御名をたゝえん
六、誇と見えとの寶はほろぶ
シオンの子等のみとはのよろこび

第九十七、美なる市街を讀めり。

ジエ、ビー、アチソン作歌

オー、エフ、プレスブレー作曲

一、遙^{はる}けき神^{かみ}の國^{くに}に 美^びなる市街^{まち}を讀^よめり

壁^{かべ}は貴^{たふと}き玉^{たま}にて 黄金^{こがね}の道^{みち}廣^{ひろ}し

生命^{いのち}の川^{かは}流^{なが}れて 水清^{みづきよ}らかに透^{とお}る

されど其^その美^びの多^{おほ}くは 人間^{ひと}につげられず

折^ま市街^{まち}の光榮^{さかえ}の 市街^{まち}の光榮^{さかえ}の

(返^{さかえ}光榮^なの半^{なか}ばをば 人間^{ひと}につげられず

二、エス^{エス}の備^{そな}へむとゆける 天^{てん}の館^{やかた}を讀^よめり

地^ちにて直^{なほ}くわたりし 聖徒^{せいと}はエス^{エス}と休息^{やすみ}む

罪^{つみ}も苦^{くる}も永^{なが}く來^こず 住^すむ人^{ひと}年^{とし}老^おいす

三、されどよろこび多^{おほ}くは 人間^{ひと}につげられず
榮譽^{ほまれ}のある冠^{かぶり}と 義人^{ぎじん}の白^{びやく}衣^え讀^よめり

「來^{きた}り光榮^{さかえ}に入^いれ」ど 父^{ちち}は呼^よばせ給^{たま}ひ

義人^{ぎじん}は永遠^{なが}きめぐみに 黄金^{こがね}の街^{まち}をゆく

されど奇^くしきの多^{おほ}くは 人間^{ひと}につげられず

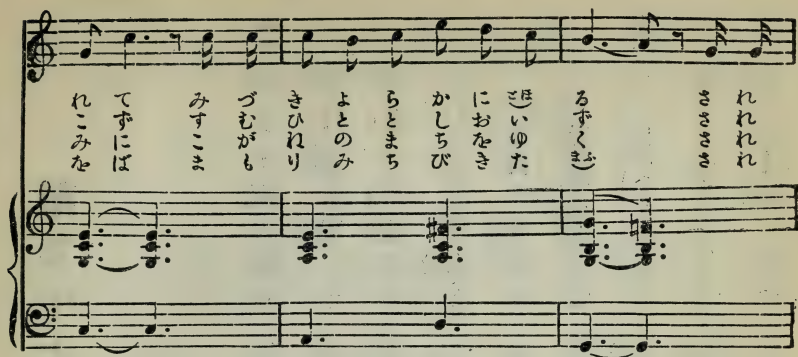
四、罪人^{つみびと}をもゆるせる エス^{エス}をわれば讀^よめり

信仰^{たの}まば罪^{つみ}をゆるし 平和^{へい}をめぐまれむ

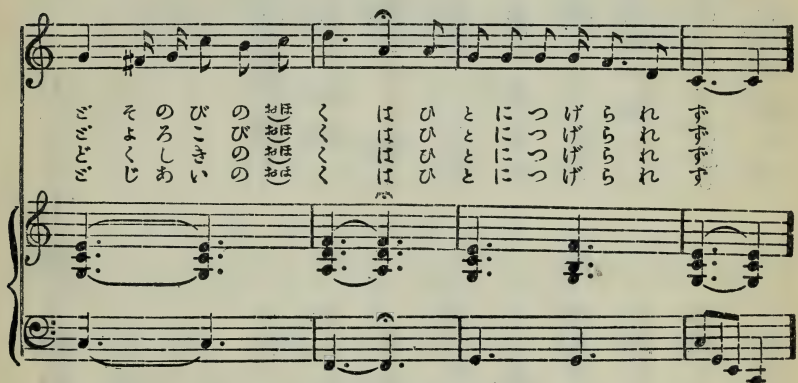
御群^{みむれ}に入る者^{もの}をば 守^{まも}り導^{みちび}き給^{たま}ふ

されど慈愛^{じあい}の多^{おほ}くは 人間^{ひと}につげられず

I Have Read of a Beautiful City.



れこみな てずには みすこま づむがも きひねり よとのみ らとまち かしちび におなき さいゆた るすくま れれれれ



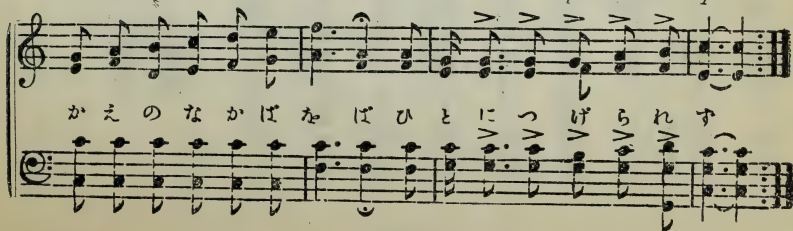
どきどき そよくじ のろしあ びこさい のびのの ほおほおほ くくく はははは ひひひ ととと ににに つつつ げげげ ららら れれれ すすす

CHORUS.



ま ち の さ か え の (さかえ) ま ち の さ か え の (さかえ) さ

Repeat the Chorus *p.*



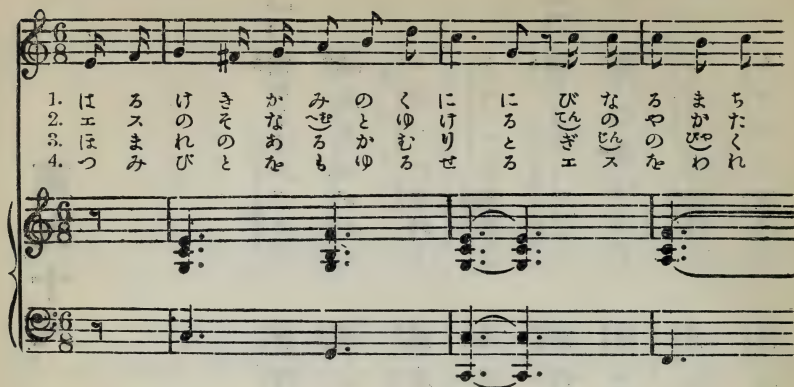
か え の な か ば を ば ひ と に つ げ ら れ す

No. 97.

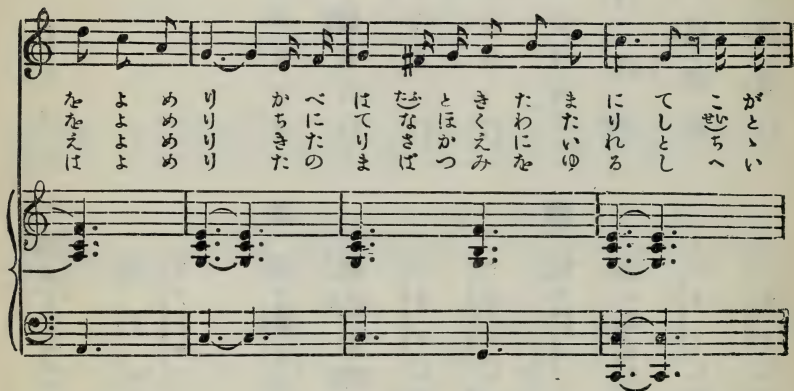
I Have Read of a Beautiful City.

J. B. ATCHISON.

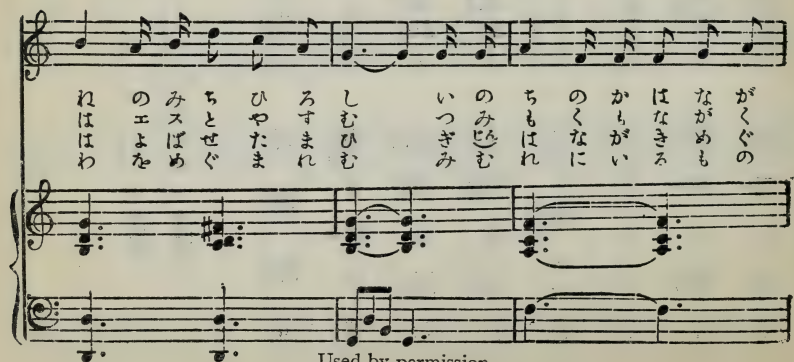
O. F. PRESBRY.



1. は る け き か み の く に に び な る ま ち
2. エ ス の そ な め と か ゆ け り と り の ゃ ま た
3. ほ ま れ と あ か む せ と と ん の を ひ わ
4. つ み び と な ら も ゆ り り と ん の を ん れ



を え え よ め り か べ は た き と た ま り れ て こ が
な よ め り り に に れ し せ と い
え よ め り り れ し と へ



ね は の み ち ひ る し い の ち の か は な が
は エ ス と や た す む つ み も ば き め め
わ よ め た ま ま ゐ び ん は れ に き る も の

Used by permission.

第九十八

イスラエル神呼まぜり。

アール、スマイス作歌
チアルス、シー、コンヴェルス作曲

一、惱めるイスラエル

神呼びませり

三、看よ看よイスラエル

天使降り

滅ぶるバビロン

塔は倒されむ

聖徒を助けて

導き往かす

シオンに來れよ

洪水のまへに

シオンに來れよ

主見る近し

シオンに來れよ

洪水のまへに

シオンに來れよ

主見る近し

二、聽けよやイスラエル

神呼びませり

四、暗きにイスラエル

なに迷ふべき

選びの身にさす

朝けの光

目に入るしるしに

心なおきそ

シオンに來れよ

喜べ此處に

シオンに來れよ

讚美に響く

シオンに來れよ

喜べ此處に

シオンに來れよ

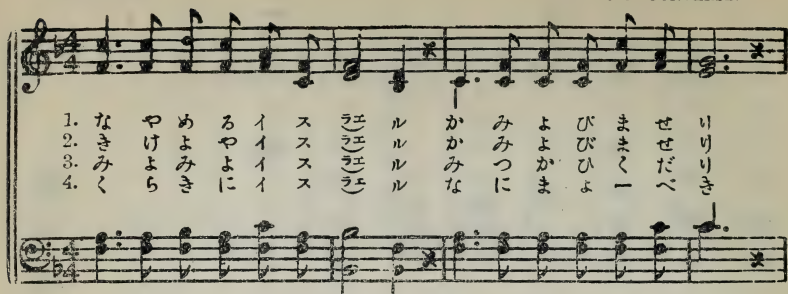
讚美に響く

No. 98.

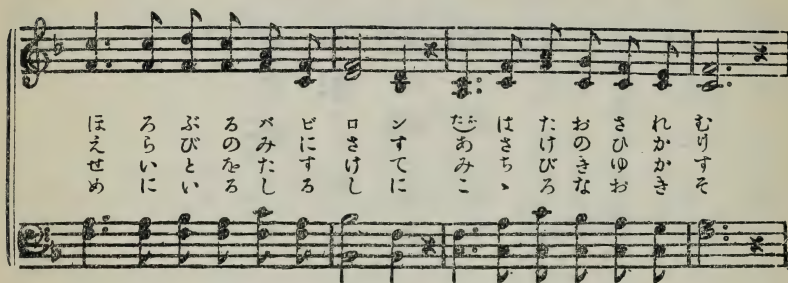
Israel, Israel, God is Calling.

R. SMYTH.

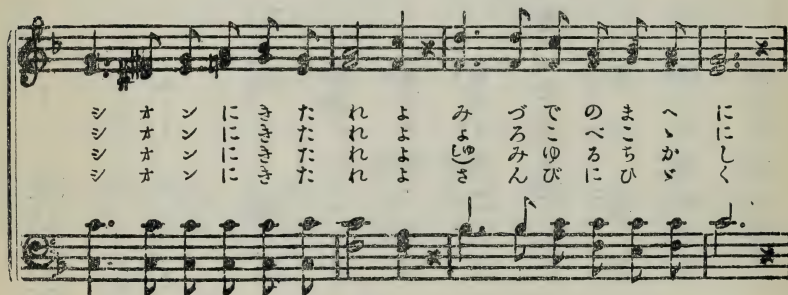
CHARLES C. CONVERSE.



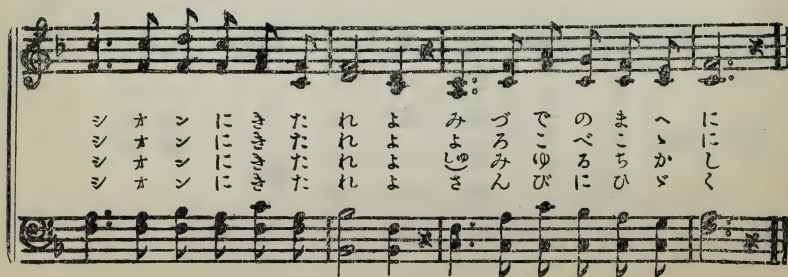
1. なき やめ る イ ス ラ ル か み よ び ま せ り
 2. きけ り よ い ス ラ ル か み よ び ま せ り
 3. みく ら よ い ス ラ ル か み よ び ま せ り
 4. なき やめ る イ ス ラ ル か み よ び ま せ り



ほえ ろぶ る バ ビ ロ ン た は お さ れ か む
 えせ らび の み ン け け か す
 めに い の た し する し し か き そ
 めに い の た し する し し か き そ



シシ オ シン に き た れ よ み づ で の ま へ に
 シシ オ シン に き た れ よ み づ で の ま へ に
 シシ オ シン に き た れ よ み づ で の ま へ に
 シシ オ シン に き た れ よ み づ で の ま へ に



シシ オ シン に き た れ よ み づ で の ま へ に
 シシ オ シン に き た れ よ み づ で の ま へ に
 シシ オ シン に き た れ よ み づ で の ま へ に
 シシ オ シン に き た れ よ み づ で の ま へ に

第九十九、

ジヨセフ、スミス最初の祈禱。

ジヨールヂ、マンウエルイグ作歌
エー、シー、スマイス作曲

一、朝の樂しさよ

日は輝けり

三、忽ち光は輝き降り

森には聲あり

小鳥に蜂に

眞晝の日よりもあきらに照す

ジヨセフは樹蔭に

愛の神を覓ぎ

見ゆる御二人は神と其の御子

ジヨセフは樹蔭に

愛の神を覓ぎ

見ゆる御二人は神と其の御子

二、低く跪く

祈のはじめ

四、「此の我が愛つ子に聞けよジヨセフよ」

其の胸惡魔に

なやみてあれど

祈の答に嬉しき仰は

恐れず御神の

助にたよる

活ける神を見て喜溢る

恐れず御神の

助にたよる

活ける神を見て喜溢る

No. 99.

Joseph Smith's First Prayer.

GEO. MANWARING.

A. C. SMYTH.

1. あひたこ
2. さくちの
3. のくまわ
4. たひちが
のぎひめ
しまかづ
さづりこ
よくはに
ひいかき
はのよけ
かりやよ
よのき
やはくセ
けじだフ
りめりよ

もそまい
りのひの
にむるり
はねのの
こあひこ
あまきよた
あまりへ
りににも
こなあう
さやきれ
りみらし
にてにき
はあて
ちれらせ
にぞすは

ぎるころ
まよみふ
わたのあ
みにそび
かけとこ
のすみろ
あいたかよ
にのはて
げみりみ
かかたな
こみふみ
はす
ふれるる
セそゆけ
おみい

ぎるころ
まよみふ
わたのあ
みにそび
かけとこ
のすみろ
あいたかよ
にのはて
げみりみ
かかたな
こみふみ
はす
ふれるる
セそゆけ
おみい

第百、

歌へ奇しき歌。

エヴァン、ステヴエンス作

一、歌へ奇しき

神の業

信仰の報得さすべく

嘗てとられし

福音を今

降下りし父と御子歌へ

また給はむと

御使を

三、頌へ兄弟なるこの殉教者

選りて憂き世に

降します

證明は血もてたしかめぬ

二、主の旨行ふ

方法請ひし

世にはたらきを弘めける

若く誠實なる

ジヨセフ歌へ

豫言者のために感謝うたへ

No. 100.

Sing the Wondrous Story.

E. S.

EVAN STEPHENS.

Moderato, well accented.

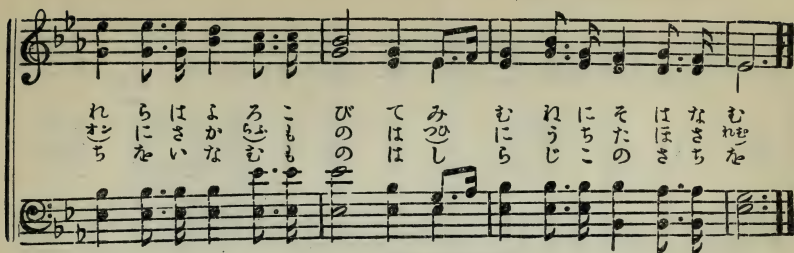
1. う た へ く す し き か み の わ さ
 2. し た む ね お こ な る み ち の こ ひ
 3. う た へ きやう だい な る の ひ う しや

か つ て さ ら れ し み ち な い ま
 わ か く ま は め な る て ミ セ フ う な
 あ か し は ち も だ し か め ぬ

また た た ま は む む と み つ か ひ な
 よ に に は た ら き い え さ め べ る
 へ り だ て り う し き ち よ と く だ し ま た す
 こ げ り の の た め に み こ け た た へ

Rit.
 え り て う き よ に く だ し ま た す
 く だ り の の た め に み こ け た た へ

We Thank Thee, O God, For a Prophet.



第百一

感謝す豫言者。

三、 二、 一、

福	か	福	主	シ	疑	希	黒	我	感	感	感
音	く	音	の	オ	う	望	雲	等	謝	謝	謝
を	て	を	慈	ン	な	は	迫	は	す	す	す
い	正	樂	悲	に	き	前	り	喜	ゆ	福	末
な	し	し	主	逆	神	に	來	び	た	音	の
む	き	み	の	ふ	恩	笑	て	て	か	あ	代
者	も	つ	恩	者	恩	み	て	て	な	り	の
は	の	、	恵	は		て			る		

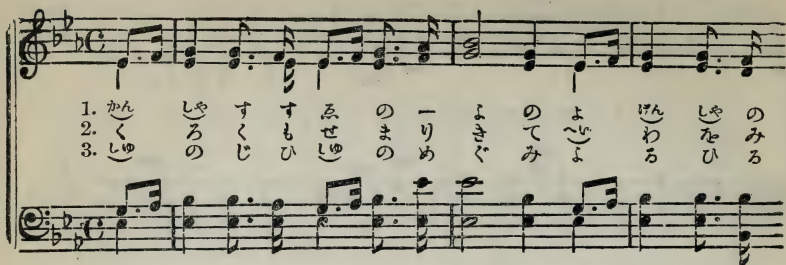
知 完 其 夜 遂 日 救 平 御 神 我 豫
 ら 全 の 晝 に 確 は 和 旨 の が 言
 じ き 光 うち め 身 を に の 心 者
 此 に す 倒 につ 亂 そ 御 照 の
 の 幸 生 へ 近 す は 恵 導
 を ま む き む し 時 む す き

ダブルユ、ファウラ作歌
 ノ ル ト ン 作曲

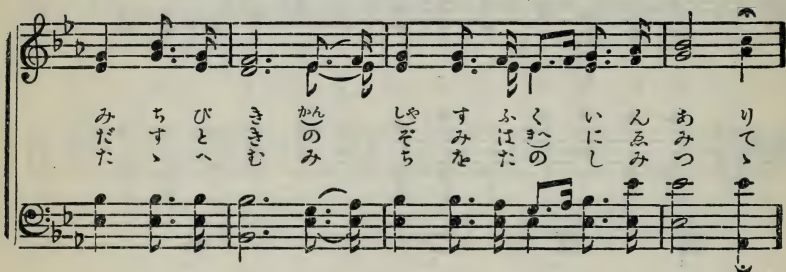
No. 101. We Thank Thee, O God, For a Prophet.

W. FOWLER.

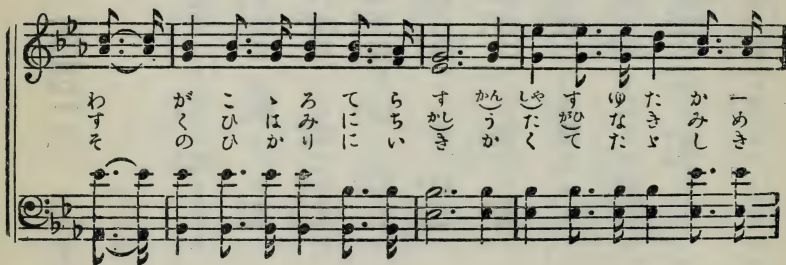
Mrs. NORTON.



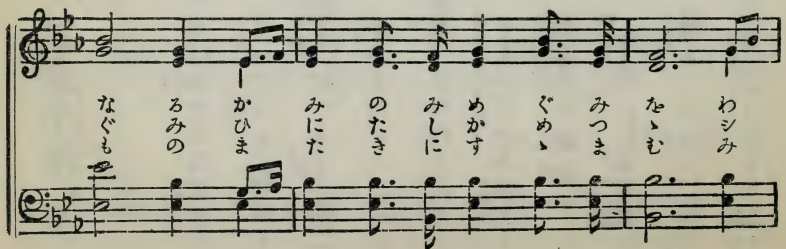
1. かん しや すく すゑ の まの 一りめ ふきぐ のてみ よい ばん しゃ の
 2. く ろの すくじ ひ せし の まの りめ ぐ み よ わる なひ ゐる
 3. し ろの すくじ ひ せし の まの りめ ぐ み よ わる なひ ゐる



みだち びと きき かの しや すみ ふく いん あみ りて
 だす へ きむ の ぞち な た の し み つ へ

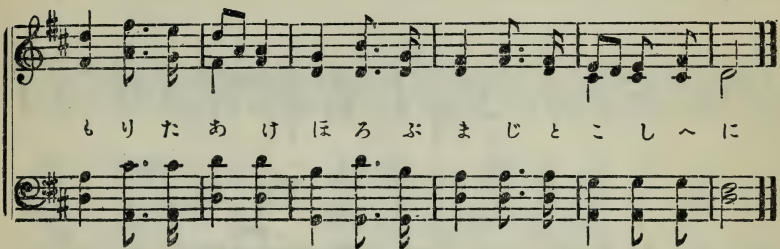
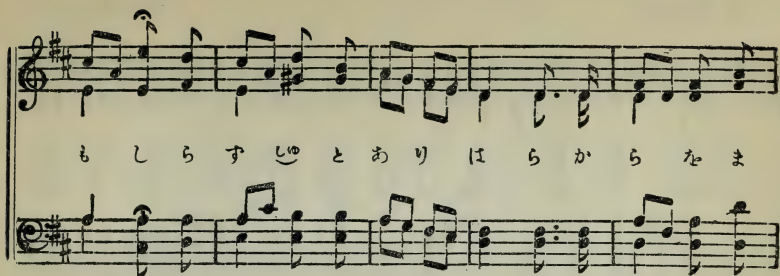


わす がく こひ とろ てに らち すか かん しゃ す ゆ た か 一
 そ の ひ は り に い き う た く が ひ な き し め
 き の ひ は り に い き う た く が ひ な き し め



なぐ る か みに の みめ ぐ み な わ
 も の ひ た た しに か へ つ ま と し
 も の ひ た た しに か へ つ ま と し

Praise to the Man.



第二百一、讚美へよ豫言者を。

ダブルユ、ダブルユ、フエルプス作歌

一、讚美へよ主と語りつる エスの命せる豫言者を

末の日を開ける業 敬へや王も國民も

折) 讚美へよ彼は今天に 虐主も知らず主と在り

(返同胞を護り助け 滅ぶまじとこしへに

二、教に殉てし身の紀念 讚美へよや朽ちぬ名を

刺客の手に溢れし血 イリノイスを汚たり

三、光榮あり神權ありて 彼永遠に鍵持てり

昇り入りたる天國に 冠受けむ豫言者と

四、犠牲に天の恵あり 購ふべし其の血汐

義の戦に世をさませ こゝにシヨセフをまた知む

No. 102.

Praise to the Man.

W. W. PHELPS.

1. たなさぎ 2. たしかせ 3. へへえい 4. よにあに

しゅ(すりてん) とてちの かしかめ たみらぐ りのあみ つきりあ る(なん)てり エたかあ スゝれが の(へえい)な

めい(よん)へ せやにし るくかそ よちぎの げん(ぬ)もち しゃなてし をなりほ すしのぎ るかぼの のくりた ひのいゝ をてりか ひにたに

らこるよ けぼんを るれごさ わしくま ざちにせ ライ(かん)こ やりむゝ まノりに へい(う)じ やなけせ わけむな もがよま たしげんた みたし(や)し もりさ(む)

CHORUS.

たゝへよかれはいまてんにぎやくしゅ

No. 103. Lo! the Gentile Chain is Broken.

P. P. PRATT.

1. あみじい
2. ちよいわ
3. いしうの
4. けうオとじゆ

とんへな
ものいる
ゆはわお
りたさー

じかまき
いのたた
のやきり
はまみて

たにすな
たはひさ
つちはわ

よミくう
のソにた
ひりさへ
とじゆをよ

みのしよ
なうへは
しへとわ
れにのし

すせべひ
ひかつと
のいなは
ちなきわい

かまめせ
きねぐよ
なぐみと

第三百、異教徒の赦免り。

バーリ、ビー、ブラット作歌

一、あゝ異教徒も赦免り 自由の旗立つ

世の人みな知れ 救の近きを

二、見よシオンの旗 彼の山に樹ち

ミヅリー洲の上に 世界をまねぐ

三、自由と平和を 完全き御救は

國と教條との 別なきめぐみ

四、平和の主なる王 來りて治めむ

歌へよ「世は和し 人は愛せよ」と

No 104. As the Dew, From Heaven Distilling.

P. P. PRATT.

JOS. J. DAYNES.

1. く さ ば に お り た り し ら な つ し ゆへにす らも
 2. あ め の た ふ き た ど ひ み む れ こ へにめ もて
 3. こ の な ほ き た ど ひ み む れ こ へにめ もて
 4. こ の な ほ き た ど ひ み む れ こ へにめ もて

み む れ つ き な の す こ な か ま し す ず お め た か よ し め ず り て も な つ み ち し ゆ た め と そ ま た げ あ ま た ぎ た へ ま た へ ば へ

第百四、白露の如く。

パーリ、ビー、プラツト作歌
 シヨセフ、ジエ、デエンズ作曲

一、草葉に降りたる 白露すらも

御旨をなすため 用ゐたまへば

二、天より降りし 御教をもて

御旨の數々 爲遂げたまへ

三、此尊き集會 御旨に召さば

天津住居より 露注ぎたまへ

四、主を讃めたる 喜悅のぶる

聲きこしめして 聖靈與へよ

第百五

天に何をか見し。

ジョン、エス、デヴキス作歌
エヴァン、ステヴァエンス作曲

一、天に何をか見し

あゝ降り來る天使

バトリ、ベテロ、キリストの

教へし道ぞ

何をか齋す

樂しき福音

我等も教へて

あとをば襲がむ

天使はのたまへり

此の世の國民に

三、福音はいとながく

世に續きしか

力もて道を

教ふるためと

天にとられてまた

世に下されつ

二、ふるき福音やある

嘗てありけり

福音を聞かずして

失せなばいかに

現今のは何ぞや

再出でしもの

エスは獄舎にて

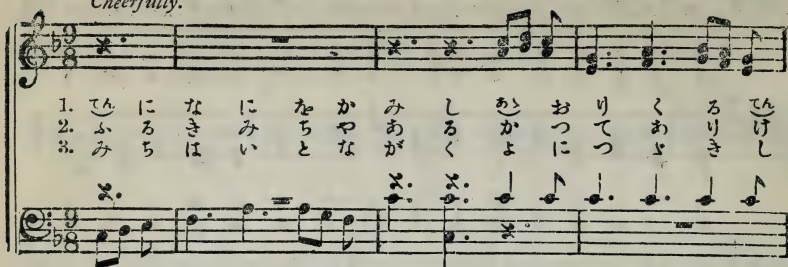
其の靈に教ふ

No. 105. What Was Witnessed in the Heavens?

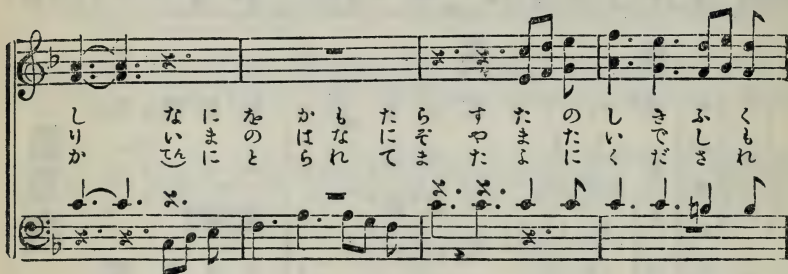
JOHN S. DAVIS.

E. STEPHENS.

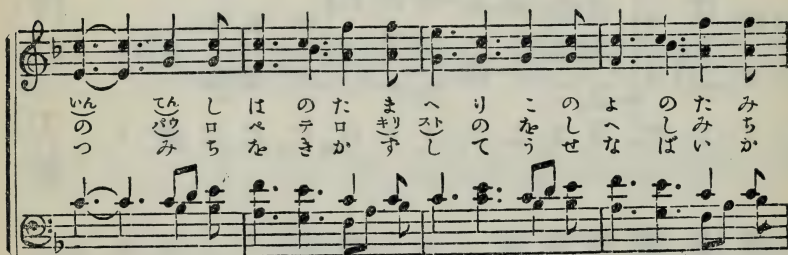
Cheerfully.



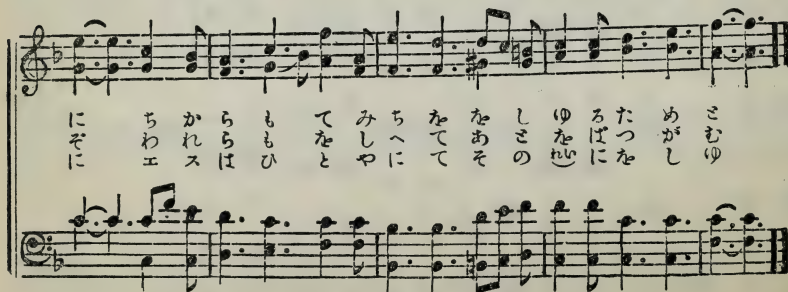
1. てん にる なき にみ をち かや みし ろく おつ りて く る てん
 2. ふ る なき にみ をち かや みし ろく おつ りて く る てん
 3. み る なき にみ をち かや みし ろく おつ りて く る てん



しり ない にま をの かば もな たに らぞ すた たま のた しき ふく
 か てん にま のと ばら なれ にて まよ たに いく ださ れ



いん てん し は の た ま ヘ リ こ の よ の た み
 の パウ ロ ベ テ ロ カ マ ス ト の なう し へ な し ば い か
 つ み ち を き か す し て う せ な し ば い か



にぞに ちわ か ら も て み ち を を し ゆ る た め さ
 エ ス は ひ と し や へ に あ そ の れ に づ が し ゅ
 に ス は ひ と し や へ に あ そ の れ に づ が し ゅ

An Angel From on High.

み よ き よ き ふ み は ク モ ラ に ひ め た り
 ま た よ に い で たり エ ス の な き め に と

ベ ー ジ に は し め さ る ま たり き み な し へ たり
 シ ョ ン に か ょ や き て し ん

第百六、 降れる天使。

シ	シ	エ	見	ペ	ペ	と	其	ま	ま	「地	モ	見	見	降	頓
オ	オ	ル	よ	ー	ー	く	の	た	た	よ	ロ	よ	よ	れ	に
ン	ン	サ	イ	ジ	ジ	に	に	に	に	り	ナ	聖	聖	き	き
に	に	ム	ス	は	は	に	記	に	に	イ	イ	き	き	る	聲
輝	輝	建	ラ	啓	啓	滅	録	出	出	叫	の	記	記	天	あ
き	き	て	エ	示	示	び	語	で	で	べ	手	録	録	み	み
て	て	ど	ル	る	る	し	る	り	り	の	に	は	は	使	り

眞	眞	費	樂	完	完	國	ヨ	エ	エ	命	封	ク	ク	宣	聴	ジ	バ
理	理	し	全	全	民	セ	フ	ス	ス	令	せ	モ	モ	べ	け	ヨ	ー
は	は	や	き	き	の	の	の	の	の	を	を	ラ	ラ	に	に	ン	、
世	世	み	福	福	の	の	の	治	治	待	れ	に	に	給	天	タ	、
に	に	す	音	音	残	末	に	め	め	ち	し	秘	秘	は	よ	リ	、
満	満	集	を	を	餘	裔	と	を	を	を	を	め	め	は	り	ジ	、
て	て	財	を	を	餘	裔	と	を	を	を	を	め	め	は	り	作	歌
り	り	ひ	を	を	餘	裔	と	を	を	を	を	め	め	は	り	曲	

No. 106.

An Angel From on High.

P. P. PRATT.

JOHN TULLIDGE.

Andante con moto.

TRIO AND CHORUS.

SOPRANO.

ALTO OR TENOR.

- | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. | と | み | に | こ | あ | り | き | け | そ | ら | よ | り | く |
| 2. | モ | 口 | ナ | イ | の | に | ヨ | せ | ら | れ | し | な | ち |
| 3. | そ | の | ふ | み | か | る | ミ | セ | フ | の | す | ゑ | と |
| 4. | み | よ | イ | ス | ラ | ル | た | の | し | み | つ | エ | エ |

BASS. *Andante con moto.*

だ	れ	る	ひ	一	の	べ	た	ま	は	く
よ	り	さ	け	の	お	せ	た	ま	ち	て
く	に	ほ	ろ	た	つ	み	の	の	こ	り
ル	サ	レ	た	と	つ	や	す	た	か	ら

CHORUS. *Allegro animato.*

み	よ	き	ふ	み	ば	ク	モ	ラ	に	ひ	め	た	り
ま	た	よ	い	た	り	エ	ス	の	を	さ	め	に	と

ペ	ー	に	は	し	め	さ	る	ま	た	き	み	を	し	へ	を
シ	ン	に	か	と	や	き	て	ん	り	は	よ	に	み	て	り

第百七、御言葉聴け。

ジヨセフ、ジー、デエンズ作曲

一、來れ豫言者より

御言葉聴け

あやまちによりて

迷ひし世も

うれしく真理の

道を歌へ

聖徒は今また

道見出す

昔の豫言者の

道は知られ

三、聖徒の依頼るは

人にあらず

今また豫言者の

さとしにより

イエスを拒まば

呪はれなむ

二、大地をばとさせる

を暗きやみ

主は言ひ給ひぬ

一言守れ

我が主にやはれ

主出でませり

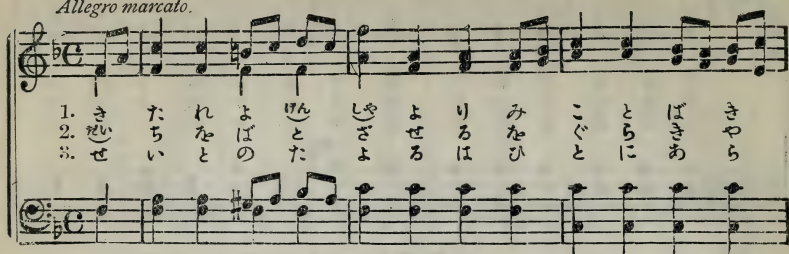
信仰の奇蹟は

末の代まで」

No. 107. Come, Listen to a Prophet's Voice.

JOS. J. DAYNES.

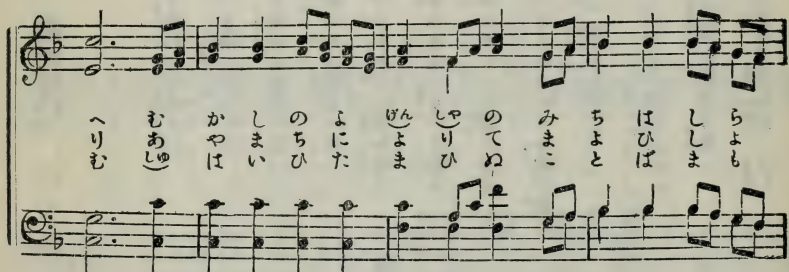
Allegro marcato.



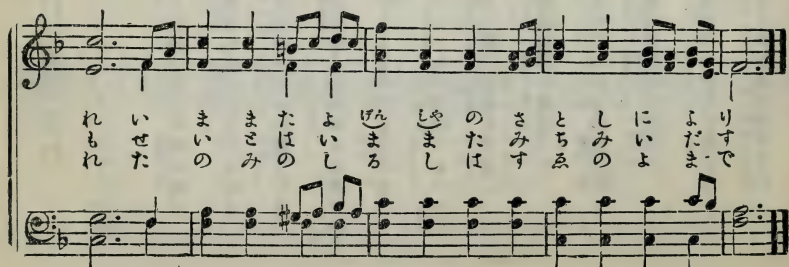
1. き たち れ よ げん しや よ り ゐ こ とら ば き
 2. せ ち い と の た ざ よ せる は な ひ と に き あ
 3. せ ち い と の た ざ よ せる は な ひ と に き あ



け う れ し く し ん り の み ち を う た
 み わ が し に や ら は れ みの いろ では まれ せ
 ず イ エ ス を こ ば ま ば の ろ う な



へ む か し の よ げん しや の み ち は し ら
 り む あ か まい の た ま り り の ま こ と ひ し も
 む あ か まい の た ま り り の ま こ と ひ し も



れ い ま ま た げん しや の さ と し に よ り
 も せ た の の い ま し た は み と の い だ す
 も せ た の の い ま し た は み と の い だ す

Now Let Us Rejoice.

すす るの もか ののむ ははり たたえ ゆゆむ すす みみ かか はは エエ ザンデン のの

そそ のの とと なな りり エエ スと はは イイの スス ラエルみ なをこ よあ びび たたす まふむ

第百八、いざ救の日を樂まむ。

ダブルユ、ダブルユ、フェルプス作歌

一、いざ救の日を樂まむ

今は迷ふ旅ならず

よき音信は世界に聞ゆ

贖罪の日近し

其の日にちかひの物を給ひ

聖徒を害するものは絶ゆ

住家はエデンの園となり

エスはイスラエルを喚び給ふ

二、互に愛して伴はず

悪人はなさて相結ばむ

罪人等の怖る時

主の來ます日を迎へなむ

其の日にちかひの物を給ひ

聖徒を害するものは絶ゆ

住家はエデンの園となり

エスはイスラエルを喚び給ふ

三、かくももの憂き末の日に

エホバをば信賴りまつらむ

刈入果て主來ます日に

義人と共に復活らむ

其の日にちかひの物を給ひ

聖徒等天使の冠得む

住家はエデンの園となり

主と其の民と相すまむ

No. 108.

Now Let Us Rejoice.

W. W. PHELPS.

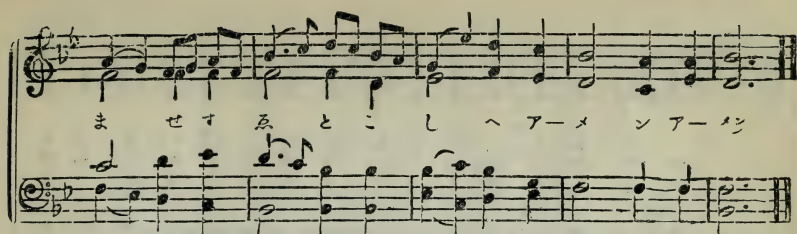
1. い か ざ す く ひ の ひ な た の し ら (む) い ま は さ
 2. か か たく み にも (あ) の し う て き つ の は ら ひ す に あ エ ほ な ば な
 3. か か たく み にも (あ) の し う て き つ の は ら ひ す に あ エ ほ な ば な

ま お た び な ら す ず よ き お と づ れ は
 な ふ さ で あ む る つ (は) か み ゐ こ り も の
 ば た よ り ま ま つ (は) か み ゐ こ り も の

よ に き こ ゆ あ な の ひす は ち か よ れ り
 お づ る こと き め (き) と ひに なよ へ ら
 き ま ひに ゑ (き) と ひに なよ へ ら

そ の ひ ち か ひ の も の た た び せい と な がい
 そ の ひ ち か ひ の も の た た び せい と な がい
 そ の ひ ち か ひ の も の た た び せい と な がい

The Spirit of God Like a Fire.



第百九、主の御靈は燃え。

ダブルユ、ダブルユ、フェルブス作歌

一、主の御靈は火のごと燃え

光榮出づ末の代に

御恵もまぼろしも見え

天使此の世に降る

折) 天つ御群と讃め歌はむ

ホザナ ホザナ 主と御子に

高き御座に榮えませ

(返) 末長久アーメンアーメン

二、主は聖徒のさとひ弘め

もどのごとつかさを置き

神力はいやひろまりて

此の世の被幕破れゆく

三、聖きつごひに人を寄せ

天つ御國をひろめなむ

信仰をもてよく繼ぐを得む

御まぼろし、榮と幸

四、げに樂し小羊と獅子

共にいこひて怒なし

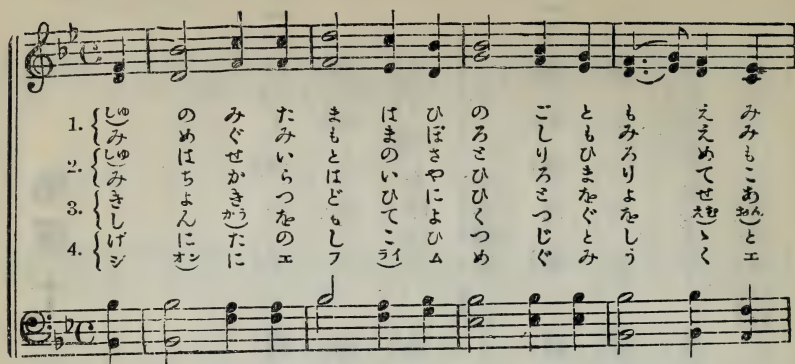
シオンにエフラئمめぐみ受く

エス火車に天降らむ日

No. 109.

The Spirit of God Like a Fire.

W. W. PHELPS.



1. {しゅ} {み} {み} {き} {し} {げ} {シ}

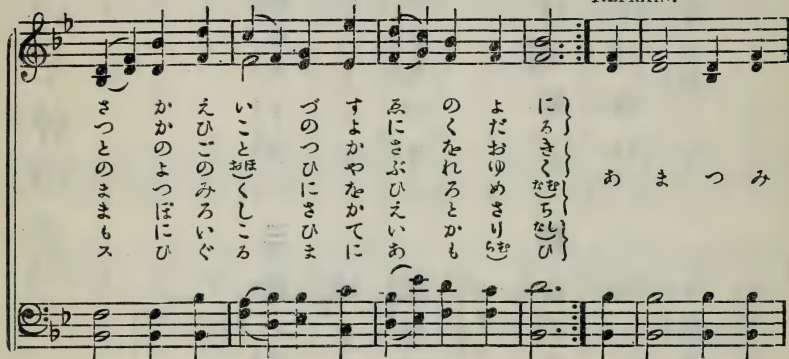
2. {しゅ} {み} {み} {き} {し} {げ} {シ}

3. {しゅ} {み} {み} {き} {し} {げ} {シ}

4. {しゅ} {み} {み} {き} {し} {げ} {シ}

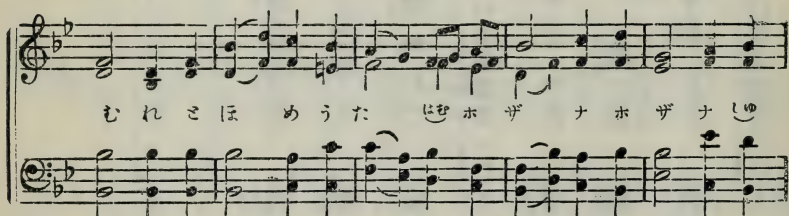
みみもこあんとエ
ええめてせえく
もみろりよなしう
ともひまなぐとみ
ごしりろさつじぐ
のろさひひくつめ
ひぼさやによひム
はまのいひてこい
まもとほどもしフ
たみいらつたのエ
みぐせかきうたに
のめはちよんにオ

REFRAIN.

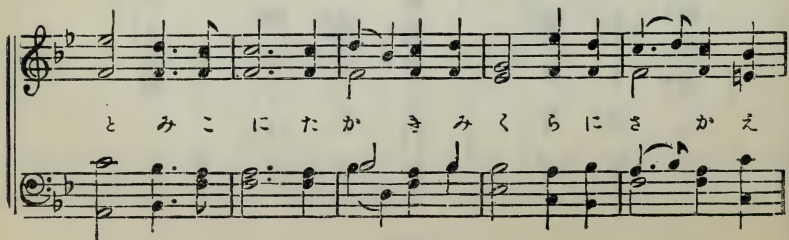


にろきくたぢなひ
よだおゆめさりお
のくなれろとかも
ふにさぶひえいあ
すよかやなかに
づのつひにさひま
いことおくしころ
えひこのみろいぐ
かかのよつばにひ
さつとのままもス

あ ま つ み



むれさほめうたはほザナホザナしゅ



とみこにたかきみくらにさかえ

第百十、いで神の子。

テ、デヴエンポルト作歌

一、いで神の子 神權ある子等

御民を寄せ 福音をひろめよ

イスラエルを呼びて 集めよ末の日

シオンに小羊讚美へむと

二、牧羊者の聲 聴け羊等よ

諭されたる 恵をば獲れ

豫言者言はずや 汝を呼び集へて

シオンに小羊讚美へむと

三、悔い改ためて 浸禮をうけよ

助を乞ひて 罪赦されよ

祈は聞かれて 集め寄せられむ

シオンに小羊讚美へむと

四、汝がかなしみ 皆終りなば

待て 靈は 蘇生る日を

千歳を楽しく 御前に過して

シオンに小羊讚美へむと

No. 110.

Come, All Ye Sons of God.

T. DAVENPORT.

1. い か で か み の こ ち かけ ら あ る こ ら ら み
 2. か ひ ひ かの こ き け ら あ る こ ら ら み
 3. い ひ ひ の こ き け ら あ る こ ら ら み
 4. な が か の こ き け ら あ る こ ら ら み

た み なれ よ せ ゐ み ち な ひ ゐ ろ め よ い
 と さ なれ た て ゐ つ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ
 け なれ た て ゐ つ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ
 み なれ た て ゐ つ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ

ス ラ エ な よ び す
 げ ィ シ い ば か び つ あ つ め よ び す
 の リ ャ き の の し ゑ ま め よ び す
 と セ ハ た の の し ゑ ま め よ び す

ゑ の ひ シ シ に に ひ ひ つ つ じ た た ハ ハ へ へ と
 ゑ の ひ シ シ に に ひ ひ つ つ じ た た ハ ハ へ へ と
 ゑ の ひ シ シ に に ひ ひ つ つ じ た た ハ ハ へ へ と
 ゑ の ひ シ シ に に ひ ひ つ つ じ た た ハ ハ へ へ と

第百十一、

イスラエルの長老。

シー、エチ、ファイラク作歌

一、イスラエルの長老いざ我と

沙漠に——山に——海——陸

義人を探しバビロンより

自由のシオンにゆかしめむ

折)バビロンよ バビロンよ

(返)行く先はエフライムの山

二、收穫多く人なきも

共に勤めばわざ成らむ

莠より麥をわけて

其の苦みを救はなむ

三、古代頭のごと貧を訪ひ

四、弱き不具なる者を訪ひ

エスの愛なる福音教へ

慰めさとし永遠の

シオンに彼等を導かむ

五、わざ成らむ時シオンの神權

「よく成したり」そのたまはむ

樂し妻も子も友も

「シオンは自由」と叫はなむ

No. 111.

Ye Elders of Israel.

C. H. WHEELLOCK.

1. イ ス ラ の な さ い い わ ざ さい し き な れ な ふ ら な さ く の な り い ひ ご る シ ざ と と も わ な ん の の れ き な を ん さ も (ひ と り) さ さ う エ よ ば も ゑ ス く く に こ の な に つ よ か し

よ げ や ん も ん わ い い こ び を す え も パ ギ き し こ し む し と も が り か さ ま さ よ わ め つ な さ か さ し び ぐ だ ぐ の ぎ は な な た く め の (へ び) り な み し ま み さ し な た う わ れ ち の に ば か み と ま め つ る り や さ え な た

CHORUS.

り て し の も じ そ シ シ シ の (オ シ ん) オ シ の (オ シ ん) の く の に ば シ る す か じ オ し ま れ い シ み ひ ら こ に な に な さ ゆ す み み け か く ち ち ば し は び び な め ち (な) か め (な) か め } パ ビ ん よ パ

ビ ん よ い ざ さ ら ば ゆ く さ き は フ ラ イ △ の や ま

第百十二、御言葉により働く者よ。

マリア、ジヨード、ペーデ作歌

一、御言葉により

聖きはたらき

國々にして

山の上に説く

二、野心と名利とに

心聖くして

ラツバの如くに

眠れる國民に

三、かひなき話と

眞理を歩みて

神に事へ

行ふ者よ

福音教へ

救済と眞理

汚れぬごと

雄々しくあれ

聲を高くし

主知らしめよ

誇を捨て

常に祈れ

四、此の世の旅に

望を斷たず

苦を喜べよ

思へ主も苦に

五、めぐみ豊かに

光榮ある冠

刈れる麥東もて

もはや苦もなく

教へを給ひ

共にいます

さまよふ人よ

歌ひすゝめ

報酬はあらむ

堪へ給ひしを

信仰給ひて

死に勝ちて得む

シオンにすゝみ

冠受けむ

No. 112.

Ye Who are Called to Labor.

Mrs. MARY JUDD PAGE.

p

1. みや こん とく ば り よ り か け み に つ か へ
2. やか な とく ば り よ り か け み に つ か へ
3. こめ の とく ば り よ り か け み に つ か へ
4. こめ の とく ば り よ り か け み に つ か へ
5. こめ の とく ば り よ り か け み に つ か へ

よれれめ
のあゝて
もくいすち
なしにひか
こゝれたに
おなつうし
きててすり
らくみたむ
たよめたか
はきあなる
きろをみあ
ふりぞえ
きこゝのは

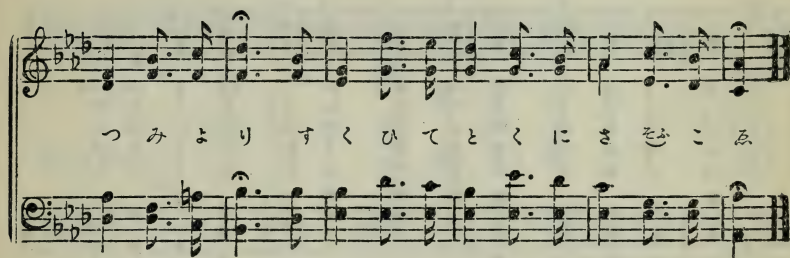
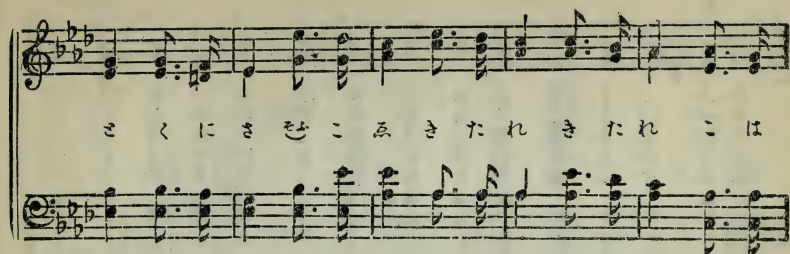
mf

へし
しかたあ
をたはす
いをへいに
くふしくむ
ふこをむシ
てにによて
しくかべも
にとたこば
にこゆるた
ぐのみよる
にやぐなれ
くうめくか

p

りやすむ
いめましけ
こしいきう
ひらにたり
くしもへむ
すいとたか
くにでにく
とみまくな
にたりも
へるはく
のれをへや
まむほもは
やれしをも

Come Along, Come Along.



第百十三

来れ、来れ。

ウキリアム、ウキリス作歌
エー、シー、スマイス作曲

一、来れ
救ひて徳に誘ふ聲
地獄を去り
多くの人は拒まれじ
折) 来れ 来れ 来れ
救ひて徳に誘ふ聲
(返) 来れ 来れ 来れ
慰藉と喜悅の主の聲
こゝはやがて
破れなほし給ふ聲
人々の心をせめす
天の日の輝くこと
兄弟の愛世界に満ちむ

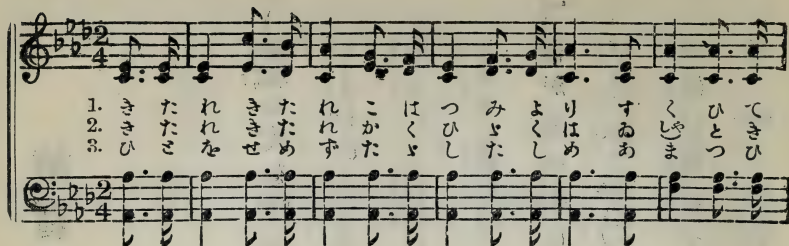
此は罪より
天を希ふ
此は罪より
かくひよくは
自由を給ひ
たと親愛め
和らぎて

No. 113.

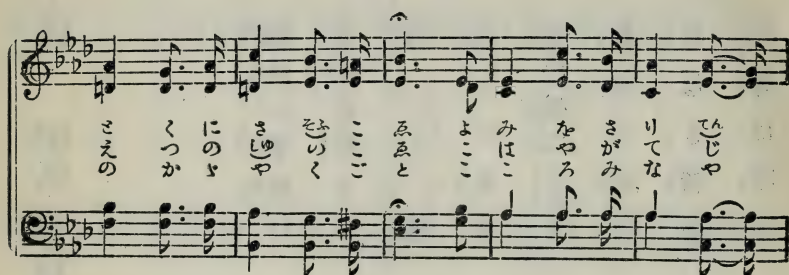
Come Along, Come Along.

WILLIAM WILLES.

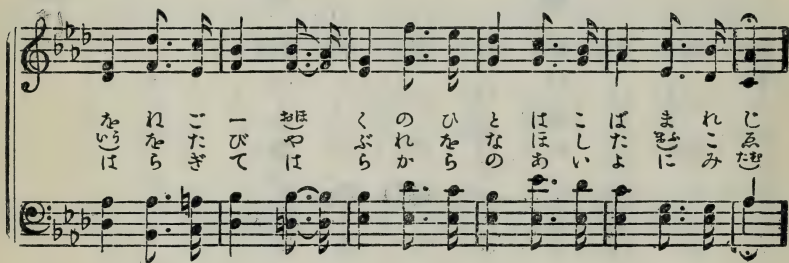
A. C. SMYTH.



1. き た れ き た れ こ は つ み よ り す く ひ て
 2. き た れ き た れ こ か く ひ み よ り は す め く ひ と き
 3. ひ た れ き た れ す か た し た し め あ ま つ

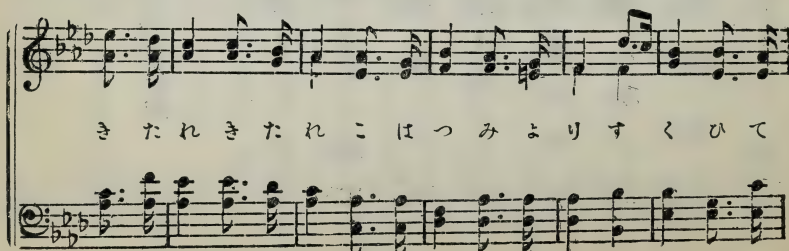


さ え の く つ か に の さ ゑ の こ こ ゑ と よ こ み は な や ろ さ が り て な て ん じ ゃ



な い ね こ お ぐ の ひ と は こ し ば ま れ じ
 う ら た や は ぶ れ か ら の あ い た き こ み ゑ
 は ら ぎ て は か ら の あ い た き こ み ゑ

CHORUS.



き た れ き た れ こ は つ み よ り す く ひ て

第百十四

喇叭の音聴け。

エール、デー、エドワードズ作曲

一、義勇の兵を呼ぶ

シオン（を）の山（やま）なる

雄々しく白馬（はくば）に

シオン（を）に進（すす）むべく

二、吾が心は燃ゆ

甲（よろ）ひて出（い）で立（た）たむ

吾等（われら）は要（もと）めず

死（し）に怖（おそ）ぢぬ者（もの）を

喇叭（ラッパ）の音（ね）聴（き）け

士官（しくわん）を看（み）よや

輝（かがや）く 鎧（よろひ）

兵（へい）をぞ募（つ）る

其（その）の兵（へい）たらむと

自由（じゆう）の爲（ため）に

勇（ゆう）なき者（もの）を

吾等（われら）は呼（よ）ぶ

三、列（なら）べる我（わ）が隊（たい）の

甲（よろ）へる姿（すがた）は

従（したが）へ永遠（えいゑん）の

衣（ころも）は血（ち）に染（そ）む

四、聴（き）け喇叭（ラッパ）は響（ひび）き

大（おほ）いなるエマニエル

神力（ちから）恐（おそ）ろし

御子（みこ）の兵（へい）となりて

勇（いさ）ましさよ

さながら戦（せん）士（し）

帥（すい）は小（こ）羊（ひつじ）

其（その）の名（な）イエス

兵（へい）士（し）は叫（さけ）ぶ

神（かみ）よ我（わ）が王（わう）

世（よ）の罪（つみ）人（びと）

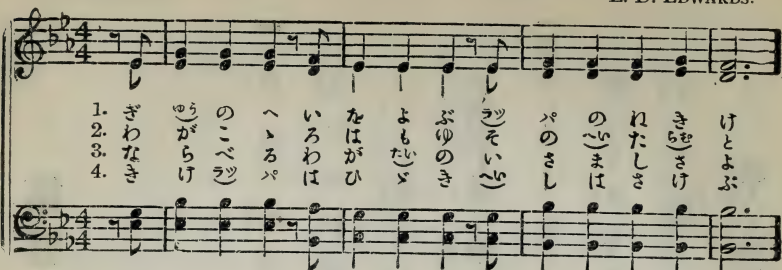
シオン（を）に進（すす）め

No. 114.

Hark! Listen to the Trumpeters.

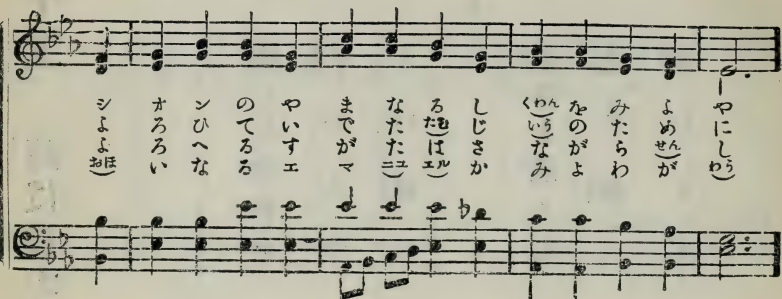
March Movement.

L. D. EDWARDS.

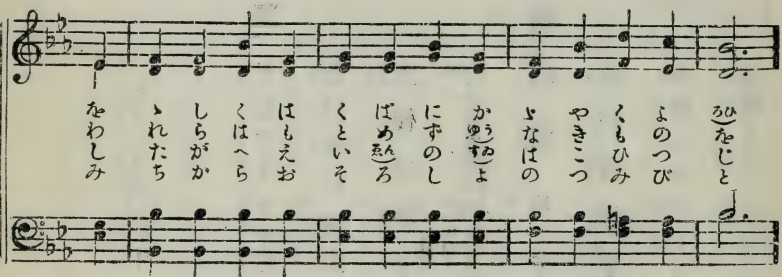


1. ぎわなき
2. かわらけ
3. のこべら
4. へるぱ

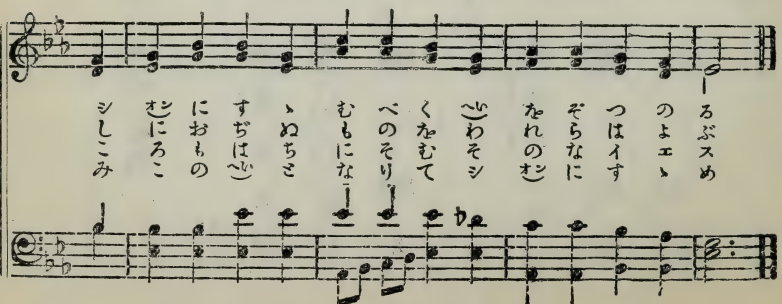
いろわは
なはがひ
よもた
ぶゆのき
うそい
パのさし
のまは
れたし
きさけ
けとよぶ



シよおほ
オろい
ンひへな
のてるる
やいすエ
までがマ
なたた
るたは
しじさか
くいな
なのがよ
みたらわ
よめせん
やにし



なわしみ
れたち
しらが
くはへ
はもえ
くとい
ばめん
にすの
かうち
よなは
やきこ
くもひ
よのつ
ひな



シしこみ
むにろ
におもの
すちは
ぬちさ
むもに
べのそ
くをむ
わそシ
なれの
ぞらな
つはイ
のよエ
るぶ

第百十五、 時は長からず。

イライザ、アール、スノー作歌

一、世の中、に 嬉しき福音を 三、もしアーマンの 御恵あらば

弘むべき時 長からず 此の世の憎み つらくとも

いそぎ傳へよ その道を 天使は幸を 汝に與ふ

天國近し疾く悔いよ 行けよ此の約違ふまじ

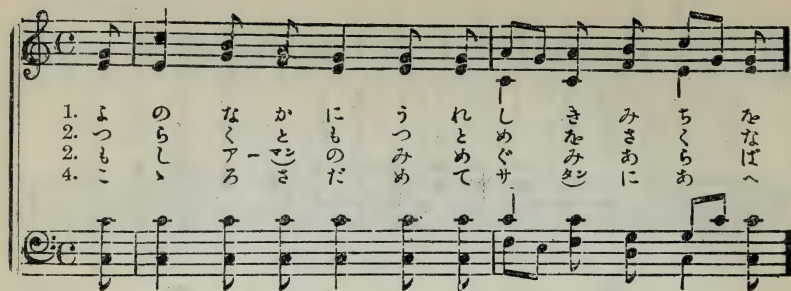
二、つらくとも 義務を避くな 四、心定めて サタンにあへ

師たり友たる 主に倣へ 汝が責任を 彼は知る

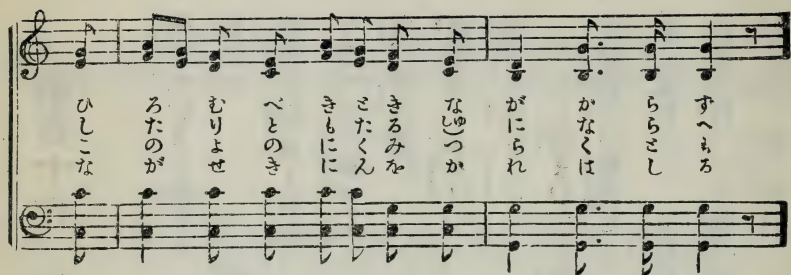
今は暫く 悩むとも 荆棘ふみゆくも エス近し

やがて義人と榮ゆべし 惡魔も主の敵ならず

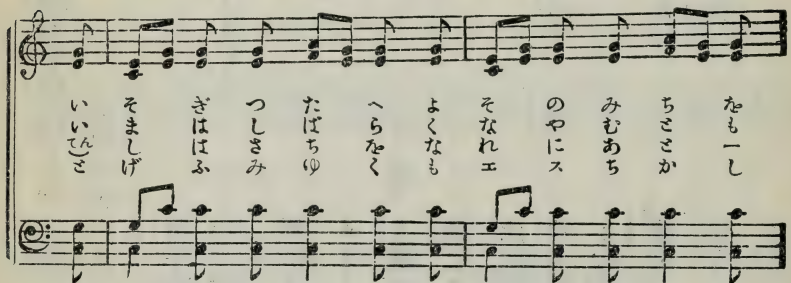
E. R. SNOW.



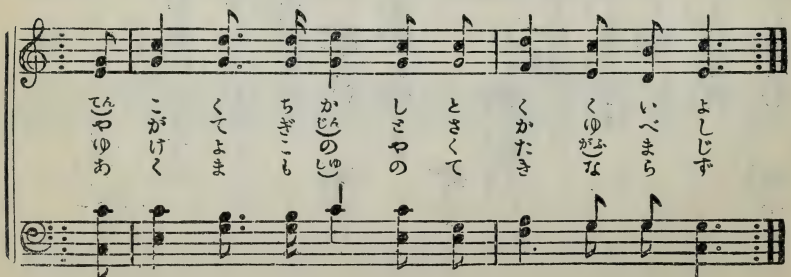
1. ふ の な か に う れ し き み ち な
 2. つ ら し く と も の つ め し な み さ ち な
 2. も し る だ み て め な み あ ち な
 4. こ る ー マン さ へ



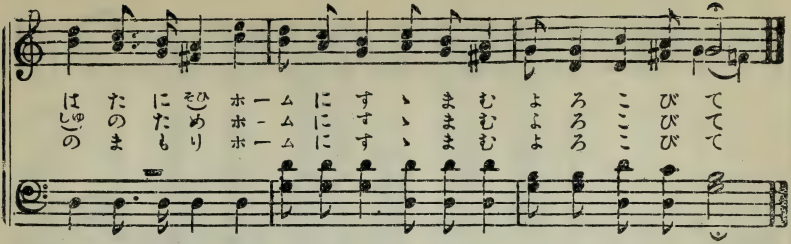
ひ る む べ き こ き な な が か ら す
 し た の り と の き も く め つ ら く し へ
 こ が が せ き に ん を か ら は ら ち
 な が せ き に ん を か ら は ら ち



い そ ぎ つ た へ よ そ の み ち な
 い ま し は しま ば ち ら な も し
 い ま し は しま ば ち ら な も し



て こ く ち か し と く く い よ
 ゐ が て き ん さ さ か め ま じ
 ゐ が て き ん さ さ か め ま じ



第百十六、戦争止むまで募らる。

ウヰリヤム、ビー、ブラードベリ作曲

一、戦争止むまで募らる

樂しき
 我がごち

勝利の冠見よ兵士

やかて其を戴かむ

急げ軍の場に

誠實もてよろひつゝ

輝ける旗にそひ

ホームに進まむ
 喜びて

二、

聴け戦争の聲高し

隊に附け
 群に入れ

我等は待つなり義勇の兵

十字架の旗に寄れ

三、天國の爲世を敵とす

樂しき
 我がごち

此の隊に入り歌ひ進まむ

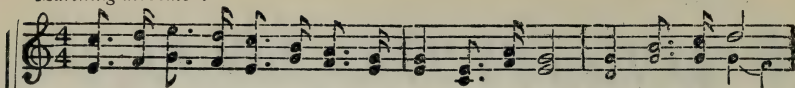
勝ち得る日遠からじ

よし危くあらむも

將イエス近くあり

頼もし主の守護

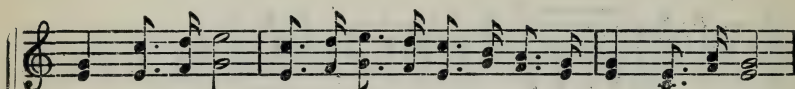
ホームに進まむ
 喜びて

Marching movement.

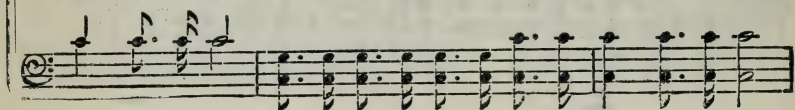
1. た け か ひ や む ま で つ の ら る た の し き
 2. き け かに の か ひ め の こ な て た き ら し た の し き
 3. み く に の た め よ な て き ら し た の し き



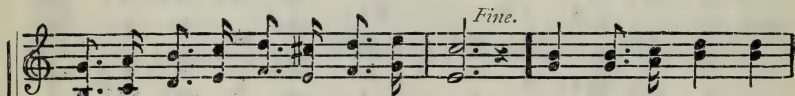
(折返) た け か ひ や む ま で つ の ら る た の し き



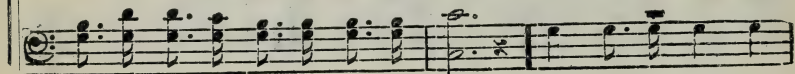
わ が ざ ち り の か む り み よ つ は も の
 ん が ざ ち り の か む り み よ つ は も の
 わ が ざ ち り の か む り み よ つ は も の



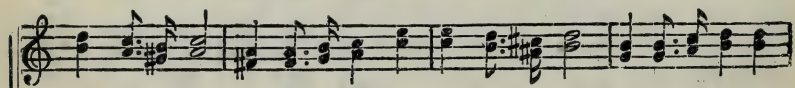
わ が ざ ち り の か む り み よ つ は も の



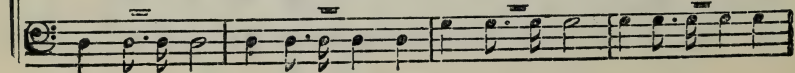
や が て そ な い た と か
 じ が ち そ の は い た と か
 か が ち そ の は い た と か



や が て そ な い た と か

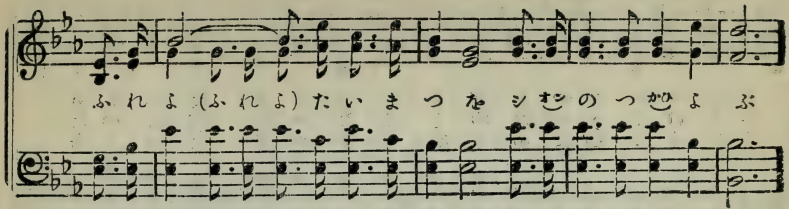


さ の ば に ま こ さ も て よ む つ と か た と や け る
 び の ま せ り と く ゆ け お く ら れ へ し
 く あ ら も し ゃ イ エ ス ち か ら れ へ し



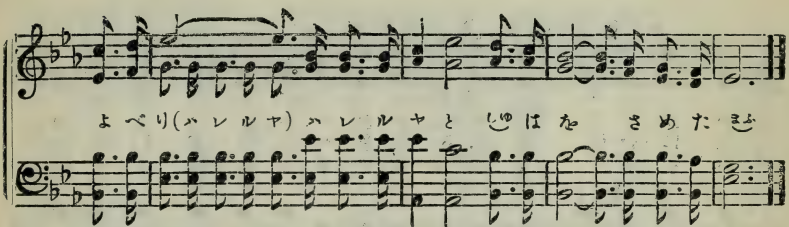
Waiting for the Reapers.

CHORUS.



ふれよ (ふれよ) たいまつをシオンのつかひよぶ

よべりー



よべり(ハレルヤ)ハレルヤとしほはなさめたまふ

第百十七、 荊手を待ちつゝ。

一、 荊手^{かりて}を待ちつゝ、

穂浪^{ほなみ}は動く

愛^{あい}ある者^{もの}よまづ

その穂束^{ほたば}ねよ

勇^{いさ}める者^{もの}ども

黄金^{こがね}の穂荊^{ほかり}れ

御子^{みこ}失せにし後^{のち}

實^みる田^たは待つ

折^を 揮^ふれよ

松^{まつ}明^{あきら}を

シオン^{シオン}の使呼^{つかひよ}ぶ

呼^よべり

ハレルヤと

(返^{かへ}) 主^{しゅ}は治^{をさ}め給^{たま}ふ

二、 明日^{あす}を待ちつゝも

今日^{けふ}の日^ひはたらけ

荊^{かり}入^{いれ}近^{ちか}づく

エスよび給^{たま}ふ

倉^{くら}にをさむべし

此^この罪^{つみ}の世^よに

平^{へい}和^わの榮^{さかえ}來^こむ

此^この罪^{つみ}の世^よに

Spirited.

1. か り て な ま ち つ と ほ な み は う ご ら く
 2. あ す を ま ち つ と ほ の ひ は た ら け

あ い り も の よ ま づ そ の ほ た ば れ よ
 か り い れ ち か づ く エ ス よ び た も ー

い さ め る も の ご も こ が れ の ほ か と れ き
 く ら に な さ む べ し き り い の の と

み こ う せ に し の ち み の る た は ま つ
 づ わ の さ か え こ む こ の つ み の よ に

We are Watchers, Earnest Watchers.

CHORUS. *Cheerfully.*

わ れ ら は れ ら は は た ら く た ら く あ い
に は あ た に は ら た ら く け た ら く す す
め り の ぼ れ り の み ち び き に
す め り の ぼ れ り の み ち び き に

第百十八、よき日の来る

を目守る。

エチ、ダブルユ、ネズビット作歌
ジエ、ジー、フオンズ作曲

一、昔イスラエルの
よき日の来るを
見たまは豫言者に
篝火の焔は

折我等ははたらく
返進り上れり
眞理に燃えぬ
愛にはたらく

二、眞理を弘めむとて
一つ心なる
地に働くをば
天はめぐめり

三、光榮ある未来をば
我等見てあり
世は奏あり
我等はたらく

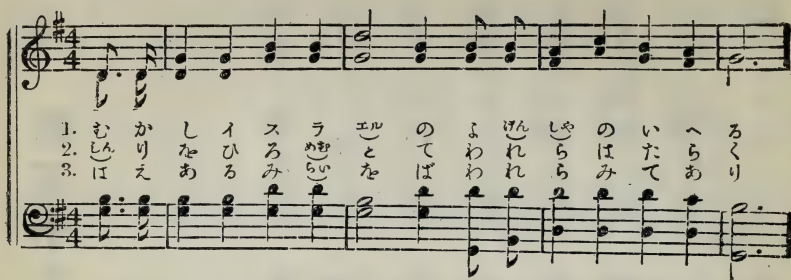
主は続く力に
日は続く力に
道はここにあり
日曜學校に

No. 118. We are Watchers, Earnest Watchers.

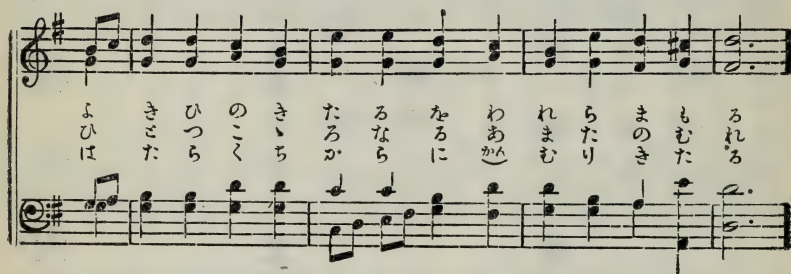
H. W. NAISBITT.

J. G. FONES.

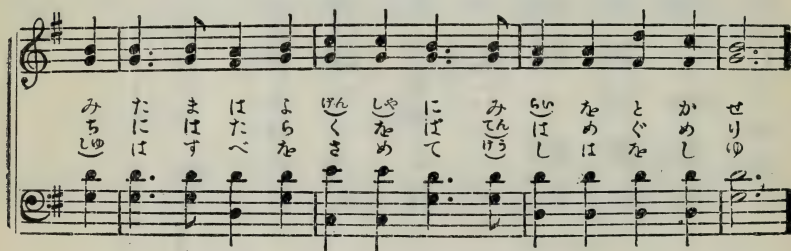
Moderate with expression.



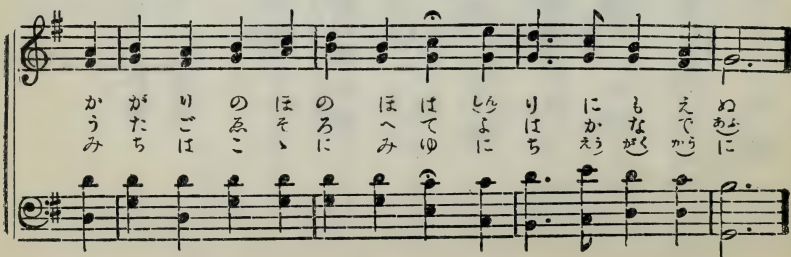
1. む かり し イ ス ラ エ の ふ めん し の い へ る
 2. じん は え あ ひ る み らい と な て わ れ ら み た て あ り
 3. は え あ ひ る み らい と な て わ れ ら み た て あ り



ふ ひ は き だ ひ つ ら の こ く き ち た る なる なる わ あ れ ま ら た り ま の き も む た る
 り る



み ち た ま は は ふ れん し ゃ に み ゐ な と か せ
 し は す べ た ら く な め ら ぼ め は め し り
 ゅ に す べ た ら く な め ら ぼ め は め し り



か が り の ほ の ほ し り に も え め
 う が り の ほ の ほ し り に も え め
 み ち た ま は は ふ れん し ゃ に み ゐ な と か せ

第百十九、我が天父。

イライザ、アール、スノー作歌
ジエムス、マクグラナハン作曲

一、高きたかに榮さかえて

すめる我が父ちち

三、汝なを父ちちと呼よぶは

御靈みたまのさとし

何時いつかへり行ゆきて

御顔みかほは拜をがむ

智ちの鍵かぎをうけて

其その理りを知しれり

高たかきにすみしぞ

我が靈れい曾かつて

天あまの御親みおやをば

一人ひとりどもすか

御側みそばにありしぞ

われ幼をさなくて

母ははも天てんにありと

理ことわりは告つぐ

二、かしこき旨むねもて

我わを世よに降くだし

四、命いのち世よを離はなれ

靈身れいみを去さる時とき

朋友ともと生來うまれとの

回想おもひを止とどめぬ

父ちち母はは天國みそに

逢あはしめ給たまふや

私語ささやく聲こゑあり

「汝なは旅人たびびと」と

仰おほせの御業みわざ皆みな

成なし遂ごとげし時とき

更さらによき世よより

出いでしをさどる

ゆるして御前みまへに

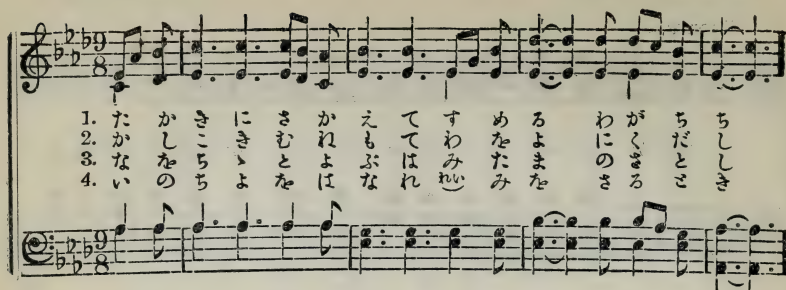
すましめ給たまへ

No. 119.

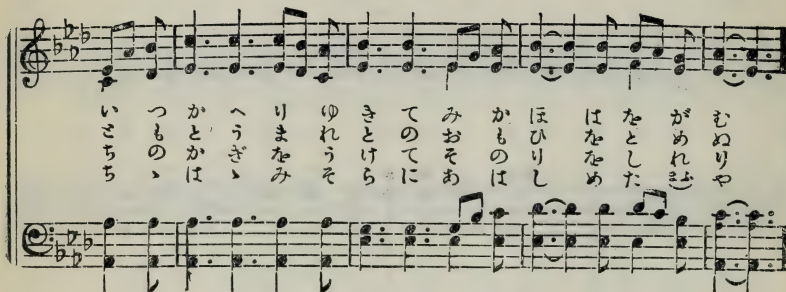
O My Father.

E. R. SNOW.

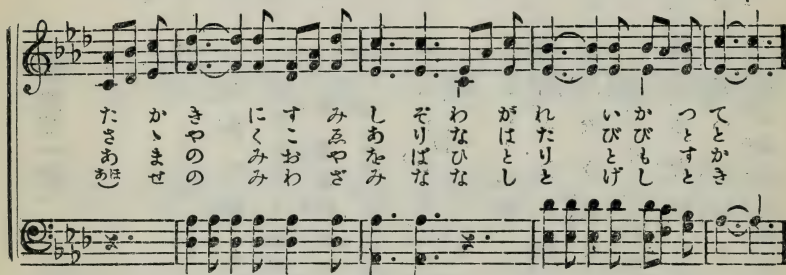
JAMES McGRANAHAN.



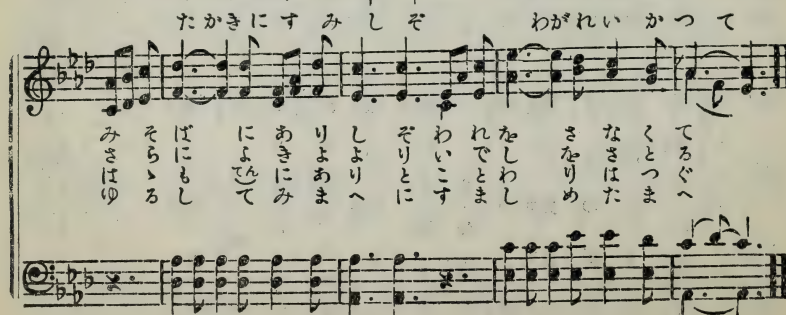
1. た か し き に さ か え て す め る わ が ち
 2. かない しのち きむと ねも はれ わみ た ま の だ と し
 3. 4. ない の ちよ と は ね の さ る と し



い つ か へ り ゆ き て み か ほ は な が む
 こ の も と う ま け う の て お の は り め
 ち の か ぎ な み そ に あ は り ゃ



た か き に す み し ぞ わ が れ い か つ て
 あ ま せ の の み お わ し あ な ゐ な は と し れ た り と い び と げ か び も し つ と す と て と か き



み そ ば に あ り し ぞ わ れ な さ な く て
 さ は ゆ そ ら も し に よ ん て あ き に み り よ あ ま し よ り へ ゐ り と に わ い こ す れ で と ま な し わ し さ な り め な さ は た く と つ ま て る ぐ へ

みそばにありしぞ われなさなくて

What Voice Salutes the Startled Ear?

CHORUS.



は か よ い づ こ に か な ん ち が し ゅ り は あ る



い づ れ の か た に か し の と げ あ る



第二百十、耳を驚かす聲は何ぞ。

エチ、ダブルユ、ネズビット作歌
イー、ピースリー作曲

一、耳を驚かし

生命を與ふる
我がたよる過去の

(返折) 墓よ何處にか

(返) いづれのかたにか

二、こは世の土にも

學者の力にも

ためしを經てなる

三、開きたる樞に

用なき骸より

墓にそふわれ等

四、

神の御聲には

汝が御子を歌はむ

氣を勵まし
聲は何ぞ

ひどきなるか
汝が勝利はある

死の刺がある

智にも出でず

つくるを得ず

神の休息響

友はの息む

今仰るものが

信仰るものが

死者は生くる

我カルバに救主

No. 120. What Voice Salutes the Startled Ear ?

H. W. NAISBITT.

E. BEESLEY.

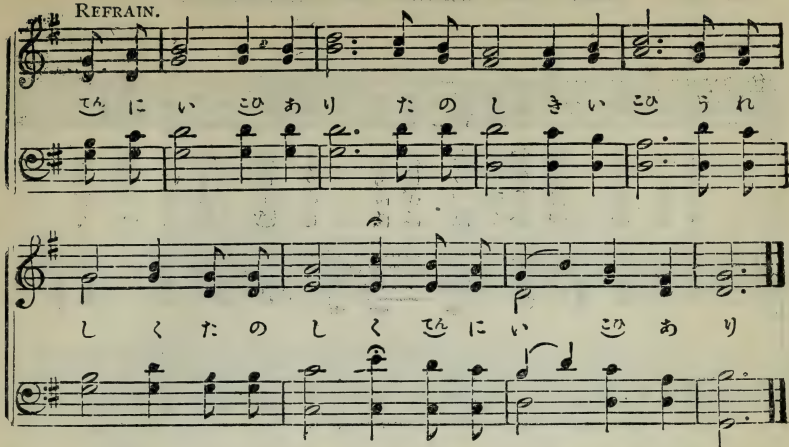
1. み み を お ち し も き な は げ ま し
 2. こ は や の の ち し も き な は げ ま し
 3. あ き た の の ち し も き な は げ ま し
 4. か み の の の ち し も き な は げ ま し

い の ち を あ さ 一 る こ ぬ は は に ぞ
 が く し の の く ろ か ら よ り つ く な の え ず
 う な き の む ち に あ り い ま あ り あ る
 つ な き の む ち に あ り い ま あ り あ る

わ が た し よ る せ の ひ ど き な る か
 た が し そ へ ら ら かし みの ひ る かつ
 は が し そ へ ら ら かし きの ひ る かつ
 な が し そ へ ら ら かし きの ひ る かつ

Farewell, All Earthly Honors.

REFRAIN.



第二百二十一、別れむ人間の譽れ。

ウヰリアム、ビー、ブラードベリ作曲

一、さらば別れむ 人間の譽れよ 三、こらしめを受け 日に十字架負ひ

人間の快樂なば 今は棄てなむ すべてのががれ 淨められなむ

我がもとむるは 三、世のすまひ 竈に向ひて つよき火感じ

サタンのえ行かぬ 罪なきすまひ 聖くなる身の 金のみ銷えす

折) 天に休息あり 樂しき休息

(返) 天に休息あり 樂し

二、天の父拜み 冠得たる 四、主は住まひなば 約し給ひぬ

義人のうちに 名なきざまれむ 主仕かへば得む 勝利のしるし

盡きせぬ寶 索めゆきて 救はれし者 照す冠

憂きに堪へつゝ 我がものとせむ 「御さかえ」とわれ ち 関揚げむ

No. 121.

Farewell, All Earthly Honors.

WM. B. BRADBURY.

1. さ ら ば よ わ か め よ の ほ ま れ よ
 2. (さん) ら の ち め な が み (かん) の り え た る
 3. (し) は し す ま ひ う け ば ひ や く し か か ん
 4. (い) は し す ま ひ う け ば ひ や く し か か ん

よぎす の けん ら く な ば い ま は す て な
 (し) じへに の の か う が に な き め ら ま れ
 (い) じへに の の か う が に な き め ら ま れ
 (い) じへに の の か う が に な き め ら ま れ

わつ か が も と む る は さ も こ よめ の す び
 かす まく せごは ぬれ か か の らて の ら よめ の す び
 (い) かす まく せごは ぬれ か か の らて の ら よめ の す び
 (い) かす まく せごは ぬれ か か の らて の ら よめ の す び

サウ き えん の え ゆ か つ め つ み が な き す び
 きみ よる の た へ り み の れ かん か の み き えん
 (い) きみ よる の た へ り み の れ かん か の み き えん
 (い) きみ よる の た へ り み の れ かん か の み き えん

No. 122. Rest, Rest for the Weary Soul.

H. W. NAISBITT.

G. CARELESS.

1. やす め つた か れ て は やす め なき や み て は
 2. (い) め わ あ ら そ な く (い) め わ ない や そ ひ か な ひ
 3. (い) め わ あ ら そ な く (い) め わ ない や そ ひ か な ひ

やす め こ や ま の へ ゆ け る あ ま た さ
 (い) め こ ひ く ま の て ほ い ぢの ちの の か は に り
 (い) め こ ひ く ま の て ほ い ぢの ちの の か は に り

4. (い) わ せ め ら れ し な は い ま じ い う
 5. (い) わ せ め ら れ し な は い ま じ い う
 (い) わ せ め ら れ し な は い ま じ い う

やす め つ か れ し こ て ん し は ま も る
 わ れ か ち う べ し い の ち の しょう り な

第百二十二、 休め疲れては。

エチ、ダブルユ、ネズビット作歌

ジイ、「カ」ルレス作曲

一、	休め	疲れ	ては	休め	悩	みては
休め	小山	の上	逝	ける	数	多
休め	戦	ひ	終	へ	競	ひ
休め	日暮	れては	閉	ぢ	たる	門
休め	紛	争	なく	平和	喧	嘩
平和	事	し	げ	き	生命	の
平和	壓	迫	め	られ	汝	は
休め	疲	れ	し	子	天	使
平和	奏	づ	る	音	つ	ひ
われ	羸	ち	得	べ	生	命
					勝	利
					を	

第百二十三、 神は愛なり。

ダブルユ、ダブルユ、フェルアス作歌

トマス、シー、グリグス作曲

一、	大地	は	花	満	ち	空	は	う	る	ほ	ふ
天	は	限	なく	海	面	光	る				
六	合	は	皆	い	ふ	神	は	愛	なり	と	
二、	谷	や	小	川	や	森	の	ひ	い	き	も
風	や	小	鳥	の	静	け	き	聲	も		
三、	胸	の	泉	に	神	は	愛	なり	と		
う	き	世	な	が	ら	に	受	け	を	る	恵
上	より	聲	す	神	は	愛	なり	と			

しりしか なしみぎ したのり へがひな なへのき まいいへ たのまい よちだわ にのこを おみねば ここそた ささのの なのみし むはへま とににむ

No. 123. Earth, With Her Ten Thousand Flowers.

W. W. PHELPS.

T. C. GRIGGS.

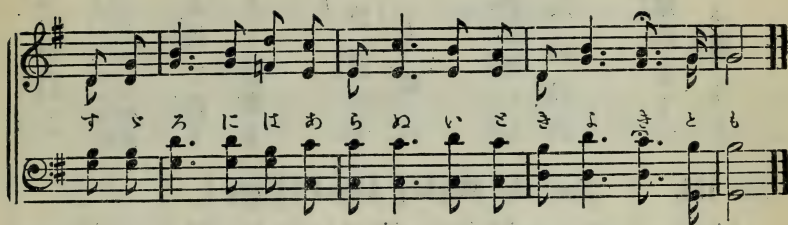
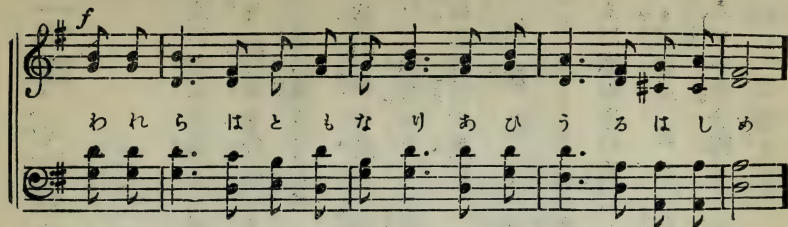
1. たい ちは は な み ち そ ら は う る お 一
2. た に は い は み や に も り の ど き も
3. む れ の い づ み に わ け る ひ の ぞ み も

てん は か ギ り な く う な づ ら ひ か る
か ぜ や こ と が の し う づ け き こ め ぶ も
う き な ら に う け を き め ぐ み

り く が は み な い か み は あい な り と
す べ て う り た へ り す か か み は あい な り と
う へ よ り こ へ り す か か み は あい な り と

Let Us Treat Each Other Kindly.

CHORUS.



第百二十五、

我等は朋友なり。

エール、ジー、リツチャードス作歌
ツエ、エス、ルーイス作曲

一、我等は朋友なり
すゝろにはあらぬ
愛には猜疑なく
慰め和すぞ
(折) 我等は朋友なり
(返) すゝろにはあらぬ
二、か弱き人間みな
世にははらからど
矯め得るあやまち
力をきはめて
愛の篝の火は
強きも弱きも
さばきを慎み
愛の道によりて

相親愛しめ
いと聖き朋友
光輝を發つ
愛の希望なる
相親愛しめ
いと聖き朋友
互に頼られ
朋友なくや
うち棄ておくな
正義を守れ
すべてを照す
へだてをおかず
直きにつとめ
互に頼られ

No. 125. Let Us Treat Each Other Kindly.

L. G. RICHARDS.

J. S. LEWIS.

1. わ れ ら は と も な り あ ひ う る は し め
 2. か よ わ き と の み な か た み て たら れ す
 3. あい の か と ひ ひ な へ へ へ へ へ へ へ へ

す り ろ に は あ ら め い と き ふ き と も
 よ によ は き も ら き も へ だ な く お か は す
 つ へ へ へ へ へ へ へ へ へ へ へ へ へ へ へ へ へ へ

あ に は そ れ み な く ひ か り な て は な く つ
 い め う そ れ あ や ま く う ち ほ す き へ つ と な
 た ば き を あ ャ し み な な な な な な な な な

な ぐ さ め や は す ぞ あ の れ が ひ な る
 ち か の み を き は め り て せ い ぎ な ま れ
 あい の か と ひ ひ な へ へ へ へ へ へ へ へ

第二百二十六

北のはてより。

レギナルド、ヒベル作歌
ロエル、メーソン作曲

一、北のはてより

南國より

三、神の火ともす

たまのあかり

はた砂やくる

アフリカより

世のくらき靈に

分かあたふ

川も林も

おのが身より

救ひをもとめ

御聲傳へよ

惡のくさを

とけと呼ばふ

なべての民に

隅々まで

二、セイロンの島を

吹くそよ風

四、風吹きひろめ

水よ流せ

みぎりの天地

なべてきよし

さかえの海の

きはまりなく

人のみけがれ

神の御旨を

あゝ我等の地を

小羊の王

知り得ぬ旨は

石ををがむ

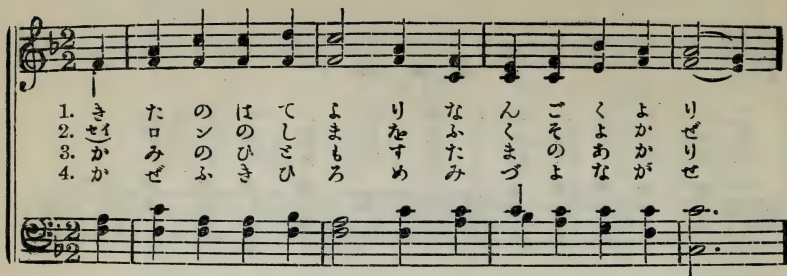
主のつかさどりに

来る日まで

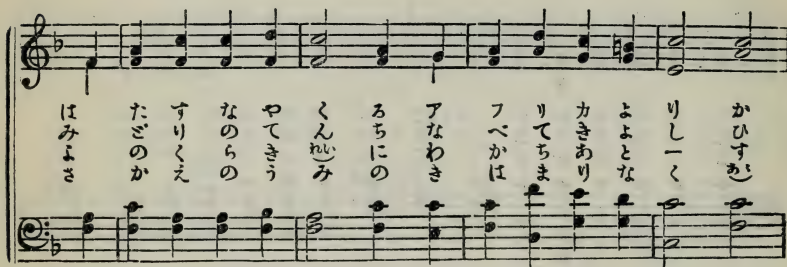
No. 126. From Greenland's Icy Mountains.

REGINALD HEBER.

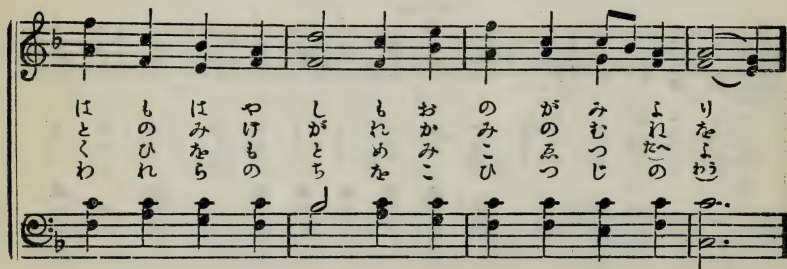
LOWELL MASON.



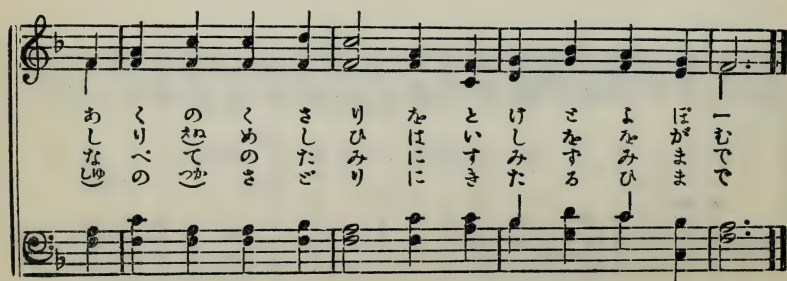
1. き た の は て ふ り な ん ご く よ り
2. セイ た の の ひ し ま も り な く そ の あ か が り
3. か み の の ひ し ま も り な く そ の あ か が り
4. か み の の ひ し ま も り な く そ の あ か が り



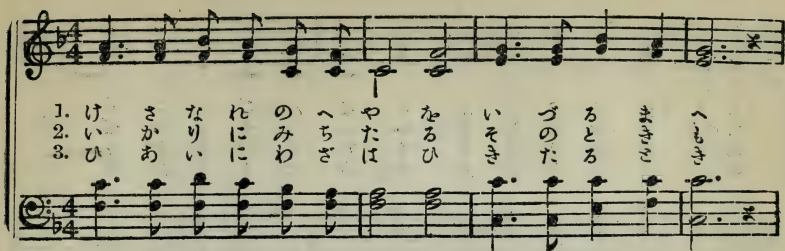
は み さ た す り な や く ろ ア フ リ カ よ り か
み さ た す り な や く ろ ア フ リ カ よ り か
み さ た す り な や く ろ ア フ リ カ よ り か
み さ た す り な や く ろ ア フ リ カ よ り か



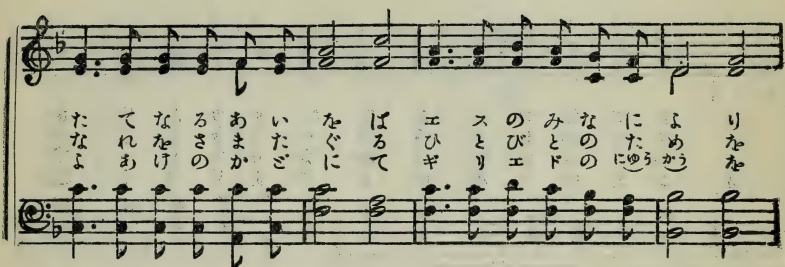
は と く も は や し も れ お の み が み り
く わ ひ ら も と ち め か こ ひ つ へ の よ う
く わ ひ ら も と ち め か こ ひ つ へ の よ う
く わ ひ ら も と ち め か こ ひ つ へ の よ う



あ し く り の く さ さ り な は と い け さ よ ぼ 一
し な べ の め の た し み り に す し み な み が ま で
し な べ の め の た し み り に す し み な み が ま で
し な べ の め の た し み り に す し み な み が ま で

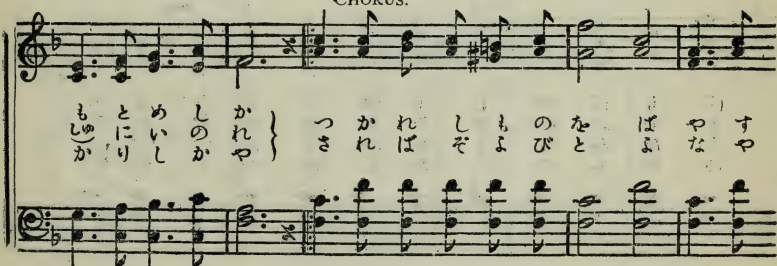


1. け さ な れ の へ や な り づ る ま へ
 2. い さ な れ の み ち や な り づ る ま へ
 3. ひ あ い に に わ ざ は ひ き た る こ き

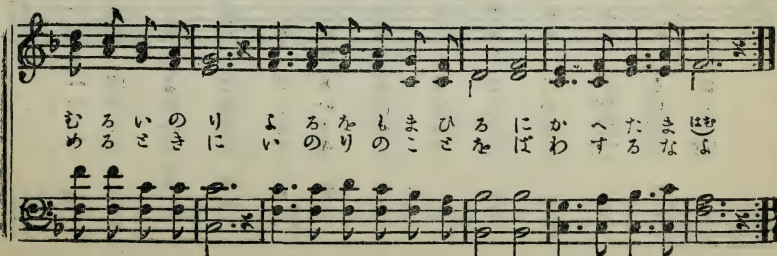


た て な る あ い な ば エ ス の み な に よ り
 な て な さ ま た め る び と の た め る
 よ あ け の か ん ん ん ん ん ん ん ん ん

CHORUS.



も と め し か } つ か れ ば し も の な ば や す
 か に り い の か } さ か れ ぞ よ び と ふ な や



む る い の り ふ る な も ま ひ る に か へ た ま は
 め る さ き に い の り の こ さ を ば わ す る な よ

第二百二十七、禱ることを忘るな。

第二百二十八、朝日照る間も。

エヴァン、ステヴエンズ作曲

一、今朝汝の室を

出づる前

たてなる愛をば

エスの御名により

疲れし者をば

折夜をも眞晝に

(返さればそ世人よ

祈禱のことなば

二、怒にみちたる

汝を妨ぐる

人々の爲を

三、悲哀に禍

夜あけの門にて

ギリエドの肉香を

求めしか
休むる祈禱
かへたまはむ
悩める時に
忘るなよ
其の時も

主の祈禱
来るに
時

かりしかや

一、朝日照る間も

晝も夕も

静けき夜も

行けよ行けよ

心清らに

世の思捨て

房に籠りて

伏して祈れ

行け日の出にも

日の暮にも

房に籠りて

伏して祈れ

二、愛せらるゝにも

愛するにも

憎まるゝにも

幸祈禱れ

祈り遜れよ

汝が爲にも

救の主の

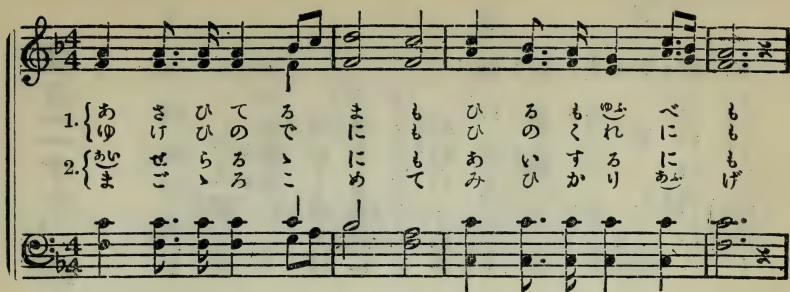
御名によりて

誠意こめて

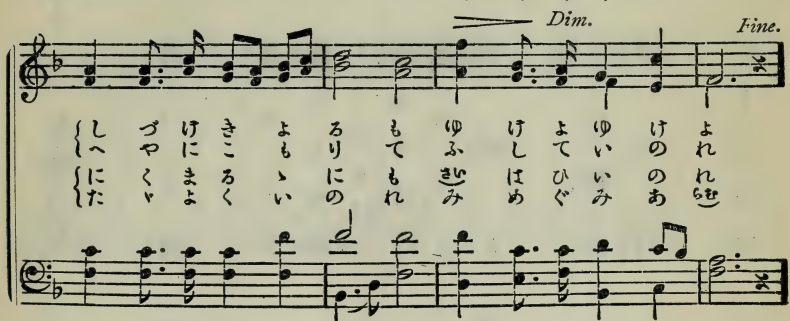
御光仰げ

たゞよく祈れ

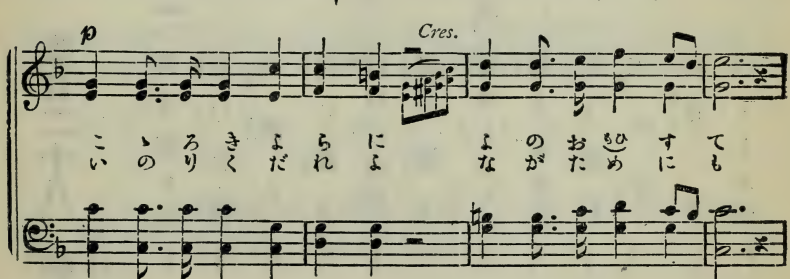
御恵あらむ



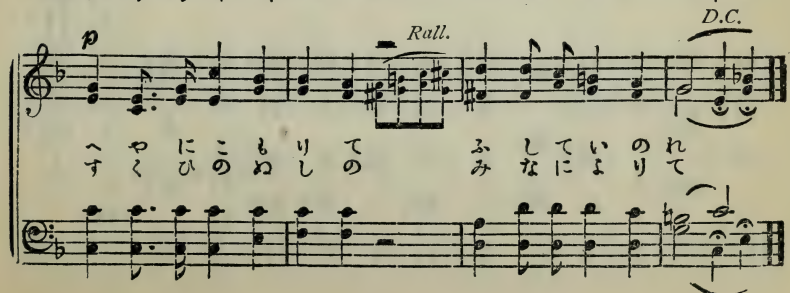
1. { あゆ さけ ひて るで まに も ひ る も べ も
2. { あい せご らるゝ にめ もて あみ いひ すり あげ



{ し づ け き よ る も ゆ け よ ゆ け よ
{ へ ば に こ も り て ふ し て い の れ
{ た く ま る い の れ き は ひ い の れ



こ の ろ き よ ら に よ の お ひ す て
い の り く だ れ よ な が た め に も



へ や に こ も り て ふ し て い の れ
す く ひ の め し の み な に よ り て

第百二十九、

誰が主の友

エチ、コオルナベ作歌
ジイ、カルレス作曲

一、誰が主の友

恐れず聞かむ

普通にあらぬ

敵は醒めぬ

(返折) 誰が主の友

恐れず聞かむ

二、生ける主にそひ

われの力

勝ち得るまで

今は示さむ

誰が主の友

戦争と敵

誰が主の友

今は示さむ

誰が主の友

敵に知らせむ

誰が主の友

おめす進む

三、

我等の主よ

おのづと切れ

誰がそを行る

我等の旗

高くなびく

四、旗に集へ

勝ち得む我等

清らかなる

平和を示せ

誰が主の友

世に満ちん石

誰が主の友

勇者の手にて

誰が主の友

神は救はむ

誰が主の友

旗もて世に

誰が主の友

Who's on the Lord's Side ?

First system of the musical score. The vocal line is in treble clef with a key signature of one sharp (F#). The piano accompaniment is in treble and bass clefs. The lyrics are written below the vocal line.

き れ か わ
は ら く な
さ の な し
め じ ゅ び め
ぬ よ く せ
た た た た
が が が が
し ゅ の の の の
ら ら ら ら
も も も も

CHORUS.

Chorus section of the musical score. It consists of three systems of music. The vocal line is in treble clef, and the piano accompaniment is in treble and bass clefs. The lyrics are written below the vocal line.

た が し ゅ の さ も い ま は し め さ ゐ お
そ れ す き が ゐ た が し ゅ の さ も

No. 129.

Who's on the Lord's Side?

H CORNABY.

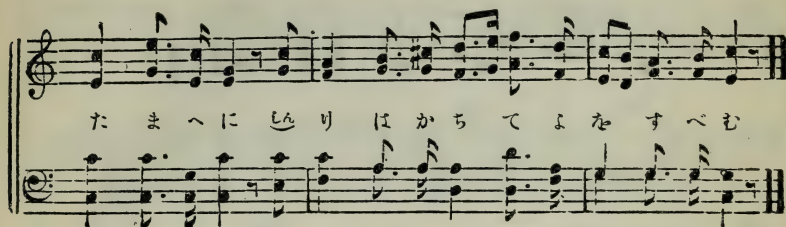
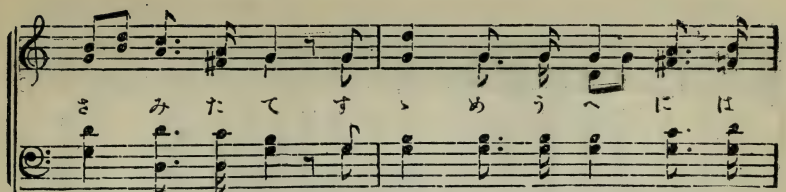
Arr. by GEO. CARELESS.

1. たい が じゅ の さ も い ま し し め き わ あ
2. がい け の り の に そ いて ま に っ せ し わ わ
3. お の た づ つ さ へ か み み は ち ら く は は
4. は た に り へ か み み は ち ら く は は

それ かの すが かわ た が じゅ の こ も た
がの かわ た が じゅ の こ も た

だち に ある ら ね た あ ひ す て き て
れに の か は た め の も て に わ
よら か な た め の も て に わ

Tradition and Error in Battle Array.



第三百三十、傳説と過謬と見ゆ。

ウキリアム、パウエル作

一、傳説と過謬と見ゆ

向ひ戦へシオンの子等

エホバを力に楯に

進みて勝たむ死を賭して

いざ此の歌に結び

旗をもて勇み立て

進め上にはた前に

眞理は勝ちて世を統べむ

忠實に終局まで進みてむ

主を友なる義の軍

三、東西神の御國

朋友にあひ兄弟にあふ

サタンは力を失ひて

エスぞ此の世を統べ給ふ

四、海は北に流れ去り

喜び出づイスラエル人

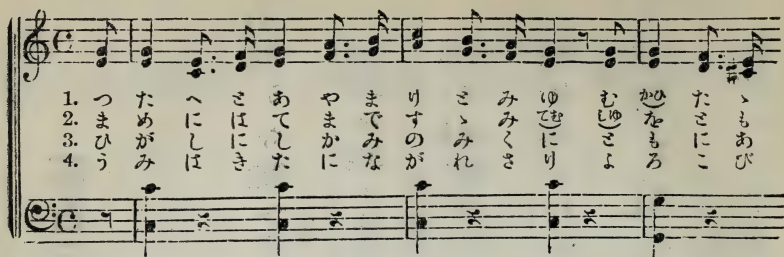
主はエノクをまた建て、

アブラハムの子等群れ集ふ

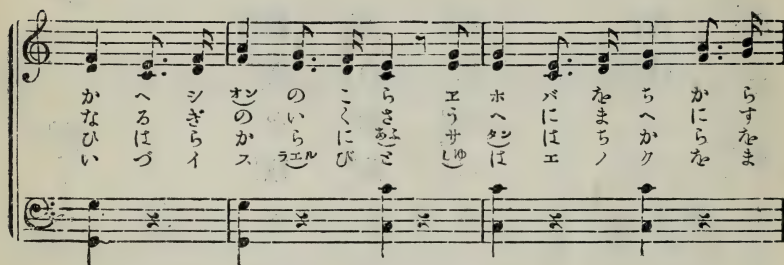
No. 130. Tradition and Error in Battle Array.

W. P.

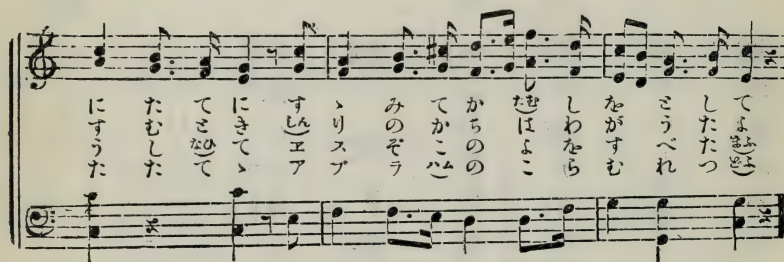
WILLIAM POWELL.



1. つま ため へに さあ やま まで りさ み ゆ むか た へ
2. ま ひ が に は に した か に ま な の が み に め もろ さに こ
3. ひ う み み は き た な か り み り ん もろ さに こ
4. う み み は き た な か り み り ん もろ さに こ

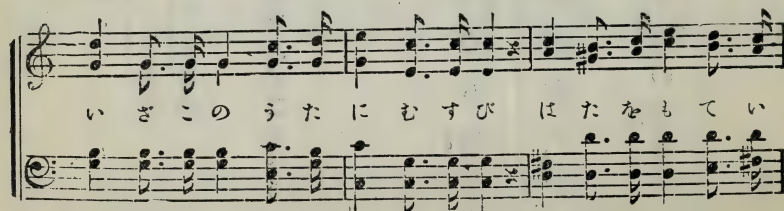


かな へろ シオ の こ ら エ ホ バ な ち か に ら
ひ ぼ イ カ の く ら サ ヘ には ま へ ら
い づ イ ス カ エ ル に ゃ ま ノ ノ を へ ら
ま づ イ ス カ エ ル に ゃ ま ノ ノ を へ ら



にす たむ てに すハ みの てか ちの ちわ をさ とう した て
うた した なて スぞ か の の らす べ た た
た した て スぞ か の の らす べ た た

CHORUS.



いざこのうたにむすびはたをもてい

第三百三十一

聲うち揃へて。

エー、ダルリンプル作歌
デー、シエフイルド作曲

一、聲うち揃へて

讃美を歌へ

安息の日毎にあゆみてならへり

天地を造りたる

主の御前に

直く狭き道

祈る効驗あり

主は豊かなる

三、神よねがはくは
年少き時に

恵を與ふれば

主は豊かなる

智を授かりて
御恵受けむ

二、生命と光の

御神よ主よ

救はれし子等と
不滅の道をば

吾等はよろこび

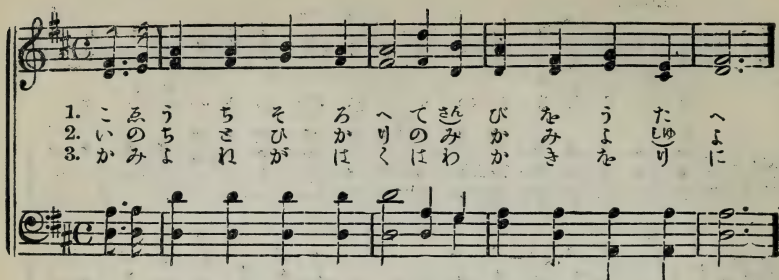
心に満ち

共に進みつゝ

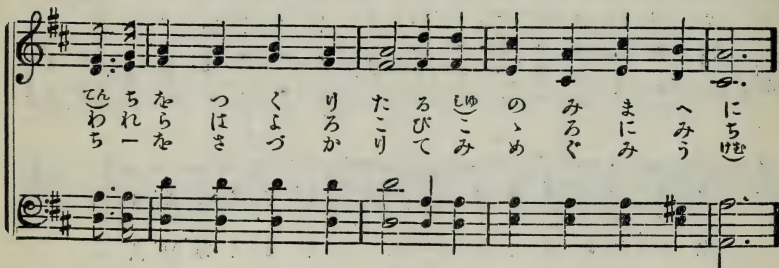
No. 131. Come, Let Us One and All.

A. DALRYMPLE.

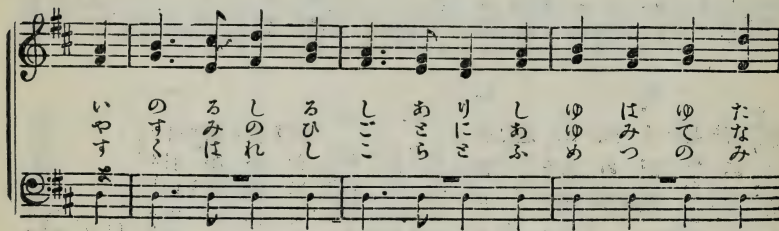
D. SCHEFIELD.



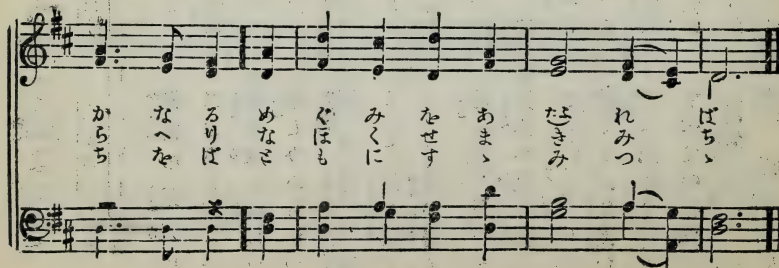
1. こいゑのうちそひるかへりてひかひをうたへよに
 2. こいのうちそひるかへりてひかひをうたへよに
 3. かのみよれそひるかへりてひかひをうたへよに



てんちならつくりたるしひのみるまへにち
 われ一ををさよるかこびこめるみまにち
 ちれ一ををさよるかこびこめるみまにち



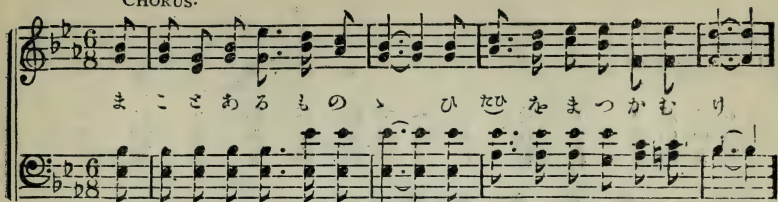
いやすのすくるみしるひししこあさりりにさしあふゆゆめはみつゆてのたなみ
 いやすのすくるみしるひししこあさりりにさしあふゆゆめはみつゆてのたなみ
 いやすのすくるみしるひししこあさりりにさしあふゆゆめはみつゆてのたなみ



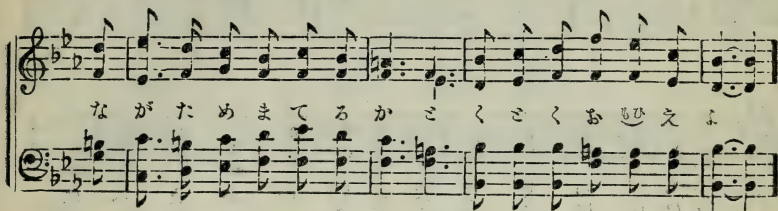
からちなへるりめなぐほみくをせあまなきみれみつばち
 からちなへるりめなぐほみくをせあまなきみれみつばち
 からちなへるりめなぐほみくをせあまなきみれみつばち

What Prize Shall Be Your Reward ?

CHORUS.



ま ことある ものゝ ひ たひ を ま つ か む り



な が た め ま て る か こ く こ く お ひ え よ



な が た め ま て る か こ く こ く お ひ え よ

第三百三十二、汝の冠は何ぞ。

ソエ、エール、タウンシエンド作歌
イー、ピースリー作曲

一、今日の御書による

御前の裁判に

何を獲むとて汝は

はたらき祈るか

世を離れてのち

聖き地に喚ばれ

住むにまさりたる

樂しみあらむや

折) 誠實ある者の

額を待つ冠

(返) 汝がため待てるか

ごくごく思ひ得よ

二、後悔に益なし

時は今なるぞ

冠を戴け

恩恵を贏ち獲よ

生命の旅路は

ただ一時のみ

覺めよ心せよ

近く主は見えむ

三、汝が踐む所は

天に記録されたり

身のため愛のため

すべての行為は

若しや其の多くが

身の爲ならむには

冠は獲られじ

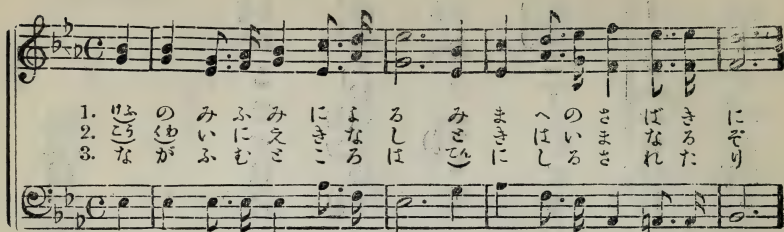
神の恩恵にも

No. 132. What Prize Shall Be Your Reward ?

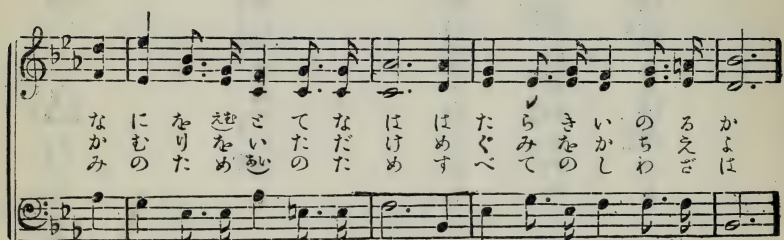
J. L. TOWNSHEND.

E. BEESLEY.

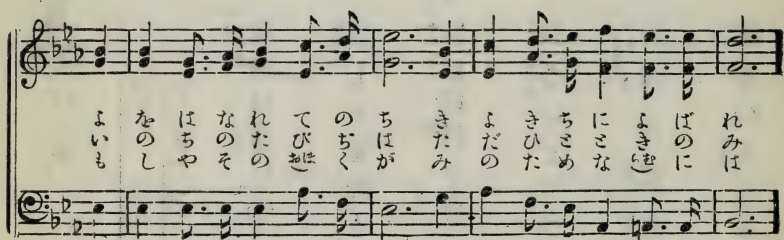
Moderato.



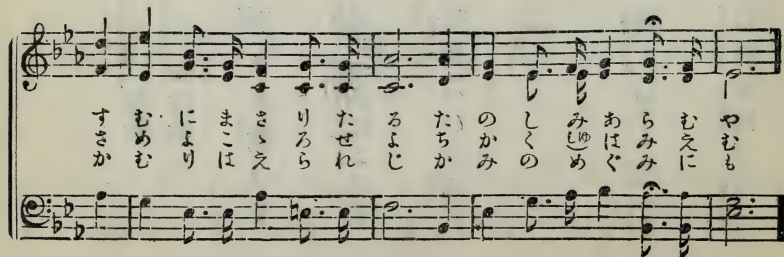
1. りの み ふ み に る み ま へ の さ ば き に
 2. こゆ い に え き な し さ き へ の さ ば き に
 3. な が ふ ん こ な し さ き へ の さ ば き に



な に を ゑ さい て な は は た ら き い の る か
 な か む り た ゑ い た だ け め す みて の ち え ば
 な か む り た ゑ い た だ け め す みて の ち え ば



よい を は な れ て の ち ち き よ き ち に よ ば れ
 も の ち そ の お ぢ が が み だ の ひ さ き に の み
 も の ち そ の お ぢ が が み だ の ひ さ き に の み



す む に ま さ り た る た の し く み あ ら む や
 さ め により こ え ら せ よ じ か み ぐ み に え にも
 さ め により こ え ら せ よ じ か み ぐ み に え にも

第三百三十三

息あるほど讚美せよ。

ワ　　ー

ツ作歌

ジエ、フオン　　ズ作曲

一、息あるほどはた

聲絶えなむ後も

眞理は常に立ち

弱きを救ひて

讚美せむ造化の主

貧しきを助く

其の誓約違ふまじ

生命と思もて

此の世にありとも

三、盲目は目をあけ

疲勞はひき立て

永遠にすむとも

讚美の日終らむや

良心のぞめつ

二、イスラエルの神に

信賴るは幸なり

寡婦や孤兒

旅人をも救ひ

神は天地を造る

獄裏の人にも

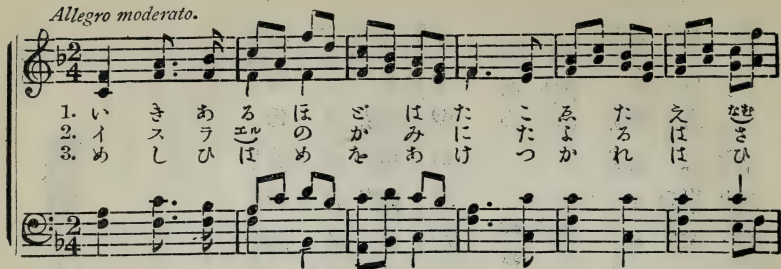
自由を賜ひ給ふ

No. 133. I'll Praise My Maker While I've Breath.

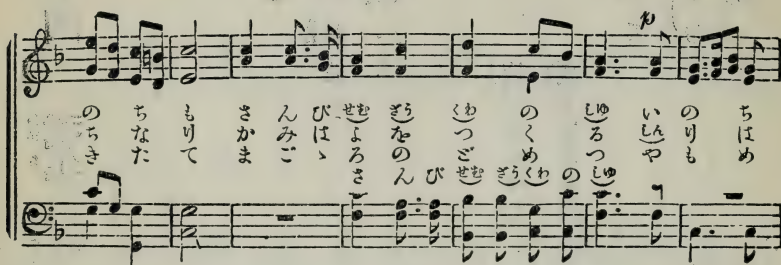
WATTS.

J. FONES.

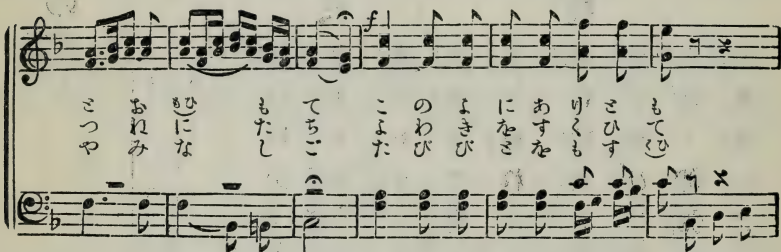
Allegro moderato.



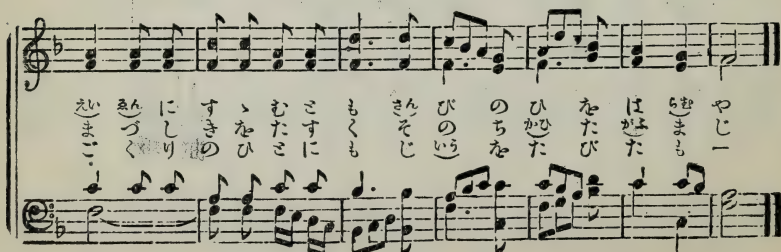
1. い き あ る ほ ご は た こ ゑ た え な
2. イ ス ア ム の か み に た ゑ は さ
3. め し ひ ぼ め を あ け つ か れ は ひ



の ち もり さ ん び せ ゑ ん の く の り ち
ち き なた か み ん は よ ゐ の つ ゑ り い の め
き た も ま ん ゃ ん ん せ ゑ ん の つ ゑ り い の め



こ あ ゐ も た て こ の よ に あ り さ も
つ れ な な し ち た わ き な す く ひ て
や み な し こ ゑ ん び を も す ひ



い ん に し す ん む さ も
ま こ し の ひ た の の ひ た は ま や
こ し の ひ た の の ひ た は ま や

す す む こ も

第三百三十四

我等の父の神よ。

シー、ダブルユ、ペンローズ作歌
イー、ビースリー作曲

一、我等の父の神よ

ゆるされたる子来る

今日喜悅賜ひ給へ

迷ひゆかすな

折) ゆめ ゆめ

(返 夜に 日に

迷ひゆかすな

祈りてあらむ

三、

迷ひゆかすな

平和の福音を受け

光のシオンに住まひ

神權もて導かれ

主を離れじな

四、

罪に敵對ふ力を得

世の戦ひに勝たむをり

永遠く御側を去らず

主を離れじな

二、

寛き御恵おもひて

聲に心に讚美せむ

我が生命 我が光

No. 134. God of Our Fathers, We Come Unto Thee.

C. W. PENROSE.

E. BEESLEY.

1. わ れ ら の ち め の か み よ ゆ る さ れ た る
 2. ひ る き の み め ぐ し か お ひ う へ こ ろ に
 3. つ ゐ わ に み ん ち ち し ち へ こ ひ の り た の シ
 4. つ ゐ わ に み ん ち ち し ち へ こ ひ の り た の シ

こに き た る け ろ ゐ こ び た び ま へ
 に き び ん せ ひ ゐ ゐ も ち て み び び さ か れ す
 か す た ま ひ ひ な ら く み そ ば な ま か ら

ま よ ひ か す な よ に ひ に い の り て あ ら む
 ま よ ひ か す な よ に ひ に い の り て あ ら む
 ま よ ひ か す な よ に ひ に い の り て あ ら む

ゆ か す な よ に ひ に い の り て あ ら む
 ゆ か す な よ に ひ に い の り て あ ら む
 ゆ か す な よ に ひ に い の り て あ ら む

No. 135.

Marching Homeward.

J. M. C.

J. M. CHAMBERLAIN.

1. さあ かま え も さ め む か む り な え む
 2. あみ く ち ら に つ か び ひ に は すれ た ゐる
 3. み

よ る ひ を み が き み に は な さ じ な
 か ら り は ち か し わ に よ き た び に
 こ ら り は を ほ ほ め ゐ ゐ う け ん
 こ ら り は を ほ ほ め ゐ ゐ う け ん

CHORUS.

む か へ る い ち は あ ま つ み く に

つ き め い の ち や わ が あ ぐ ほ し

第三百三十五、向ふ家路は。

ジエ、エム、チエンバレーン作

第三百三十六、樂しき日は來て。

ビー、デイビル作歌
イー、ピースリー作曲

一、光榮もどめむ

冠を得む

一、樂しき日は來て

眞理は知れわたり

甲冑をみがき

身にはなさじな

天使また來て

メッシャの世ひらく

(返折)

向へる家路は

天つ御國

二、福音の聲聞え

眞理は暗を出で
輝く日を見る

二、天路にむかひ

日々に進む

三、豫言者等の説きし

アブラハムの見し

冠は近し

行爲善き度に

聖徒の待ちし日よ

成らむ神の御業

三、御座に集ひ

救はれたる

四、此の日に聖徒等は

エスの御聲聞き

子等と主をほめ

御恵うけむ

天使も降り來て

人間と語るべし

No. 136.

The Happy Day has Rolled on.

P. DIBBLE.

E. BEESLEY.

Handwritten musical score for 'Ave Maria' by Schubert. The score is written on two staves, treble and bass, in 2/2 time. The lyrics are in Japanese. On the left side, there is a list of numbers: 1. 2. 3. 4. followed by the text 'たみよこ'.

Lyrics (from left to right):

- 1. 2. 3. 4. たみよこ
- のちんの
- しのび
- きこらに
- ひみの
- はきこ
- か、か、
- てえしは
- じん)アエ
- ゆりブス
- ははラの

Mayonaka ni wa

まよなか
ひまなく
かくのも
つらさし
みくせい
りでし
たいみき
わなのゑ
れみこ
しゃはみ

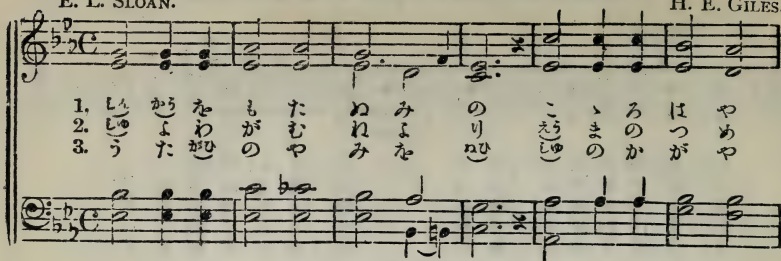
Musical score for the song "Kumazashi" (くるざし). The score is written on two staves, with the melody on the upper staff and the accompaniment on the lower staff. The melody is in treble clef, and the accompaniment is in bass clef. The key signature has one sharp (F#), and the time signature is 4/4. The melody is marked with a forte (f) dynamic. The lyrics are written in Japanese characters below the melody.

くるざし
 らみわべ
 ひをみる
 よひのた
 のくみか
 ややかこ
 シル^ちち
 ツかなひ
 てよよて
 きしひき
 たひしり

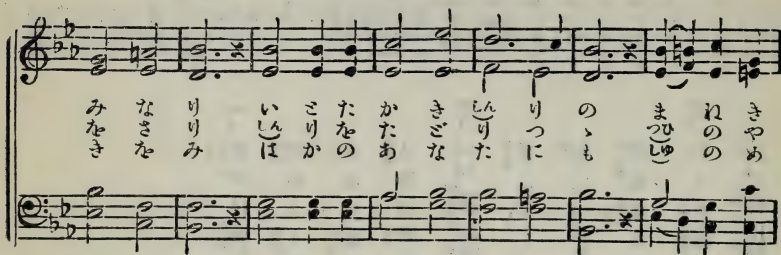
No. 137. Dark is the Human Mind, When Bound.

E. L. SLOAN.

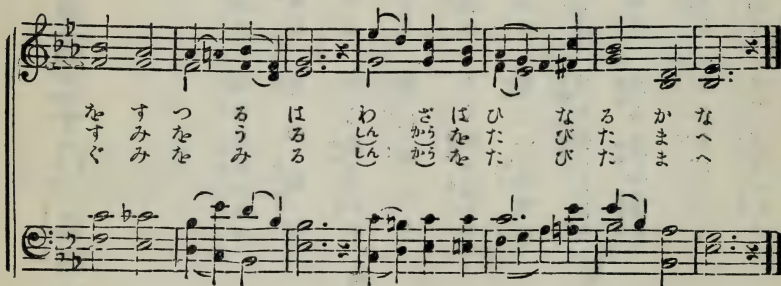
H. E. GILES.



1. い(い)を(わ)も(も)た(た)ね(ね)み(み)の(の)こ(こ)ゝ(ゝ)ろ(ろ)は(は)や(や)
 2. じ(じ)よ(よ)わ(わ)が(が)の(の)や(や)ね(ね)み(み)の(の)り(り)ひ(ひ)え(え)ま(ま)の(の)か(か)が(が)
 3. う(う)た(た)お(お)の(の)の(の)み(み)を(を)の(の)り(り)ひ(ひ)え(え)ま(ま)の(の)か(か)が(が)



み(み)な(な)り(り)い(い)さ(さ)た(た)か(か)き(き)ひ(ひ)り(り)の(の)ま(ま)ね(ね)き(き)
 な(な)さ(さ)な(な)り(り)み(み)は(は)り(り)か(か)の(の)あ(あ)な(な)り(り)た(た)に(に)も(も)つ(つ)し(し)の(の)の(の)の(の)
 な(な)さ(さ)な(な)り(り)み(み)は(は)り(り)か(か)の(の)あ(あ)な(な)り(り)た(た)に(に)も(も)つ(つ)し(し)の(の)の(の)の(の)



な(な)す(す)み(み)つ(つ)な(な)る(る)は(は)る(る)わ(わ)さ(さ)は(は)な(な)ひ(ひ)た(た)な(な)び(び)る(る)た(た)か(か)ま(ま)な(な)へ(へ)
 な(な)す(す)み(み)つ(つ)な(な)る(る)は(は)る(る)わ(わ)さ(さ)は(は)な(な)ひ(ひ)た(た)な(な)び(び)る(る)た(た)か(か)ま(ま)な(な)へ(へ)
 な(な)す(す)み(み)つ(つ)な(な)る(る)は(は)る(る)わ(わ)さ(さ)は(は)な(な)ひ(ひ)た(た)な(な)び(び)る(る)た(た)か(か)ま(ま)な(な)へ(へ)

第三百三十七

信仰なき心は闇なり。

イー、エール、スローン作歌
 エチ、イー、ジアイルス作曲

一、信仰をもたぬ身の心は闇なり

いと高き真理の招を捨つるは

わざはひなるかな

二、主よわが胸より妖魔の爪を去り

真理をたどりつゝつひの休息を得る

信仰を賜ひ給へ

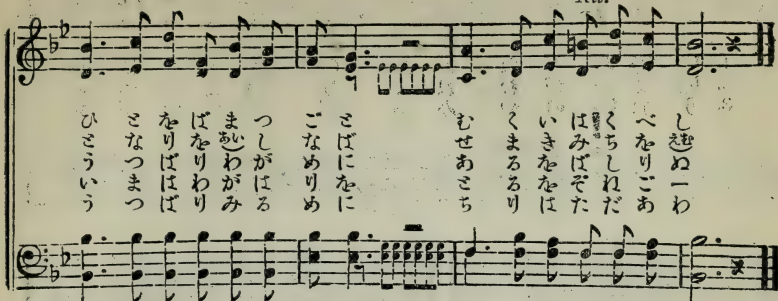
三、疑惑の闇をぬき主のかがやきを見

墓のあなたにも主のめぐみを見る

信仰を賜ひ給へ

Truth Reflects Upon Our Senses.

Rit.



し越ぬ一わ
べなりこあ
くちしれだ
はみばぞた
いきなをは
くまるるり
むせあさち
さばになに
ごなめりめ
つしがはる
まむわがみ
ばなりわり
なりばはば
こなつまつ
ひさういう

第百三十八、眞理は胸に照り。

イライザ、アール、スノー作歌

シイ、エフ、ルツト作曲

一、眞理は胸に照り 福音は明かざる

罪ある人等は 身の禍ぞ

人をば糺すな 我も糺されむ

人をば待つこと 報は來べし

二、エス宣ふ謙遜れ よく裁き得むこ

清くならむこせば 妬ます愛せよ

絶えずつこめなば 主の仰にそはむ

隣を愛しなば 狭き道を得む

三、ある日同胞に われ告げけらく

汝が目に塵あり そりて得させむこ

四、同胞のために 塵さらむこせば

先づわが眼の 輝を得よ

人の塵をたゞ 警めけるが

今は我が梁を ざるをぞ願ふ

五、愛はよき救治なり 眼を清うす

他のこがなば見る 身は誤れり

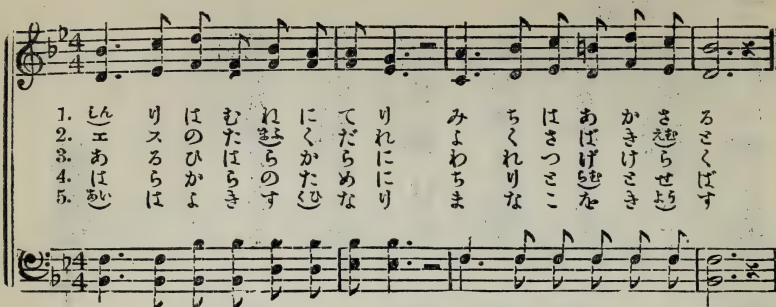
主の愛に従ひ 人をばせめじ

うつばり見る目に 塵はたゞ泡

No. 138. Truth Reflects Upon Our Senses.

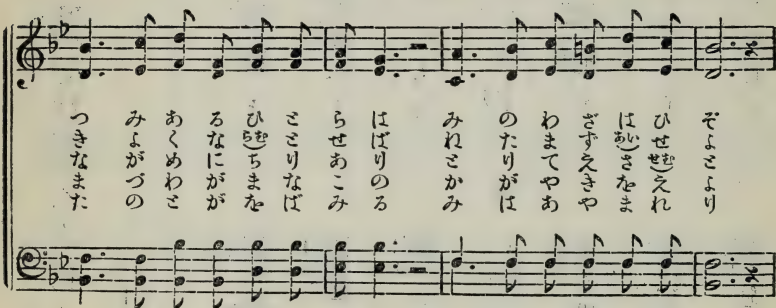
EILZA R. SNOW.

GEO. F. ROOT.

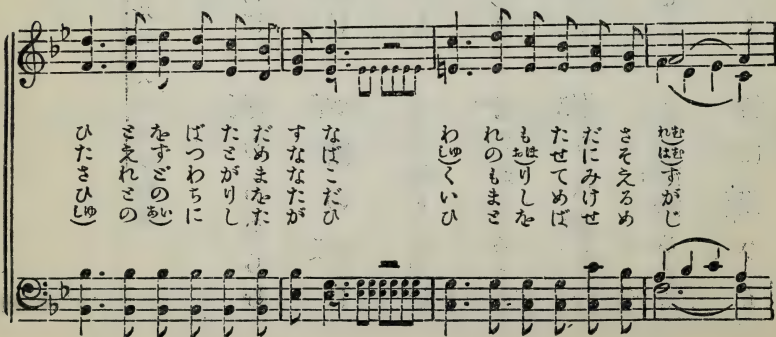


1. ん エ あは
2. エ あは
3. あは
4. あは
5. あは

リスるらは
はのひかよ
むたばらき
れむらのす
にくかたひ
てだらめな
りれににり
みよわちま
ちくれりな
はさつこ
あげむを
かきけさき
さむらせ
るさくばす



つきなまた
みよがつの
あくめわさ
るなにがが
ひむちまな
ささりなば
らせあこみ
はばりのる
みれさかみ
のたりがは
わまてやあ
さすえきや
はあさなま
ひせせえれ
ぞよさより



ひたさひ
さえれこの
をすこの
ばつうちに
たさがりし
だめまな
すななたが
なばこだひ
わゆくいひ
れのもま
もはりしを
たせてめば
だにみけせ
ささえるめ
むはすがし

第三百三十九、情をな燃えさせそ。

シー、ダブルユ、ペンローズ作歌

一、情をな燃えさせそ

吾が同胞よ

罪と見えたるに

淨きもあらむ

智の力をもて

これを抑へよ

訟をよく聴け

判斷の前に

力は静けき

頭腦にこもり

偽る心も

よく知られなむ

情は智をば碎き

眼をば眩ましむ

三、いかなる苦しさ

身にかゝるども

情をな燃えさせそ

吾が同胞よ

よく堪へ忍ばい

惱みは消えむ

(返折)

智の力をもて

これを抑へよ

世は侮蔑るども

よし誹謗るども

二、情には驅られず

敵をも愛せよ

怒を抑へよ

智に従ひて

No. 139.

School Thy Feelings.

MALE VOICES.

C. W. PENROSE.

Melody in 2d Tenor.

Tune :—VACANT CHAIR.

D. C. 1. じゃななもえさらせそわがはらからせ
 2. じゃ一にほはくせれすわてきにわもあいせよ
 3. いかなるくるしさをみにかゝるこそ

Fine.
 ちのちからわたもてこれなきあもさへふ
 つのみきたかみえしのるにきよきみほあきえむ
 よくたへへしおるにきよきみほあきえむ

ちかちらはしづけきづの一にこもり
 つかたへはなごくるきよのきそにのしるへにも
 よかたへはなごくるきよのきそにのしるへにも

D.C.
 じゃはちをばくだきめをばくらまじ
 いつかはるをこさるほよちにしれたがひむて
 いつかはるをこさるほよちにしれたがひむて

第四百十、眞理は何ぞ。

ジヨン、ジェークス作歌

一、眞理は何ぞ

こや寶の寶

驕れる

朽ちて棄てら

眞理こそ

二、眞理といふは

神も希ふ寶

索めよ

はた高きに

げに貴き

世の中の

國君の冠の

るゝ時

貴けれ

人のみか

深きに光り

輝かむ

のぞみ

三、暴君の笏

正義の風吹かむには

眞理は

堅き根は

暴君の手

四、眞理は何ぞ

萬物の終始なり

天は滅び

眞理はひとり

永遠に消えざらむ

手より落ちむ

太き柱にて

風に堪へ

のがれなむ

時を超え

地は裂くとも

世を率ゐ

No. 140.

O Say, What is Truth ?

JOHN JAKUES.



1. しん りり は なん ぞ よ の な か の こ や
 2. (しん) りり は (なん) ぼく ひ の り か か い め
 3. (しん) (り) (なん) は いて こ よ な め え せ い ぎ
 4. (しん) り は (なん) ぞ いて こ よ な め え せ い ぎ

たものぶ かれかつ らこそ の 一ふじ たたか し かかに な らばり おもん でん ごこりは れめはほ るふろ きふさび みかきち のきはは

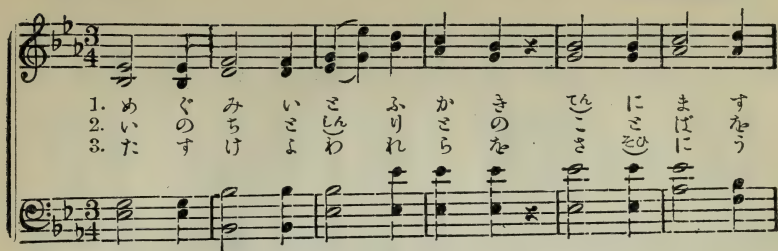
かん)にしさ むひらく りかにさ のりても くはかん ちたたり てたきは すかれひ てきはさ らにかり るかぜよ

るがにな さやたひ きかへぬ しげえ んにい りこん 二のに そてき だきのえ そのがざ けそれら れみむ

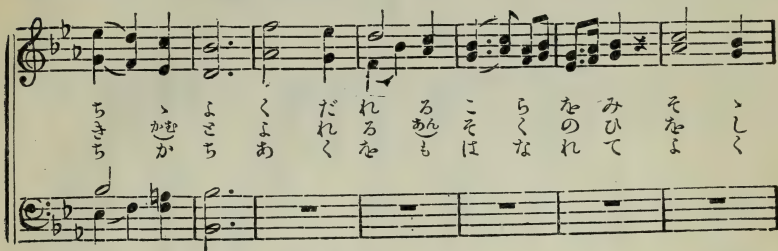
No. 141. O Thou Kind and Gracious Father.

G. DENNEY.

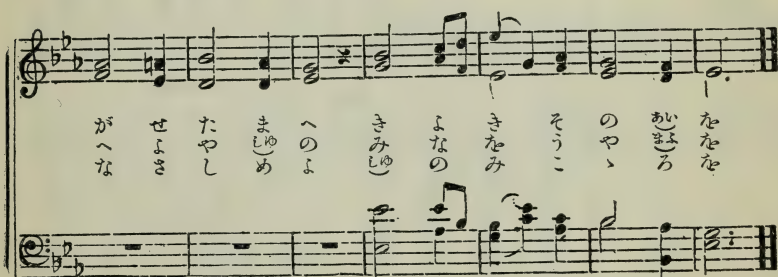
GEO. CARELESS.



1. めぐみ いさよ ふりか き てん に まば す
 2. いた のす け いさよ ふりか き てん に まば す
 3. た す け いさよ ふりか き てん に まば す



ちきち かか よさち くあ だれ れる るあん こそは らくな のれ みひて そなよ としく



がへな せよさ たやし まめ へのよ きみゆ よなの きなみ そうこ のや、 あいまろ なをな

第四百十一、御恵深き父。

ツイ、デンニー作曲
 ツイ、カルレス作歌

一、御恵いさ深き

天にます父よ

謙遜れる子等を見

そゝがせ給へ

聖きその愛を

言葉に聴かむこ

二、生命と眞理との

教へよや主の

會合れる安息の日

誘惑に打勝ち

御名を敬ふな

よくなさしめよ

三、助けよ吾等を

よくなさしめよ

悪をもはなれて

よくなさしめよ

主の御心を

よくなさしめよ

No. 142.

Sweet is the Work.

I. WATTS.

JOHN J. McCLELLAN.

1. みかみろよわがしゆよろたみのわりのしぎのくかんしゃすへなる
 2. こながよくにれがせべしるみよすべのわりのしぎのくかんしゃすへなる
 3. ひじよるははあをばしゆめくしもよみはさにりしみかはるえたさるしきむ
 4. ちろかこらびのちくにあにたみはるえたさるしきむ

第四百十二、御業を讃美む。

リ
 シヨ、シエ、マクレン作曲
 1
 少作歌

一、御神よ我が主よ
 樂しく感謝する

晝は愛を示し
 夜は眞理をかたる

二、心を満たせる
 御業を讃美む

慈悲はまばゆくも
 御さとしは貴し

三、永遠く捧ぐべし
 勝利の讃美をば

喜びの國に
 主に見ゆるとき

四、塵界にてねがへる
 すべてを受なむ

力も幸ある
 はたらき見えなむ

第百四十三、種を蒔く。

エチ、エー、タケツト作曲

一、日々に種を蒔く

善きに悪しきに

三、沃地にありつゝ

枯れゆくもあり

畑地にあるひは

風吹く岡に

蒔ける者逝きて

榮ゆるもあり

雨にやはらげる

畦にも蒔かれ

一つの氣息にて

苦も樂も蒔く

乾ける野原に

残れるもあり

言葉おこなひにも

生死の種あり

二、寂しき山邊の

谷間にも落ち

四、神よ弱き身に

任けて蒔かすな

市に棄てられて

人にも踏まれ

汝が御使もて

たなつもの守れ

怠る者には

置き忘れられ

田畑は榮えて

みのる穂に満ち

愛ある者には

よく育てらる

窮極なき生命の

實を結ばせよ

1. ひさこか
2. とびえみ
3. にしぢよ
4. たきにょ
ねやあわ
なまりき
まべつみ
くのゝに
ふたかま
きにれけ
にまゆて
あにくま
しもか
きおあす
にちりな

はいまな
たちげが
ぢにるみ
にすもつ
あてのか
るらゆひ
ひれきも
はててて
かひさた
ぜとかな
ふにゆつ
くもるも
なふもの
かまあも
にれりれ

あなひた
めことは
にたつた
やるのは
はもいさ
らのきか
げににえ
るはてて
うおくみ
れきもの
にわらる
もすくほ
まれにも
からまみ
れれくち

かあこは
わいとて
けあばな
るるおき
のもこい
はのの
らににち
にはもの
のようみ
こくしな
れそのむ
るだたす
もてねば
あらあせ
りりりよ

第四百十四、禮拜を受け給へ。

アール、アルドリジ作歌
ジョセフ、ジエ、デエンズ作曲

一、吾等が禮拜

うけ給へ神

護らせ給へや

うち勝つまでに

御心やはらぎ

幸賜はりて

護らせ給へや

うち勝つまでに

身に添ひ助けよ

勝ち得るまでに

三、今より日に日に

悪よりのがれ

身に添ひ助けよ

勝ち得るまでに

復活の日に

主と出づべく

二、仰を守らせ

もの賜はりて

讚美の歌をば

永遠さゝげむ

御座につくまで

導き給へ

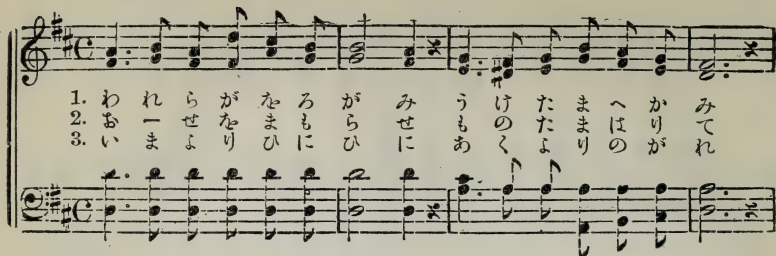
讚美の歌をば

永遠さゝげむ

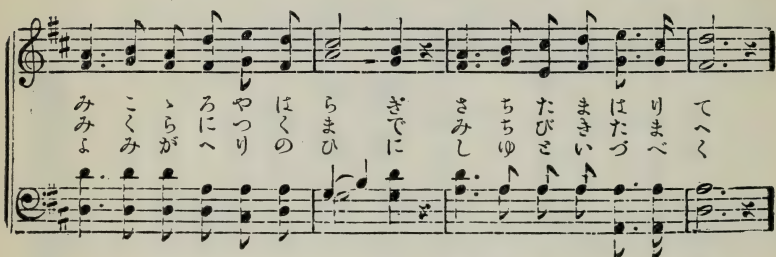
No. 144. Lord, Accept Our True Devotion.

R. ALLDRIDGE.

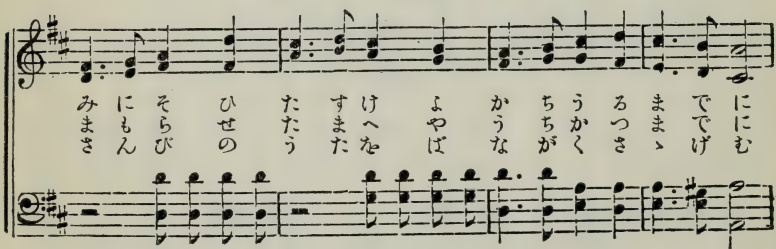
J. J. DAYNES.



1. わ れ ら が な ろ が み う け た ま へ か り み
 2. あ い せ な ま も ー ら せ に も の た ま は り が て
 3. い ま よ り ひ に ひ に あ く た ま の が れ



み こ ろ や は ら ぎ さ ち た ま は り て
 み く ら に の ま だ し ち た ま は り て
 よ み が へ の ひ に し ゆ さ い た べ へ

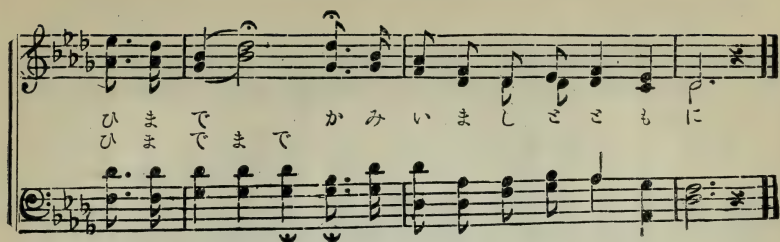


み そ ひ た す け よ か ち う る ま で に
 ま も せ た ま へ ー な ち く つ ま で に
 さ ん び の た た す ま ー ば な が く さ ま で に



み そ ひ た す け よ か ち う る ま で に
 ま も せ た ま へ ー な ち く つ ま で に
 さ ん び の た た す ま ー ば な が く さ ま で に

God be With You !



第百四十五、つゝがなく。

ジエ、イー、ランキン作歌
ダブルユ、ジー、トーマル作曲

- 一、 遇ふ日までつゝがなく
小羊の手もて
再遇ふ 日まで
再遇ふ 日まで
(返折)
- 二、 遇ふ日までつゝがなく
日々マナを興へて
再遇ふ 日まで
再遇ふ 日まで
- 三、 遇ふ日までつゝがなく
汝のいのちを
遇ふ日までつゝがなく
遇ふ日までつゝがなく
- 四、 遇ふ日までつゝがなく
死のおそれを去れ
遇ふ日までつゝがなく
遇ふ日までつゝがなく
- 神の汝を守れ
主エスのともに
神いましと共に
御翼のもごとに
御腕にさへよ
愛の御旗もて
遇ふ日までつゝがなく
遇ふ日までつゝがなく

No. 145.

God be With You !

J. E. RANKIN.

W. G. TOMER.

1. あふ ひ まま で つ が な く か み み な げ を ま
 2. あふ ひ まま で つ が な く か み み な げ を ま
 3. あふ ひ まま で つ が な く か み み な げ を ま
 4. あふ ひ まま で つ が な く か み み な げ を ま

も れ に こ ひ つ じ の て も て あふ ひ まま で つ
 こ へ も に よ い ま し ナ の あ た ち な ひ ひ まま で つ
 こ へ も に よ い ま し ナ の あ た ち な ひ ひ まま で つ

CHORUS.

が な く } ま た あふ ひ ま で
 が な な } ま た あふ ひ ま で ま で
 が な な } ま た あふ ひ ま で ま で

しゅ エ ス の も こ に ま た あふ ま た あふ ま た あふ

第百四十六、散會の歌。

ジョー・ルヂ、マンウエルイグ作歌
イー、ピー、スリー作曲

一、別る、時我が父に

樂しき聲に述ぶる歌

樂しき讚美いま一つ

主のみひとり聽きまさむ

安息日の空響かせむ

三、あがなひの主御前にて

御守護を思ひ愛を思ひ

歌ふ讚美を聽き給へ

二、稱讚へよ主の慈悲と愛

過失を去り罪を去り

御恵はたかぎりなし

主の御旨に適はしめよ

No. 146.

Parting Hymn.

GEO. MANWARING.

E. BEESLEY.

mf

1. わた か る へ な さの きの わ が ち へ に い て
 2. たあ が へ な の しゆ の しゆ み ひま あに
 3. あ が へ な の しゆ の しゆ み ひま あに

た の し き さ び い ま ひ ん つ
 み め め き は た か き り な ま し
 う ろ こ さん び な き た ま へ

p

や す み び の そ ら ひ び か せ む
 た す し き こ ゑ に の つ み る う た
 あ や し ち な さ り の み な さ り

f

み ま も り な お も ひ ち な お も ひ
 (しゆ) の の み り へ り に き へ ま ら め る
 (しゆ) の の み り へ り に き へ ま ら め る

No. 147. Lord, Dismiss Us With Thy Blessing.

WALTER SHIRLEY.

JEAN JACQUES ROUSSEAU.

1. ふ る こ び や は ら ぎ い ざ わ か れ て む
 2. た の し き ふ く い な あ が め か る こ ぶ

あ す い く も て の わ れ ら な て す くれ は せ た ま た へ せ

な ぐ れ さ に め ま ほ げ ま な せ る う き ち よ ま の も な り か て に む

第四百四十七

散會に臨みて。

ワルテル、シエルリ作歌

ジャン、シエクス、ルソー作曲

一、喜 び 和 ら ぎ

愛 も て 吾 等 を

救 は せ 給 へ

慰 め は げ ま せ

二、憂 き 世 の 中 に

樂 し き 福 音 を

尊 敬 感 謝 ぶ

救 濟 の 實 を も て

常 に 誠 實 な る

道 守 り て む

(148) 1. た み さ ゆ ー た み に きん び せ し め た ま へ
 2. み め ぐ み ば て な く き み こ せ ば す ぐ な り
 (149) アイ ノ カ ミ チ ホ メ ヨ ア メ ツ チ コ ズ リ テ

よ の つ り ん し き そ く ひ の め し た さ な
 ひ の カ ク マ ス か チ ト ミ コ ト ミ タ マ ト チ

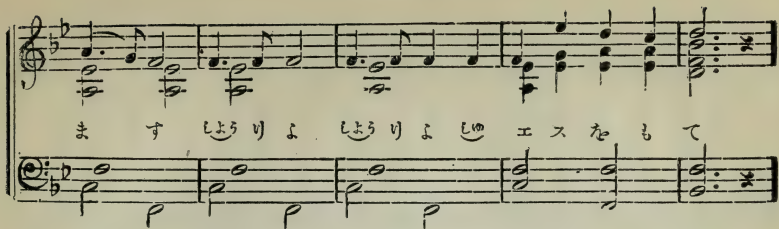
第百四十八、
 頌歌。(一)

一、國民といふ國民に 讚美せしめ給へ
 世の造主と 救の主とを
 二、御恵はてなく 御言葉すぐなり
 日の出づるかぎり 共にほめたへむ

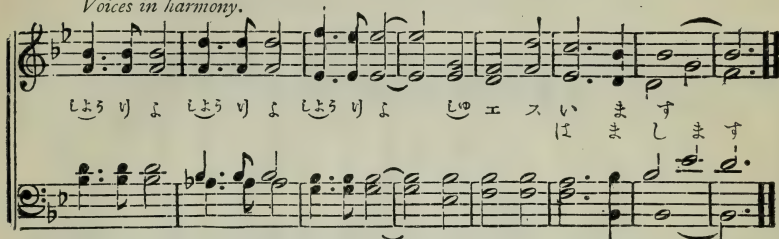
第百四十九、
 頌歌。(二)

愛の神を讚美めよ
 高く坐す父と
 天地舉りて
 御子と聖霊とを

The Joyful Song.



Voices in harmony.



第百五十、
樂たのしく歌うたふ。

フアーニ、ジエ、クラーズピ作歌
アダム、ゲイール作曲

[illegible]

No. 150.

The Joyful Song.

FANNY J. CROSBY.

ADAM GEIBEL.

1. は た つ り ん ぎ た て ゐ の ん を み ふ い
 2. て た き っ ま す っ り て ゐ の ん を み ふ い
 3. た っ か ひ な は り て ゐ の ん を み ふ い

の ち を か ち ゑ い さ に す れ ゐ ゐ す び て つ
 は あ れ く し ら の た ぢ に そ あ ふ き ゆ の ん い あ り
 こ な く へ わ の た に に ふ さ き ゆ の ん い そ の

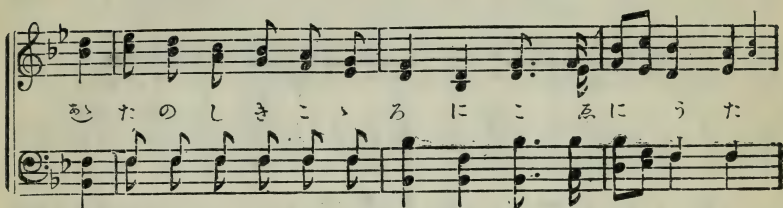
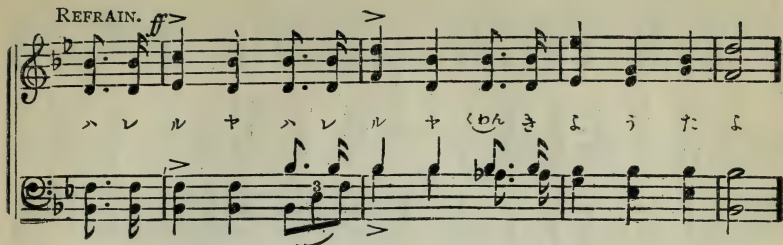
よ く ゑ あ る そ の たい しや に ひ か れ つ
 み くな ゑ ぎ の さ け び じや が た も か て な み が
 む なれ ちう わ の み ま へ に う た も か て な み が

CHORUS. *Voices in unison*

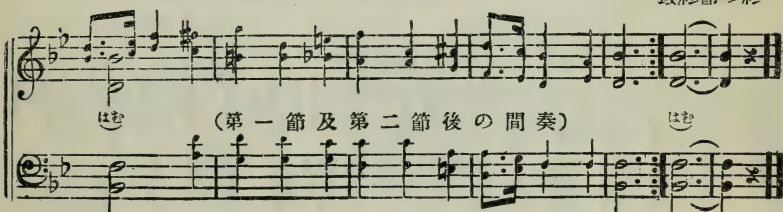
た の し く う た
 よ ろ な を び た う た } しょうりよ しょうりよ す く ひ の し
 み な を た へ へ }

The Joy and the Song.

REFRAIN.



最終節の終



第百五十一、歡喜に歌に。

ジュエーリヤ、エチ、ジヨソソソ作歌
エチ、アール、パアルメル作曲

一、讚美をあげむ歡喜に歌に

此のよき時節のたまものよ

愛で尊まむ光に愛に

下し給へる御恵に

ハレルヤハレルヤ歡喜よ歌よ

あゝ樂しき心に聲に歌はむ

二、(返折)

門は開きて我を招く

御聲に従ひ事ふべく

シオンの門と讚美の戸より

歌ひ進まむ我が待つわざに

黄金の街路眞珠の門

まだ知らざりし貴き市街

主權も智をも力をも

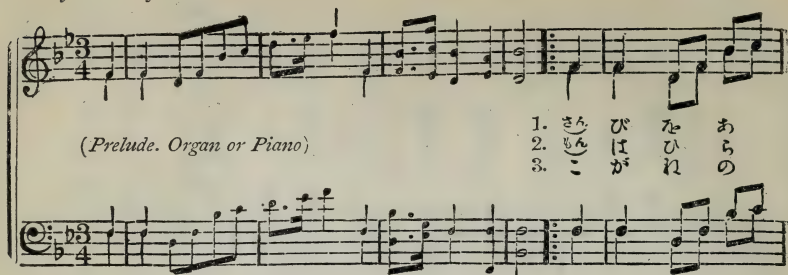
こゝに照せる主に捧げむ

No. 151.

The Joy and the Song.

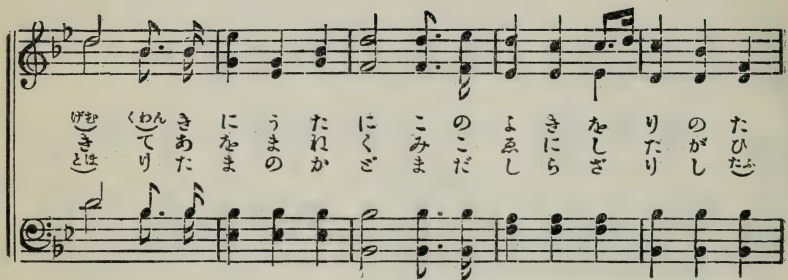
JULIA H. JOHNSON.

H. R. PALMER.

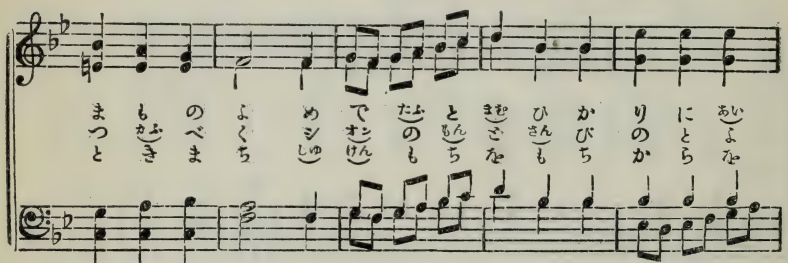


(Prelude. Organ or Piano)

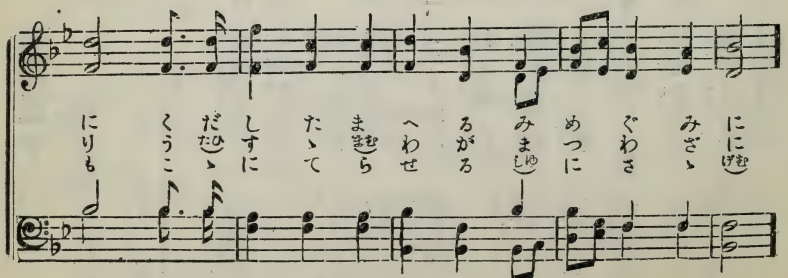
1. さん び な あ
2. りん は ひ ら
3. こ が れ の



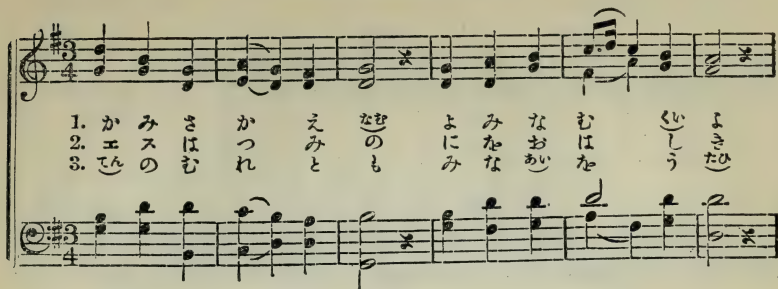
げわ きとほ くら きあた にまの うまの たれか にくご こみま のこだ よゑし きにら なしざ りたり のがし たひだ



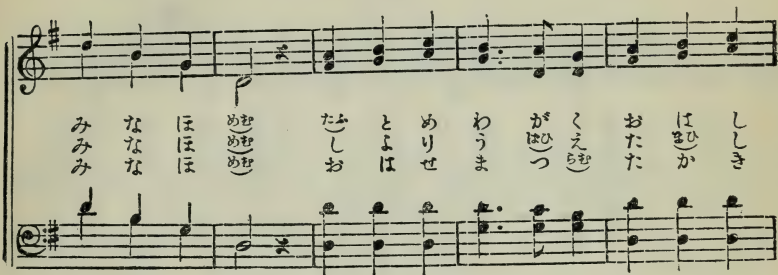
まつと もかき のべま よくち めしゆ でせん (けん) たのも とんち めさな ひさん かびち りのか にとら あいふ



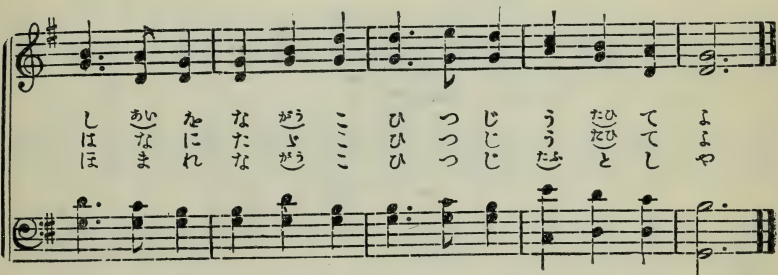
にりも くうこ だひ しすに たて まきわ へわせ るが ゐま (じゆ) めつに ぐわさ みざに にげ



1. か み さ か え な よ み な む (い) よ
2. エ ス は つ ん の み な お は (し) き
3. て の む と も あい な (う) た



み な ほ め た め り わ が く お は し
み な ほ め り わ が く お は し
み な ほ め り わ が く お は し



し あ な な が こ ひ つ じ う た て よ
し あ な な が こ ひ つ じ う た て よ
し あ な な が こ ひ つ じ う た て よ

第百五十二

神は榮えなむ。

フエリス、ギヤデニー作曲
ボーン作歌

一、神榮えなむ

天地皆報いよ

御名讃めむ

尊め我が苦

負はし、愛を

永久う小羊

頌ひてよ

二、エスは罪の

荷を負はしき

御名讃めむ

死より奪ひ得

給ひしは何

たゞ小羊

頌ひてよ

三、天の群とも

皆愛を歌ひ

御名讃めむ

高き名譽

負はせ奉らむ

貴しや

永久う小羊

貴しや

When Shall We Meet Thee ?



第一百五十三、主しゅよ何時いつ逢あふならむ。

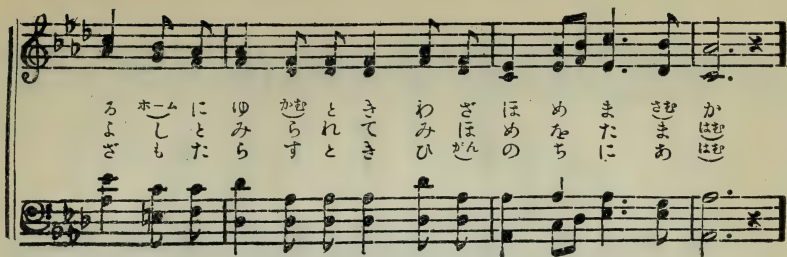
エドウィン、エフ、バーリ作

一、
天なる主よ何時逢ふならむ
愛の記章をもて何時
世の使命を終へてはや
光榮あるホームに往かむ時
(返折) 天なる主よ何時逢ふならむ
救の主よ何時逢ふならむ
汝と共に冠得る
輝き來まして世を
願ふ淨しと見られて
主よ朋友よ何時逢ふならむ
直き者何時神の
世の勞作皆終へ
我が行跡齎す時
(節三折) 天なる主よ其處に逢ひ見む
愛の記章をもて其の

二、
御み顔は何時見む
聖き地には何時逢ふ
功業稱美めさむか
御み顔は何時見む
聖き地には何時逢ふ
報酬は何時見む
治め給ふ時
御嘉納を賜はむ
天には何時住まむ
住處に命を果てむ
人生の命を果てむ
彼岸の地に逢はむ
御み顔は何時見む
聖き地には何時逢ふ
功業稱美めさむか
御み顔は何時見む
聖き地には何時逢ふ
報酬は何時見む
治め給ふ時
御嘉納を賜はむ
天には何時住まむ
住處に命を果てむ
人生の命を果てむ
彼岸の地に逢はむ
御み顔は何時見む

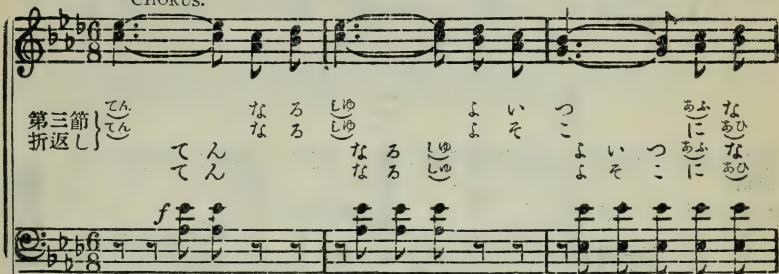
三、
御み顔は何時見む
聖き地には何時逢ふ
功業稱美めさむか
御み顔は何時見む
聖き地には何時逢ふ
報酬は何時見む
治め給ふ時
御嘉納を賜はむ
天には何時住まむ
住處に命を果てむ
人生の命を果てむ
彼岸の地に逢はむ
御み顔は何時見む
聖き地には何時逢ふ
功業稱美めさむか
御み顔は何時見む
聖き地には何時逢ふ
報酬は何時見む
治め給ふ時
御嘉納を賜はむ
天には何時住まむ
住處に命を果てむ
人生の命を果てむ
彼岸の地に逢はむ
御み顔は何時見む

When Shall We Meet Thee ?



るふぞ ホームにとた ゆみら かむらす とれと きてき わみひ ざぼん ほめの めなち またに きまあ かはむはむ

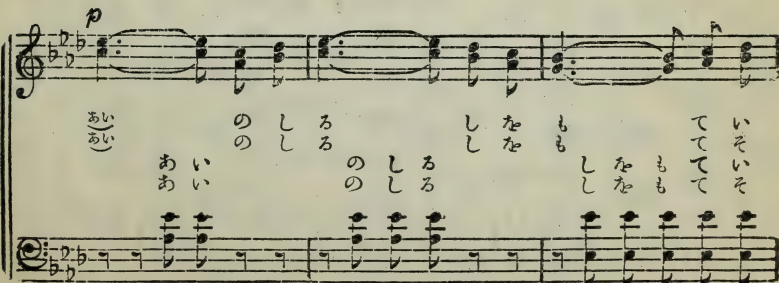
CHORUS.



第三節 折返し てん てん なな るる むしゆ るる ふよ いそ つこ あふにあひ なあひ



らむらむ あふに なあひ らむらむ みかほは いな つが むむ



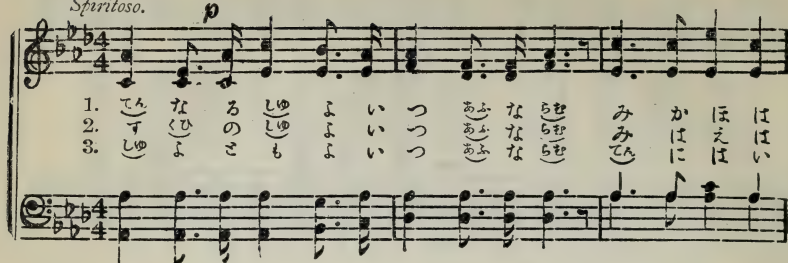
あいあい のの しし るる しし なな もも てて いそ

No. 153.

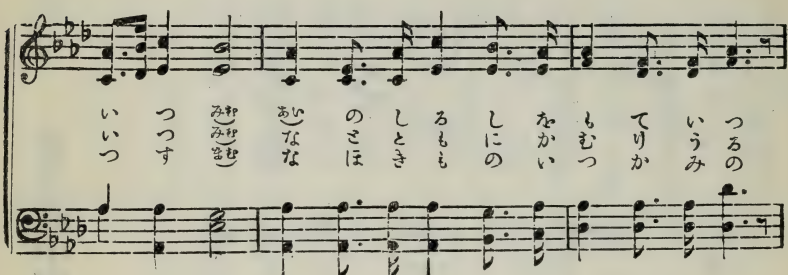
When Shall We Meet Thee ?

E. F. P.

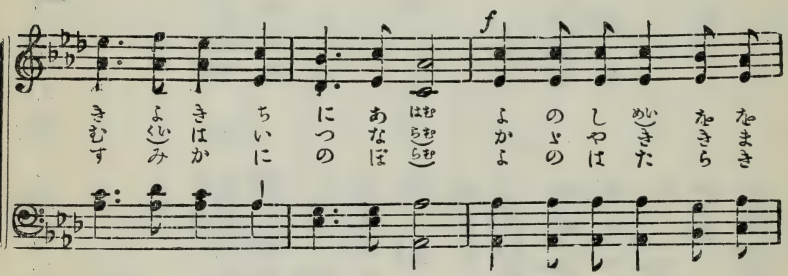
EDWIN F. PARRY.

*Spiritoso.**p*


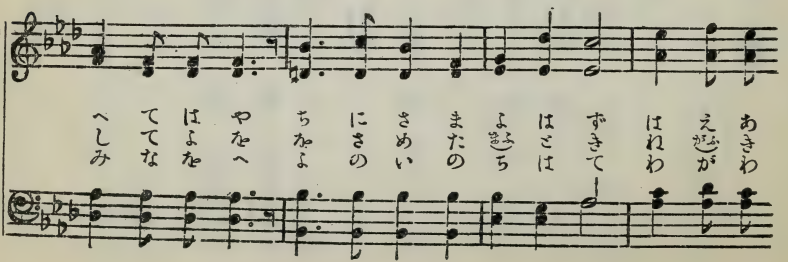
1. てん な る しゅ よ い つ あふ な らむ み か ほ は
 2. す な の しゅ よ い つ あふ な らむ み か ほ は
 3. しゅ よ の も よ い つ あふ な らむ み か ほ は



い つ つつ みお あい の し る し な も て り い つ
 つつ す みお な な の と き も の かい むつ か う の
 つつ す みお な な の と き も の かい むつ か う の

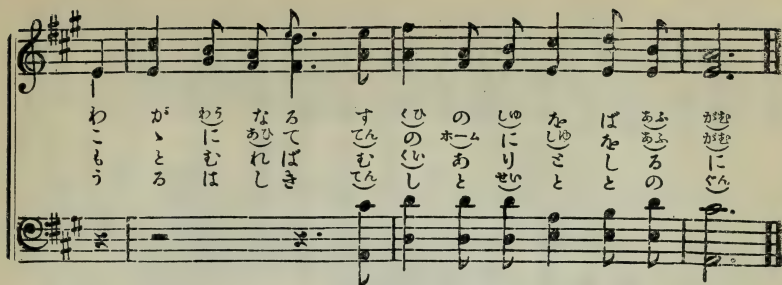


き ふ き ち に あ は よ の し や か き な
 む ゐ は い の な らま か き な
 す み か に の ぼ らま か き な



へ て は や ち に さ ま ま よ は す は え あ
 し て よ を を か の め た ふ こ き れ が き
 み な を を を の の の の の の の の の の

When Jesus Shall Come in His Glory.



第百五十四、

エス榮て來らむ時。

ジエ、エール、タウンシエンド作歌
ジエ、エム、チエンバレーン作曲

一、
エス、輝く天使を
願ふ我が身の履歴
やがてわれ
天の御群に入り
拜み來し
救の主をば仰がむ
此は賜びたる誓約
天より我が救の主
雲深紅に
天空華麗ならむ
聖徒蘇生し
天のホームに主を仰がむ

こゝな
伴ひ來まざる時
ひかり
光と清きな
移されて

我
が王なる

まこと
眞實なるを知る
くだき
降り來ますを見む
金に開き

こゝ
此處に會ひて

三、
天の歌班は歌ひつゝ
結びて歌ふ昔曲
その迎へ
心も空ならむ
謙遜
報ありと知るに
あゝ我が價值あらせむ
此の塵の世の身な
貴さき主と
苦なく歎息なく
御前に見む
天使と聖徒との群

さ
覺むる聖徒迎へむ
たの
樂しう天に響かむ
その光榮

求
むれば

す
救の主に逢はむ
聖きものとはせむ
永遠に住まむ

う
美しき

No. 154. When Jesus Shall Come in His Glory.

J. L. TOWNSEND.

J. M. CHAMBERLAIN.

1. エ ス か ど や く て し な さ も な き ま さ し
2. こ は か た び ば ろ う ち しか ひ ま こ と り せ い ま る こ し
3. め ん は が ほん か ち あ ら かつ へ ん む に
4. め ん は が ほん か ち あ ら かつ へ ん む に

き れ ん め こ
さ る へ ん
が ふ
わ り び ち
が わ て り
み が う の
の す た ふ
り ひ お ん の
れ の き み
き し く な
ひ く た き
か だ の よ
り り じ き
と き て ん も

き ま に の
よ す ひ と
き な と は
な め か せ
や く そ た
が も の と
て ん む き
わ く か し
れ に へ さ
う き そ な
つ に の が
さ ひ さ く
れ ら か す
て き え せ

て ん て ん こ
の う な
み は ろ く
む な も な
れ や そ げ
に か ら き
い な な な
り め ん ぐ
な せ へ み
が と り ま
み そ く へ
こ せ い だ に
し し り め

Moderato.

1. な み る な ぎ て か は の あ な た に あ は か
 2. あ ま の の う み か こ え な な と に あ は か
 3. た き ま び た か や き ス に あ は か
 4. き ま た び た か や き ス に あ は か

ひ か り は つ と き て く は セ め ざ ら か
 て の の は ま べ に ち か あ は ふ り ひ れ と め ら か
 ん の く み ら に の し る そ の い な し ら か
 み の く み ら に の し る そ の い な し ら か

CHORUS.

わ れ ら は あ は か は の あ な た に て

な み の し づ ま れ る か は の あ な た に

第百五十五、河のあなたに逢はむか。

イライヒユ、エス、ライース作曲

一、浪^{なみ}和^なぎて河^{かは}の
光^{ひかり}は續^{つづ}きて
あなたは逢^あはむか
あなたは逢^あはむか
苦^くは責^せめざらむか

(返折) 我^{われ}等^らは逢^あはむ
浪^{なみ}の靜^{しづ}まれる
河^{かは}のあなたに
河^{かは}のあなたにて

二、荒^ある、海^{うみ}を越^こえ
天^{てん}の濱^{はま}邊^べに近^{ちか}う
逢^あふて船^{ふね}投^な錨^かめか
港^{みなと}に逢^あはむか

三、水^{みづ}晶^まの塔^{たふ}輝^かく
天^{てん}の御^み業^{わざ}に成^なる
彼^かの市^しに逢^あはむか
瑠^る璃^り光^{ひか}る市^しに

四、來^きて呼^よび給^{たま}ふ時^{とき}
御^み座^{くら}に樂^{たの}しく
エスに逢^あはむか
其^その愛^{あい}を知^しらむか

第百五十六、我がいのり。

ビー、ビー、ブリース作

一、尙^なほ聖^{きよ}からむ
苦^くによく堪^たへむ
主^{しゅ}に頼^{たよ}りてむ
いよ、奉^{つか}仕^かへむ
罪^{つみ}にや勵^{はげ}まむ
冥^{めい}助^{じょ}を知^しらむ
祈^{いの}り請^こはむ

二、尙^なほ感^{かん}謝^{しやく}持^もたむ
御^み光^は榮^え誇^{ほこ}らむ
主^{しゅ}の苦^くに泣^なかむ
仰^{おほ}に依^よらむ
主^{しゅ}を頼^{たの}まむ

三、尙^なほ無^む垢^くならむ
汚^{けが}れ離^{はな}れむ
吟^{ぎん}味^みに謙^{けん}遜^{そん}らむ
悲^ひ哀^{あい}に憂^{うれ}へむ
救^す濟^きを讃^ほめむ

力^{ちから}勝^かたむ
ホームを請^こはむ
世^よに益^{えき}せむ
主^{しゅ}にたぐはむ

天^{てん}に登^{のぼ}り得^えむ
天^{てん}福^ち全^{ぜん}からむ
天^{てん}に登^{のぼ}り得^えむ
主^{しゅ}にたぐはむ

No. 156.

My Prayer.

P. P. B.

P. P. BLISS.

1. な ほ き よ か らむ い や ば げ む
 2. な ほ かん よ か たむ い ゆ わ た ら む
 3. な ほ む く な らむ ち か ら たむ

く に よ く た へむ つ み に な かむ
 み は え ほ こ らむ お ほ み に な らむ
 け が れ ば な 本 セ ム へ らむ

しゅ に たく ふ り て めい じよ な し らむ
 しゅ の の ば なり かむ ひ あい に え うき らむ
 てん に の ぼ れ へむ

い よ へ つ か へむ い の り こ はむ
 ざ み に ま つ だ らむ す の た ほ む
 さ ち ま た か らむ し に た ぐ はむ

Copyright, 1901, by the John Church Co. Used by permission.

No. 157. Come, Thou Glorious Day of Promise.

ALEX NEIBAUER.

A. C. SMYTH.

1. ひよかんへりへのせづまくな
 2. そらつたおたねてでせにめはなまさアし
 3. まよいゆやさじてりげなばつりかなひなひたいみかみしきみたつしれくののみるさとしゆるくらくがかけのちさわむいそ

はんせせけるるさゆすなみみなたたザががホななはよよらしゆれがかわにみよひきヤのがシそわメ

第百五十七

來たれ約束せし日よ

アレクス、ネイバウル作歌
 エー、シー、スマイス作曲

一、離散されし羊 迷はぬ其日
 疾く疾く來りて 四方を照せよ
 其日 彼等は

二、我主の御怒 何時まで續かん
 昔の民をば 赦させたまへ
 我が主よ

三、生ける天使を ヤコブに遺り
 其困難をば 去らしめたまへ
 汝が民統るせ 我主よ

FINE.

1. { すじあうはあ
2. { (ひ)らみまそ
3. { のくうのべる
せせ(せ)せてが
かますまへれ
ひきなきさだ
にひゝひちた
ぢをばをたを
なれのれみせ
ふわこわなほ
よにむ(じ)にの
スづづるきかむ

D. C.

ふない
しがこ
あひひ
らさな
なこ(え)
みゑさ
はにき
いうみ
はみむ
をほれ
かしに
くづよ
きまり
もろぞひ

第百五十八、航路に導かせ。

イー、ハッバ作歌
ジエ、イー、グールド作曲

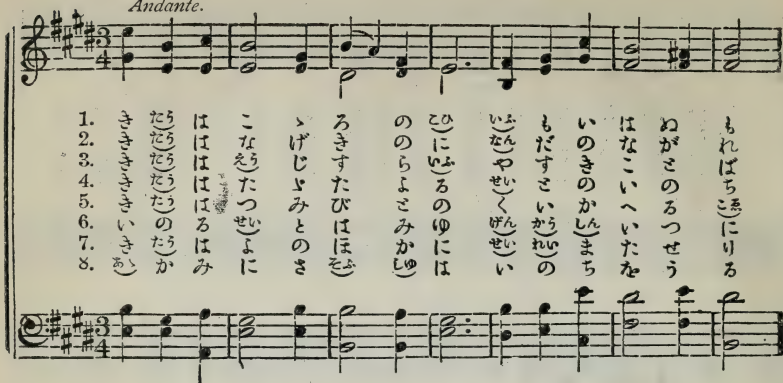
一、救の主エスよ 航路に導かせ
よし 怒濤は 巖を没さむも
磁石と海圖に 我を導きませ
荒海鎮む 子の母如す主
汝が一聲に 海は静まる
海の王なる主 我を導きませ
濱邊近きに 波立ち遮へて
休息を得ぬ時 御胸に倚り添ひ
「恐るな導かむ」の 仰をた願ふ

No. 159. Prayer is the Soul's Sincere Desire.

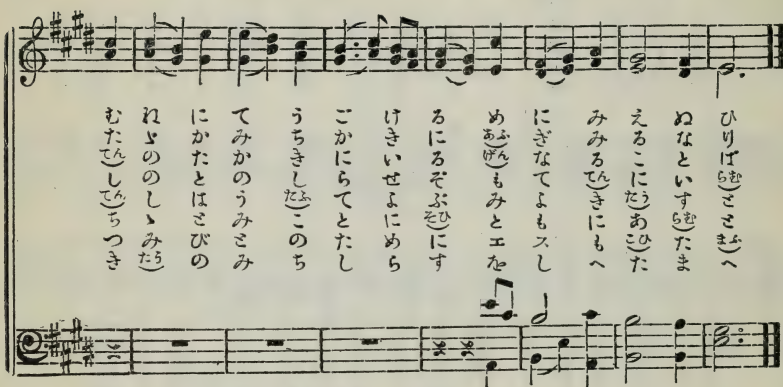
MONTGOMERY.

G. CARELESS.

Andante.



もればち(こ)にりる
ねがさのるつせう
はなこいへいたな
いのきのかんまち
もだすさい(か)れの
い(ん)やせ(く)げ(い)い
こ(に)ふ(る)のゆには
ののらよこみ(か)ゆ
ろきすたびはほそ
うげじよみとのさ
こなえ(た)つせ(い)よに
はははははるはみ
た(う)た(う)た(う)の(た)か
ききききき(い)き(あ)



ひりば(む)こ(さ)きへ
ねなといす(む)たま
えるこ(に)だ(あ)こ(た)
みみる(む)きにもへ
にぎなてよもスし
め(ふ)ん(も)みとエを
るにるぞぶ(む)にす
けきいせよにめら
ごかにらてとたし
うちきし(た)このち
てみかのうみさみ
にかたとはさびの
れよののし(み)た
むた(ん)し(ち)つき

第百五十九、

祈禱は靈の希望なり。

モン・ガームリ作曲

ツイ、カルレス作曲

一、祈禱は靈の希望
胸にて動ける
目に見えぬ火

二、祈禱は歎息の荷
涙の流

三、祈禱は幼兒の言
易き言葉
仰き見るなり

四、祈禱はたゞ依頼
聖徒の生命
以て天に入らむ

五、祈禱は罪人の
悔い還る聲

六、祈禱は聖徒の見
言行心一に

七、祈禱は人間の外に
共に在らむ

八、祈禱は神に誘ふ
生命を得る

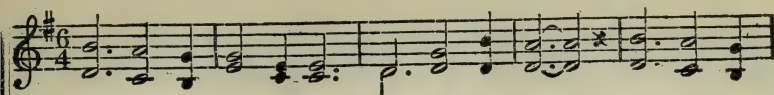
祈禱の徑路知らず
教へ給へ

No. 160.

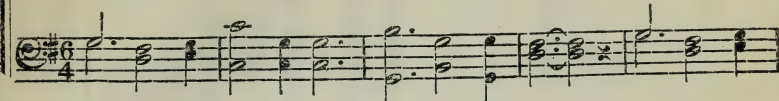
Nearer, My God, to Thee.

SARAH F. ADAMS.

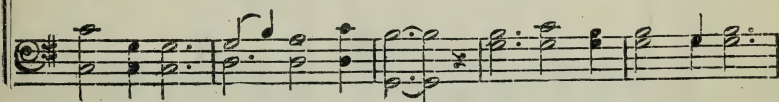
Dr. LOWELL MASON.



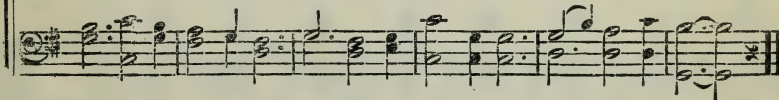
1. か み ゆ く な れ は に て ち か み ら ん じ い か の
 2. ひ は つ な れ は に て や み は み ら ん し し か の
 3. み つ な れ は に て み は ら ん し し か の
 4. う つ な れ は に て は ら ん し し か の



の へ に の の ぼ る も か な し む ぺ き
 う え に の お く と も め に を ぞ な ほ
 み ち し あ と と れ く ひ も な な



か み ゆ く な れ は に て ち か み ら ん
 か み ゆ く な れ は に て ち か み ら ん
 か み ゆ く な れ は に て ち か み ら ん
 か み ゆ く な れ は に て ち か み ら ん



第百六十、

神よ、汝に近よらん。

サラーエフ・アダムス夫人作歌
 ロエル・メーソン作曲

一、神よ、汝に近よらん。

十字架の上へ上るも

悲しむべき神よ、汝に近よらん。

二、日は暮れ果て暗身を

石の上に置くことも

夢にぞ向はる神よ、汝に

三、天使等は御空に

通ふ路の上へ上るに

我を招く神よ、汝に

四、現し世をば離れて

月日星を後にと

行く日も尚ほ神よ、汝に

神よ、汝に近よらん。

神よ、汝に近よらん。

No. 161.

I Need Thee Every Hour.

Mrs. ANNIE S. HAWKS.

ROBERT LOWRY, D. D.

1. ふわ かが き あ い の わ が しゅ に た え す た ふ
2. わさ がち も せ も め に い ま が さ しゅ あ む か れ ま
3. な が ち も せ も め に い ま が さ しゅ あ む か れ ま
4. な が ち も せ も め に い ま が さ しゅ あ む か れ ま
5. な が ち も せ も め に い ま が さ しゅ あ む か れ ま

REFRAIN.

りにてばへ なきうこそ ぐたけけき さらなたは めんすんきに } わ が しゅ あ わ が しゅ

た よ る わ れ な め ぐ み た ま へ や と き は に

Copyright, 1900, by Mary R. Lowry. Used by per.

第百六十一、

主よ、絶へず汝に頼らむ。

アーニ・エス・ハークス 夫人作歌

アール・ロウリ 作曲

一、深き愛の我が主に

絶えず頼り慰めん

(返折) 恵み給へや永久に

二、我主共に在さば

悪魔我に來らす

三、幸福も迫害も我主の

旨によりて受けなん

四、汝が御旨を教へて

御ちかひをばこげ給へ

五、尊とき主よ我身を

清め給へるときはに

Sweet Hour of Prayer.

べほか しるみ めみに なみの るの さそる めのぞ たたた あのの としし 一さき つみち

つかち まほな すのる のほみ べほか しるみ めみに なみの るの さそる めのぞ たたた あのの としし 一さき

第百六十二、 祈るぞたのしき。

ダブルユ、ダブルユ、ワールフオールド作歌
ウキリアム、ビー、ブラードベリ作曲

一、 祈るぞたのしき
天津大神の
我を導びきて
包ます述べしめ
包ます述べしめ
祈るぞ樂しき
弱われ我身を
塵の浮世をば
御顔のほゝみ
御顔のほゝみ
祈るぞ樂しき
ビスガの山より
永久なるたからに
父なる御神に
父なる御神に

二、 祈るぞたのしき
煩ひの世より
慈悲の御もこに
心の祈願を
慰めを與ふ
慰めを與ふ
神の御翼に
安けく任せて
暫し打忘れ
見る其たのしき
見る其たのしき
見る其たのしき
汚穢を滅ぼし
我里望見みて
天かける日まで
祈るぞたのしき
祈るぞたのしき

三、 祈るぞたのしき

No. 162.

Sweet Hour of Prayer.

W. W. WOLFORD.

WM. B. BRADBURY.

Slow.

1. いい の る ぞ た の し き わ づ ら ひ の
 2. いい の の る ぞ た の し き わ づ ら ひ の
 3. い の の る ぞ た の し き わ づ ら ひ の

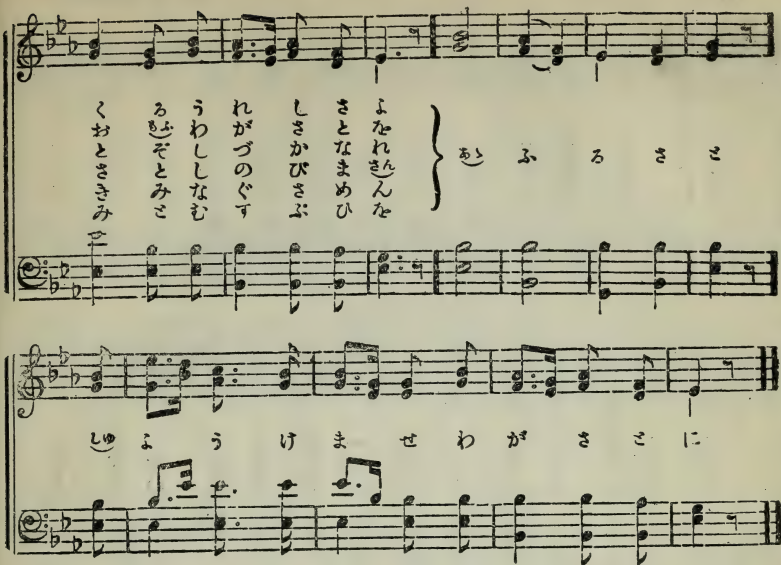
よば りに あま つ お 一 か み の な さ け
 る ば し ビ ス カ の や み り わ が す が け
 る ば し ビ ス カ の や み り わ が す が け

の み も さ に わ れ な み ち び き て こ
 く ま か せ て ち り は な う た か ら げ あ
 と の ぞ み て と は な う た か ら げ あ

こば ろ の れ が ひ を つ ま ほ す の
 ま し か う ち わ す れ み か な る み
 ま し か う ち わ す れ み か な る み

'Mid Scenes of Confusion.

REFRAIN.



くおとささみ
るふぞとみこ
うわししなむ
れがづのぐす
しさがびさぶ
さとなまめひ
ふなれさんな
あ ふ る さ こ

しゅう け ま せ わ が さ こ に

第百六十三、 亂雜騷擾繁き世に。

デーヴィッド、デーンハム作歌
エチ、アール、ビシヨツブ作曲

- 一、亂雜騷擾繁き世に
主の御前に安らけく
慈悲受くる嬉れしさよ
- 二、平和の子等結ぶ主の
慈悲の宴會など忘れん
御もと離れ迷へども
一向思ふ我が故郷を
主に結ぶはわが願ひ
主の御もこそ静かなれ
服従力與ひませ
- 三、罪障の霸糾斷ち切りて
誘惑の波騒ぐども
光榮の里追懷まさん
- 四、爭鬭事世に満てり
困苦の中に我は立ち
みほとえみと恵みとを
たのみなき身慰さめん
- 五、名譽と財産何かせん
たえず讚美る日待ちつゝ
迷ひの群とく離れ
- 六、主よ我今切に祈る
墓の暗黒立ち出でゝ
清き民と結ぶ日を

DAVID DENHAM.

H. R. BISHOP.

Andante.

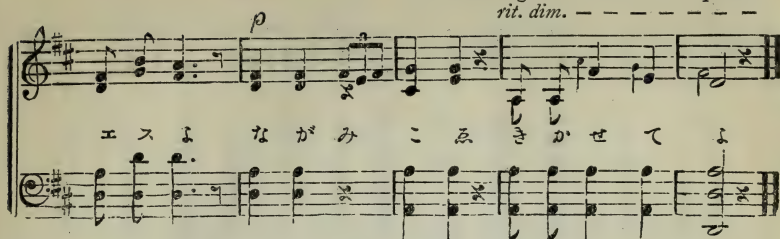
きみゆ(ま)みま
 にのてりんる
 ふ(り)てせの
 きぶきみかに
 げすちににつ
 しむたよなせ
 ぎらなさらま
 わこづごかい
 さのきひたれ
 れわのそこわ
 だいみらえよ
 みへつあは(し)
 1.
 2.
 3.
 4.
 5.
 6.

し(じ)させたは
 ぞもひせなれ
 てどがまとな
 びへれひみは
 すよがたぐく
 むまわあめと
 されはらとれ
 みなぶかみむ
 たはすち底の
 きとむ(ら)ほひ
 ふもにつほよ

うらのなた
 けすみえみき
 さたのかのふ
 なひ(し)さたき
 く(ん)もちゝて
 けすとたつで
 らわぐほちい
 すぎわれまち
 やなさわひた
 にげみになるさ
 へたなちむら
 まうのうほく
 みのひのずの
 のひそめふか

Jesus, My Savior.

*Alto sing small notes above Soprano.
rit. dim. -----*



第百六十四、我主エス。

シー、イー、レースリー作歌

一、我主エス
飼主エスよ
汝が御聲
聞かせてよ

迷ひし我
今こそ願ふ
喜ばしき
其御聲

(返折)
我主エス
飼主エスよ
汝が御聲
聞かせてよ

二、救ひの主
代りの主に
罪をのべ
祈りてぞ

近く行かむ
謙遜者を
主は愛して
赦し給ふ

C. E. L.

Arr. by C. E. LESLIE.

Slowly, with expression.

1. わ が しゅ エ ス か ひ め し エ ス よ な が み
2. す く ひ の か は り の め し に つ み な

この へ き か の せ り て よ ま ち や く し ゅ わ か む

い ま だ こ れ そ る れ も ご の よ ろ こ あ ば し きて

rit. — — — — *p* CHORUS.

そ ゅ る み こ た } わ が しゅ エ ス か ひ め し

No. 165.

Lord, Thou Wilt Hear Me.

WATTS.

JOS. J. DAYNES.

1. いよ ぶさ い の り き せ あ
 2. わに へく な の そ は なる て わ
 3. にか へく な の そ は なる て わ
 4. か へく な の そ は なる て わ

は す が れ な め わ は が る ざ れ も こ な む の き へ ゐ ひ た の み に の ぞ て み し み は

ま わ も あ へ が た な に と の も ふ こ み り す に も て つ し な れ み と が む あ か あ い り ら た に え す ふ よ さ

な は る せ ゐ つ し な れ み と が む あ か あ い り ら た に え す ふ よ さ な は る せ ゐ

第百六十五、主よ我を聞きたまへ。

ソ ー ツ作歌
 ジョセフ、ジェ、デエンズ作曲

一、主よ祈禱聞こせ
 日に御前に伏す
 罪有らすな
 業より離れて
 樂しわが床に
 主と談らふは
 犠牲を供ふる今宵
 希望も信仰も
 汝が愛に頼る
 斯くのごかにして
 御手は我を護りて
 睡眠得させむ

我は汝がもの
 罪有らすな

休息める時
 主と談らふは

我が業終へ
 汝が愛に頼る

我は眠らむ
 睡眠得させむ

第百六十六、小さき燈火をともせ。

ビービー、ブリース作

一、天父は燈臺の
 如く光れど
 我等は光る
 海邊に小さく
 我等の小さき
 藻掻ける船夫
 其光明見む
 二、罪の夜は暗く
 不安の人々
 荒浪騒ぐ
 光明を求む
 三、友よ汝が小さき
 浪間に陥ちたる
 船頭のため

(返折)

光明を放て

藻掻ける船夫

其光明見む

二、罪の夜は暗く
 不安の人々

荒浪騒ぐ
 光明を求む

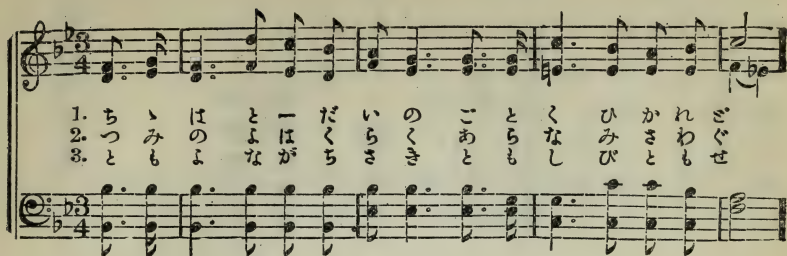
三、友よ汝が小さき
 浪間に陥ちたる

燈火ともせ
 船頭のため

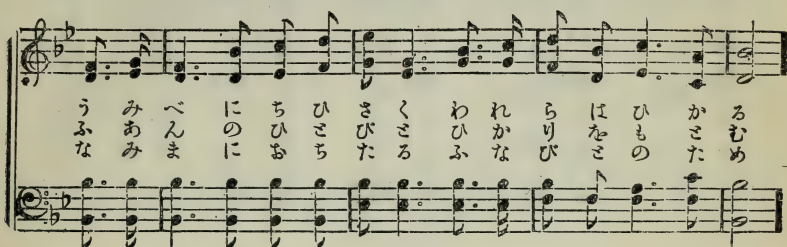
No. 166. Let the Lower Lights Be Burning.

P. P. B.

P. P. BLISS.

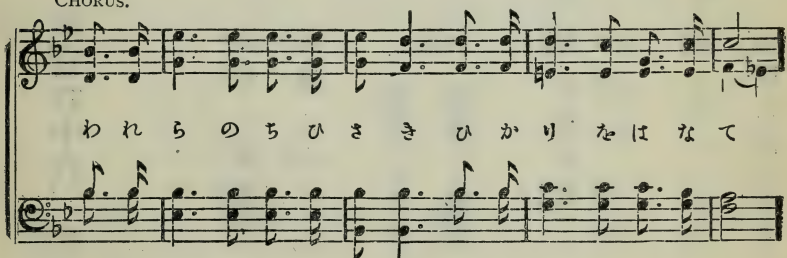


1. ち は と 一 だ い の ご と く ひ か れ ぞ
 2. つ み の よ は ぐ ら く あ と ら な み さ わ も
 3. と も よ な が ち さ き と も な し び と も せ

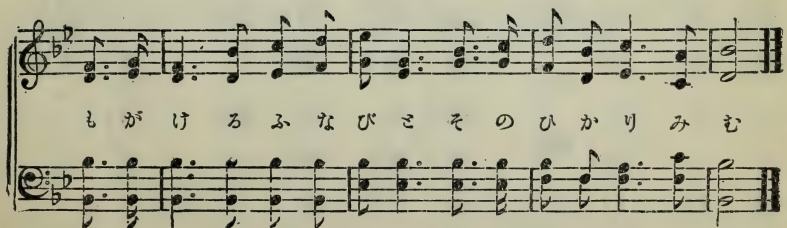


う み べ に ち ひ さ く わ れ ら は ひ か る
 ふ あ ん の ち ひ さ く わ れ ら は ひ か る
 な み ま に お ち び た ろ ふ かな び こ の た め

CHORUS.



わ れ ら の ち ひ さ き ひ か り な は な て

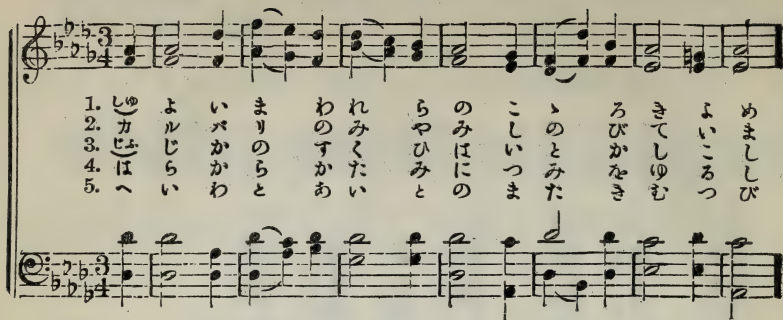


も が け る ふ な び さ そ の ひ か り み む

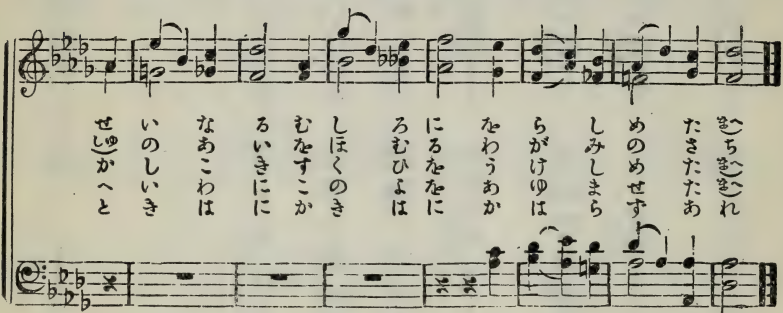
Copyright, 1905, by The John Church Co. Used by per.

A. DALRYMPLE.

GEO. CARELESS.



1. 2. 3. 4. 5. しゆ よる い まり わ れ みくた ら や ひみ の みはにの こしいつま のとみた るびかなき きてしゆむ ふいこるつ めまししび



せいのしいき いのしいき なあこわは るいきに むなすこが しほくのき るむひよは なるをなを らがけゆは わうあか めのめせず しみしまら たさたあ ゑちききれ

第百六十七、 天地の主よ。

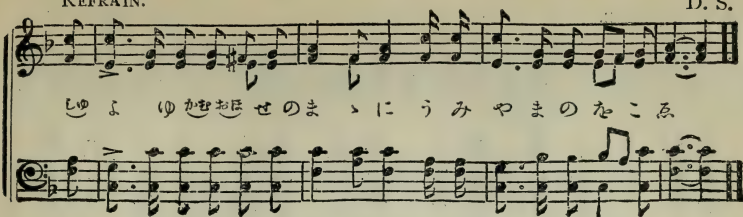
エー、ダルリンブル作歌
ジイ、カルレス作曲

- 一、主よ今我等の精神清め
聖なる席に居らしめたまへ
カルバリの御惱追懷びて今
主の愛を讃むる我身の幸
十字架の救は最とかしこし
かしこき救を受けしめたまへ
兄弟互に罪を赦し
平和に此世を歩ませたまへ
平和と愛との全たき睦び
永久に萬代に變らずあれ

I'll Go Where You Want Me to Go.

REFRAIN.

D. S.



しゆ よ ゆ かむおほ せのまゝに うみやまのなこゑ

第百六十八、主よ、往かむ仰のまゝに。

マリヤ、ブラウン作歌
カーリ、ローンズフェル作曲

一、山の頂上といはむや 荒き海はた

戦の場といはむや 主召し給はい

其の聲低くとも 道知らずとも

答へ申さむ御手とりて 行かむ仰のまゝに

折) 主よ往かむ仰のまゝに 海山野を越え

(返) 主よ言はむ仰のまゝに あらむ仰のまゝに

二、今日主の御心なる 愛もや口にせむ

罪の道に彷徨ふ 人もや捜さむ

主よ指導の給はむには 暗き路にも

樂しき使命響かせむ 主の仰のまゝに

三、廣き世の畑には 低き場ありて

はかなき日をや過ぎむ 果てし主のため

さては皆主に依頼り 主の愛を知りて

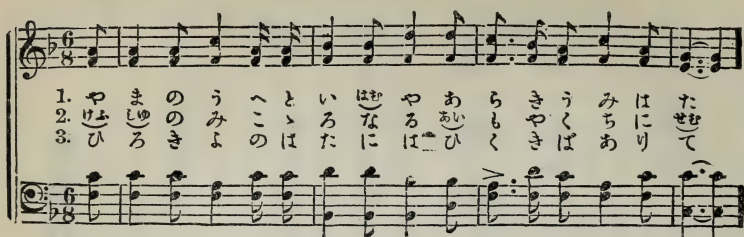
心の誠盡さむ 主の仰のまゝに

No. 168. I'll Go Where You Want Me to Go.

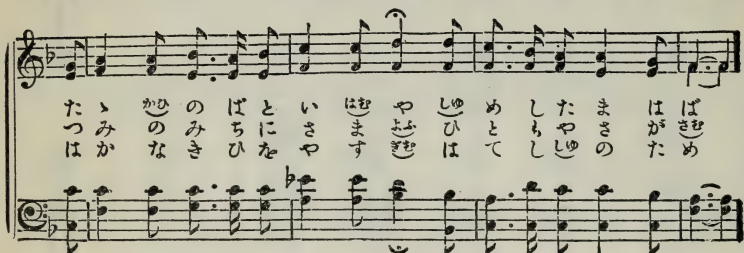
MARY BROWN.
Andante.

CONSECRATION.

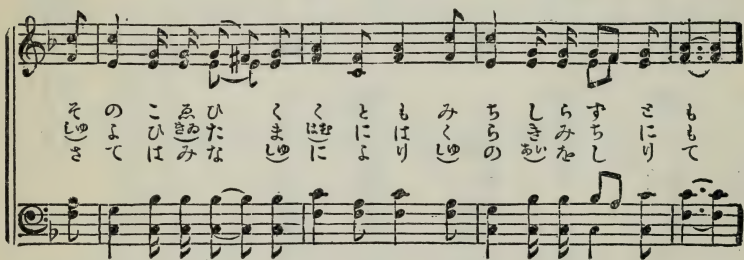
CARRIE E. ROUNSEFELL.



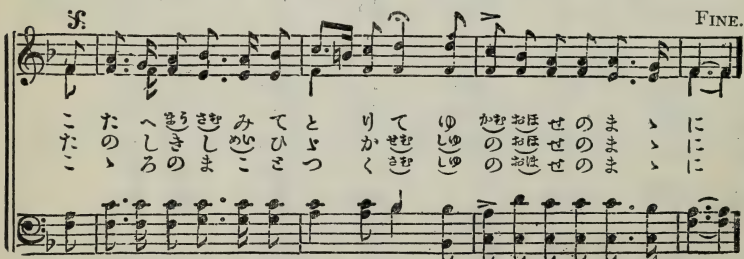
1. や ま の う へ と い ら は や ら き う み は た
2. り ふ し の み こ と ろ な る あ も く や く ち に り
3. ひ ろ き よ の は た に は ひ く き ば あ り て



た と か の ば と い は や し め し た ま は ば
つ み な み ち に さ ま ひ と も し や さ が ぎ
は か な き ひ や す き ひ て し の た め



そ の こ ぶ ひ た く く と も み ち し す さ も
し よ て は み な し に よ り し の め し り て
さ て は な し に よ り の め し り て



こ た の へ ち ゐ み て り て ゆ か お ほ の ま へ に
た の へ ち ゐ み て り て ゆ か お ほ の ま へ に
こ の へ ち ゐ み て り て ゆ か お ほ の ま へ に

D.S. *し*よい *は*おほ *せ*のま ま *あ*に *ら*おほ *せ*のま へ に

Copyright, 1894, by C.E. ROUNSEFELL. By per.

第百六十九、何時は悟り得む。

マクスウエル、エン、ゴルニールアス作歌
ジエムス、マクグラナハン作曲

一、來べき年を待て

なほよき地に在らむ

三、なごて雲はかく

我が企畫を蔽ひ

涙も讀まれて

いつかは悟り得む

歌はと絶えしか

つひによく悟られむ

折常に神に頼れ

汝が手を執り給ふ

四、なご我が願ふもの

我が手を離れて

(返歌へ暗路にも

いつかは悟り得む

希望は失せたるか

いつかは悟られむ

二、斷れし紐をとり

復よく繼ぎ終へむ

五、神は道を知り

我等を導き給ふ

天は奥義を説きて

悟をそこに得む

つひに涙拂ふて

彼處に悟り得む

No. 169.

Sometime We'll Understand.

MAXWELL N. CORNELIUS, D. D.

JAMES McGRANAHAN.

1. 2. 3. 4. 5.
 くきななな
 べれごごみ
 きしてわは
 さひくがみ
 しももれち
 なははなを
 まさかもし
 てりくのり
 なまわわわ
 ほたががれ
 ふよのてら
 きくぞなを
 ちつみはひ
 にぎななき
 あなあれた
 らむはてき

なでうきつ
 みはたはに
 だうははな
 もぎさうみ
 ふなだせだ
 まさえたは
 れきしるふ
 ててかかて
 いさついか
 つごにつし
 かりよかこ
 はなくはに
 さそさささ
 さこそささ
 りにららり
 えむえむえむ

CHORUS. *A little faster.*

つれにかみによれながてなさりたふ
 さりたふ

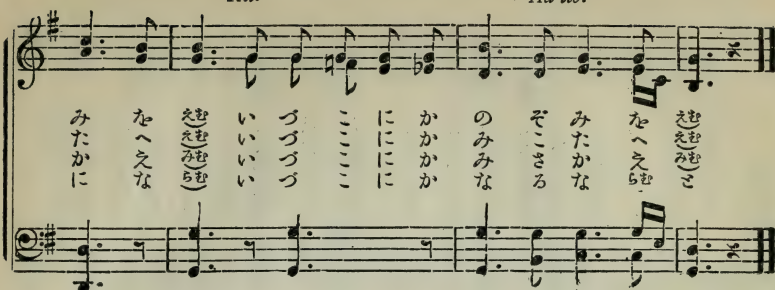
A tempo primo. *Cres.* *Ad lib.*
 うたへやみちにもいつかはささりたふ

Copyright, 1891, by James McGranahan. Used by permission.

Sometime, Somewhere.

Rit.

Ad lib.



第百七十、

何處にか得む。

オーフィリア、ジー、アタムス夫人作歌
チャリ、デー、ティールマン作曲

一、
汝が長き御祈禱に
未だ答あらざるか
信仰消えて希望失するか
涙はかひなしと言ふか
言ふな祈禱聴かれずと
汝はつひに希望を得む
何處にか希望を得む
始めたる父への祈禱
未だ答あらざるか
汝は請ふ時を待ちかねて
深き思を言ひ出でぬ
かひなく直ぐと思ふなよ
汝はつひに御答得む
何處にか御答得む

三、
な疑ひそ時なほ来じ
未だ答あらざるか
汝がはじめて請へるわざ
神は其を遂げ給はむ
心絶えずに燃えば
汝はつひに御榮見む
何處にか御榮見む
岩の上に立てる信仰に
未だ答あらざるか
暴風雨にも強き地震にも
動搖ぐことなき信仰は
知る全能の神聴くを
彼は叫ぶ「つひに成らむ」
何處にか「成るならむ」と

No. 170.

Sometime, Somewhere.

Mrs. OPHELIA G. ADAMS.

CHARLIE D. TILLMAN.

1. なん ぢが な が る き み い の り に ま た こ
 2. は じめ た る そ ち へ な の き た に ま ま た こ
 3. ない ば の の ほ こ か に に に に
 4. ない ば の の ほ こ か に に に に

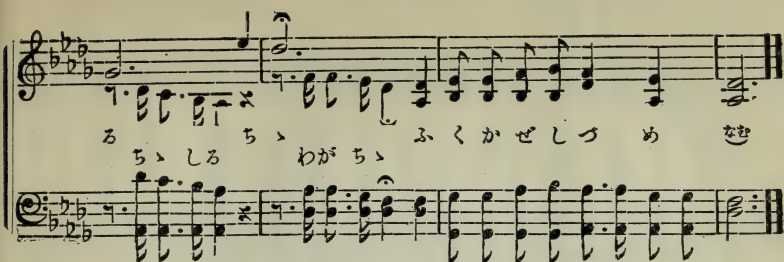
た た た へ へ へ あ あ あ ら ら ら さ さ さ る る る か か か し な な あ ふ は が ら き ぼ し え さ じ に て き め も き な て つ ぼ う ま こ よ う ち へ き す か る な る

る かね い く る ぜ ん な な ー る い か こ し か め は ぶ は い 下 ま か う そ い た し し ひ げ き な な さ な な な を さ け ゐ を さ は お そ こ だ き ば ぐ み か み る な ふ か ゆ か て ざ も る れ わ に

の す た の り ぐ え の き さ ず か か お に み れ ぶ も き す な え く こ よ ば な な ん な ん か ぢ ぢ ぢ れ は は は は つ づ つ づ さ に に に け の み み ぶ ぞ こ き つ

Copyright, 1894, by Charlie D. Tillman. E.O. Excell, owner. Used by permission.

My Father Knows.



第百七十一、我が天父は知る。

エス、エム、アイ、ヘーリ作歌
イー、ガー、エクセル作曲

一、道^{みち}を襲^{おそ}ふ暴風雨^{あらし}

知る我が天^{てん}の父^{ちち}

其^その貴^{たふ}き愛^{あい}もて

我が創傷^{きず}醫^いし給^{たま}ふ

其^その雲^{くも}をば遂^{おひ}ひて

闇^{やみ}は晝^ひにせらる

我が創傷^{きず}醫^いし給^{たま}ふ

闇^{やみ}は晝^ひにせらる

三、か弱^{よわ}き力^{ちから}を

知る我が天^{てん}の父^{ちち}

知る

父^{ちち}

わが行^ゆく道^{みち}をば

終局^{はて}まで護^もり給^{たま}ふ

折)

道^{みち}を襲^{おそ}ふ暴風雨^{あらし}

終局^{はて}まで護^もり給^{たま}ふ

(返

知る

父^{ちち}

四、人生^{たびそは}の旅終^はれば

知る我が天^{てん}の父^{ちち}

吹^ふく風^{かぜ}静^{しづ}めなむ

忠實^{まじめ}に導^{みちび}きて

御傍^{みそば}に庇護^{かほ}ひませ

二、悲憂^{うれひ}なば救^{すく}ふ藥^{やく} 知る我が天^{てん}の父^{ちち}

御傍^{みそば}に庇護^{かほ}ひませ

1. みうちをあそあしくしるわがてんののち
 2. かれよわたきびはやらねばしるるわががてんてんののち
 3. かよのわたきびはやらねばしるるわがががてんてんののち
 4. かよのわたきびはやらねばしるるわががががてんてんてんののち

そ の く も な ば お て や み は ひ に せ ら る
 そ の た さ き あ も て わ が き ま す で い し ら た る
 わ が め ゆ に く み ち び な き て は み そ ば に か び た ま せ

CHORUS.

や み は ひ す に せ ら る } し る ち
 は が き ま す で し ら た る } ち し る
 は が き ま す で し ら た る } ち し る

ち わ が ち み ち な お そ あ ら し し

第百七十二、 主は生けりと知る。

エール、デー、エドワード作曲

一、 主は生けりと知る

死より復た生きて

愛を賜ひはた天に

餓るたる心や

こは好き我が慰藉

主は永う生き給ふ

我がため乞はさむと

はた苦を救はむと

三、 主は生く天の友

歌はむ生ける主は

日々の生命賜ひ

我がため館設け

永う愛を賜はむと

豫言者祭司わが王

死に勝たせ給はむ

其處に導き給はむ

二、 主は生く糧食賜ひ

弱れば慰め

我が恐怖を止め

煩悶をば鎮め

目守り導かむと

歎願くをば聴かむと

我が涙拭はむと

幸福皆賜はむと

四、 主は生く御名讃めむ

あゝ我が喜悅よ

主は生く御名讃めむ

あゝ我が喜悅よ

なほ變らぬエス

「主は生けりと知る」

なほ變らぬエス

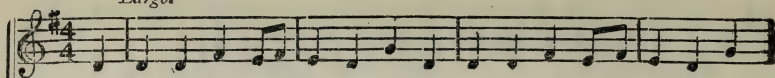
「主は生けりと知る」

No. 172. I Know That My Redeemer Lives.

MEDLEY.

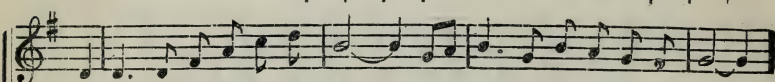
L. D. EDWARDS.

Largo.



1. しゅ は い け り と し る こ は よ き わ が お (じや)
 2. しゅ は い け り と し る こ は よ き わ が お (と)
 3. しゅ は い け り と し る こ は よ き わ が お (と)
 4. しゅ は い け り と し る こ は よ き わ が お (と)

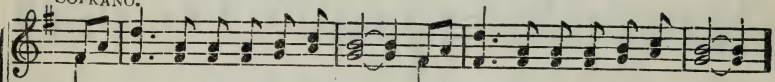
ACCOMP.



しゅ は い け り と し る こ は よ き わ が お (じや)
 しゅ は い け り と し る こ は よ き わ が お (と)
 しゅ は い け り と し る こ は よ き わ が お (と)
 しゅ は い け り と し る こ は よ き わ が お (と)



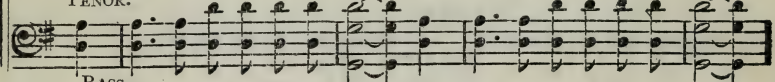
SOPRANO.



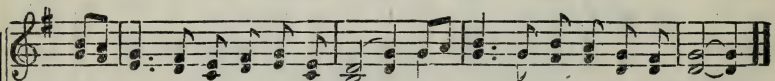
ALTO.

あ い な た び は た て に わ が た め こ さ
 わ が お の い れ の ち と め わ し か た だ こ
 ひ し は い く み な ほ び し な か た だ こ
 ひ し は い く み な ほ び し な か た だ こ

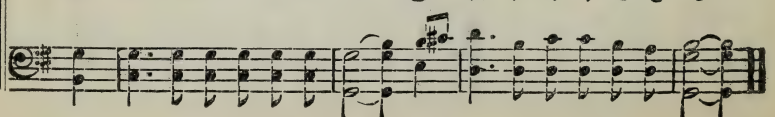
TENOR.



BASS.



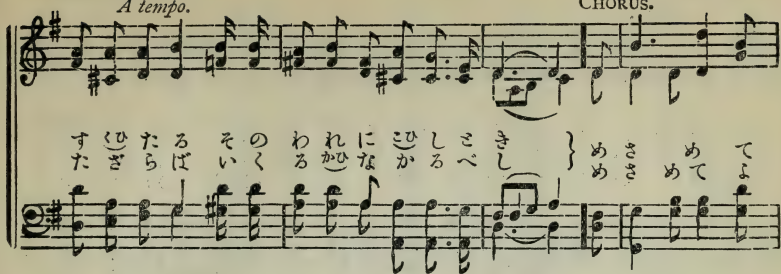
う わ ぶ た る こ る や は た く な す く は と
 わ が お の い れ の ち と め わ し か た だ こ
 ひ し は い く み な ほ び し な か た だ こ
 ひ し は い く み な ほ び し な か た だ こ



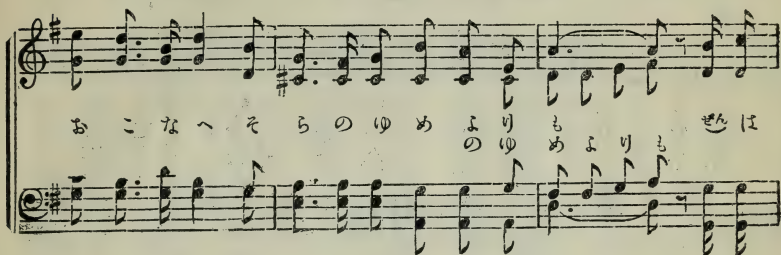
Have I Done Any Good ?

A tempo.

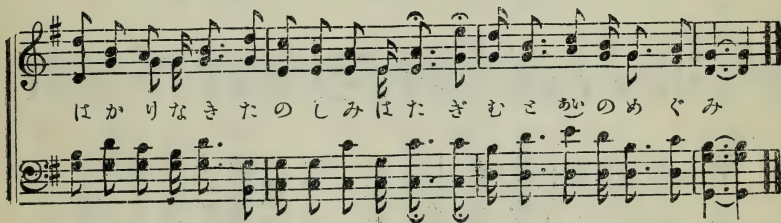
CHORUS.



す^ひた^らる^その^われ^にに^ひし^さき^めさ^めて^よ
 た^ざら^ばい^くる^かひ^なか^るべ^しめ^さめ^てて^よ



お^こな^へそ^らの^ゆめ^より^めよ^りも^ぜん^は
 の^ゆめ^より^もぜ^んは



は^かり^なき^たの^しみ^はた^ぎむ^さあ^いの^めぐ^み
 の^しみ^はた^ぎむ^さあ^いの^めぐ^み

第百七十三、

今日我善をなしたるか。

ウ井ル、エール、トンプソン作

一、今日我善をなしたるか

貧苦をや救ひたる

悲みをや慰めたる

否(いな)てふ過(あやま)り

人の荷(に)を軽くせむとて

我が手(て)をや貸(か)せる

病(や)み疲(つか)れを救(す)ひたる

其の我(わ)に乞(こ)ひし時(とき)

目(め)覚(さ)めて行(い)く

善(ぜん)は度(はかり)なき樂(よろこ)みはた

爲(な)すべき業(わざ)今(いま)此(こ)處(こ)

其(そ)の機(き)會(かい)多(おほ)くあり

時(とき)もあ(あ)らむ過(す)すなかれ

今日(けふ)事(こと)を行(おこな)へ

施(ほ)くす業(わざ)は貴(たか)くて

愛(あい)に功(いさ)徳(とく)あり

世(よ)に働(はたら)かひ無(な)かるべし

(返折)

二、爲(な)すべき業(わざ)今(いま)此(こ)處(こ)

其(そ)の機(き)會(かい)多(おほ)くあり

時(とき)もあ(あ)らむ過(す)すなかれ

今日(けふ)事(こと)を行(おこな)へ

施(ほ)くす業(わざ)は貴(たか)くて

愛(あい)に功(いさ)徳(とく)あり

世(よ)に働(はたら)かひ無(な)かるべし

No. 173.

Have I Done Any Good ?

W. L. T.

WILL L. THOMPSON.

1. け ふ わ れ き ゐ な い し た る か ひんく な き や す
 2. な す べ き わ ざ い ま こ に そ の き く お ほ

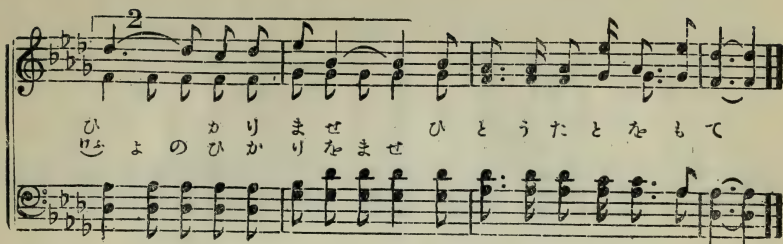
く ひ た る か な し み な や な ぐ さ め た る い
 く ひ た る か こ き も あ ゐ な す ぐ す な か れ ゐ

な こ あ や ま て り ひ さ の に な か る く せ ぐ て
 こ こ な お こ な へ ほ こ す わ ざ は た ぐ て

わ が て な や か せ る や み つ か る な や
 ゐ に は く ぐ あ り よ に は た ら き な も

Copyright, 1904, by Will L. Thompson, East Liverpool, Ohio. Used by permission.

Make the World Brighter.



第百七十四、世の光を増せ。

フランク、エー、ブレンク夫人作歌
フランク、エー、センブキンズ作曲

一、往いて涙慰め

幸福を撒きて行け

憂苦疲勞を救へ
今日世の光増せ

折) 光増せ

歌ふて行け

光増せ

日光に歌に

光増せ

歌ふて行け

(返) 光増せ

日光と歌とをもて

二、歎息を笑に換へ

祈禱れ罪人と

死に望持たせよ

三、貧苦何處にあるも

貧しい兒等を救ひ

神の恩恵を施け
今日世の光増せ

No. 174.

Make the World Brighter.

Mrs. FRANK A. BRECK.

FRANK A. SIMPKINS.

1. うい て な み だ な ぐ さ め う め つ か れ な す く へ
 2. な げ き な わ ら に かる へ も し に の そ み も た せ
 3. めん く い づ こ に ある も か み の め み た し け

さい ち な ま き て ゆ け け ふ よ の ひ か り ま せ
 ま の づ れ つ こ み ら び と す り け ふ よ の ひ か り ま せ

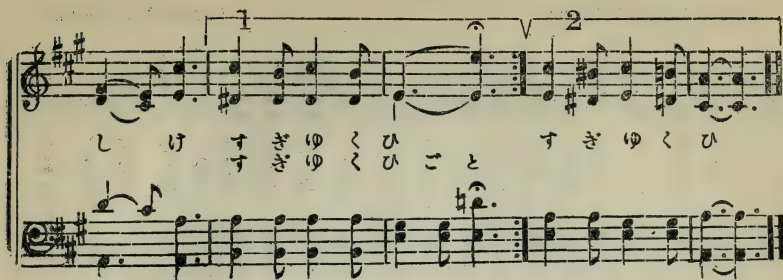
CHORUS.

ひ か り ま り せ う た て ゆ け
 めん よ の ひ か り な ま せ う た て う た て ゆ け

ひ か り ま り せ ひ に う た に
 めん よ の ひ か り な ま せ ひ こ う た と な も て

Words and Music copyright, 1900, by E. O. Excell. Used by per.

Scatter Sunshine.



第百七十五、光を撒け。

ラインタ、ウイルソン、スミス作歌
イー、オー、エクスセル作曲

一、憂愁絶えせぬ 此の浮世

悲哀寂寞 貧苦の世に

若し光を 汝が撒かば

いかに施き得む 樂しさを

折 拾く光撒け

恩恵を施け 過ぎ往く日

(返) 拾く光撒け

恩恵を施け 過ぎ往く日

二、僅の手も 苦患を救ふ

世は深切を 要むるぞ

勇氣と愛とを 汝が持たば

悲みをも よく助けむ

三、曇れる日に 幸福歌へ

世にかこつな 勇を振へ

信仰を以て 苦に耐へよ

勞に光と 笑みを撒け

No. 175.

Scatter Sunshine.

LANTA WILSON SMITH.

E. O. EXCELL.

1. うわぐも たかれ えのろ せてひ に こくさ のけんち うなう きすた ふへ ひよ あいばに せんか きせこ

2. うわぐも たかれ えのろ せてひ に こくさ のけんち うなう きすた ふへ ひよ あいばに せんか きせこ

3. うわぐも たかれ えのろ せてひ に こくさ のけんち うなう きすた ふへ ひよ あいばに せんか きせこ

ばつ く な ひん く の ふ る に ぞ も し ひ か り を
つ な な ゆう と な む る へ た き と み あい も なて

な が ま か ば い か に し き ち た の し さ な
なく が も か ば い か に し き ち た の し さ な
なく が も か ば い か に し き ち た の し さ な

CHORUS.

あ ゆ く と ま れ く ひ か り ま け め ぐ み を
ゆ く と こ ろ ひ か り と え み な ま け

Words and Music copyright, 1892, by E. O. Excell. Used by per.

No. 176.

Put Your Shoulder to the Wheel.

W. L. T.

WILL L. THOMPSON.

1. よて は よ こり は た ら く ひ さ を も さ む
 2. は を こり は た ら く ひ さ を も さ む
 3. あつ は を こり は た ら く ひ さ を も さ む
 4. は を こり は た ら く ひ さ を も さ む

よ わ な は き が た は ば く た こ き ら も か き に す ち あ あ あ る り め る く く る る ま ま ま な な な あ あ あ せ せ せ よ よ よ

REFRAIN.

あ せ か た の ち か ら も て (あ せ よ)

なん ち の き む に う た ひ つ (う た ひ つ) み

な ひ こ た ゆ ま す く る ま な あ せ よ

第百七十六、車を押せよ。

ウ井ル、エール、トンプソン作

第百七十七、永遠の我が味方。

ジヨン、ライオン作歌
エチ、エチ、ピテルソン作曲

一、世はよく働く

善き働ある

押せ肩の力もて

(返折)

皆人たゆまず

二、手をも心をも

事業は此處にあり

三、怠り休むな

永くとも進め

四、慎め働け

はたらき価値ある

人を要む

車を押せよ

汝の義務に歌ひつゝ

車を押せよ

教會は須つ

車を押せよ

悪にも敵對はむ

車を押せよ

勵め祈れ

車を押せよ

一、主エス、我等は

生命にも死にも

二、短かき生命に

友は棄つることも

三、我等の希望は

御神はわれらの

四、永劫の神よ

御國へ行くまで

御旨に服がひ

汝にぞ頼らん

襲ひ来る困難

主は棄てたまはず

死に斷たるゝとも

永久なる味方ぞ

聖靈を贈りて

供ならせたまへ

Softly Beams the Sacred Dawning.

はるほも ちれるの かいぼな しみさら そゆるす
さいひく きげには はるほも ちれるの かいぼな しみさら そゆるす

No. 177.

Our Everlasting Friend.

JOHN LYON.

H. H. PETERSON.

mf

1. しゅ エ ス ふ わ れ ら は み む れ
2. みわ こ じれ し きの のぞか ちみ はに におし そに た
3. わ こ じれ し きの のぞか ちみ はに におし そに た
4. みわ こ じれ し きの のぞか ちみ はに におし そに た

p

にくゝを しるるお たなゝく がやさり ひみもて いさみみ のもかく ちはみに にすはへ もつわゆ

しるれく にこらま ももので なゆさこ れはほも にすなな ぞてらら たたみせ ふまかた らばたま んすぞへ

第百七十八、平和の暁。

ハルヴェイ、エール、ビルチ作歌
ツイ、カルレンス作曲

一、平和の暁

聖徒を警む

「時は近し」と

二、山の上に笑み

湧き出る光の

生ける霊見ゆ

三、暗き雲は逃げ

闇黒といふ闇黒は

太陽に滅さる

四、愛しき我が聖徒

動かぬ心に

苦はものならず

きよく輝き

「時は近し」と

永遠の泉に

生ける霊見ゆ

疾く霧は退く

太陽に滅さる

哀しむなかれ

苦はものならず

No. 178. Softly Beams the Sacred Dawning.

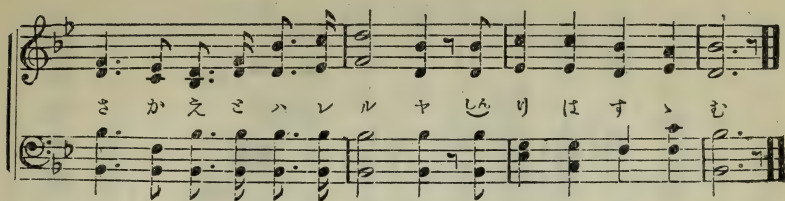
HARVEY L. BIRCH.
Andante.

G. CARELESS.

1. かいりむ
2. くのきし
3. よはくな
4. きささか
きみげさ
つみにせ
かにはが
あへもわ
のうくき
わのきし
いまらこ
へやくい

きけには
さいひく
むのほに
しりみろ
まかやこ
いひこ
なるゆぬ
さでさか
いきみこ
せわやう
きにくれ
やみのか
がづはな

Battle Hymn of the Republic.



第百七十九、 共和の軍歌。

ジューリヤ、ワード、ハーウ作歌

一、主の降臨ります光榮を我見ぬ

神進めば

忿怒持つ葡萄の實をば踏みつぶし

三、主は退却となき喇叭を吹かせつ

もの凄き劔の電光放射ちて

天の法廷に人の心選別む

真理は進む

心疾く答へ脚は喜べ

光榮えどハレルヤ 光榮えどハレルヤ

神進めり

(返折)

光榮えどハレルヤ 真理は進む

四、百合咲く海の彼方主生れぬ

我鋼鐵なる福音の書讀めり

我等を化する光を胸にし

「我が敵を愛せよ我汝を愛せむ」と

我等も人間を救ひ主に倣うて死なむ

蛇をば女の所生なる士に踏ませよ

神進めり

No. 179.

Battle Hymn of the Republic.

JULIA WARD HOWE.

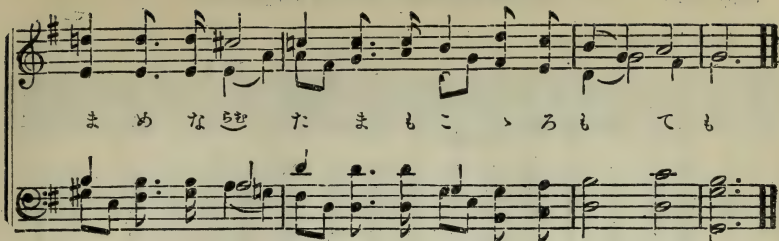
1. のれはく だりま するさ かちえ なをわ れみめ めり
2. りわはは はが りれな なみき なのた ふみふ かま りつ
3. りわはは はが りれな なみき なのた ふみふ かま りつ
4. りわはは はが りれな なみき なのた ふみふ かま りつ

もて つぶ ぶの のの わば ふみ つお しし もの すご
てし きらす すあに せせわ れこ るろ れら めも
し らな すすに せせわ れこ るろ れら めも

きの めの らい なる づま はな まる ちて んか りみ はす すめ む
のく めの らい なる づま はな まる ちて んか りみ はす すめ む

CHORUS.

さ か え さ ハ レ ル ヤ さ か え さ ハ レ ル ヤ



第百八十、福音を持む。

エヴァン、ステヴエンズ作

一、撓たふむかシオンの子 理りと義ぎを守もるに

恐れ避おそくさべきか 攻せめ來くる敵てきを

否いえ

折) 親おやの愛あいせし信しん仰かうを持もち

殉教者じゆんけうしやの得えし眞理しんりに頼より

(返

御み仰おほせに 忠實ちゆしつならむ

魂たまも心こころも手ても

二、闇やみ黒くろが御業みわざをば 妨さまたぐと知しり

鐵かねの棒ぼう離はなれむか 誓ちか約かひてし子等こら

否いえ

三、力ちからめて救すくを得えむ 眞理しんりに倚より添そはむ

念おもひ、祈いのり、力ちからめむ 若わかき熱情ねつじやうもて

然さう

四、主しゆの御國みくにに入いる 價値あたいひつどを力ちからめ獲えむ

御言葉みことばよく守もり 救すくはれし徒とと

然さう

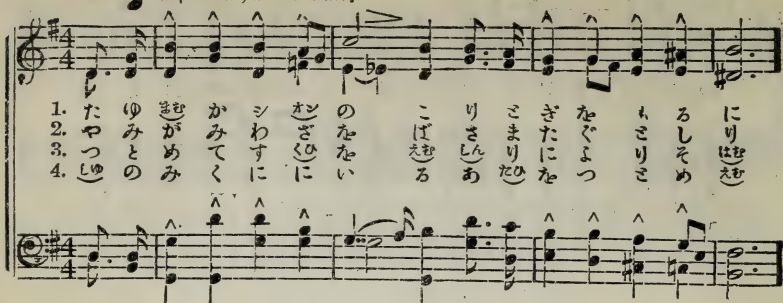
No. 180.

True to the Faith.

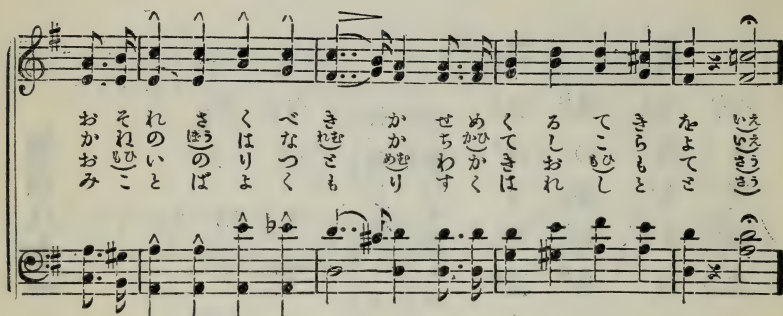
E. S.

EVAN STEPHENS.

Met. ♩ = 84. Firm, march time.

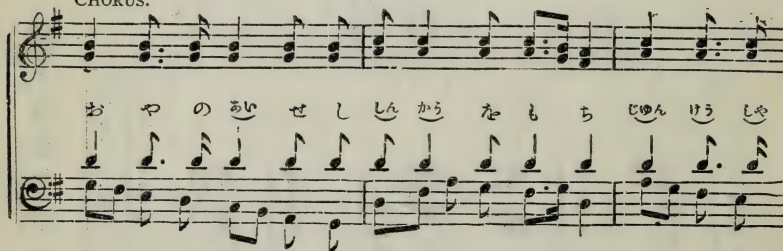


1. た ゆ き か シ め の こ り さ ぎ な る に
 2. や み が わ し め の こ り さ ぎ な る に
 3. つ と の み す に め の こ り さ ぎ な る に
 4. (ゆ) の み す に め の こ り さ ぎ な る に

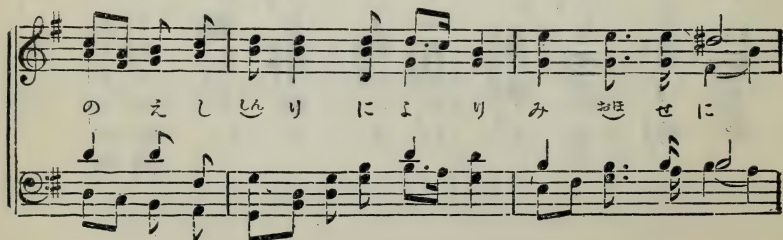


お それ さ く べ き か か め せ め く る て き ら な い
 か れ の ほ は な つ れ ゑ り ち か く し お も と よ て (い
 お (ひ) こ と の ば り よ つ く も り す わ す は し れ し と さ う
 み こ と の ば り よ つ く も り す わ す は し れ し と さ う

CHORUS.

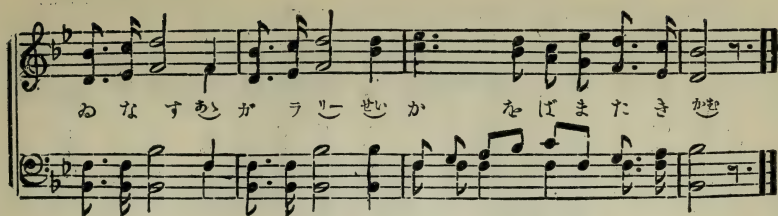


お や の あ い せ し しん か ら な も ち じゆん けう しゃ
 ー り り り り り り り り り り り り



の え し しん り に り み おほ せ に

Memories of Galilee.



第百八十一、 美しきガラリヤよ。

ラーベルト、モーリス作歌
エチ、アール、バアルメル作曲

一、 梢こやまに 啼なく 鳩はぎ

夕ゆふをば 樂たのしうし

今いまいと 畏かしこき

ガラリいを思おもひ出いづ

折うろは 美うらはしあゝガラリい
(返 藍あゐなすあゝガラリい)

エス 愛めで 給たまひにき
聖せい歌かをば 再また聞きかむ

二、 花はな 咲さき 苔こけ 蒸むす

谷たに 間まに 鳥とり 歌うたふ

其その 聲こゑ 朝あさ 日ひに

ガラリいを 偲しのばす

三、 海うみの 上へ 歩あゆみし

主しゅの わざ 讀よむ 時とき

今いままた 願ねが主しゅに

ガラリいに 従したがふを

No. 181.

Memories of Galilee.

ROBERT MORRIS, LL. D.

H. R. PALMER.

1. こすゑにきなくはさ...べにま
 2. ほなまのき...なけむす...たの
 3. うみのへ...あゆみし...しめの

ば...たのしうし...いまい...かしこ
 に...さよむさき...そいま...あれはひ
 ぎ...よむさき...そいま...あれはひ

き...ガ ラ リー な...おひ い づ...
 に...ガ ラ リー な...おの ば す...
 に...ガ ラ リー に...した が な...

CHORUS.

う る は し あ ガ ラ リー エ ス め で た き に き あ

Used by permission of Dr. H. R. Palmer, owner of the copyright.

第百八十二、 音をば皆鎮めて聽け。

エール、ジー、リツチャードス作歌
 ジョー ルデ、カルレス作曲

一、 信頼と感謝とに

調和はぬ音をば

さて主は新に

汝が力を添へむ

皆鎮めて聽け

エスの犠牲のため

さて主は新に

汝が力を添へむ

其の比類なき愛は

我等を頼ます

三、 恩恵を主に謝す

主の來給はむ時

其の比類なき愛は

我等を頼ます

世を復活らせむ

其の誓約の爲に

二、 尊敬ふ聲を揚げ

聖餐の禮を讀へ

其の時人皆

生命に復活り來む

割きたる麵包を食へ

聖き水を飲め

其の時人皆

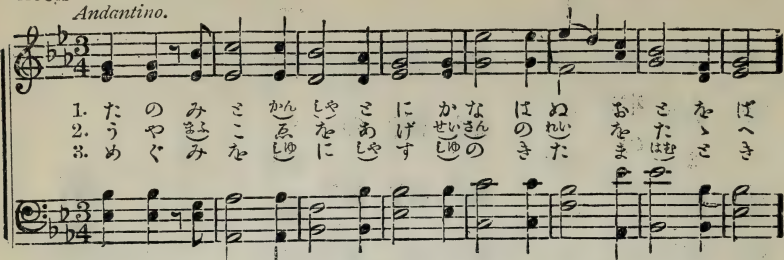
生命に復活り來む

No. 182. Hush! Be Every Sound Subdued.

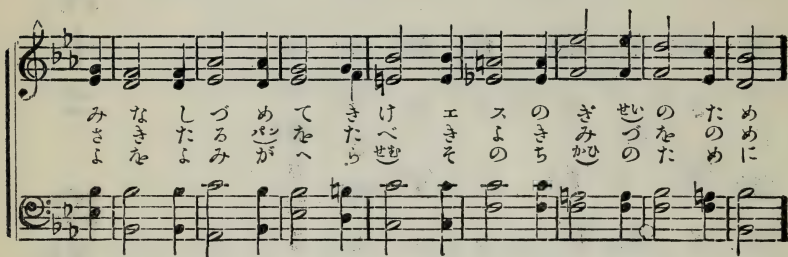
LOUISA L. GREENE-RICHARDS.

GEORGE CARELESS.

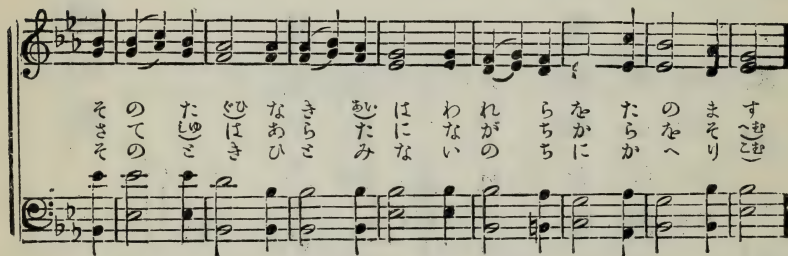
Andantino.



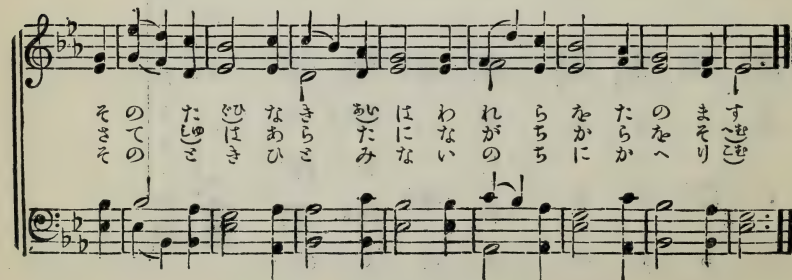
1. た の み こ (かん) しや さ に か な は ぬ あ さ な ば
2. う や み こ な (ふ) な あ げ せ さん の いた ま た へ
3. め ぐ み な (しゆ) に じす (し) の き た ま は こ き



み な し づ め て き け エ ス の ぎ せ の た め
さ き した る ン を たら せよ の みの た め
よ な た る み が へ せむ せ ち か の た め



そ の た ひ な き ゐ は に わ れ が ら を た の ま す
の の た き あ さ た な い の の の を そ め
の の た き あ さ た な い の の の を そ め



そ の た ひ な き ゐ は に わ れ が ら を た の ま す
の の た き あ さ た な い の の の を そ め
の の た き あ さ た な い の の の を そ め

第百八十三

按手禮の歌

バーリ、ビー、ブラット作歌
ジイ、カルレス作曲

一、神よ我等が

手を按きたる

三、罪をきよむる

汝が御靈の

汝の男子

女子を見よ

力を持ちて

信仰を錬り

皆福音の

道を守り

よろし現在より

汝の牢に

御命畏み

従ひけり

入れられたるを

感ぜしめよ

二、今は天なる

鳩を下し

四、信仰を増し

望つよめ

御牢の小さき

羊の如く

救ひの門に

導きつゝ

平和と欣喜

全き愛を

猶全き日に

到る迄も

彼等の胸に

満たし給へ

彼等の心

慰めよや

No. 183.

Confirmation.

P. P. PRATT.

G. CARELESS.

Moderato.

f *p*

1. か い つ し
2. み ま み ん
3. よ は な こ
4. わ あ き ー
れ め よ な
ら な む ま
が る る し
て は な の
な が そ
お な み み
き く た つ
た だ ま よ
る し の め

f *p*

い み ち す
ま を か く
し り ら ひ
の の な の
な ち も か
の さ ち ぎ
こ き て に
ま を ひ し み
み つ ん ち
な じ ゃ う び
な の な き
み ご れ つ
よ と り つ

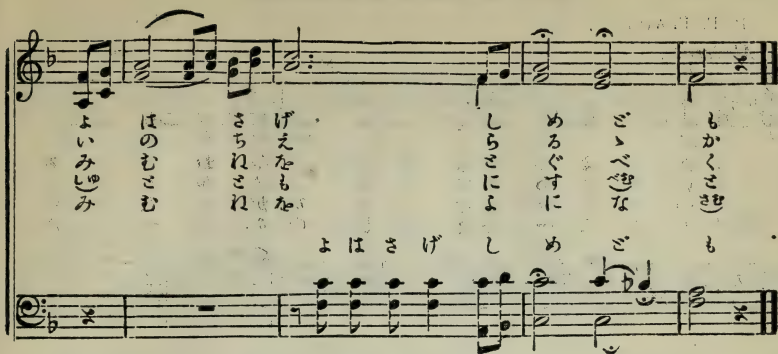
cresc.

み べ よ な
な わ る ほ
ふ ぶ し ま
く よ さ た
い ろ き き
ん こ よ ひ
の び り に
み ま な い
ち た れ た
な き の る
ま あ な ま
も い り で
り な に も

f *p*

み か い か
こ れ れ
さ ら ら
か の れ の
し む た こ
こ れ る
に な る
し み か な
た た ん ぐ
が し ぜ さ
ひ た し め
け ま め よ
り へ よ や

Behold the Lamb of God.



第百八十四、神の小羊を見よ。

マタイア、ブリーデズ作歌
ロエル、メーソン作曲

一、天てんの装よそほひの小羊こひつじ見みよ
 父ちちに副そはむと水みづに入いらる
 浸ひた禮れいのためヨルダンに 濁よ世よはさげしめども
 濁よ世よはさげしめども

四、波なみに入いりて墓はかと蘇そ生せいの
 御み記き號ごうなる水みづを通とほり
 御み心こころに歸かへ依よひ御み旨めいを逐おぐべく
 御み旨めいを逐おぐべく

二、知しる、かなは深ふかき神しん意いは
 見み得えるかなほ聖きよき御み業わざ
 此この儀ぎを緩ゆる怠たいうして 生いのち命めい得えらるゝか
 生いのち命めい得えらるゝか

五、父ちちよ目め守もれ恐おそ怖それを逐おへ
 惠めぐみ賜たまふて耐たへしめ給たまへ
 我われ等ら復かへ活かる主しゅと共ともに統すべと
 主しゅと共ともに統すべと

三、エスおほせよ仰おほせと御み實じつ行ぎやうに副そはむ
 見みよ今け日ふ我われ等ら御み前まへに立たつ
 見みよ今け日ふ我われ等ら御み前まへに立たつ

五、父ちちよ目め守もれ恐おそ怖それを逐おへ
 惠めぐみ賜たまふて耐たへしめ給たまへ
 我われ等ら復かへ活かる主しゅと共ともに統すべと
 主しゅと共ともに統すべと

No. 184.

Behold the Lamb of God.

MATTHEW BRIDGES.

Dr. LOWELL MASON.

1. でん の る ス み
2. し エ な
3. な
4. ち
5. ち

よは ^はのへ

みい ^せお

じん ^にそを

つきざとれ

ひかわかそ

こふみはお

のほととれ

は ^ひなせりも

そ ^おか ^はいま

よ ^よに

ち ^みみ ^みめ

う ^よし ^ぐ

に ^る ^る ^み

そ ^か ^わ ^し ^た

は ^お ^な ^れ ^な ^き

と ^ほ ^ら ^る ^て

み ^き ^み ^み ^た

づ ^よ ^ま ^づ ^へ

に ^き ^へ ^な ^し

い ^み ^に ^と ^め

ら ^わ ^た ^一 ^た

る ^ざ ^つ ^り ^き

し ^ん ^こ ^み ^わ ^さ

も ^か ^く ^さ ^き

ご ^べ ^せ ^な

め ^る ^ぐ ^す ^に

し ^ら ^と ^に ^よ

げ ^え ^な ^も ^な

さ ^ち ^れ ^と ^れ

は ^の ^む ^さ ^む

ふ ^い ^み ^ゆ ^み

に ^て ^が ^ひ ^る ^き

だ ^ん ^し ^た ^へ ^ゆ

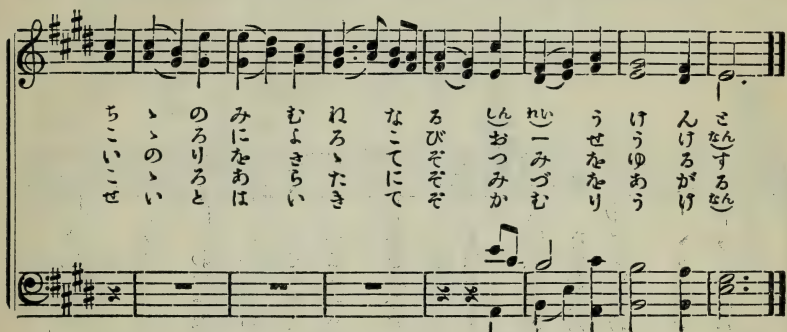
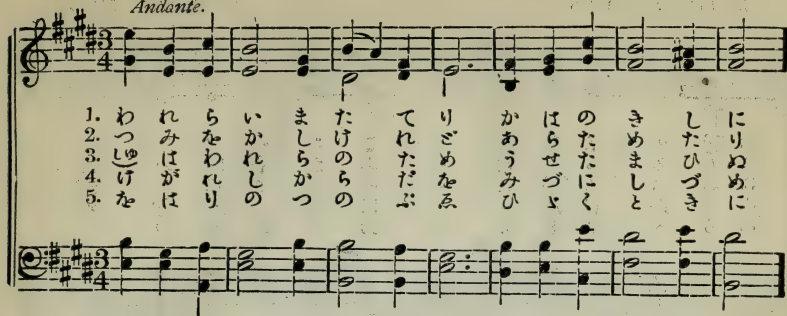
み ^ゆ ^に ^み ^し

た ^な ^る ^よ ^の

の ^ぎ ^ら ^た

い ^の ^こ ^れ ^て

Andante.



第百八十五、 川の岸に。

ジイ、カルレス 歌曲

- 一、我等今立てり
二、罪犯しけれど
三、主は我等のため
四、汚穢れし肉體を
五、終りの角笛
聖徒は復活ぞ
- 川の岸に
浸禮受けんと
悔改めたり
命令受けなん
失せ給ひぬ
罪を赦す
水に沈め
水をあがる
響く時に
冠受けなん

1. ちわエシみ
2. ちわエシみ
3. ちわエシみ
4. ちわエシみ
5. ちわエシみ

わはみも
よらのつま
れくなびて
らだにとき
いりよらよ
まてりのめ
みつしいみ
ちみんのし
かなれりる
ひばいをし
なくうきつ
ばいけけ

ひやみいせ
じくたのい
りそまちと
らくのをの
のむひあむ
ごすかたれ
さびりへに
くてなてぞ
だきけかれ
くよういい
りなてした
うえあたま
けらがまへ
なんぶるへや

第百八十六、天父よ。

ビー、ビー、プラット作曲
トマス、マキンタヤ作曲

- 一、天父よ我等いま 御誓約をば
聖徒等の如く 謙遜受けなん
- 二、我等は謙遜りて 罪をば悔い
約束結びて 善きを選ぶ
- 三、エスの御名により 浸禮受け
聖霊の光明を 受けて上がる
- 四、主よ罪人等の 祈禱を聞き
生命を與へて 活かし給へ
- 五、聖霊もて淨め 御章附け
聖徒の群にぞ 入れ給へや

No. 187. Think Gently of the Erring One.

Miss FLETCHER.

H. A. TUCKETT.

Dim.

f

Dim.

1. まおなをばつたきはるるおひわかすみるな
 2. おおなをばつたきはるるおひわかすみるな
 3. まおなをばつたきはるるおひわかすみるな
 4. まおなをばつたきはるるおひわかすみるな

つみがにによけがれてもちなかほはらまかづらく
 たいまがにによけがれてもちなかほはらまかづらく

第百八十七、迷ふ者を良く思へ。

フレーチア夫人作歌
 エチ、エー、タケツト作曲

- 一、迷ふ者をばいたはれ 思ひ忘るな
 - 二、同じ繼承なる なほ同胞
 - 三、迷ふ者に語れ 彼は躓く
 - 四、忘るな同胞 罪ありし身
- 迷ふ者をばいたはれ 神に倣ひて
- 荆棘の道より 導きかへし得む
- 我が弱う來し道 聖き愛もて
- 皆神の子

第百八十八、 エスに來れ。

オー、ビー、ヒューシ作

一、エスに來れ荷負ふ者

罪に衰弱れる者

信仰む者の休息ふ地に

主は安く導かむ

二、エスに呼べ聽き給はむ

よし暗夜に迷ふとも

主の愛は汝を導く

暗黒より光明へと

三、エスに祈れ答得む

謙遜りて愛を乞へ

知らずや天使降りて

汝に近づき給ふを

四、エスに來れ國々

はた島々までも

上下の隔なく

「我に來れ」と呼ぶ

Wanted on the Other Side.

にさよてに
 ひりらびた
 おなかこな
 きしうろか
 しれよの
 なばやわか
 かよあそは
 りはじるる
 めかえつも
 づめりれま
 したまま

No. 188.

Come Unto Jesus.

O.P.H.

O.P. HUISH.

Moderato.

にやりし
 みしだた
 つよくは
 のはむえに
 もまへぐ
 おふたに
 にこく
 れきれ
 たべのた
 きよいき
 ににに
 ススス
 エ

のなんの
 もはやた
 しむいすし
 ののらへ
 たじしう
 のもへも
 もごこで
 るふなま
 れまいま
 わにあじ
 よみてま

かまをぶ
 びへふよ
 ちりたこ
 みかきれ
 くひづた
 すりかき
 やよちに
 はみにれ
 しやなわ
 にくてく
 ちびりな
 こちだて
 いみくだ
 のをしへ

Used by permission.

第百八十九、墓のかなたに。

シー、ダブルエ、ステーナ作歌
 シモン、エス、ルーイス作曲

一、いとしき者ども
 我等は沈めり
 此の世を去れば
 哀しき思ひに

二、さはれやさしくて
 「勤のため彼は
 さゝやき聞ゆ
 喚ばれしなり」と

三、そは福音のため
 人間に留まり得じ
 故舊を訪ふためぞ
 兩親よ親族よ

四、彼等は笑み迎ふ
 貴く生れつる
 我等は泣けぞ
 其を喜びて

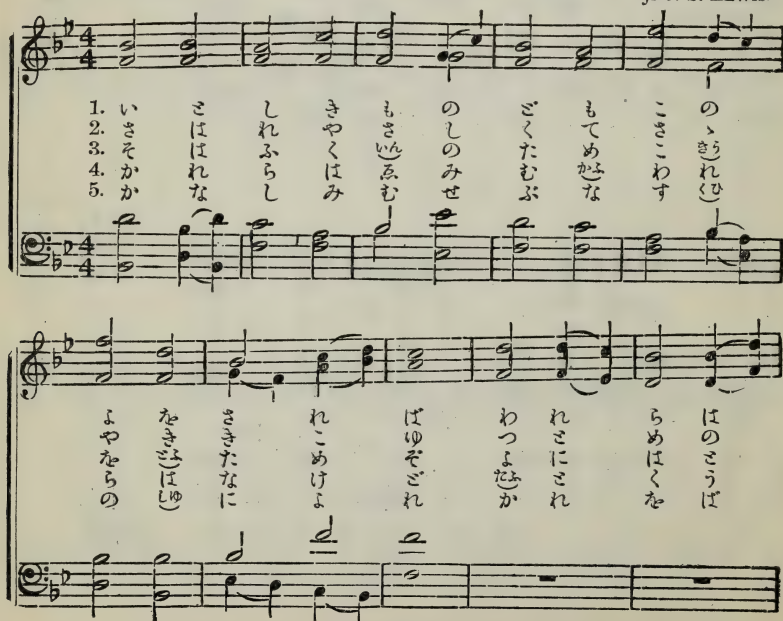
五、悲しみ咽ぶな
 彼をば主護る
 救の主に頼れ
 墓のかなたに

No. 189.

Wanted on the Other Side.

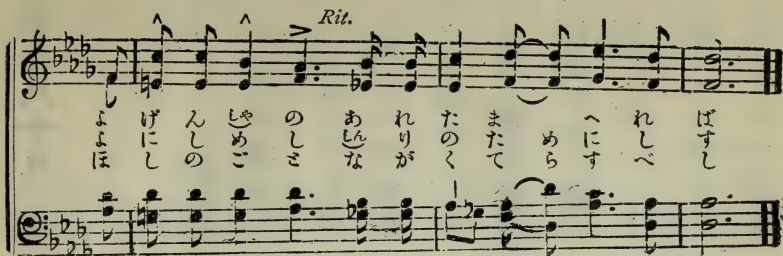
C. W. STAYNER.

JNO. S. LEWIS.



1. いさそかか
 2. さははれな
 3. しれふらし
 4. きやくはみ
 5. もさいふむ
 のしのみせ
 ごくたむぶ
 もてめかな
 のうきれび
 こころわす
 らめはくを
 はのさうば
 れさにこれ
 わつふか
 ばゆぞこれ
 れこめけよ
 さきたなに
 なきふはゆ
 ふやならの

Joseph Smith.



第一百九十

ジヨセフ、スミス。

エド井ン、エフ、パーリ作歌
エヴァン、ステヴァンズ作曲

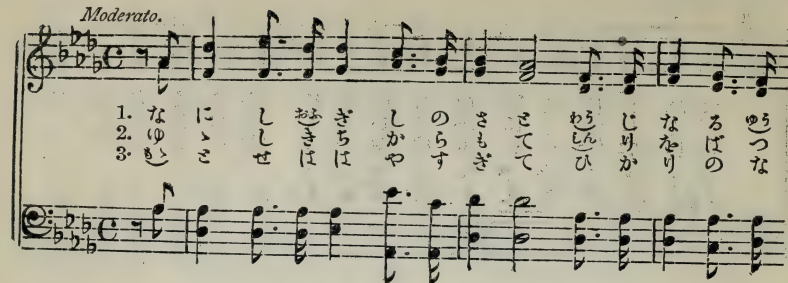
美^び往^{わう}時^じなる義^{ゆう}士^しの郷^{さと}里^り
聞^{きこ}え

シヤロンの草青き
生れ給へれ
眞理をば傳ふる使者
愛をば示す

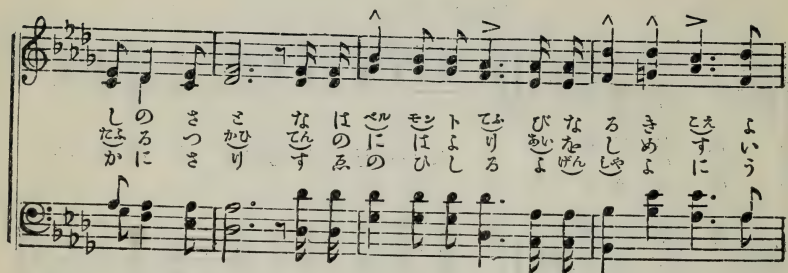
永 ^{なが} が彼 ^{かれ}	豫 ^よ 光 ^ひ	眞 ^{しん} よ
くは	言 ^か 輝 ^{かり}	理 ^り き
照 ^て らふ	者 ^{しや} の	音 ^{おと}
す朽 ^{きう}	中 ^{なか}	信 ^{より}
べに	世 ^よ に	な
生 ^い	界 ^{かい} に	死 ^し 持 ^{もち}
しく	に	すち

EDWIN F. PARRY.

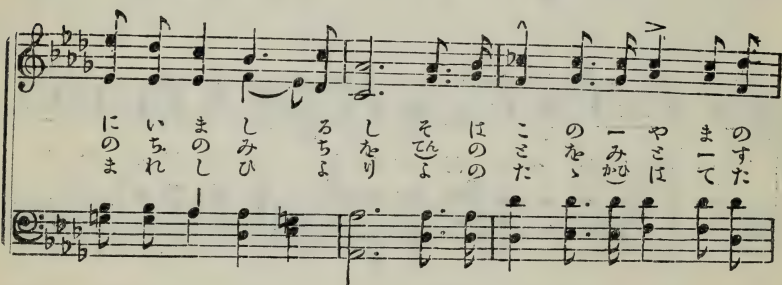
EVAN STEPHENS.

Moderato.


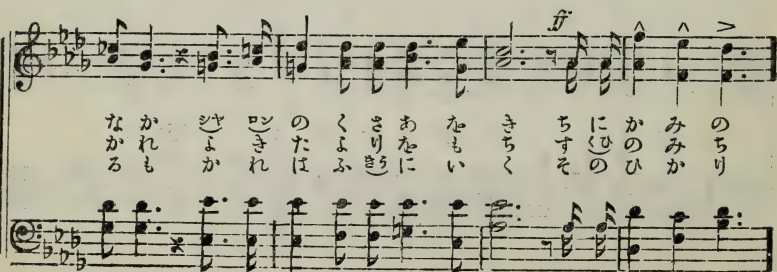
1. な に し め ぎ し の さ さ わ じ な る う
 2. ゆ に し し き か ら も て り り な る つ
 3. こ こ せ は は や す ぎ て ひ か の ば の な



し の る さ な は め モ ト ひ び な る き こ ふ
 た り に つ か ひ で の に は ふ り ゐ な し め す
 か に ら り す ゑ の ひ し る よ し ゃ よ に う

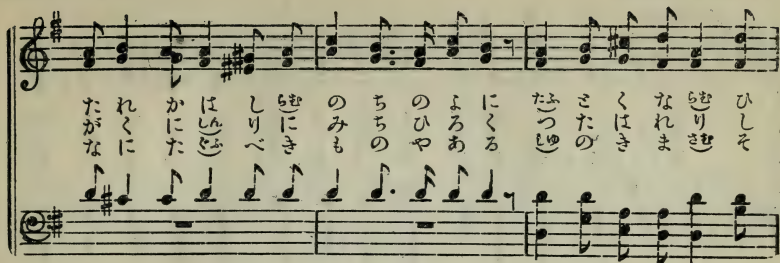


に い ま し る し そ は こ の 一 や ま の
 の ま ち の し み ち な の た な み か ー て
 ま ち れ し ひ ち り ー の の か ひ の す



な か し ゃ ん の く さ あ な き ち に か の の
 かる れ よ き た ふ り に い ひ ひ み か
 る も か け れ ば ふ き に そ の ひ か の

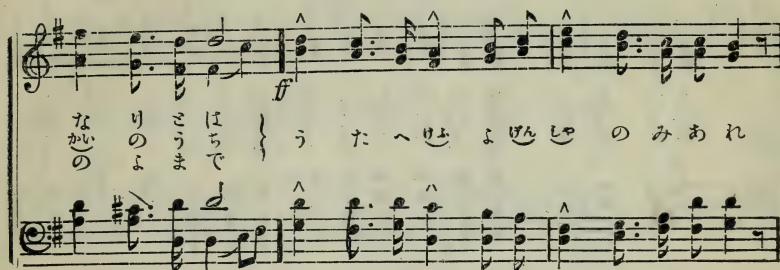
One Hundred Years.



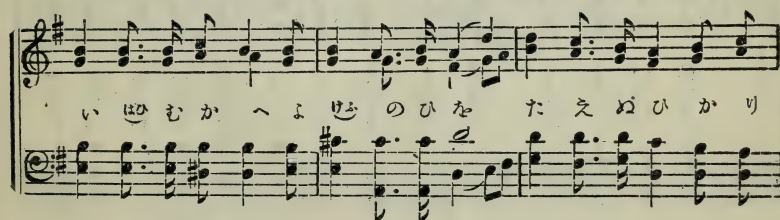
たがな れくに かにた はにふ しりべ のみも ちのひや よろあ にくる たつた さたの くはき なれま ゐりむ ひしそ

Rit

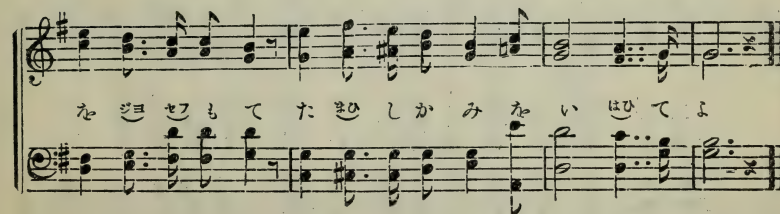
CHORUS.



な の りの りの ま はちで } う た へ り よ ゐん の み あ れ



い ゐむ か へ ゐん の ひ を た え ゐ ひ か り



を ゐ ゐ も て た ゐ し か み な い ゐ て ゐ

No. 191.

One Hundred Years.

(Centenary Song in Honor of the Prophet Joseph Smith.)

E. S.

EVAN STEPHENS.

With distinctness.

1. も も さ せ の そ の む か し か み よ げん しや の の
 2. も も さ せ の は そ か の り な し か よ が た べ り の の
 3. よ げん しや あ じゆん けう じや ジョ セフ せふ へ

ジョ せふ を ば く だ せ り よ の ひ こ さ し て
 つも な の み かな い か の ち そ が あ れ さ な の す

てん にか え ら れ て ち の こ や に あい も て た だ
 ひご か き た も て ち ら か し ら な を か よ は へく も

う ま ま い で よ に し れ す ち み ふ せ り
 な あ かし り け る も な が く し ら ら そ の きの り

第百九十一、百年。

エヴァン、ステヴエンス作

一、百年のその昔 神豫言者のジョセフをば

降せり世の人として 天に選ばれ地の小屋に

愛持てたい生れ出で 世に知れず笑み臥せり

誰かは知らね後の世に 貴くならむ日なりとは

折) 歌へ今日、豫言者の御誕生 祝ひ迎へよ今日の日を

(返 絶えぬ光をジョセフもて 賜ひし神を祝ひてよ

二、百年は涯なき 世談の刹那のみ

さはれ輝ふ其の朝の 光もて照したり

嘗て類なかりける 百年の其の進歩

學に眞理に福音廣く 傳はれり四海の内

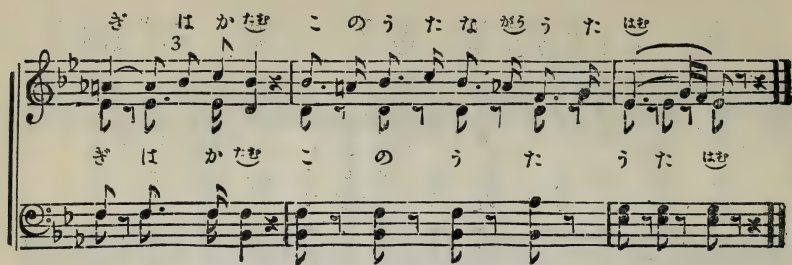
三、豫言者あゝ殉教者ジョセフよ 敵は忌み友は愛づ

汝が生命は流れ如す 時經過てば力を得

世は善くも悪しくもいひ 永く知られむ不朽の名

汝に比ふべきものやある 主の來るまゝ其の世まで

Hark to the Classmates' Song.



第百九十二、 聴け級友の歌を。

エチ、ジー、ホキツトニ作

一、 聴き 級友の歌を 寄れ 級友の歌に

眞理に強く 希望に満ち

樂しげに唱ふ

頼み勵み戦ひ

終まで休息

仰ぎ見て進み

勝利を得るまで

折)

信仰持てこれ我が歌
強く勇み戦慄かす

(返

攻むとも 義は勝たむ
此の歌永う唱はむ

二、 呼べ反響來むまで 呼べ我が歌高う

隊列強く 心協せ

樂しう愛を唱ふ

眞理のために勵み

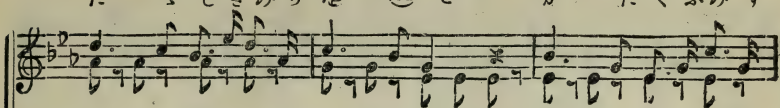
正しき道を得むと

堅く踏み進み

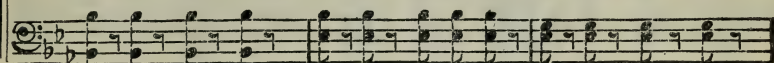
勤勞濟むまで

Hark to the Classmates' Song.

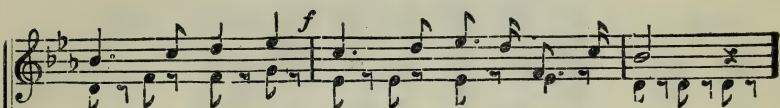
な は り ま で や す ま す あ か 一 ぎ み て す
た と し き み ち な 趣 そ か た く ふ み す



な は り ま で や す ま す あ か 一 ぎ み て す
た と し き み ち な 趣 そ か た く ふ み す



す み つ 、 か ち な め う る ま で
す み つ 、 か と め す む ま で

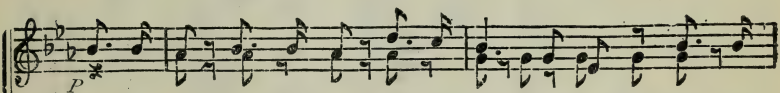


す み つ 、 か ち な め う る ま で
す み つ 、 か と め す む ま で

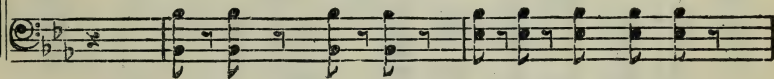


REFRAIN.

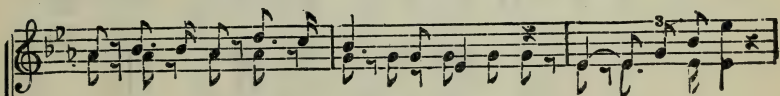
た の み も て こ れ わ が う た つ よ



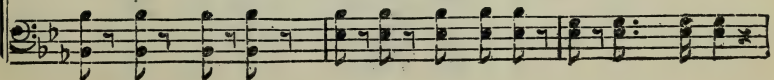
た の み も て こ れ う た



く い さ み な の 、 か す せ む とも



つ よ く て な の 、 か す せ む とも



H. G. W.

H. G. WHITNEY.

Moderato. f

1. き け と も の う た か で よ れ べ
2. よ べ と ひ き こ ま で よ れ べ

と も の う た に し り に つ よ く
わ が う た た か ら たい れ に つ よ く

*Rit.**Dim.*

の そ み に み ち た の し げ に う た ふ
こ ろ あ は せ た の し ゃ い な う た ふ

た の り み は げ み た へ か ひ
し ん り の た め に は げ み
た の り み は げ み た へ か ひ
し ん り の た め に は げ み

第百九十三、 悩める旅人。

モントガームリ作曲

くナしぬぬきと
ひまなみりたり
をなきまこあ
あみわめすとれ
がへかゆやなわ
わさくのろしな
にすがぞいづ
めくなエこれお
ごきみもてごじ
れとしみれかれ
はなへにをふざ
とそかちみはわ
にれみてたくし
なわくさいにせ

一、 悩める旅人よく我を過りて

辭むに由なき救助を願へり

來し方行く先名をだにえ聞かず

二、 我が膳乏しき日彼饑乏疲れて

語もなく入り來ぬ皆與ふれば彼

少しを返せり此はあゝ天使の分

我そを食時ふ屑さへ皆マナ

三、 清き岩井の邊に彼は萎れ臥す

心なき水は渴をあざみぬ

助けて汲む水三杯を罄して

汲み返されし身永く渴なし

四、 洪水の夜遠く冬の暴風吹く

温め慰め我が床に臥させ

さて地に臥す身も樂園の夢を見ぬ

五、 衣無く傷つき路傍に死なむこそ

彼に息吹かせ薬や酒もて

もこの身とすれば我が持たりし疵

六、 痛みを忘れて心安息りぬ

獄舎に見し彼あゝ明日は謀叛の刑

嘲罵の中に我は彼を崇めたり

七、 肉は慄ひしかど靈死なむと答へき

さて此の旅人やがて記章もて

救の主とかはり我が賤しき名を

呼びてのたまはく「汝が我を恥ぢず

No. 193. A Poor Wayfaring Man of Grief.

MONTGOMERY.

1. なわきみきひさ
2. よ
3. やがきづぬさて
4. るさほのくにの
5. めげいでなやこ
6. びしおるすしび
7. たもゑよきみた
とひにくきれと
びきべつつかび
くればゆちあが
よかかふみあや
あうはのにすて
をふしあしはし
よつならむむる
ぎかれしとんし
りれふふせのも
ててすくるいて

いごこそかうす
なまゝとればひ
むなるものにの
にくないいなじ
よいきこきかと
しりみふふにか
なきづせかあは
きねはるせはり
たみかかくかわ
すなわれすが
けあきをりない
なだなひやあや
れああいさがし
がばざれけめき
へかみたもたな
りれぬりてりな

こすたあもわよ
しこすたとがび
たをてめみめの
ゆかくなさした
くへむぐすま
させみされかは
きりづめばとく
なこみわわかな
をはつががれが
だあきさもわあ
にみなこたれを
えつつにりには
きかひくふしち
かのしききへず
すめてせすりに

第百九十四、コロブに飛とばど。

ダブルユ、ダブルユ、フエルブス作歌
 ジョセフ、ジェ、デエンズ作曲

一、瞬またく間ひまに

コロブに飛とばどい

三、御み業わざ續つづきて

世よは満みち足たららひ

同おなじ速はや度さに

進すすみ行ゆかば

進すす歩みはてなし

環たまのごと

汝なは思おもへるか

無む窮きゆうをこは通とほして

物もの限かぎりなく

空くう極きはみなく

神かみ代よの起おこ原り

よく見み出いでむと

人ひと限かぎりなく

靈れい極きはみ無なけむ

二、はた思おもへるか

宇う宙ちゆうの起き點てんや

四、德とく果はてしなく

力ちから續つづき

神かみと物ものとの

最は期てを見み得えむと

智ち慧ゑ果はてしなく

光ひかり續つづかむ

思おも惟ちふ靈れい宣のたまはむ

宇う宙ちゆうに限げんなく

協けい和わ限かぎりなく

少わ壯かきも絶たえす

遮さへぎる幕まくを

見みるものなしと

神しん權けん限かぎりなく

眞しん理りも絶たえじ

No. 194.

If You Could Hie to Kolob.

W. W. PHELPS.

JOS. J. DAYNES.

1. まはみた くもつて ひまろにかてく コウよち ぶち)はか にのみら さきちつ ば(ん)たよ ちやひき

2. まはみた くもつて ひまろにかてく コウよち ぶち)はか にのみら さきちつ ば(ん)たよ ちやひき

3. まはみた くもつて ひまろにかてく コウよち ぶち)はか にのみら さきちつ ば(ん)たよ ちやひき

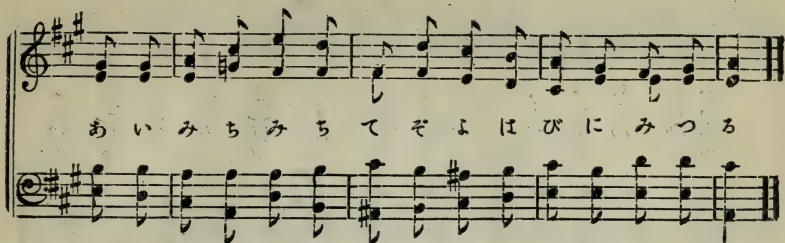
4. まはみた くもつて ひまろにかてく コウよち ぶち)はか にのみら さきちつ ば(ん)たよ ちやひき

おかしな なみゝる じさみは はもはて やのてし ささな にのしく すはたひ へてまか みなきり ゆみのつ かむごよ ばささか

なおもは はふのわ おれいか ものぎぎ へたりり るまなな かはくく むうわ きゆう)さか なにはき ん)みも しななたえ てくくす

かさひん みへんか よぎか のるぎぎ おまりり こくなな りなくく ふみれい)ん くるきり みもはも いのみた てななえ ととけ)じ

The World is Full of Beauty.



第百九十五

美なる世界。

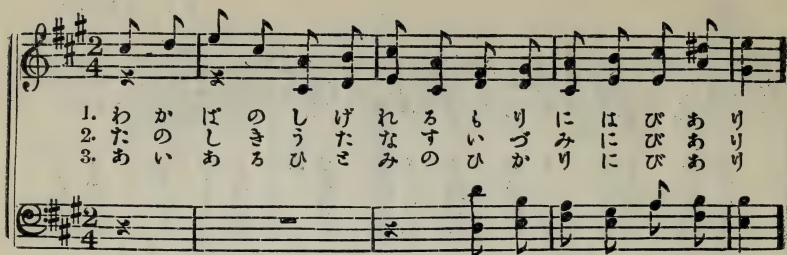
エム、ダブルユ、ハツクルトン夫人作歌
ジイ、カ ル レ ス 作曲

- | | | | | | |
|---|---|---|---|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 一、 | 若 ^{わか} 葉 ^は の繁 ^{しげ} れる | 二、 | 樂 ^{たの} しき歌 ^{うた} なす | 三、 | 愛 ^{あい} ある瞳 ^{ひとみ} の |
| 麗 ^{うるは} にさしたる | (返折) 愛 ^{あい} 満 ^み ち満 ^み ちてぞ | 飛 ^と 沫 ^き に映 ^{うつ} れる | 木 ^こ 蔭 ^{かげ} にさゝやぐ | あふるゝ情 ^{なさけ} の | 樂 ^{たの} しくやさしき |
| 花 ^{はな} の香 ^か 満 ^み ちたる | 愛 ^{あい} 満 ^み ち満 ^み ちてぞ | 泉 ^{いづみ} に美 ^み あり | 虹 ^{にじ} にも美 ^み あり | 光 ^{ひかり} に美 ^み あり | 聲 ^{こゑ} にも美 ^み あり |
| 森 ^{もり} には美 ^み あり | 世 ^よ は美 ^み に満 ^み つる | 小 ^こ 川 ^{がは} に美 ^み あり | 野 ^の 邊 ^べ にも美 ^み あり | 涙 ^{なみだ} に美 ^み あり | |
| 日 ^{ひかり} 光 ^{かり} に美 ^み あり | 世 ^よ は美 ^み に満 ^み つる | | | | |

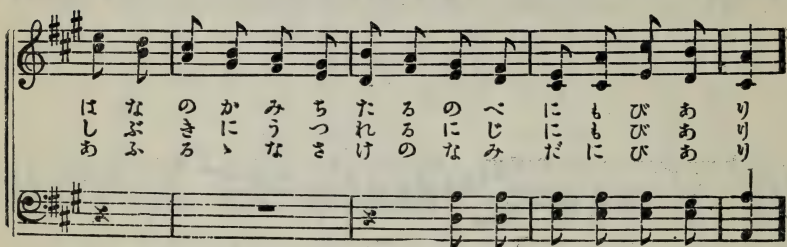
No. 195. The World is Full of Beauty.

Mrs. M. W. HACKLETON.

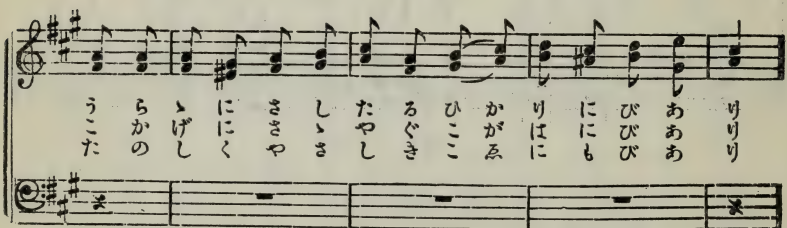
G. CARELESS.



1. わた かの ばの きる げた れな るも りに はび あり
 2. わた かの ばの きる げた れな るも りに はび あり
 3. あい しゃ る ひ た な の ひ か り に び あ

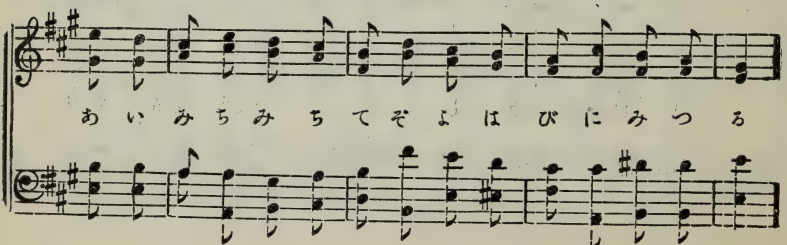


はし な の か み ち た る の べ に も び あ り
 しあ ぶ の きに う つ れ の な じに も び あ り
 あふ る ー な さ け の な み だ に び あ り



う ら と に さ し た る ひ か り に び あ り
 こ の げに さ や し る ぎ こ が は に も び あ り
 た の し く さ や し る ぎ こ が は に も び あ り

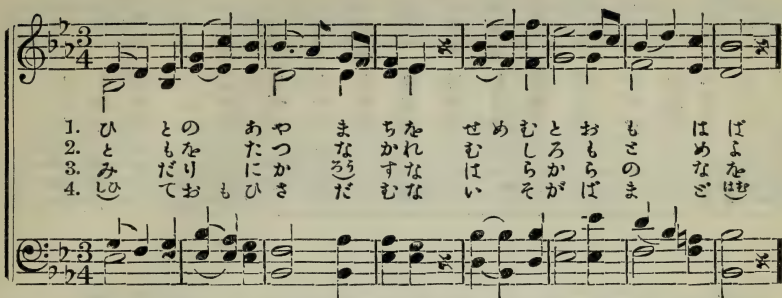
CHORUS.



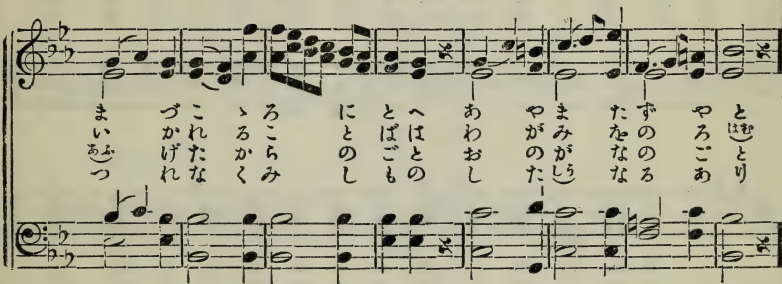
あ い み ち み ち て ぞ は び に み つ る

No. 196. Should You Feel Inclined To Censure.

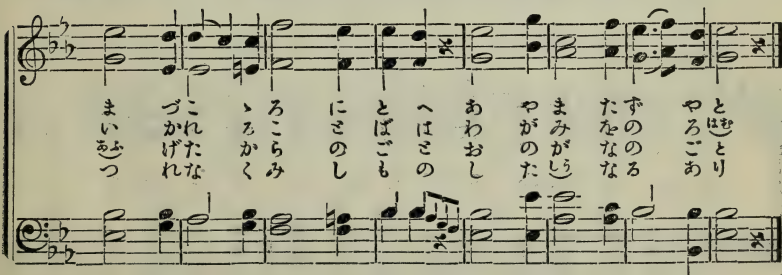
J. S. BRAMWELL.



1. ひ と の あ や ま ち を せ め む と お も は ば
 2. と も な り た つ な か れ め し ろ か も さ は め
 3. み だ お ひ か っ け ら が の ま な
 4. ひ て も ひ さ だ む な い そ ば



まい づ これ ろ にと へば あわ やま たす やと
 あつ かげ た ら の の し と の お が の の り と
 つ れ な く み し の の し と の お が の の り と
 れ な く み し の の し と の お が の の り と



まい づ これ ろ にと へば あわ やま たす やと
 あつ かげ た ら の の し と の お が の の り と
 つ れ な く み し の の し と の お が の の り と
 れ な く み し の の し と の お が の の り と

第百九十六、過失を責めむと思はゞ。

シエ、エス、プラムウエル作曲

一、人の過失を責めむと思はゞ
 先づ心に問へ
 先づ心に問へ
 朋友を絶つなかれ
 怒れる言葉は
 怒れる言葉は
 みだりに輕うすな
 仰げ寶のごと
 仰げ寶のごと
 強ひて思ひ定むな
 無情く見し者
 無情く見し者
 無情く見し者

責めむと思はゞ
 過たすやと
 過たすやと
 寧ろ求めよ
 我が身を呪はむ
 我が身を呪はむ
 兄弟の名聲を
 己が名のごと
 己が名のごと
 己が名のごと
 急がば惑はむ
 親しうなるあり
 親しうなるあり
 親しうなるあり

第百九十七、鐵の棒。

シエ、エール、タウンシエンド作曲
 ウ井リアム、クレイソン作曲

一、往時豫言者ニ「ファイに賜びし御言葉に
 (返折) 棒によれ鐵の棒
 此は神の御言葉
 此の人間の旅路に
 暗黒をば過ぎ行く
 誘惑身に薄りて
 棒に依頼と乞はむ
 我等は日に此の
 祈禱と唱歌もて
 遙けき休息場に
 天福ある天使に

神示現して
 鐵の棒あり
 依頼るべき棒
 天の導
 誘惑の下に
 危険の中に
 道の雲に
 天の御助
 棒にたよりて
 我が道追はむ
 棒は導かむ
 永くそふく

No. 197.

The Iron Rod.

J. L. TOWNSEND.

WILLIAM CLAYSON.

1. わ こさわは じのそひれる ふよみかけ げんのはにき したせひい 二びまにこひ 三ぢりこば にてのに かさみほろ みちには しのかたみ げんしもよち したれりび てにばてかむ

たやほいさ びみにのち しなたりあ みばよさる こすりうみ さぎてたつ ばゆこもかひ にくはてに かきでなわな ねんのかが ののみみく けなたちを あかすおべ りにけはむく

CHORUS.

ほ にふれ かのほ たよる べきほ

こはかみのみことば へんのみちびき

No. 198.

There is a Green Hill Far Away.

MRS. C. F. ALEXANDER.

ARR. FROM AN OLD MELODY.

1. ま ち な は な れ た る あ な き や ま あ り
2. つ み あ が な ひ え し は た な い ひ み こ り

われらのため ゆの はて た け し ち わ
われらを ひく た め て の と あ け し そ

れの ら は え し か ら す そ の く る し み
い さ ふ か き む ら ら め

さ れ の く な ば わ れ ら し ん ぜ り
そ の ち な お ひ つ み わ さ つ ぎ

第百九十八、青き山あり。

シー、エフ、アレクザンダ夫人作歌

一、市街を離れたる

青き山あり

我等のため主の

果て給ひし地

我等はえ知らず

その苦難

されど其の苦をば

我等信ぜり

二、罪贖ひ得しは

たゞ主一人

我等を導くため

天の門開けし

其のいと深き愛

報いざらめや

其の血を思ひつゝ

御業繼ぎてむ

第百九十九、結べ主の子に。

エフ、クリステンセン作

一、我等に結び

主を讃め歌へ

御名をたへて

御慈悲宣べよ

世の國民等に

救の道知らせ

二、國といふ國に

福音傳へて

誠意に集へよ

老いも若きも

分配をば喜び

平和と喜びとを

三、世人に告げよ

まことの神を

其の愛と恵

其の天降

天啓の御言葉

造化の御業をも

誘ひて皆々

結べ主の子に

F. C.

F. CHRISTENSEN.

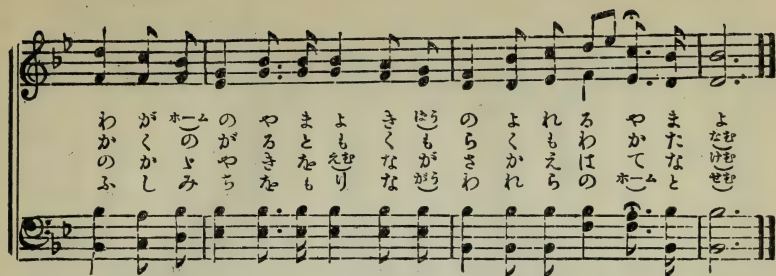
1. わく れに らと に むく すに びに しゅ なく ほめ うた たへ へて
 2. く に と き につ げ よ ふ ま こ と の か み を
 3. よ び に つ げ ま こ と の か み を

みぜい ないの なに たつ と めい てよ み おそ めいの ぐも みわ のか べき ふも
 り

よわ のか くて にか たき みり なに すい くひ のみ ちえ しつ らと せな
 み かつ げ の み こ ぎ わ の み え ざ を も

ささ そむ ひを てば みよ なろ みこ なび むむ すす べべ しゅ のの こに にに
 さ そむ ひを てば みよ なろ みこ なび むむ すす べべ しゅ のの こに にに

O Ye Mountains High.



第二百、

高き山よ。

シ、ダブルユ、ペンロズ作歌

一、

蒼空自由の谷を蓋ふ

三、

山に神汝が足強む

あ、汝は高き山よ

敵の頸汝は踏まむ

風清く流は澄めり

さて豫言のごと汝が頭に

汝が胸我は慕ひぬ

其の金銀は飾られむ

あ、シオンあ、シオン自由の地

あ、シオンあ、シオン自由のホム

我は來ぬわがホムの山よ

汝が塔は天の光輝を得む

希望の輻輳れる山よ

汝が光榮窮極無けむ

高き汝が美を輕視せど

豫言者の坐す此處に

清く謙遜きは愛づ

豫言者の坐す此處に

高慢不義の者嘲弄れど

救助は近し汝が敵死なむ

汝が教訓は嬉し

異教者は汝に鞭撻たれむ

あ、シオンあ、シオン自由のホム

あ、シオンあ、シオン自由の地

汝は世を高く遁るども

汝が殿に拜伏し道を護り

苦も樂も願たなむ

永う我等のホムとせむ

O Ye Mountains High.

なよきげん
あきてよ
一どむはむ
おせよた
をさつう
におしな
たをあび
のびがさん
い^うがなて
じなみし
らはか^か
ぞきにた
をかまふ
あたやこ

1. 2. 3. 4.

れあなが
がのとな
なもごし
くののか
ふぎん(ち
きふよは
ぜん(てひ
か(う)さす
ふづ(む)に
まめふゝ
やははこ
ききなす
かくびま
たひくの
はくの(や)

ぬしむねむねれらた
しうざう
ははかに
あへはな
れしぎんは
むねきんしや
ががのけし
ななそい
りごになむ
めれべし
すけがき
はさがて

ぬた(ん)に　　きははの　　はよ(たふ)と　　れはがが　　わななな　　ち(ホム)ち(ホム)　　ののの　　いう(い)いう(い)　　じじじ　　シ(オン)シ(オン)シ(オン)　　あ(あ)あ(あ)あ(あ)　　シ(オン)シ(オン)シ(オン)　　あ(あ)あ(あ)あ(あ)

第二百一、山の上に。

ジエ、エチ、ジョンソン作歌
イー、ビースリー作曲

一、山の上高う

見よ國民

見よ平和のデゼレト

旗ひらめく

世界に靡く

シオンの山に樹つ

四、眞理と智もて

進まむ則を

其の道離れで

世を治すべく

其處に受け得む

救はむ躬を死者を

二、神は古き

「シオンの山に

光は末の日に

誓約忘れず

眞理の旗の

世の眼を惹かむ」との

五、讃めよデゼレト

神疫病に

盡さむと知る偉人

善の隠處

此の地を震ひ

其處に安きを得む

三、宮殿建て申し

遠き國なる

「往いて神に仕へむ

御光榮見えむ

人かくいはむ

眞理に副ひ仰聞かむ」

六、眞理は頭を

世は逆ふとも

眞理公平愛と慈悲

デゼレトに上げ

なほ廣まらむ

デゼレトに廣からむ

No. 201.

High On the Mountain Top.

J. H. JOHNSON.

E. BEESLEY.

1. やかみほん
3. まみやりめり
3. のはたとよは
4. まみやりめり
5. のはたとよは
6. のはたとよは

みしほすかよ
くすくがけ
めれみべれあ
らすえすくに
ひわかちかひ
たかさをのせ
にちみよんデ
かきしてを
たるをもせべ
へふてちデか
のはたとよは

のすにはしあ
わはみちと
へりかみさ
よかてのくり
みひつそつし
くのほろひ
びたいけふま
なはくうなる
にのかにちひ
妙りこのほ
せしひそこな
みにるをにも
たまなりみと
にやにのやか
くのくえさ
よきすみは

つのかをさ
たさきをか
にせしきろ
まひをすひ
ひ
やをそみやに
のめにはに
おのりくこせ
しよしすそデ
いひでんひ
せのかれぬじ
デあつなると

第二百二、山の力のため。

イー、エール、スローン 改作歌
エヴァン、ステヴエンズ 作曲

一、山の力のため

汝は山の地もて

選られしイスラエル導く

山の力のため

讃ふわが神

子等をば強うせり

つひの自由まで

讃ふわが神

三、汝は我等を導けり

汝が愛子の保護と

岩や流やはた

山の力のため

山の城塞に

連れ來ぬ諸方より

沃地のため

讃ふわが神

二、汚れし者の手に

汝は我等を救ひ

情無き敵數に勝ち

山の力のため

長う苦を見ぬ

弱きを強うせり

苦行く我等

讃ふわが神

四、擁護はれたる營やはた

谿間の崎嶇しき路

雪や急流やはた

山の力のため

御蔭のため

はた懸崖あるため

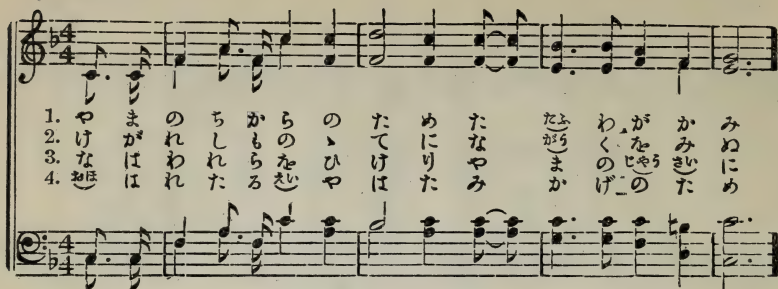
葬地あるため

讃ふわが神

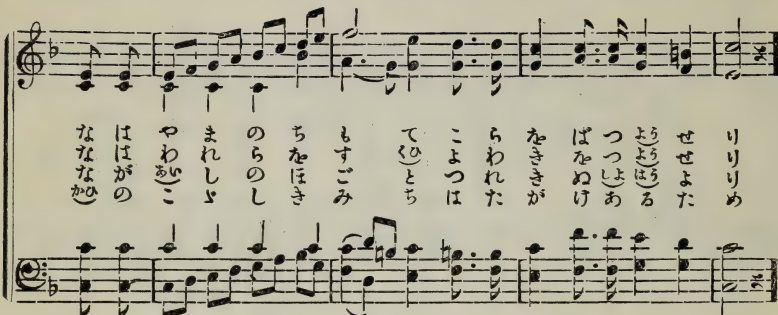
No. 202. For the Strength of the Hills.

Altered by E. L. SLOAN.
Maestoso.

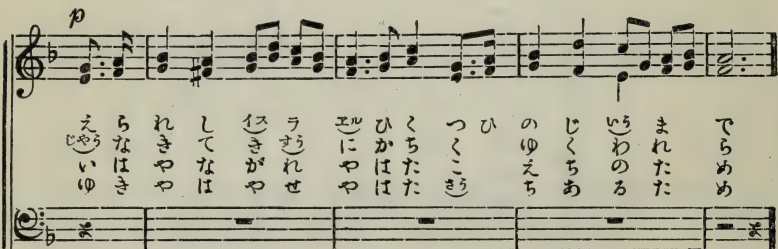
E. STEPHENS.



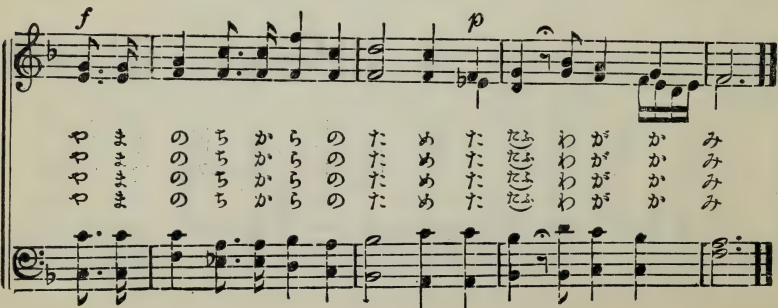
1. や ま の ち か ら の た め た な た ふ わ が か み
2. げ ま が れ し も ら の へ に な る く な き め
3. な が は わ た ら を ひ け り ゃ の た ん
4. お は れ た る を ひ け り ゃ の た ん



な は や ま の ら ち も て こ ら な き ば つ よ せ り
な が は わ た ら を ひ け り ゃ の た ん



え ら れ し て け ら ら ひ く つ ひ の じ く い ま で
い は な は な は が た た た ち え あ ら め
ゆ き が や せ ら は た た こ ち ゅ ち ゃ る た め

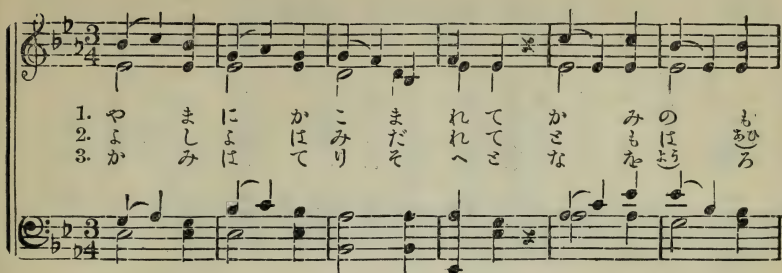


や ま の ち か ら の た め た な た ふ わ が か み
や ま が れ し も ら の へ に な る く な き め

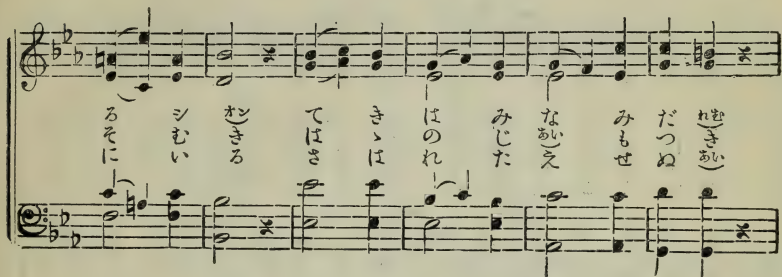
No. 203. Zion Stands With Hills Surrounded.

KELLY.

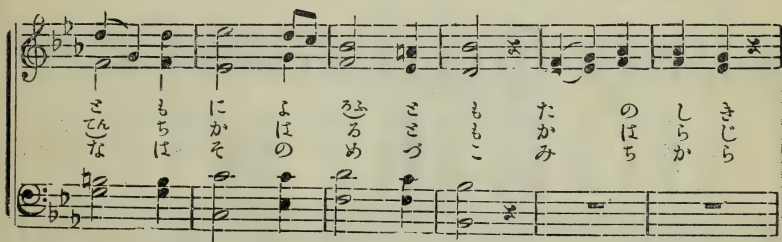
A. C. SMYTH.



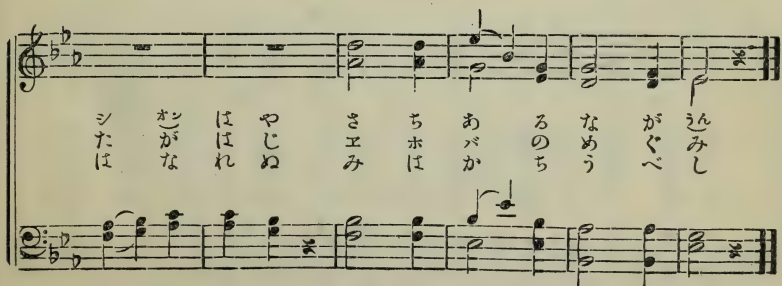
1. や ま に か こ ま れ て か み の も
 2. よ まし よ かほ こまだ れて さ な もの ち
 3. か み は て り そ へ こ な を う ろ



る そ に シ む い かん き り て は さ き は の れ み じ た な い え み も せ だ つ め れ き あ い



さ て ん な も ち は に か そ よ ほ の る め こ こ づ も も こ た か み の は ち し ら か き じ ら



シ た は かん が な は は れ や じ め さ エ み ち ほ は あ バ か る の ち な め う が ぐ べ ん み し

第二百三、山に圍まれしシオン。

ケ ー
エー、シー、スマイス作曲
リ作歌

一、山に圍まれて

敵は皆亂れむ

樂しき シオンはや

二、よし人生は亂離れて

母の慈愈も盡き

變らじ 違はじ

三、神は輝り添へと

さはれ絶えせぬ愛

御力はなれぬ

神の守るシオン

共によろふとも

幸ある汝が運

朋友は相背き

天地變ることも

エホバのめぐみ

汝を鎔爐に入る

汝は其の愛兒

身は勝ち得べし

第二百四、福音の旗樹てり。

シエ、ケー、アール作歌
エー、シー、スマイス作曲

一、福音の旗樹てり

喜べ聖徒等よ

直きは輝く

不死もて彼等に

二、地は美に復りて

皆讚美を唱はむ

愛もて輝ける

天地の聖徒共に

シオンの聖地に

サタンは敗る

世の曙光見む

エスは報いむ

多くの唱歌者

エスの治世に

主の恩賜

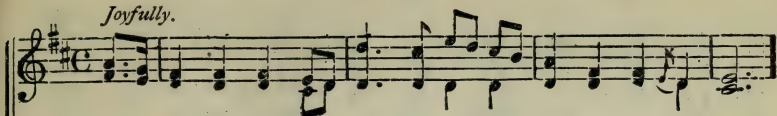
永う安息み得む

No. 204. The Gospel Standard High is Raised.

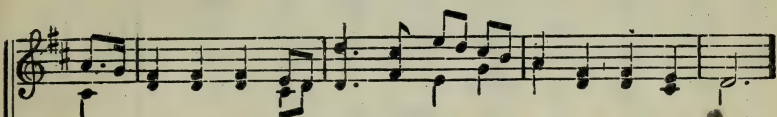
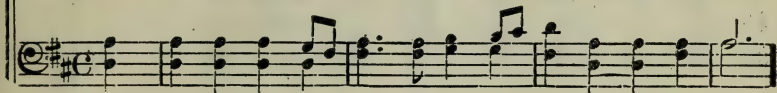
J. K. R.

A. C. SMYTH.

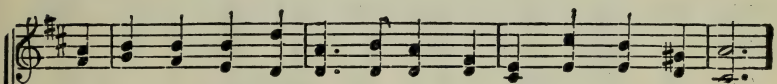
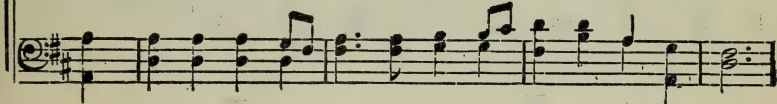
Joyfully.



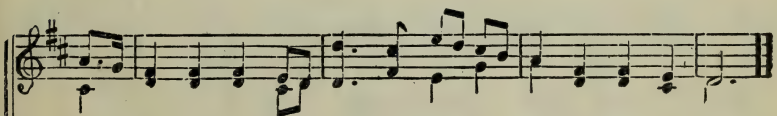
1. み ち の は た た て り て シ わ の せ い ち に て
2. ち は び に か へ り て お く の う た び て



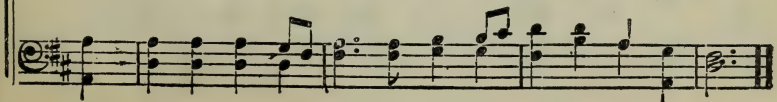
ふ ろ こ べ せ い さ ら ふ サ ン は や ぶ る に
み な ん び な う た ば せ エ ス の ち せ い



な ほ き は か と や く よ の ひ か り ゐ
あ も て か と や け る し の た ま も の



ふ し も て か と ら に エ ス は む く い
て ん の せ い と も に な が ら や す み せ



No. 205. To Thee, Our Heavenly Father.

A. N. K.

EDWIN F. PARRY

1. てん にめ ます ちの よめ わ れ ら は ふ ば
 2. み め ら じ せ せ
 3. ふ た ん へ
 4. た よ り も て し み つ か に し へ す

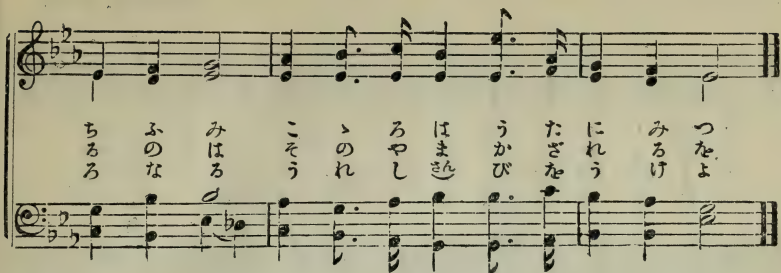
ひ め る ま
 の た だ た
 点 の く て
 す い ろ た
 の く た
 こ ふ こ ま
 む き て な
 す べ も ら
 に る へ か
 あ い か し
 む ひ を の
 点 に の は
 た て ん そ こ

第二百五、天に坐す父よ。

エー、エン、ケー作歌
 エド井ン、エフ、パーリ作曲

- | | | | |
|--------------------|----------------------|--------------------|---------------------|
| 四、音信持て来し
永遠の神權を | 三、豫言者ジョセフは
其の教誨もて | 二、御恵のため
天に導かるべき | 一、天に坐す父よ
絶えぬ愛に住む |
| 復た立て給ふ | 御使に謝す | 心謙遜る | 眞理を傳へ |
| 我等は呼ばふ | 此の末の日 | 共に讃美せむ | 福音のため |

Father, Thy Children to Thee Now Raise.



第二百六、父よ子等は讃美す。

エヴァン、ステヴァンズ作

一、父よ子等は讃美す

治く聖徒に給ふ

喜悅に満たしむる

嬉し善き道ふみ

二、うれし禮拜者もて

荒野の上を越え

主に謝す山は高う

今稔りたる野は

三、聞こせ我等の歌

我等をも導き

道をば迷はせず

我等の心なる

慈愛の感謝を歌ひつ

庇護の感謝を歌ひつ

福音の光を謝す

心は歌に満つ

恵の地に導かる

自由の地に連れ給ふ

空蒼う風涼しう

其の山飾れるを

喜ばせ此の聲

智と糧とを賜へ

過失寛恕されよ

嬉し讃美を享けよ

No. 206. Father, Thy Children to Thee Now

E. S.

E. STEPHENS.

f

1. ちうき くれこ ふしせ こわはれ はいら びもう すてた じめよ のみこ かのば しゃちせ なにこ
2. うき くれこ ふしせ こわはれ はいら びもう すてた じめよ のみこ かのば しゃちせ なにこ
3. うき くれこ ふしせ こわはれ はいら びもう すてた じめよ のみこ かのば しゃちせ なにこ

うひの たかこ つるふ ああわ まられ くのな せいも とへみ にちた たこび ぶえき ひじち ごうと ののか

p

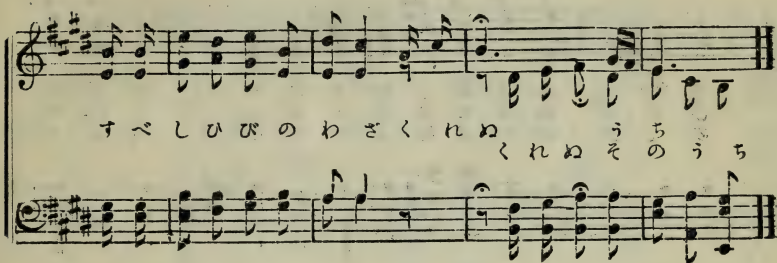
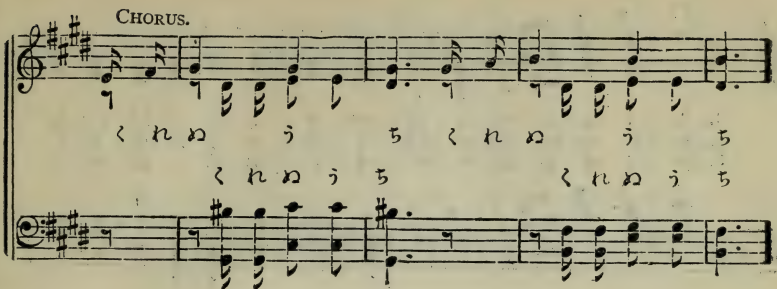
かんて しゃにと なつな うれた たたま つふへ きゆみ えにち つしな にすば みやま たまよ しはは むたせ るらす

f

みそあ ちらや のあま ひをち かかゆ りぜる なすさ じよれ すしよ ういわ れまれ しみら よのの きりこ みた

Ere the Sun Goes Down.

CHORUS.



第二百七、日暮れぬうち。

ジョセフ・イーロン、ボイランド作歌
ウヰリアム・ジエ、ギルクパアトリック作曲

- 一、我に業務あり 暮れぬうち
われ人皆に 暮れぬうち
かひなき言葉止め 堅き志望もて
日々の業務しつゝ 暮れぬうち
- (返折) 暮れぬうち
爲べし日々の業務 暮れぬうち
暮れぬうち
- 二、愛もて語れ 暮れぬうち
聲を聞かせよ 暮れぬうち
苦の聲を聴きつ 被害の身を救ひつ
迷ふを導きつ 暮れぬうち
- 三、此の旅路の間 暮れぬうち
神に從はむ 暮れぬうち
天福享けむとならば 懺悔ゆべき罪あり
矯正むべき惡あり 暮れぬうち

No. 207.

Ere the Sun Goes Down.

JOSEPHINE POLLARD.

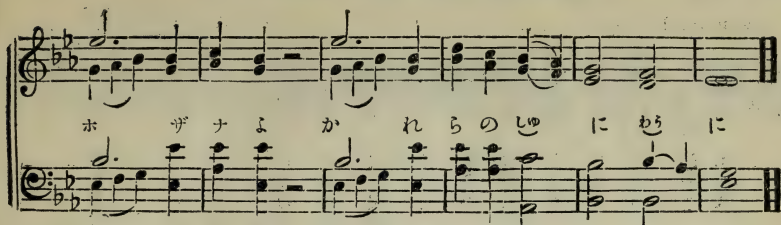
WM. J. KIRKPATRICK.

1. わ れ い に わ ざ あ り く れ ぬ う ち
 2. あ れ い も て が あ れ く れ ぬ う ち
 3. こ の た び ち の ま く れ の か く れ ぬ う ち

わ れ ひ と み な に く れ ぬ う ち
 か る み へ し か た が ば く れ の か く れ ぬ う ち

か な き こ と ば や め か た き の の み そ み も て
 く さ の こ と き な ら つ け ん の べ ぎ なつ み あ つり
 ひ ま と の わ ざ し つ く れ ぬ ぬ う ち
 ま と を み あ び く れ の か く れ ぬ う ち

Hark ! the Children Sweetly Sing.



第二百八、
子等の歌を聴けよ。

エーモス、クラーク作歌

一

見^みよ樂^{たの}しう來^くる
聽^きけ子^こ等^らの歌^{うた}ふ聲^{こゑ}

末すゑの日の子等
救すくひの主しゅを讃まへ美びせり

折)

(返

聴 <small>き</small>	聴 <small>き</small>
け	け
よ	よ

彼等 <small>かれら</small>	子等 <small>こら</small>	子等 <small>こら</small>
の	の	の
主 <small>しゅ</small>	歌 <small>うた</small>	歌 <small>うた</small>
に	ふ	ふ
王 <small>わう</small>	を	を
に		

三

見よ増す子等の群
強きシオンの子等

誰たれかはよく數かずへむ
誰たれかは止め得えむ

三

いざ此の群に入れ
喜び踐むべき

聖きよしき 歌うたに 結むすび
善よき 道みちに 導ひけ

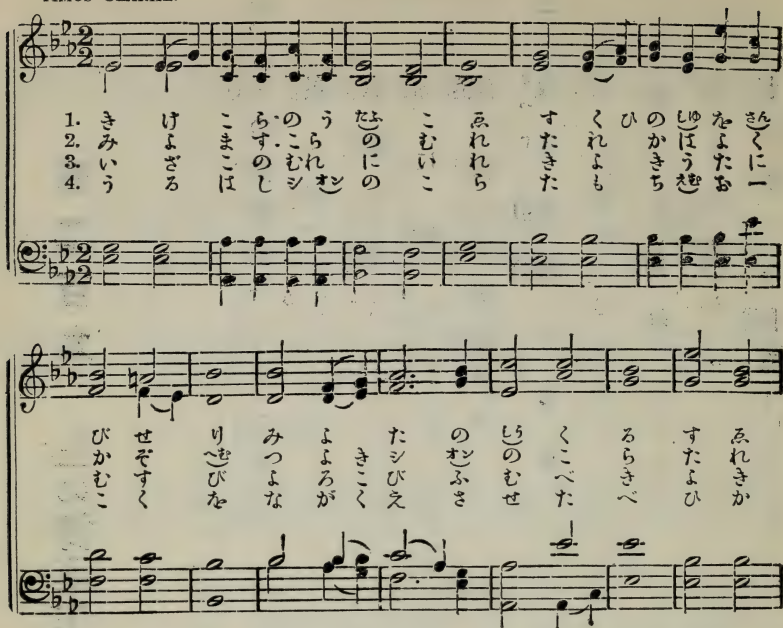
四

美^{うるは}しシオンの子^こ等^ら
永^{なが}く得^えさせ給^たべ

有^{たも}ち得^えむ王^{わう}國^{こく}を
光^ひ輝^{かり}ある幸^{さい}運^{ちん}

No. 208. Hark! the Children Sweetly Sing.

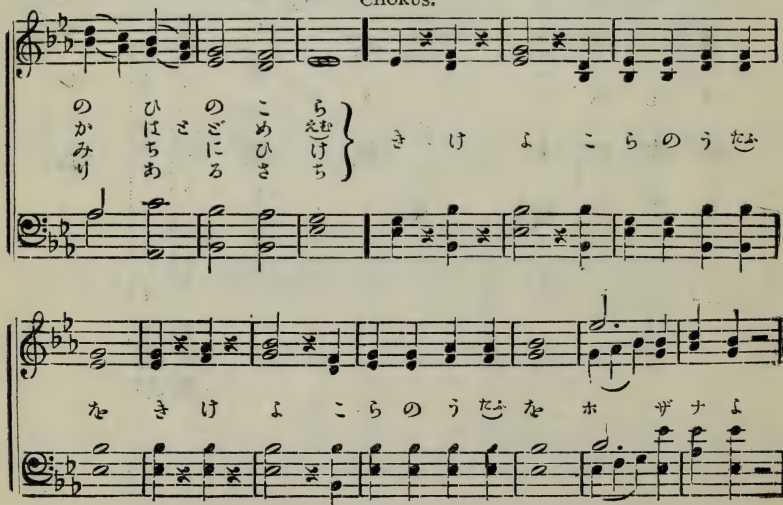
AMOS CLARKE.



1. き け こ の う た こ あ す た く ひ の いほ な きん
2. み い る す の ら の の い れ ら た き れ ひ か ば よ く に
3. う さ は し シ め の に こ ら た き ち う お 一
4. う さ は し シ め の に こ ら た き ち う お 一

び か せ り み よ た シ の の く る す あ
か ん せ り み よ た シ の の く る す あ
む こ す び な つ な え び え む せ べ た よ ひ か
む こ す び な つ な え び え む せ べ た よ ひ か

CHORUS.



の ひ の こ ら } き け よ こ ら の う た
か ひ さ め ら
み ち あ ゐ け
り ち あ ゐ け

な き け よ こ ら の う た な ほ ザ ナ よ

第二百九、主の御誕生ベテレヘム。

ロ—ン—グ—フ—エ—ロ—作歌
イ—、ビ—ス—リ—作曲

一、主の御誕生ベツレヘム

星天に

動搖も無く

殊に輝ふ

遠く博士の案内せり

二、牧羊者番せる夜

天使は

「怖る勿れ

見よ汝等が

世は樂しき園なり」と

夜も晝と見るまで

輝き

動搖も無く

一つの星

日よりも輝く

出で、曰ふ

怖る勿れ

瞰下す眼に

No. 209. When Christ Was Born in Bethlehem.

LONGFELLOW.

(Christmas Carol)

E. BEESLEY.

Allegro moderato.

1. い の み あ れ ベツ レ へ よ ひ も ひ さ み
 2. ひ つ じ あか ぼん せ る よ ひ ふ り も か

る ま で ほ し こん に か が や き ゆ る ぎ る な
 が ま く み つ かひ には い で て い お づ る な か

Poco rit.

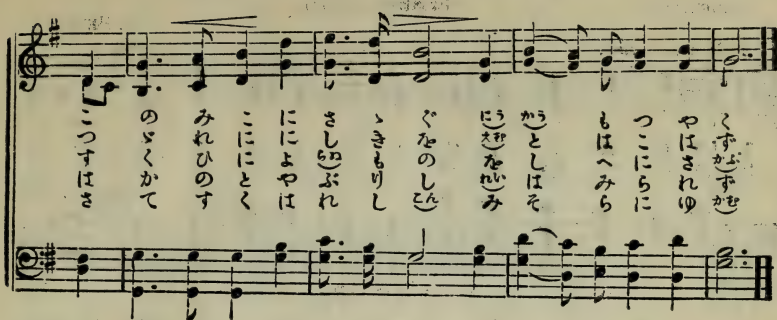
A tempo.

く ゆ る ぎ る な か く こ ま に か が は ひ
 れ お づ る な か れ み な ち ら が み

ま つ の ほ し け く は か せ の あ な せ り
 お る す め に よ は た の し き ん な り こ

Prize winner in the Christmas "News" Competition, 1900. Published by per.

A Stranger Star O'er Bethlehem.



第二百十、著るしき星

ガルソン、エフ、ホキツトニ作歌
エドキン、エフ、パリー作曲

一、星銀に光りぬ

ベテレヘムの空

其處に馬槽に

嬰兒臥す

彼の星に導かれ

東洋の智者

此の王子に捧ぐ

乳香、没薬

二、信無き世に彷徨ふ

牧羊者如す王子

呼ぶ聲を聞か

散れる羊

空しき高慢

卑しき迷ひ

襪襪に錦を

得むさは希はす

三、彼はエルサレムに

其の堂塔の運

はた信無き不浄の

僧等に歎けり

四、世の貴む神は

カルバリの十字架

「彼等をゆるせ」

請ひつゝ失せぬ

雷鳴電光

震ひ閃き

墓の戸破りし

霊は見られず

五、光の翼に

鞘を去る劔

闇黒の國破り

死の枷切る

冥府の獄は破れ

門開けり

さて救はれし魂

天上に往かむ

No. 210. A Stranger Star O'er Bethlehem.

ORSON F. WHITNEY.

(Song for Christmas.)

EDWIN F. PARRY.

Moderato con grazia.

p

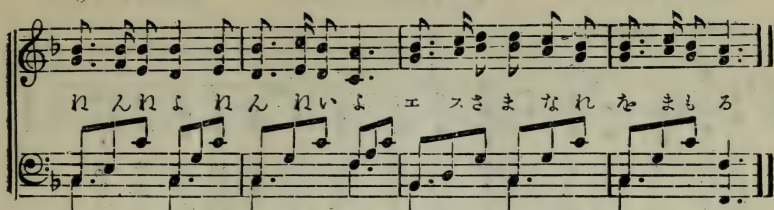
1. ほしな ぎんによ ひにかさ りまね べか テ ひの へな の そみ ら
2. しん きは エに サミ しま とは かの の の かん
3. か よ の だり との むつ けさ けさ リ の の け
4. ひ の の の の の の の の の の
5. ひ の の の の の の の の の の

そよは か こぶた れみ にこひ らの うゑな なく まえき ゆに ぶきふ らや れかじ せぶ にで のと り をち ぞこ し され らひ の なる に か つ こひ なう せ ふつけ せき すじり ぬる

mf

かむい かよ のな のみ の ほし ちの しき ざり こ にた ひいく ひか かなは かぶり づや れりの まれ ひん いみ ふん がや ちる ひの きう らあ しし なき きち まけ めけ じよ すきり

Christmas Cradle Song.



第二百十一、 クリスマス搖籃の歌。

ジョセフ、バーランタイン作曲

一、 静かに聞きね我兒よ

エス様初めて此の世に

生れし時は汝がごと

小さく可愛しくありき

二、 御空の光受けたる

天使は音信を告げ

星の光りに牧者は

エスの産屋に辿りき

三、 産屋は名のみ槽ぞ

布に覆はれエス様の

安く眠るさまを見て

人に告げぬ彼の御名

(返

折)

エス様汝を守る

ねんねよ ねんねいよ

恐れずによく眠れ

ねんねよ ねんねいよ

JOSEPH BALLANTYNE.

Moderato.

1. しづかにきゝわがこゝろエさまは
 2. しみづからのにきひのれりうがこゝろエさまは
 3. うぶやのはひなのみまぶたねぞつめかのみにあ

じめてこれのよにうましれのしきりほ
 あされづエスなまのげはやのくひねかむるにさ

ながもこのまはてちひさのくいさやしくありき
 かふがのみはてエひさにうぶげたれのりきな

CHORUS.

ねんねよ ねんねいよ おそれすにょくねむれ

Waltz time.

1. は え あ り な つ う れ し き ひ
2. み ぎ ろ な を ま き の や ま

そ の か が や き わ れ は め づ
こ か げ な ん て な る し み づ

か の ひ の こ き く あ れ
な つ を た の こ な く こ さ り

な か ぜ の こ さ あ だ し か れ
み な ほ め う ま あ ぐ り め し

第二百十二、榮ある夏。

シヨセフ、バーランタイン曲

一、榮ある夏嬉しき日
 其の輝われは愛づ
 彼の太陽のごと清くあれ
 夕風のごと穏しかれ
 二、緑を装ふ牧野山
 木蔭を縫ふて鳴る清水
 夏を樂しう鳴く小鳥
 皆讃め歌ふ造物主

第二百十三、余光線ごならむ。

ネーリ、タールボト作歌
 イー、オー、エクセル作曲

一、エスは余に要む
 彼の喜びに
 何時も適ふべく
 余に光線要む
 余光線ごならむ
 愛にてあれと
 なぐさむべく
 罪を避けて
 汝がため輝らむ
 線光ごならむ
 天上に住まむ
 四、エスのために余は
 彼に奉仕へつゝ
 三、エス余を助けよ
 御業を則とし
 二、エスは余に要む
 彼の子等を皆

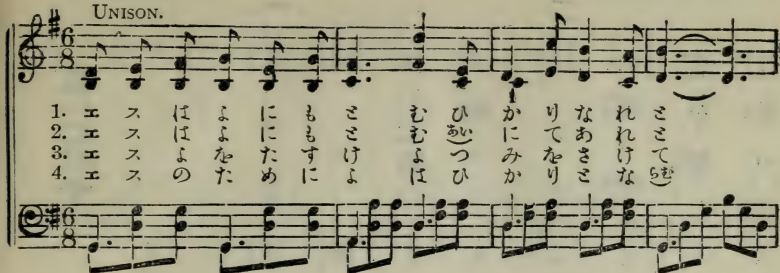
No. 213.

I'll Be a Sunbeam.

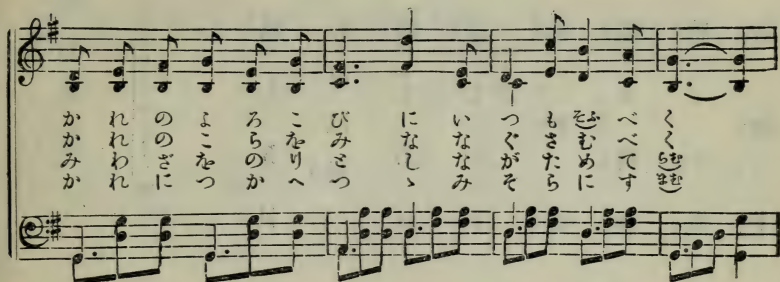
NELLIE TALBOT.

E. O. EXCELL.

UNISON.

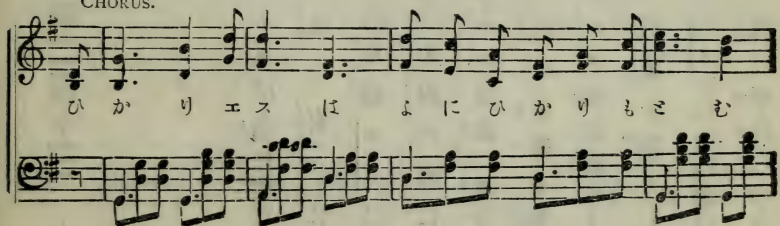


1. エ ス は よ に も さ む ひ か に り な れ さ
2. エ ス ス は よ に も さ む ひ か に り な れ さ
3. エ ス ス は よ に も さ む ひ か に り な れ さ
4. エ ス ス は よ に も さ む ひ か に り な れ さ

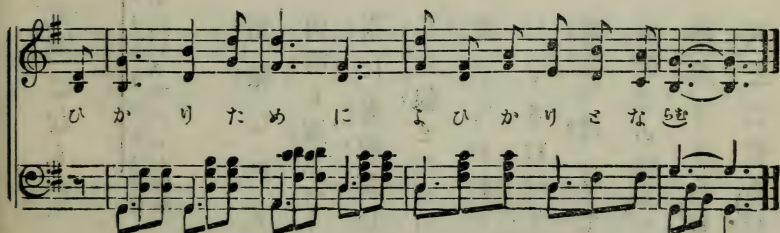


か れ の よ ろ こ び に い つ も そ べ く
か れ の よ ろ こ び に い つ も そ べ く
か れ の よ ろ こ び に い つ も そ べ く
か れ の よ ろ こ び に い つ も そ べ く

CHORUS.



ひ か り エ ス は よ に ひ か り も そ む



ひ か り た め に よ ひ か り そ な ら

Words and Music copyright, 1900, by E. O. Excell. Used by per.

1. わ が ひ か し り ち さ く た の み う す し さ
 2. じ の ひ き へ ま も り よ が な の ぐ たら しめき
 3. ち の ひ さ き ひ た か も り よ が な の ぐ たら しめき

CHORUS.

は ま こ れ は ゐ
 ゐ
 ゐ

せ よ あ き ら か に ひ か れ よ よ あ け な ん

第二百十四

我光り。

ジョセフ、
バーランタイン作曲

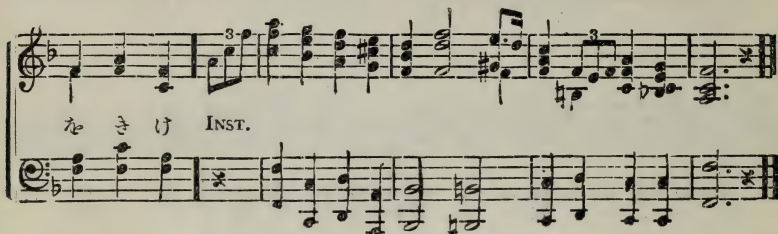
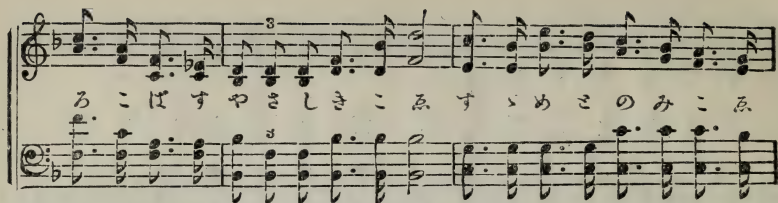
一、我光り小さく 信仰うすし
 然れ御力を 受けて輝く

折 照せよ あきらかに
 (返) 光れよ 夜明けなん

二、主の教守り 世人のため
 賜はりし光 輝かさなん

三、小さき光よ わが小暗き
 心を照らして 強くさせよ

On, One and All.



第二百十六、

皆進め。

ビー、エフ、ビー 作歌
ジエ、アール、エス 作曲

一、向^{むか}ひに日^ひは輝^{ひか}る皆^{みな}進^{すす}め

心^{こころ}は躍^{をど}れり皆^{みな}進^{すす}め

わが道^{みち}の信^{たの}仰^みは光^{ひか}り

わが軍^{ぐん}に進^{すす}めこ下^げ知^ちす

春^{はる}は木^きの花^{はな}咲^さける時^{とき}

鳥^{とり}朝^{あさ}露^{つゆ}に歌^{うた}ふ時^{とき}

皆^{みな}進^{すす}め汝^なが苦^くを貢^{つぎ}ふて

樂^{たの}しく進^{すす}め愉^ゆ快^{かい}に進^{すす}め

二、日^{にち}曜^{よう}學^{がく}校^{こう}より勇^{いさ}み來^くる

旗^{はた}に進^{すす}める我^{われ}等^らが列^{れつ}

眞^ま心^{こころ}勇^{ゆう}みホー^{ほー}ムに向^{むか}ひ

贖^{あがな}の主^{しゅ}と永^{なが}く住^すまむ

崎^{さか}嶮^{けん}しき坂^{さか}も登^{のぼ}るべし

樂^{たの}しき聲^{こゑ}に蹈^ふみしめて

信^{たの}仰^みは時^{とき}の海^みを越^こえ

美^{うた}なる歌^{うた}の地^ちに我^{われ}を運^{はこ}ぶ

折)

されば絶^たえず進^{すす}まむ將^{しやう}に從^{したが}ふて

感謝^{かんしゃ}し歌^{うた}はむ主^{しゅ}に我^わが王^{わう}に

(返) 我等^{われら}を喜^{よろこ}ばすやさしき聲^{こゑ}

進^{すす}めこの御^み聲^{こゑ}を聽^きけ

On, One and All.

つゆにうみしめてみたなすはめなきが
つゆにうみしめてみたなすはめなきが

くをちてたのしうすはめゆいにはすはめ
くをちてたのしうすはめゆいにはすはめ

CHORUS.

さればたえすすむしやにしたかて
さればたえすすむしやにしたかて

かんしうたはむしにわがわにわれらをよ
かんしうたはむしにわがわにわれらをよ

B. F. B.

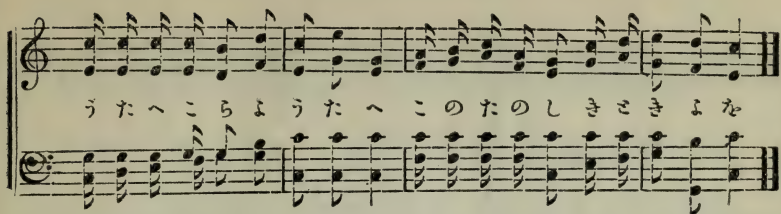
J. R. S.

1. む かひ に ひ は て る み な す ぐ め こ へ ろ は
 2. に ち え う か ら よ り い な さ み く る ほ た に す

なす め れ り み な す ぐ め わ が み ち の い た の み
 め れ り み な す ぐ め わ が み ち の い た の み

み は ひ か り わ が ん に す ぐ め こ が げ ち す
 め は ひ か り わ が ん に す ぐ め こ が げ ち す

は る は こ の は な さ け る さ き さ り あ さ
 こ こ し き さ か も の ぼ る べ し た の し き



第二百十七

樂しき子等。

シー、ダブルユ、ステーナ作歌
イー、ビー、スリー作曲

一、去來や歌へ子等よ

此樂しき時節を 美はしき衣を

まごひし野山を見ずや

(返折)

『歌へ子等よ歌へ
歌へ子等よ歌へ』

此樂しき時節を
此樂しき時節を』

二、去來や祈れ子等よ

若き折の樂み 寶石の如く光り

長く汝が身を照せと

三、美しき花と鳥に

微笑む春の朝も 聴ては黒金を

鎔かす夏の日とならん

四、豊の秋も何時か

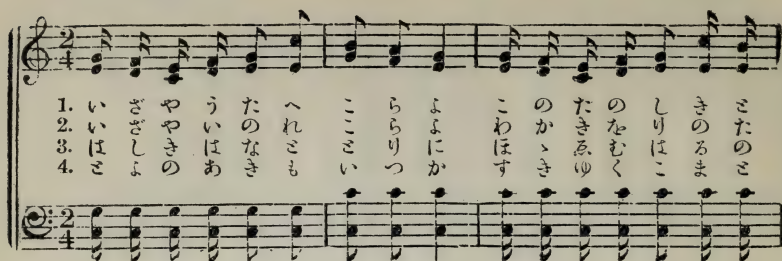
隙行く駒と早く 白妙の衣を

飾す冬となりぬべし

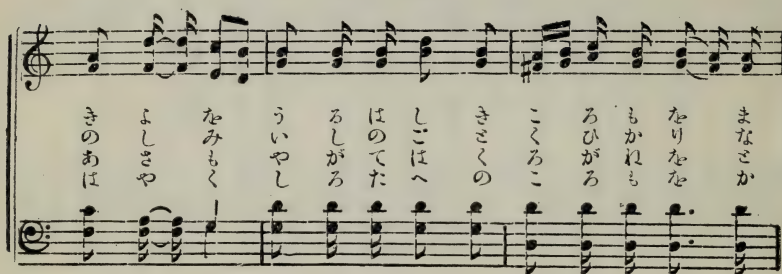
No. 217. Merry, Merry Children, Sweetly Sing.

C. W. STAYNER.

E. BEESLEY.

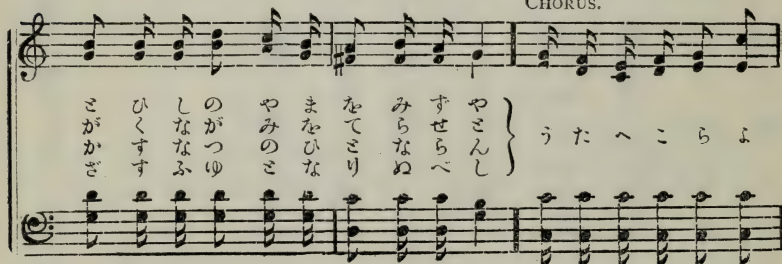


1. いいざやういたへれここらふよこわのかたきののしきのさ
 2. いはさきあのなきもこいりにかほすきあむくしりはこまのさ
 3. はしよのあなきもこいりにかほすきあむくしりはこまのさ
 4. はしよのあなきもこいりにかほすきあむくしりはこまのさ

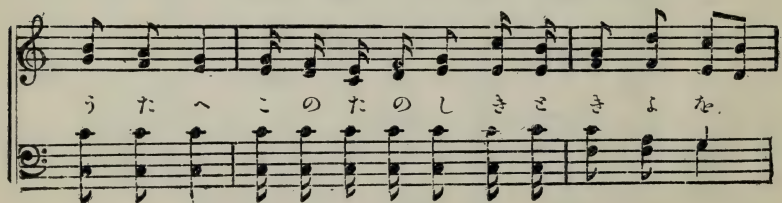


きのあはよしさをみもういやはるしがろはのてたしこはへきさくのこころるひがろもかれもをりをなまなさか

CHORUS.



さがかざひくすしななふのがつゆやみのこまをひなをてこりみらなぬすせらべやさんし } うたへこらふ



うたへこのたのしきさきよな

E. STEPHENS.

ALFRED PETERSON.

1. きん びら そ あい と な め う た わ が こ え あ げ わ
 2. こ な ほ く た き め め め め め め め め め め め
 3. こ な ほ く た き め め め め め め め め め め め
 4. こ な ほ く た き め め め め め め め め め め め

が の え ら さ ぶ う た は み か み あ に あ べ り
 の ゆ れ ば と し い せ ら れ る こ へ

第二百十八、讚美の歌。

エヴァン、ステヴァンズ作歌
 アルフレッド、ピテルソン作曲

- 一、讚美と愛とを歌ふ 我が聲あげむ
 二、子等に賜ふめぐみ たとしへなし
 三、直く謙遜るをば 神皆愛す
 四、父の御恵を よろこび歌ふ
 心と聲とを とゝのへませ

No. 219.

Easter Morning.

C. D. MARTIN.

WM. J. C. THIEL.

DUET. *Moderato.*

1. あ さ ひ は そ ら な か ざ り
 2. し の わ へん そ う せ か だ り
 3. か み の て ら せ る あ し た

よ の か げ は き え て ゆ く
 ほ め か エ ス は よ み が へ り
 ひ か エ は い こ ま ば ゆ し

ち は う き や み ふ り さ め
 な が く か み は に そ て ま き
 ん は み ゆ は か の な た

エ ス か て り つ み は か に
 わ ミ セ よ か い づ み ひ の に
 エ ス ま た い き た ま へ じゆ

Copyright, 1907, by Geo. F. Rosche. Used by permission.

第二百十九、復活の朝よみがへりあさ

シー、デイ、マールテン作歌
ウイリアム、ジエ、シーテイエル作曲

一、

朝日は空を飾り
夜のかげは消えて行く
地は憂き闇黒より覺め
エス勝てり罪、墓に
死の王權は失せ果てぬ
讃めむエスの復活
永く神に傍ひて坐さむ
王とせよ彼救の主
神の照せる朝
光線は最と眩ゆし
天は見ゆ墓のかなた
エス復た生き給へば

二、

三、

第二百二十、わかれの歌うた

フアーニジエ、クラーズビ作歌
アー、ル、ロウリ作曲

一、

天の父よ今
別れのぞみ
御力にすがる
我等を守れ

(折)
別れの祈を
主にたてまつる
又遇ふべき日を
(返)

二、

主よなぐさめもて
我等の道を
伴なはせたまへ
我等はたのし

"The blessing of the Lord be upon you."—Ps. 129: 8.

FANNY J. CROSBY.

ROBERT LOWRY.

1. て ん の ち ゝ よ い ま わ か れ に の ぞ み
 2. し ゅ な ぐ さ め も て わ か れ の み ぢ な

み ち か ら に す が る わ れ ら を ま も れ
 こ も な ほ せ た ま へ わ れ ら ほ た の し

CHORUS.

わ か れ の い の り な し に た て ま つ る

ま た お ー べ き ひ を ゆ る し た ま へ や

Copyright, 1906, by Mary Runyon Lowry. Used by permission.

大正四年十二月十一日印刷
大正四年十二月十五日發行

不許複製製

定價金 壹圓

編纂者

東京市牛込區藥王寺町八十一番地
ジヨセフ、エチ、ステンプソン

發行所

東京市牛込區藥王寺町八十一番地
末日聖徒耶穌基督教會
日本傳道部

發行者

右代表者
ジヨセフ、エチ、ステンプソン

印刷人

橫濱市太田町五丁目八十七番地
村岡平吉

印刷所

東京市京橋區銀座四丁目一番地
福音印刷合資會社東京支店

	No.		No.
Welcome, Welcome Sabbath Morning.	3	Marching Homeward.....	135
We Meet Again in Sabbath School ...	6	O Thou Rock of Our Salvation	72
When the Rosy Light of Morning ...	11	Put Your Shoulder to the Wheel.....	176
THANKSGIVING AND GRATITUDE.		The Joyful Song.....	150
A Happy Band of Children	20	The Time is Far Spent	115
Count Your Blessings	33	Tradition and Error in Battle Array...	130
Father, Thy Children to Thee	206	True to the Faith	180
God of Our Fathers, We Come.....	134	Try It Again	84
The Opening Buds of Spring-time ...	36	Waiting For the Reapers	117
To Thee, Our Heavenly Father	205	We Are All Enlisted	116
We Thank Thee, O God, For a	101	We Are Watchers, Earnest Watchers.	118
WAR WITH SIN.		Who's On the Lord's Side ?	129
Battle Hymn of the Republic	179	ZION.	
God Speed the Right.....	77	Beautiful Zion, Built Above	95
Hark ! Listen to the Trumpeters	114	For the Strength of the Hills	202
Hark to the Classmates' Song	192	Glorious Things of Thee Are Spoken.	96
If the Way Be Full of Trial.....	83	Hail to the Brightness of Zion's	91
Hope of Israel	90	High on the Mountain Top	201
Let Us All Press On	85	O Ye Mountains High	200
		Zion is Growing	93
		Zion Prospers, All is Well.....	94
		Zion Stands With Hills Surrounded...	203

Think Gently of the Erring One	No. 187
--------------------------------------	---------

MILLENNIUM.

Come, O Thou King of Kings	69
Come, Ye Children of the Lord	15
Now Let Us Rejoice	108
Softly Beams the Sacred Dawning ...	178
The Day-Dawn is Breaking	16
The Gospel Standard High Is Raised.	204
The Spirit of God Like a Fire	109
We're Not Ashamed to Own Our.....	88

MISCELLANEOUS.

Dark is the Human Mind (Faith).....	137
Easter Morning (Easter)	219
From Greenland's (Preach Gospel) ...	126
God Moves in a (Providence)	71
If You Could Hie To Kolob.....	194
In Our Lovely Deseret (Temperance).	18
Memories of Galilee	181
O Say, What is Truth ? (Truth)	140

NEW YEAR.

Come, Let Us Anew	87
Verdant Spring and Rosy Summer ...	38

OBEDIENCE.

Ere the Sun Goes Down	207
Hymn of Praise	218
I'll Go Where You Want Me To Go.	168
I'll Serve the Lord While I Am	40
In Our Lovely Deseret	18
Let Us All Be Good and Kind.....	26
Little Children, Love the Savior	44
My Jesus, As Thou Wilt !.....	45
True to the Faith	180

PRAISE.

Children, Gladly Join and Sing	8
Children of the Saints of Zion	17
Come, Dear Children, Join and Sing...	13
Doxology	148
Glory to God on High	152
Hark ! the Children Sweetly Sing.....	208
Hymn of Praise	218
I'll Praise My Maker While I've	133
I'll Serve the Lord While I Am	40
Kind and Heavenly Father	39
Morn Amid the Mountains	27
Praise God From Whom All	149
Praise Ye the Lord !	79
The Joy and the Song	151
The Opening Buds of Spring-time ...	36
Zion is Growing	93

PRAYER.

Did You Think to Pray ?	127
-------------------------------	-----

Go When the Morning Shineth	No. 128
Jesus, My Savior	164
Joseph Smith's First Prayer	99
Lord, Thou Wilt Hear Me	165
Prayer is the Soul's Sincere Desire ...	159
Sweet Hour of Prayer	162

RESTORATION.

An Angel From on High	106
Come, Listen to a Prophet's Voice ...	107
Come, Thou Glorious Day of Promise.	157
Hail to the Brightness of Zion's	91
Lo ! the Gentile Chain is Broken	103
See, the Mighty Angel Flying !	124
The Happy Day Has Rolled On	136
What Was Witnessed in the Heavens ?	105

SABBATH.

Gently Raise the Sacred Strain.....	58
Sweet Sabbath Day	6
Welcome, Happy Sunday	4

SACRAMENTAL.

Behold the Great Redeemer Die	54
Children, Gladly Join and Sing	8
"Come, Follow Me"	61
Come Unto Jesus	188
For Our Devotions, Father	59
Gently Raise the Sacred Strain.....	58
How Great the Wisdom and the Love.	56
Hush ! Be Every Sound Subdued.....	182
In Remembrance of Thy Suffering ...	52
Jesus, Once of Humble Birth	55
Oh, It Is Wonderful	60
O Lord of Hosts.....	167
Reverently and Meekly Now	51
There Is a Green Hill Far Away.....	198
'Tis Sweet to Sing the Matchless Love.	62
We'll Sing All Hail to Jesus' Name...	57
While of These Emblems We Partake.	53

SUNDAY SCHOOL.

Songs appropriate for Sunday School have been grouped together as much as possible from Nos. 1-50 and 205-220. However others occur throughout the book. The following are written about Sunday School :

Break Not the Sabbath Day	10
Haste to the Sunday School	1
My Sabbath Home.....	5
On, One and All.....	216
Sabbath Morning Comes With	2
Sing and Pray.....	12
Thanks for the Sabbath School.....	7
We Are Watchers, Earnest Watchers.	118

	No.
Parting Hymn (Sing We Now)	146
Praise God From Whom All	149

DEVOTION.

Nearer, Dear Savior, to Thee	68
Nearer, My God, to Thee	160
Sweet is the Work	142

EXHORTATION.

Catch the Sunshine!	32
Dearest Children, God is Near You... ..	47
Do What is Right	76
Have I Done Any Good?	173
If There's Sunshine In Your Heart ...	35
If The Way Be Full of Trial	83
Improve the Shining Moments.....	31
Let the Lower Lights Be Burning. ...	166
Let Us All Be Good and Kind.....	26
Make the World Brighter.....	174
Put Your Shoulder to the Wheel.....	176
Scatter Sunshine.....	175
School Thy Feelings	139
The Iron Rod.....	197
To-day, While the Sun Shines.....	30
Truth Reflects Upon Our Senses	138
Try It Again	84
Ye Who Are Called to Labor	112

FUNERAL.

Farewell, All Earthly Honors	121
O My Father	119
Rest, Rest for the Weary Soul	122
Wanted on the Other Side	189
What Voice Salutes the Startled Ear?	120

HEAVENLY HOME.

Beautiful Isle	81
I Have Read of a Beautiful City	97
Let Love Abound	22
Marching Homeward.....	135
O What Songs of the Heart	19
Shall We Meet?.....	155
What Prize Shall Be Your Reward?...	132
When Jesus Shall Come in His Glory.	154
When Shall We Meet Thee?	153

INVITATION AND GATHERING.

Come, All Ye Sons of God	110
Come, All Ye Sons of Zion	92
Come Along, Come Along.....	113
Come, Come, Ye Saints.....	82
Come Unto Jesus	188
Israel, Israel, God is Calling.....	98
Join the Children of the Lord	199
Ye Elders of Israel.....	111

INVOCATION AND SUPPLICATION.

	No.
As The Dew, From Heaven Distilling.	104
Come, Dearest Lord	80
Come, Let Us One and All	131
Do Not Forsake Me, Lord	73
Gladly Meeting, Kindly Greeting.....	14
God Speed the Right.....	77
Guide Me to Thee	66
Guide Us, O Thou Great Jehovah ...	89
I Need Thee Every Hour.....	161
Jesus, Lover of My Soul	64
Jesus, Savior, Pilot Me	158
Lead, Kindly Light	65
Lord, Accept Our True Devotion.....	144
'Mid Scenes of Confusion	163
My Prayer	156
Nearer, Dear Savior, to Thee	68
Nearer, My God, to Thee	160
O My Father	119
O Thou Kind and Gracious Father ...	141
Sowing.....	143

JOSEPH SMITH.

Joseph Smith	190
Joseph Smith's First Prayer	99
One Hundred Years	191
Praise to the Man	102
Sing the Wondrous Story	100
We Thank Thee, O God, for a Prophet.	101

JOY.

Merry, Merry Children, Sweetly Sing.	217
Now Let Us Rejoice	108
Oh, I Had Such a Pretty Dream	28
On, One and All.....	216
Sunshine in the Soul	34
The Joy and the Song	151
Verdant Spring and Rosy Summer ...	38

LOVE AND KINDNESS.

A Poor Wayfaring Man of Grief	193
Beautiful Words of Love	37
Dear to the Heart of the Shepherd ...	49
Earth With Her Ten Thousand	123
Forbid Them Not	43
Kind Words Are Sweet Tones of.....	21
Let Love Abound	22
Let Us Treat Each Other Kindly.....	125
Love At Home	25
Nay, Speak No Ill	23
Oh, It Is Wonderful	60
Scatter Seeds of Kindness.....	24
Should You Feel Inclined to Censure.	196
Speak to Me Kindly	29
The World is Full of Beauty	195

	No.
There is a Green Hill Far Away	198
Think Gently of the Erring One	187
Though Deepening Trials.....	75
'Tis Sweet to Sing The Matchless ...	62
To-day, While the Sun Shines.....	30
To Thee, Our Heavenly Father	205
Tradition and Error in Battle Array...	130
True to the Faith	180
Truth Reflects Upon Our Senses	138
Try It Again	84

V

Verdant Spring and Rosy Summer ...	38
------------------------------------	----

W

Waiting For the Reapers	117
Wanted on the Other Side	189
We Are All Enlisted	116
We Are Watchers, Earnest Watchers...	118
We Meet Again in Sabbath School...	6
We Thank Thee, O God, For a	101
Welcome, Happy Sunday.....	4

	No.
Welcome, Welcome Sabbath	3
We'll Sing All Hail to Jesus' Name...	57
We're Not Ashamed to Own Our.....	88
What Prize Shall Be Your Reward?... 132	
What Voice Salutes the Startled Ear? 120	
What Was Witnessed in the Heavens? 105	
When Christ Was Born in Bethlehem. 209	
When Dark And Dread the Skies.....	86
When Jesus Shall Come in His Glory. 154	
When Shall We Meet Thee?	153
When The Rosy Light of Morning ...	11
While of These Emblems We Partake. 53	
Who's on the Lord's Side?	129

Y

Ye Elders of Israel.....	111
Ye Who Are Called to Labor	112

Z

Zion is Growing	93
Zion Prospers, All is Well.....	94
Zion Stands With Hills Surrounded... 203	

TOPICAL INDEX.

ASSURANCE AND TRUST.

	No.
Come, Come, Ye Saints.....	82
How Firm a Foundation	78
I Know That My Redeemer Lives ...	172
I'll Go Where You Want Me to Go... 168	
Jesus, Lover of My Soul	64
Master, the Tempest is Raging.....	48
My Father Knows	171
My Jesus, As Thou Wilt!	45
Our Everlasting Friend	177
Redeemer of Israel	70
Rock of My Refuge	63
Sometime, Somewhere	170
Sometime We'll Understand.....	169
That the Lord Will Provide.....	74
The Lord is My Light	67
The Lord is My Shepherd	46
Though Deepening Trials.....	75
When Dark and Dread the Skies	86

BAPTISM.

Behold the Lamb of God	184
Confirmation	183
Father in Heaven	186
Lo! On the Water's Brink	185

CHILDREN'S SONGS.

	No.
Christmas Cradle Song	211
Forbid Them Not	43
Hymn of Praise	218
I'll Be a Sunbeam	213
I'll Serve the Lord While I Am	40
Jesus Bids Us Shine	215
Little Children, Love the Savior ...	44
Merry, Merry Children, Sweetly Sing. 217	
Shine On.....	214
Summer Time.....	212

CHRISTMAS.

A Stranger Star O'er Bethlehem	210
Christmas Carol	42
Christmas Cradle Song	211
Far, Far Away On Judea's Plains.....	41
When Christ Was Born in Bethlehem. 209	

CLOSING.

God Be With You!	145
Lord, Dismiss Us With Thy Blessing. 147	
Lord, We Ask Thee, Ever Be Part ... 50	
Parting Hymn (Heavenly Father) ... 220	

	No.		No.
J		P	
Jesus Bids Us Shine	215	Parting Hymn (Heaven'y Father) ...	226
Jesus, Lover of My Soul	64	Parting Hymn (Sing We Now).	140
Jesus, My Savior	164	Praise God From Whom All.....	149
Jesus, Once of Humble Birth	55	Praise to the Man	102
Jesus, Savior, Pilot Me	158	Praise Ye the Lord!	79
Join the Children of the Lord	199	Prayer is the Soul's Sincere Desire ...	159
Joseph Smith	190	Put Your Shoulder to the Wheel.....	176
Joseph Smith's First Prayer	99		
K		R	
Kind and Heavenly Father	39	Redeemer of Israel.....	70
Kind Words Are Sweet Tones of.....	21	Rest, Rest for the Weary Soul.....	122
L		Reverently and Meekly Now	51
Lead, Kindly Light	65	Rock of My Refuge	63
Let Love Abound	22		
Let the Lower Lights Be Burning. ...	166	S	
Let Us All Be Good and Kind.....	26	Sabbath Morning Comes With.....	2
Let Us All Press On	85	Scatter Seeds of Kindness	24
Let Us Treat Each Other Kindly.....	125	Scatter Sunshine.....	175
Little Children, Love the Savior	44	School Thy Feelings	139
Lo! On the Water's Brink	185	See, The Mighty Angel Flying!	124
Lo! the Gentile Ch in is Broken.....	103	Shall We Meet?	155
Lord, Accept Our True Devotion.....	144	Shine On.....	214
Lord, Dismiss Us With Thy Blessing.	147	Should You Feel Inclined to Censure.	196
Lord, Thou Wilt Hear Me	165	Sing and Pray.....	12
Lord, We Ask Thee, Ere We Part ...	50	Sing the Wondrous Story	100
Love at Home.....	25	Softly Beams the Sacred Dawn'ng ..	178
M		Sometime, Somewhere	170
Make the World Brighter	174	Sometime We'll Understand.....	169
Marching Homeward.....	135	Sowing.....	143
Master, the Tempest is Raging!	48	Speak to Me Kindly	29
Memories of Galilee	181	Summer Time.....	212
Merry, Merry Children, Sweetly Sing.	217	Sunshine in the Soul	34
'Mid Scenes of Confusion	163	Sweet Hour of Prayer	162
Morn Amid the Mountains	27	Sweet is the Work	142
My Father Knows	171	Sweet Sabbath Day	9
My Jesus, As Thou Wilt!	45		
My Prayer	156	T	
My Sabbath Home.....	5	Thanks for the Sabbath School.....	7
N		That the Lord Will Provide	74
Nay, Speak No Ill	23	The Day-Dawn is Breaking	16
Nearer, Dear Savior, to Thee	68	The Gospel Standard High is Raised.	204
Nearer, My God, to Thee	160	The Happy Day Has Rolled On	136
Now Let Us Rejoice	108	The Iron Rod.....	197
O		The Joy and the Song	151
O Lord of Hosts.....	167	The Joyful Song	150
O My Father	119	The Lord is My Light	67
O Say, What is Truth?.....	140	The Lord is My Shepherd	46
O Thou Kind and Gracious Father...	141	The Opening Buds of Spring time ...	36
O Thou Rock of Our Salvation.	72	The Spirit of God Like a Fire.....	109
O What Songs of the Heart.....	19	The Time is Far Spent	115
O Ye Mountains High	200	The World is Full of Beauty	195

INDEX.

A	No.
A Happy Band of Children	20
A Poor Wayfaring Man of Grief	193
A Stranger Star O'er Bethlehem	210
An Angel From on High	106
As the Dew, From Heaven Distilling..	104

B	
Battle Hymn of the Republic	179
Beautiful Isle	81
Beautiful Words of Love	37
Beautiful Zion, Built Above	95
Behold the Great Redeemer Die	54
Behold the Lamb of God	184
Break Not the Sabbath Day	10

C	
Catch the Sunshine!	32
Children, Gladly Join and Sing	8
Children of the Saints of Zion	17
Christmas Carol	42
Christmas Cradle Song	211
Come, All Ye Sons of God	110
Come, All Ye Sons of Zion	92
Come Along, Come Along	113
Come, Come, Ye Saints.....	82
Come, Dear Children, Join and Sing.	13
Come, Dearest Lord	80
"Come, Follow Me"	61
Come, Let Us Anew	87
Come, Let Us One and All	131
Come, Listen to a Prophet's Voice ..	107
Come, O Thou King of Kings	69
Come, Thou Glorious Day of Promise.	157
Come Unto Jesus	188
Come, Ye Children of the Lord	15
Confirmation	183
Count Your Blessings.....	33

D	
Dark is the Human Mind	137
Dearest Children, God is Near You...	47
Dear to the Heart of the Shepherd ...	49
Did You Think to Pray?	127
Do Not Forsake Me, Lord.....	73
Do What is Right	76
Doxology.....	148

E	
Earth, With Her Ten Thousand.....	123
Easter Morning	219
Ere the Sun Goes Down	207

F	No.
Farewell, All Earthly Honors	121
Far, Far Away On Judea's Plains.....	41
Father in Heaven	186
Father, Thy Children To Thee.....	206
Forbid Them Not	43
For Our Devotions, Father	59
For the Strength of the Hills	202
From Greenland's Icy Mountains.....	126

G	
Gently Raise the Sacred Strain	58
Gladly Meeting, Kindly Greeting.....	14
Glorious Things of Thee Are Spoken.	96
Glory to God on High	152
God Be With You!	145
God Moves in a Mysterious Way	71
God of Our Fathers, We Come.....	134
God Speed the Right	77
Go When the Morning Shineth	128
Guide Me to Thee	66
Guide Us, O Thou Great Jehovah. ...	89

H	
Hail to the Brightness of Zion's	91
Hark! Listen to the Trumpeters	114
Hark! the Children Sweetly Sing ...	208
Hark to the Classmates' Song	192
Haste to the Sunday School	1
Have I Done Any Good?	173
High On the Mountain Top	201
Hope of Israel	90
How Great the Wisdom and the Love.	56
How Firm a Foundation	78
Hush! Be Every Sound Subdued.....	182
Hymn of Praise	218

I	
I Have Read of a Beautiful City	97
I Know That My Redeemer Lives ...	172
I Need Thee Every Hour	161
If There's Sunshine in Your Heart ...	35
If the Way Be Full of Trial.....	83
If You Could Hie to Kolob	194
I'll Be a Sunbeam	213
I'll Go Where You Want Me To Go...	168
I'll Praise My Maker While I've	133
I'll Serve the Lord While I Am Young	40
Improve the Shining Moments	31
In Our Lovely Deseret	18
In Remembrance of Thy Suffering ...	52
Israel, Israel, God is Calling.....	98

PREFACE.

For a long time the question of preparing a new psalmody has been under consideration. The first one contained only sixty-six songs, translated with the object of preserving the original meaning even at a sacrifice of the original tunes. Thus the songs became about twice as long as the English and new music had to be written. With all due respect to the composer, these tunes proved to be imperfect from a musical standpoint and the songs were so long that much of the force of the words was lost. This has always been a source of regret and dissatisfaction to missionaries, saints, and friends alike and suggestions were frequently made to rearrange the songs to fit the original tunes even at a loss of some of the original meaning.

However to Elder H. Grant Ivins, then Mission President, belongs the credit of putting this idea into tangible form; for during the summer of 1914 he, with the assistance of Mr. Tomigoro Takagi (at that time not a member of the church), translated one hundred and fifty hymns and adapted them to the original music. These were afterwards made into Japanese verse by Mr. Toshichi Yamane, a friend who is very proficient in Japanese Grammar.

Later it was suggested that we publish a collection large enough to be ample for the uses of the Mission for years to come and accordingly about seventy more hymns were selected by Elder Lloyd O. Ivie and myself. These were translated by Elder Ivie and later arranged into poetic form by Mr. Yamane.

When Elder Ivins left, the work of publishing fell upon me. I wish to thank Elder Ivie for the loyal support he has given me and his invaluable assistance in proof-reading. Thanks is also due Mr. Toshihiko Sakai, a friend who arranged the translations of several of our songs. I wish to thank all the missionaries and friends whose suggestions have helped make this book what it is.

May the Spirit of God accompany these songs and impress upon those who sing or read them the spirit of the gospel which they breathe forth. May it bring as much joy to those who sing them as the preparation of this book has brought me, is the wish with which it is sent forth.

Tokyo, Japan.

Nov. 10, 1915.

JOSEPH H. STIMPSON.

Copyright, 1915,
BY THE JAPAN MISSION.

BX
8685.2
J 275
1915

The Songs of Zion

A COLLECTION OF CHOICE SONGS

Especially Selected and Arranged for

The Home and for all Meetings, Sunday Schools
and Gatherings of Elders and Saints
in the Mission Field

118403



Published by the Japan Mission of the
CHURCH OF JESUS CHRIST OF LATTER-DAY SAINTS.

81 Yakuoji-machi, Ushigome, Tokyo, Japan.

[illegible]

